

第 10 期白井市高齢者福祉計画・白井市介護保険事業計画

アンケート調査結果報告書

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

在宅生活改善調査

居所変更実態調査

介護人材実態調査

令和 8 年 3 月

白井市

目次

1章 アンケート調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の実施概要	3
3 報告書の見方	3
2章 調査結果のまとめ	4
1 ～介護が必要になる前の段階～ 健康寿命の延伸と社会参加の促進	5
2 ～介護が必要になった後の段階～ 在宅生活の維持と支援	8
3 ～施設入所の段階～ 多様なニーズへの対応と供給体制の確保	11
4 介護サービスの供給体制の確保	12
3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	13
■ 回答者の概要	14
1 家族や生活状況について	16
2 からだを動かすことについて	29
3 食べることについて	38
4 聞こえについて	43
5 毎日の生活について	50
6 認知症に関する相談窓口の把握について	57
7 地域での活動について	64
8 就労について	75
9 たすけあいについて	79
10 健康について	87
11 今後の暮らし方・終末期について	98
12 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析	106
13 市の事業について（自由意見）	114
4章 調査結果（在宅生活改善調査）	118
1 共通設問	119
2 白井市の独自設問	127
5章 調査結果（居所変更実態調査）	132
1 共通設問	133
6章 調査結果（介護人材実態調査）	144
1 白井市の独自設問	145
2 共通設問	156
調査票	165
1 調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	166
2 調査票（在宅生活改善調査）	182
3 調査票（居所変更実態調査）	189
4 調査票（介護人材実態調査）	193

1章 アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度から11年度までの3年間を計画期間とした「第10期白井市高齢者福祉計画・白井市介護保険事業計画」を策定するにあたり、基礎資料として活用するために実施するものです。

調査名	調査の趣旨
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	・ 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する
在宅生活改善調査	・ 現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の生活の維持もしくは就労の継続が難しくなっている理由を把握し、生活の改善、就労の継続につながる取組を検討する ・ ケアマネジャーの業務実態を把握し、業務負担の改善に必要な取組等を検討する
居所変更実態調査	・ 過去1年間に施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や死亡した人数等を把握し、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能について検討する
介護人材実態調査	・ 介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握し、職員の確保・定着、育成、もしくは業務改善に必要な取り組み等を検討する

2 調査の実施概要

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象	令和7年11月19日時点で市内にお住まいの65歳以上の方、要支援1、2、介護予防・日常生活総合事業対象者（施設入所者を除く）のなかから、2,500名を無作為に抽出
調査方法	郵送
調査期間	令和8年1月10日～令和8年2月13日
回収状況	【配布数】2,500人 【有効回答数（率）】1,914人（76.6%）

② 在宅生活改善調査

調査対象	ケアマネジャー（居宅介護支援事業所17か所、小規模多機能型居宅介護支援事業所2か所、地域包括支援センター3か所に在籍するケアマネジャー）
調査方法	電子ファイル(Excel)
調査期間	令和8年1月9日～令和8年2月10日
回収状況	【配布数】22事業所 【有効回答数（率）】22事業所（100.0%）

③ 居所変更実態調査

調査対象	施設・居住系サービス事業者（住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、（地域密着型）特定施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、（地域密着型）特別養護老人ホーム）計19か所
調査方法	電子ファイル(Excel)
調査期間	令和8年1月9日～令和8年2月18日
回収状況	【配布数】19事業所 【有効回答数（率）】17事業所（78.9%）

④ 介護人材実態調査

調査対象	施設・居住系サービス、通所系サービス、訪問系サービス、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護
調査方法	電子ファイル(Excel)
調査期間	令和8年1月9日～令和8年2月18日
回収状況	【配布数】53事業所 【有効回答数（率）】34事業所（64.2%）

3 報告書の見方

○回答の比率は、当該質問の回答者数（n）を基数として算出しています。このため、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超える場合があります。

○集計にあたり、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、回答者比率の合計は100%にならない場合があります。

○本文および図表中の選択肢表記は語句を簡略化している場合があります。

2章 調査結果のまとめ

1 ～介護が必要になる前の段階～ 健康寿命の延伸と社会参加の促進

1) フレイル予防の推進

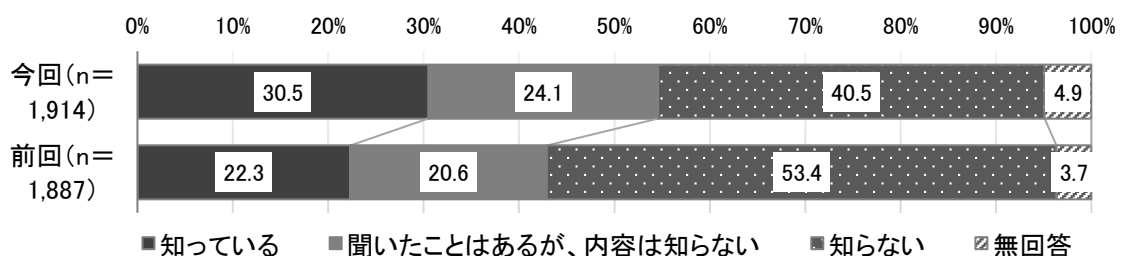
フレイル予防は生活の維持にとって非常に重要ですが、白井市ではまだその認知度が低いことが課題です。「日常生活圏域ニーズ調査」では、フレイル予防について「知らない」と回答した高齢者が 40.5%に上ります。

フレイルには、身体的な衰えだけでなく、気力や社会的なつながりの低下も含まれますが、一例として身体的な機能をみると、「階段を手すりや壁を伝わずに昇る」、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる」、「15分くらい続けて歩く」といった基本的な動作について「できない」と回答する人がそれぞれ 18.9%、12.7%、9.2%いるなど、予防的介入を必要とする高齢者が少なくありません。こうした状況を踏まえ、きめ細やかなフレイル予防の実施が重要だと考えられます。

〈アンケート結果〉

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P97）

【フレイルまたはフレイル予防について知っていますか】



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P107）

【運動器機能の低下リスク】

（単位：％）

運動器機能低下リスクの判定項目	割合
①階段を手すりや壁を伝わずに昇ることが「できない」	18.9
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できない」	12.7
③15分くらい続けて歩くことが「できない」	9.2
④過去1年間に転んだ経験が「何度もある」+「1度ある」	31.5
⑤転倒に対する不安が「とても不安」+「やや不安」	59.6

①～⑤のうち、3項目以上に該当する人＝運動器機能低下リスクあり 13.1%

2) 高齢期の就労意欲に対するフォローアップ

健康寿命の延伸に伴い、定年後も働きたいと考える高齢者は全国的に増加しています。

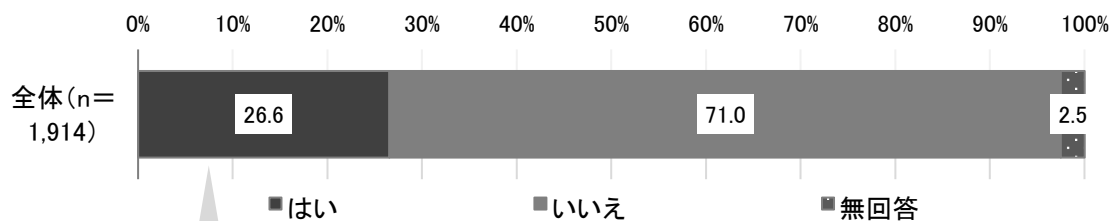
「日常生活圏域ニーズ調査」からは、白井市の高齢者にも高い就労意欲と社会貢献への関心がみられ、現在収入を伴う仕事をしている高齢者の割合は、全体では 26.6%ですが、65～74 歳では 46.1%と比較的高い割合となっています。また、現在仕事をしていない高齢者のうち、9.3%が「今後、仕事をしてみたい」と回答しています。

そのため、高齢者の体力や経験に応じた多様な就労機会の提供、またそれらをマッチングする仕組みの強化が求められます。

〈アンケート結果〉

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P75）

【あなたは現在、何らかの収入を伴う仕事をしていますか】



※65～74 歳では「はい」が 46.1%と、全体を大きく上回る

3) 高齢者の社会参加の促進

高齢者の健康維持や生きがいづくりには、社会的なつながりや地域活動への参加が重要です。しかし、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」によると、地域活動への参加率は低く、ボランティアやスポーツ、趣味、学習・教養など、ほとんどの地域活動で「参加していない」と回答した高齢者の割合が半数を超えています。

なお、小学校区別にみると、七次台小学校区や桜台小学校区などで、「参加していない」割合が全体より 5 ポイント以上高い活動が複数みられ、地域活動への参加率が低い傾向がうかがえます。

また、外出頻度については、全体の 17%が週に 1 回以下にとどまっています。さらに、外出頻度が低い層ほど「物忘れが多いと感じる」割合が高く、ほとんど外出しないと回答した人では 54.5%が物忘れを自覚している状況です。

これらの結果は、社会的なつながりの低下が、身体機能の低下だけでなく、認知機能にも影響を及ぼす可能性を示しており、高齢者の孤立防止が重要な課題であるといえます。

そのため、高齢者が気軽に外出し、地域活動に参加できる機会を充実させるなど、社会参加を促進していく取組が重要となっています。

〈アンケート結果〉

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P64～71）

【地域での活動状況】

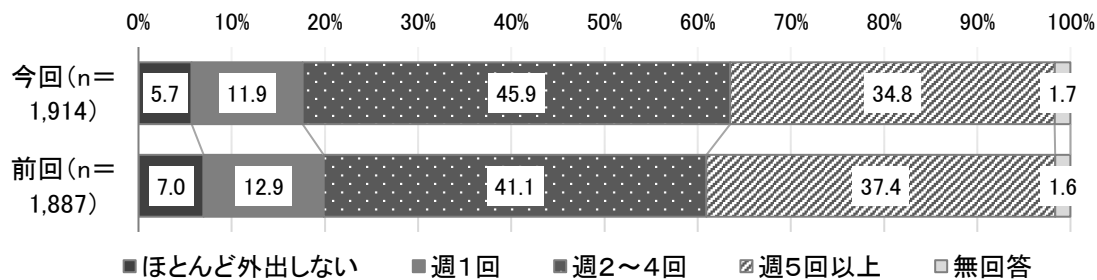
【参加していない割合】※「全体」より5ポイント以上高い部分を網掛け

（単位：％）

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のため の通いの場	高齢者クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
全体	66.4	55.7	54.5	66.7	64.9	68.8	49.4	54.7
第一小学校区	66.2	61.8	52.9	66.2	66.9	70.6	52.2	48.5
第二小学校区	56.1	57.0	55.1	62.6	56.1	57.0	39.3	45.8
南山小学校区	66.5	55.1	52.1	65.4	63.5	68.4	48.7	56.7
池の上小学校区	67.6	55.6	52.4	66.9	68.4	71.6	54.5	57.1
桜台小学校区	70.6	57.5	59.3	70.1	70.6	74.3	48.6	57.5
第三小学校区	62.7	55.3	57.9	63.2	61.4	62.3	49.1	50.0
大山口小学校区	65.3	55.0	52.9	66.9	64.9	66.5	44.2	56.2
清水口小学校区	64.1	49.6	51.8	64.8	60.2	67.3	50.0	53.9
七次台小学校区	76.2	61.0	59.8	75.0	72.0	79.3	54.9	61.0

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P35）

【外出頻度】



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P51）

【物忘れが多いと感じますか×外出頻度】

（単位：％）

	件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体	1,882	43.5	54.9	1.6
ほとんど外出しない	110	54.5	44.5	0.9
週1回	227	51.5	45.4	3.1
週2～4回	879	46.8	51.5	1.7
週5回以上	666	34.5	64.3	1.2

2 ～介護が必要になった後の段階～ 在宅生活の維持と支援

1) 自宅での生活継続の希望と限界点

介護が必要になっても住み慣れた自宅での生活を希望する割合は 37.9%と、前回の 42.6%よりは減少したものの、根強く存在しています。

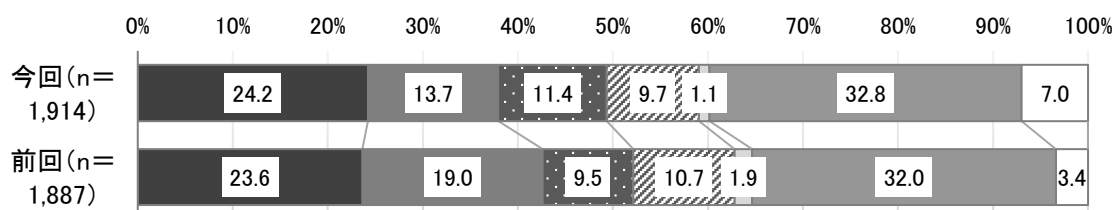
しかし、加齢に伴う心身の機能低下や認知症の進行によって在宅での生活が難しくなる現状があります。また、自由記述では、「認知症が進行し徘徊等がみられるようになった」、「排泄の失敗」、「一人で留守番ができなくなった」等を理由に施設を検討するケースがあるほか、転倒骨折などをきっかけに急激に ADL が低下し、施設入所に舵を切らざるを得ない状況が見受けられます。

併せて、「在宅生活改善調査」では、在宅生活の維持が難しくなる理由として、「家族介護者の負担増大」が 66.0%と高い割合を占めています。また、「家族介護者の就労継続が困難になり始めた」という回答も 17.0%あり、介護が原因で離職せざるを得ないケースもあることがわかります。

〈アンケート結果〉

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P101）

【介護が必要になったとき、どんな暮らし方が一番希望に近いですか】



- ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい
- 家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい
- サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどに転居して暮らしたい
- 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して暮らしたい
- その他
- わからない・まだ考えていない
- 無回答

在宅生活改善調査（報告書 P122、123）

【生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由）】

1位 認知症の症状の悪化(66.0%)

2位 その他、本人の状態等の悪化(54.3%)

3位 必要な生活支援の発生・増大(47.9%)

【生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等に属する理由）】

1位 介護者の介護に係る不安・負担量の増大(66.0%)

2位 本人と家族等の関係性に課題があるから(30.9%)

3位 その他、家族等介護者の意向等があるから(27.7%)

2) 在宅サービス供給体制の不足

自宅での生活を継続したいという希望に対し、現在の介護サービス供給体制には課題がみられます。「在宅生活改善調査」において、白井市に不足している介護保険サービスとして「居宅介護支援（59.1%）」、「訪問介護（54.5%）」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（50.0%）」という回答が多くなっています。

在宅生活を支えるうえで重要な役割を担うのがケアマネジャーですが、人員不足が顕在化しています。具体的には、ケアマネジメントの依頼を「断ったことがある」と回答した居宅介護事業者が 88.2%おり、依頼を断った理由としては、「恒常的に職員が不足しているため」が 73.3%となっています。

さらに、独居高齢者の入退院時の手続（代筆）や夜間緊急連絡の訪問対応、救急車への同乗経験がある居宅介護事業者はそれぞれ 22.7%、36.3%、31.8%にのぼっており、人員不足に加えて業務負担も大きくなっています。

そのため、国が推進する「地域包括ケアシステム」を実効性のあるものとするためには、ケアマネジャーの確保と業務負担の軽減が喫緊の課題であり、そのための抜本的な対策が求められます。

〈アンケート結果〉

在宅生活改善調査（報告書 P129）

【白井市に不足している介護保険サービス】

1位	居宅介護支援(59.1%)
2位	訪問介護(54.5%)
3位	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(50.0%)

3) 認知症への備えと相談・情報提供体制の強化

認知症は高齢者にとって大きな不安要因であり、国も「認知症基本法」を制定するなど、取組に力を入れています。

しかし、白井市では認知症に関する知識や相談窓口の認知度が依然として低いことが課題です。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、認知症の相談窓口を「知らない」と回答した割合が7割に達し、本人や家族に認知症の症状がある場合でも44.3%しか窓口を知らない状況です。さらに、国が提唱する「新しい認知症観（認知症になっても、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、自分らしい生活を続けていけるという前向きな考え方）」についても、74.2%の高齢者が「知らない」と回答しており、認知症に対する理解不足がうかがえます。

そのため、認知症の予防啓発から早期相談、治療等まで、情報提供体制のさらなる強化が必要です。

〈アンケート結果〉

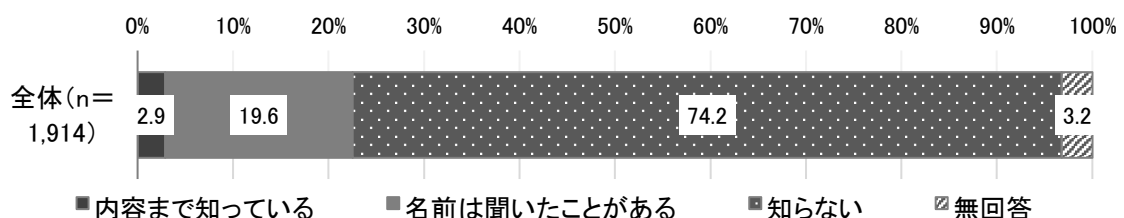
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P59）

【認知症相談窓口の認知度】

		(単位: %)			
		相談窓口を知っているか			
		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
認知症の症状があるか	全体	1,896	27.1	72.1	0.8
	はい	194	44.3	54.6	1.0
	いいえ	1,702	25.1	74.1	0.8

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（報告書 P63）

【「新しい認知症観」の認知度】



3 ～施設入所の段階～ 多様なニーズへの対応と供給体制の確保

1) 施設入所待機者の現状と高まる医療ニーズへの対応

在宅での生活継続が難しくなった高齢者やその家族は、施設への入所を検討しますが、ここにも課題がみられます。「在宅生活改善調査」によると、特別養護老人ホームへの入所を希望するものの、「空きがない」割合が、全体では 17.9%、要介護 3～5 では 35.0%となっています。

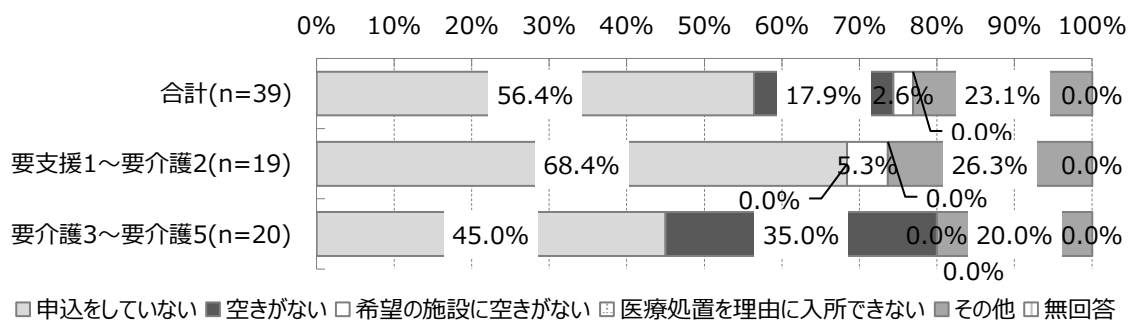
また、「居所変更実態調査」では、居所を変更した高齢者のうち、要介護度が高いほど施設への移行が多く、特に特別養護老人ホームでは、経管栄養やストーマといった医療処置が必要な入所者が 14.9%いることが示されています。このことから、入所待機者には医療ニーズを抱える重度者が含まれていることが推察され、施設側には医療体制の一層の強化が求められます。

こうした現状を踏まえ、高齢者の多様なニーズに合わせた施設の整備や、入所における情報提供・相談支援の強化が不可欠です。また、医療機関との連携強化、医療的ケアに対応できる介護職員の育成など、介護施設における医療ニーズへの対応力を高めることが急務となっています。

〈アンケート結果〉

在宅生活改善調査（報告書 P126）

【特養に入所できていない理由】



居所変更実態調査（報告書 P140）

【居所変更した人の要支援・要介護度】

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 16.0%	1人 4.0%	4人 16.0%	2人 8.0%	1人 4.0%	13人 52.0%	0人 0.0%	25人 100.0%
GH (n=6)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.3%	4人 25.0%	3人 18.8%	2人 12.5%	6人 37.5%	0人 0.0%	16人 100.0%
特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	3人 10.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	22人 75.9%	0人 0.0%	29人 100.0%
地密特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	5人 33.3%	5人 33.3%	3人 20.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	15人 100.0%
老健 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	10人 12.2%	15人 18.3%	13人 15.9%	21人 25.6%	9人 11.0%	14人 17.1%	0人 0.0%	82人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.1%	1人 1.1%	14人 15.6%	25人 27.8%	30人 33.3%	19人 21.1%	0人 0.0%	90人 100.0%
地密特養 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計 (n=15)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	18人 7.0%	21人 8.2%	40人 15.6%	56人 21.8%	47人 18.3%	75人 29.2%	0人 0.0%	257人 100.0%

4 介護サービスの供給体制の確保

1) 介護人材の確保・定着と働きがいのある職場環境の整備

高齢化の進展に伴い介護サービスの需要が高まる一方で、介護人材の不足は白井市においても深刻な課題となっています。「介護人材実態調査」によると、約 88%の事業所が介護職員の不足を感じており、主な要因として、「介護業界が不人気（69.0%）」「職員の高齢化（69.0%）」「給与水準が低い（48.3%）」などが挙げられています。

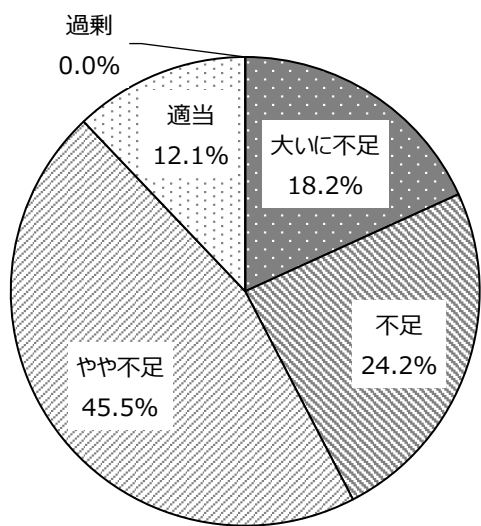
介護人材不足の解消には、新たな人材の確保だけでなく、既存の職員が働き続けられる環境づくり（＝離職防止のための取組）が不可欠です。効果があった取り組みとしては、「新人の指導担当・アドバイザーを置いている（81.8%）」、「本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善に取り組んでいる（75.0%）」、「仕事内容の希望を聞いて配置している（68.8%）」などが挙げられます。

引き続き、業務負担の軽減、処遇の改善、キャリアアップの機会提供など、多角的なアプローチによる職員の働きがい向上策が求められます。

〈アンケート結果〉

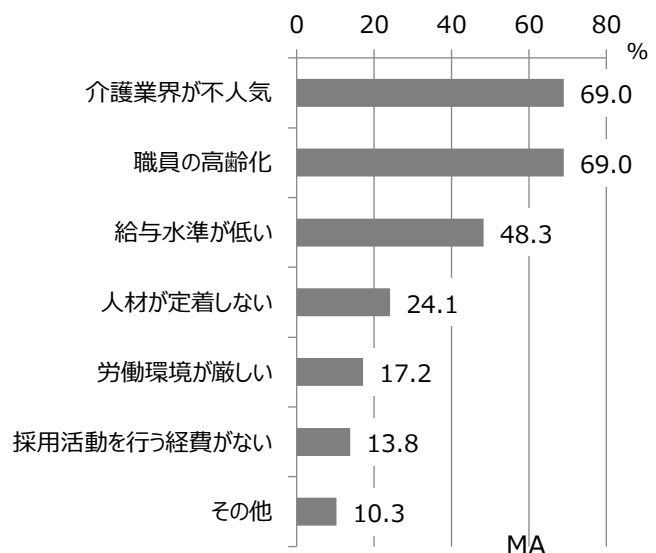
介護人材実態調査（報告書 P145、146、149）

【介護職員の過不足状況】



SA (n=33)

【介護職員が不足する要因】



【定着に繋がる取り組みの一例】

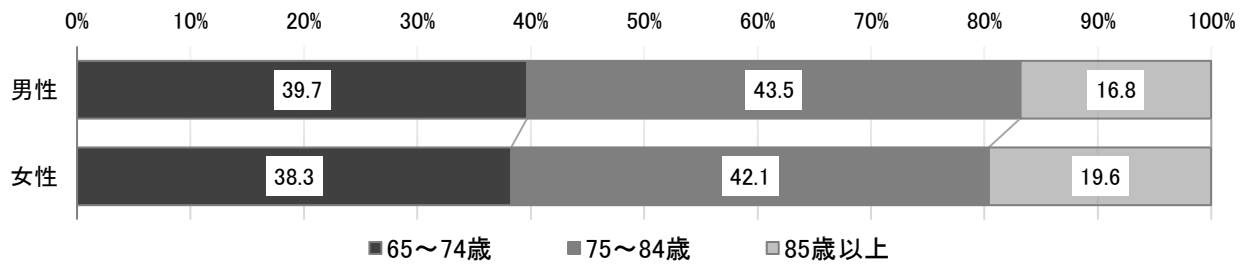
取組の内容	「効果があった」と回答した割合
・新人の指導担当・アドバイザーを置いている	81.8%
・本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善	75.0%
・仕事内容の希望を聞いて配置している	68.8%
・子育て支援を行っている(保育所の設置、保育費用支援等)	66.7%
・残業を少なくする、休暇を取りやすくするなどの労働条件改善	57.1%
・非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	54.5%

3章 調査結果

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

■ 回答者の概要

■ 性別・年齢



■ 要介護度

(単位：%)

	件数 (n)	一般	総合事業対象者	要支援1	要支援2
合計	1,914	80.5	3.1	7.4	9.0
男性	867	85.2	1.8	6.3	6.6
65～74歳	344	95.3	0.3	1.7	2.6
75～84歳	377	85.7	2.4	6.4	5.6
85歳以上	146	60.3	4.1	17.1	18.5
女性	1,046	76.7	4.1	8.2	11.0
65～74歳	400	95.3	0.5	2.0	2.3
75～84歳	440	76.8	4.1	9.3	9.8
85歳以上	205	40.0	11.2	18.0	30.7

■ 日常生活圏域

(単位：%)

		件数 (n)	A圏域	第一 小学校区	第二 小学校区	南山 小学校区	池の上 小学校区	桜台 小学校区	B圏域	第三 小学校区	大山口 小学校区	清水口 小学校区	七次台 小学校区
全体		1,914	52.0	7.1	5.6	13.7	14.4	11.2	48.0	11.9	12.7	14.8	8.6
性別	男性	867	52.6	6.8	5.3	13.7	14.6	12.1	47.4	12.7	12.9	13.5	8.3
	女性	1,046	51.5	7.4	5.8	13.8	14.1	10.4	48.5	11.3	12.4	16.0	8.8
年齢	65～74歳	744	55.6	8.2	5.5	11.0	13.8	17.1	44.4	11.0	11.2	12.8	9.4
	75～84歳	817	47.2	6.5	6.0	14.1	14.0	6.7	52.8	14.0	14.3	15.8	8.7
	85歳以上	351	55.6	6.3	4.8	18.8	16.5	9.1	44.4	9.1	12.0	16.8	6.6
要介護度	一般	1,541	52.0	7.5	5.9	12.3	14.1	12.2	48.0	11.9	13.0	14.1	8.9
	総合事業対象者	59	61.0	6.8	1.7	30.5	22.0	0.0	39.0	5.1	13.6	11.9	8.5
	要支援1	141	48.9	4.3	5.7	16.3	14.9	7.8	51.1	13.5	10.6	22.0	5.0
	要支援2	172	51.2	5.8	4.1	19.2	13.4	8.7	48.8	12.8	11.0	16.3	8.7

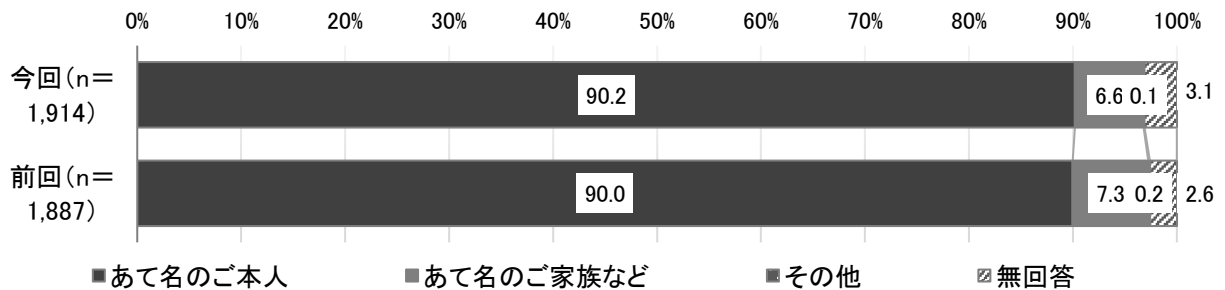
■属性の総括

（単位：％）

		件数 (n)	65～74歳	75～84歳	85歳以上
全体		1,914	38.9	42.7	18.4
性別	男性	867	39.7	43.5	16.8
	女性	1,046	38.3	42.1	19.6
要介護度	一般	1,541	46.0	42.9	11.0
	総合事業対象者	59	5.1	45.8	49.2
	要支援1	141	9.9	46.1	44.0
	要支援2	172	10.5	37.2	52.3
日常生活圏域	A圏域	995	41.6	38.8	19.6
	第一小学校区	136	44.9	39.0	16.2
	第二小学校区	107	38.3	45.8	15.9
	南山小学校区	263	31.2	43.7	25.1
	池の上小学校区	275	37.5	41.5	21.1
	桜台小学校区	214	59.3	25.7	15.0
	B圏域	918	36.0	47.0	17.0
	第三小学校区	228	36.0	50.0	14.0
	大山口小学校区	242	34.3	48.3	17.4
	清水口小学校区	284	33.6	45.6	20.8
	七次台小学校区	164	42.7	43.3	14.0

※属性不明先が1件いるため、全体(1,914件)と性別、要介護度別などの合計件数は一致しません。

■調査票の記入者



1 家族や生活状況について

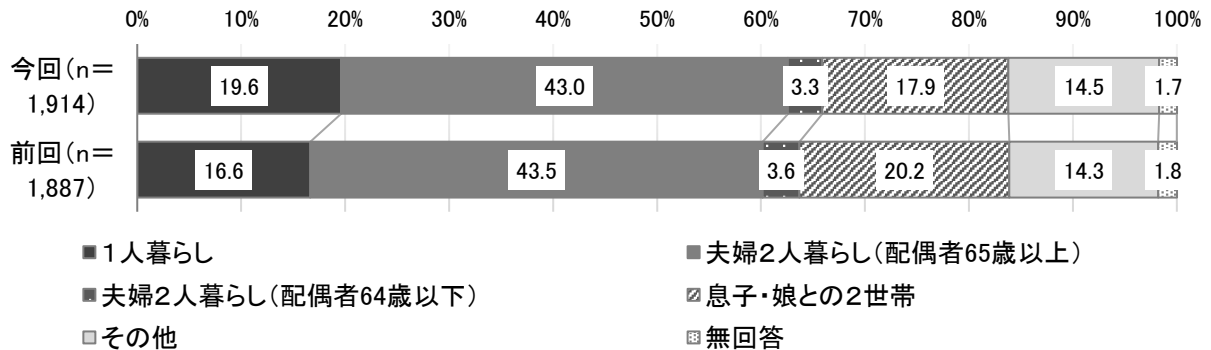
〔問1－（1）〕 家族構成をお教えてください。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.0%で最も高く、次いで「1人暮らし」が19.6%となっています。
- ・「1人暮らし」は前回よりも3.0ポイント上昇した一方、「息子・娘との2世帯」は前回よりも2.3ポイント低下しています。

【年齢別】

- ・「1人暮らし」は、85歳以上で特に高い割合となっています。



(単位：%)

		件数 (n)	一人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,914	19.6	43.0	3.3	17.9	14.5	1.7
性別	男性	867	13.0	50.3	6.0	14.3	15.1	1.3
	女性	1,046	25.1	36.9	1.1	20.8	14.0	2.1
年齢	65～74歳	744	12.9	47.0	7.0	14.7	17.1	1.3
	75～84歳	817	19.3	47.6	1.3	17.5	12.6	1.6
	85歳以上	351	34.5	23.6	0.0	25.6	13.4	2.8
要介護度	一般	1,541	15.6	45.8	3.9	17.3	15.8	1.6
	総合事業対象者	59	54.2	23.7	0.0	18.6	3.4	0.0
	要支援1	141	32.6	34.8	1.4	19.9	7.1	4.3
	要支援2	172	33.7	30.8	0.6	20.9	12.2	1.7
日常生活圏域	A圏域	995	20.4	42.1	3.2	18.3	14.3	1.7
	第一小学校区	136	18.4	30.9	2.2	26.5	21.3	0.7
	第二小学校区	107	12.1	31.8	0.9	30.8	18.7	5.6
	南山小学校区	263	24.0	42.2	3.8	16.7	11.4	1.9
	池の上小学校区	275	29.5	46.2	1.8	13.5	8.0	1.1
	桜台小学校区	214	9.8	49.1	6.1	15.0	19.2	0.9
	B圏域	918	18.8	43.9	3.4	17.4	14.7	1.7
	第三小学校区	228	21.5	40.4	4.8	17.1	13.2	3.1
	大山口小学校区	242	12.4	46.7	1.7	19.0	18.6	1.7
	清水口小学校区	284	25.4	44.0	2.8	14.4	12.0	1.4
	七次台小学校区	164	13.4	44.5	4.9	20.7	15.9	0.6

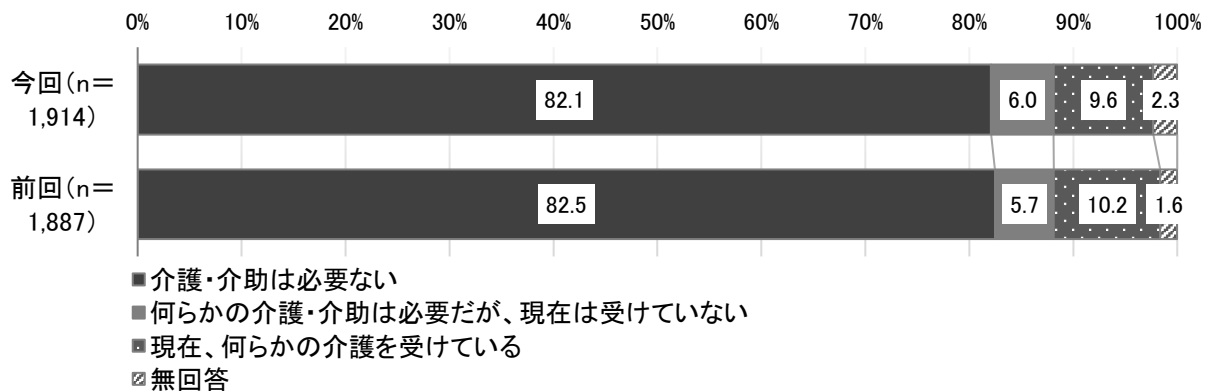
[問1-(2)] あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の割合は合わせて15.6%で、前回と比べ0.3ポイント低下しています。

【年齢別】

- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の割合は、84歳以下ではいずれの年代も10%以下ですが、85歳以上では10%を超えています。



(単位：%)

		件数 (n)	介護・介 助は必要 ない	何らかの介護・介 助は必要だが、現 在は受けていない	現在、何らかの 介護を受けている	無回 答
全体		1,914	82.1	6.0	9.6	2.3
性別	男性	867	85.4	6.2	7.4	1.0
	女性	1,046	79.4	5.7	11.5	3.3
年齢	65～74歳	744	93.3	2.8	3.0	0.9
	75～84歳	817	82.3	6.2	9.1	2.4
	85歳以上	351	58.1	12.0	25.1	4.8
要介護度	一般	1,541	92.0	3.5	2.7	1.8
	総合事業対象者	59	50.8	22.0	25.4	1.7
	要支援 1	141	46.8	15.6	31.9	5.7
	要支援 2	172	33.1	14.5	48.3	4.1
日常生活圏域	A圏域	995	82.1	6.7	9.0	2.1
	第一小学校区	136	77.2	8.8	11.0	2.9
	第二小学校区	107	85.0	4.7	5.6	4.7
	南山小学校区	263	79.1	6.8	12.2	1.9
	池の上小学校区	275	83.3	6.5	8.4	1.8
	桜台小学校区	214	86.0	6.5	6.5	0.9
	B圏域	918	82.1	5.1	10.2	2.5
	第三小学校区	228	79.8	7.0	10.1	3.1
	大山口小学校区	242	83.1	5.4	8.7	2.9
	清水口小学校区	284	82.4	3.9	11.6	2.1
	七次台小学校区	164	83.5	4.3	10.4	1.8

※「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した方 主な理由（自由記述）

- ・家族の介助…17 件
- ・自分で(何とか)できている…13 件
- ・気を遣うので支援を受けたくない、他人との接触を避けている…3 件
- ・利用できる制度や手続きが分からない…3 件
- ・経済的な理由…1 件

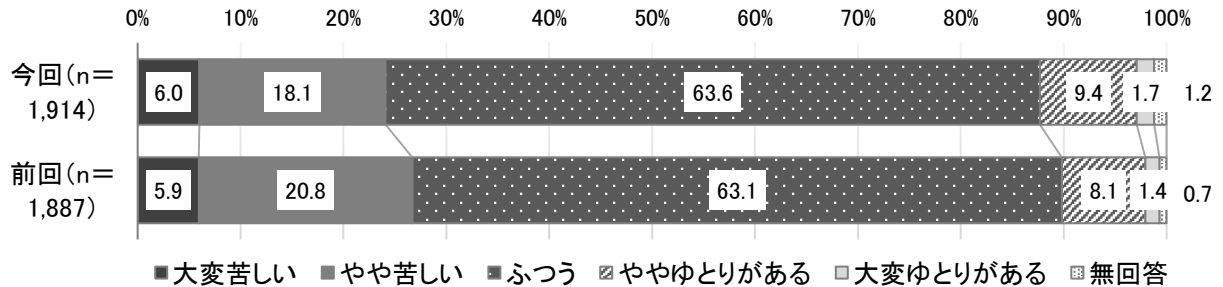
〔問1-（3）〕現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「ふつう」が63.6%で最も高く、次いで「やや苦しい(18.1%)」、「ややゆとりがある(9.4%)」の順となっています。
- ・「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合は24.1ポイントと、前回の26.7%から2.6ポイント低下したほか、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた割合は11.1%と、前回の9.5%から1.6ポイント上昇しています。

【要介護度別】

- ・「大変苦しい」が要支援2の方で11.0%、要支援1の方および総合事業対象者で8.5%と全体を上回っています。



（単位：％）

		件数 (n)	大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	やや ゆとり が ある	大変 ゆとり が ある	無回 答
全体		1,914	6.0	18.1	63.6	9.4	1.7	1.2
性別	男性	867	7.2	19.6	58.9	11.6	2.1	0.6
	女性	1,046	5.1	16.9	67.4	7.6	1.3	1.7
年齢	65～74歳	744	5.9	19.0	61.7	10.8	1.7	0.9
	75～84歳	817	5.4	19.7	63.4	8.7	1.6	1.2
	85歳以上	351	7.7	12.8	68.1	8.0	1.7	1.7
要介護度	一般	1,541	5.1	17.7	64.2	9.9	1.9	1.2
	総合事業対象者	59	8.5	18.6	52.5	15.3	3.4	1.7
	要支援1	141	8.5	18.4	66.0	5.7	0.0	1.4
	要支援2	172	11.0	21.5	59.9	6.4	0.6	0.6
日常生活圏域	A圏域	995	5.0	17.5	65.2	9.3	1.6	1.3
	第一小学校区	136	6.6	19.9	66.2	4.4	1.5	1.5
	第二小学校区	107	4.7	21.5	63.6	6.5	0.0	3.7
	南山小学校区	263	3.8	19.8	65.0	8.0	2.3	1.1
	池の上小学校区	275	4.4	13.8	65.8	12.7	2.2	1.1
	桜台小学校区	214	6.5	15.9	65.0	11.2	0.9	0.5
	B圏域	918	7.1	18.8	61.8	9.5	1.7	1.1
	第三小学校区	228	11.0	22.4	60.1	5.3	0.0	1.3
	大山口小学校区	242	6.2	15.3	62.0	12.4	2.5	1.7
	清水口小学校区	284	7.0	16.5	61.3	11.6	2.8	0.7
	七次台小学校区	164	3.0	23.2	64.6	7.3	1.2	0.6

【家族構成（問1-（1））との関係】

- ・家族構成別にみると、「大変苦しい」は、1人暮らし（7.7%）でやや高くなっています。
- ・「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合は、その他を除くと、息子・娘との2世帯で30.7%と最も高く、次いで1人暮らし（25.8%）となっています。

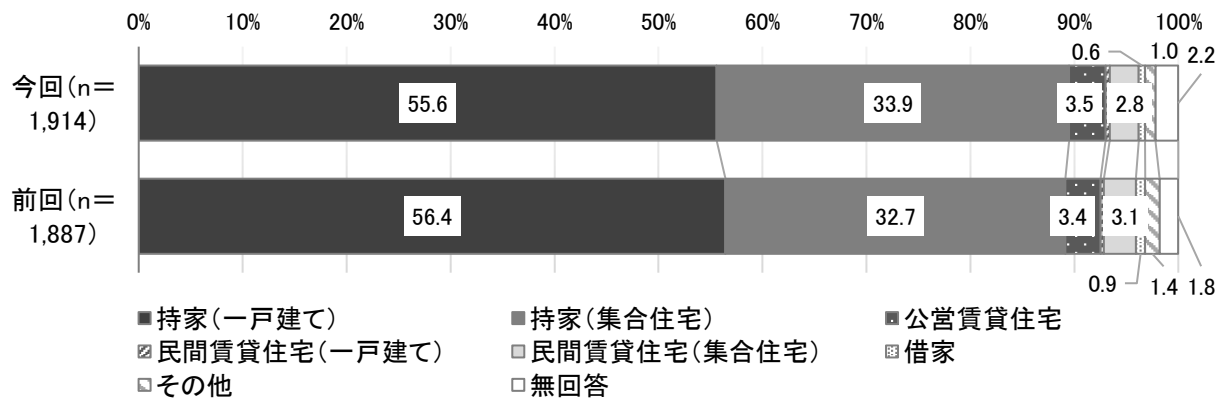
（単位：％）

	件数 (n)	大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	やや ゆとり がある	大変 ゆとり がある	無回 答
全体	1,881	6.0	18.4	64.0	9.6	1.7	0.3
1人暮らし	376	7.7	18.1	61.2	10.9	1.6	0.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	823	4.7	14.1	66.2	12.3	2.3	0.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	63	3.2	20.6	58.7	14.3	3.2	0.0
息子・娘との2世帯	342	6.4	24.3	63.2	5.6	0.6	0.0
その他	277	7.2	24.2	63.5	3.6	1.1	0.4

【問1-（4）】お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「持家（戸建て）」が 55.6%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 33.9%となっています。
- ・「持家（戸建て）」は前回よりも 0.8 ポイント低下、「持家（集合住宅）」は 1.2 ポイント上昇しています。



【「持ち家(戸建て)、持ち家(集合住宅)以外の回答割合」】

	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
今回	3.5	0.4	2.8	0.6	1.0	2.2
前回	3.4	0.3	3.1	0.9	1.4	1.8

(単位：%)

		件数(n)	(戸建て)	(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全体		1,914	55.6	33.9	3.5	0.4	2.8	0.6	1.0	2.2
性別	男性	867	56.3	32.6	3.8	0.5	3.5	0.6	1.0	1.7
	女性	1,046	55.1	34.9	3.3	0.3	2.2	0.6	1.1	2.7
年齢	65～74歳	744	56.3	34.9	2.6	0.4	3.5	0.7	0.5	1.1
	75～84歳	817	57.9	31.9	3.4	0.4	2.2	0.6	1.0	2.6
	85歳以上	351	49.0	35.9	5.7	0.3	2.6	0.3	2.3	4.0
要介護度	一般	1,541	58.7	33.0	2.7	0.5	2.1	0.5	0.9	1.6
	総合事業対象者	59	37.3	47.5	6.8	0.0	5.1	0.0	0.0	3.4
	要支援1	141	46.1	33.3	9.2	0.0	2.8	0.7	2.1	5.7
	要支援2	172	42.4	37.8	4.7	0.0	7.6	1.2	1.7	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	49.7	40.7	3.1	0.4	1.6	0.8	0.9	2.7
	第一小学校区	136	91.2	0.0	0.0	0.0	2.2	2.9	0.0	3.7
	第二小学校区	107	91.6	0.0	0.0	0.9	0.0	1.9	0.9	4.7
	南山小学校区	263	19.8	65.8	9.1	0.0	1.5	0.0	1.5	2.3
	池の上小学校区	275	50.9	44.4	0.4	0.4	0.7	0.0	0.7	2.5
	桜台小学校区	214	37.9	51.4	2.8	0.9	3.3	0.9	0.9	1.9
	B圏域	918	62.0	26.5	3.9	0.3	4.0	0.3	1.2	1.7
	第三小学校区	228	84.6	3.9	0.4	0.9	6.6	0.9	0.9	1.8
	大山口小学校区	242	57.9	38.4	0.0	0.0	1.2	0.4	0.8	1.2
	清水口小学校区	284	28.5	49.3	12.3	0.4	5.6	0.0	1.1	2.8
	七次台小学校区	164	94.5	0.6	0.0	0.0	1.8	0.0	2.4	0.6

【家族構成（問1-（1））との関係】

- ・家族構成別にみると、1人暮らしでは、「持家（集合住宅）（40.2%）」や、「公営賃貸住宅（8.0%）」が全体よりも高くなっています。
- ・夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では、「持家（一戸建て）」が58.2%とやや高くなっています。
- ・夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「持家（集合住宅）（38.1%）」や、「民間賃貸住宅（集合住宅）（7.9%）」が全体よりも高くなっています。
- ・息子・娘との2世帯では、「持家（一戸建て）」が64.9%とやや高くなっています。

（単位：％）

	件数 (n)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体	1,881	55.7	34.2	3.5	0.4	2.8	0.6	1.1	1.8
1人暮らし	376	39.1	40.2	8.0	0.5	6.1	1.1	1.3	3.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	823	58.2	34.8	2.8	0.4	1.8	0.5	0.4	1.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	63	52.4	38.1	1.6	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0
息子・娘との2世帯	342	64.9	28.1	1.5	0.0	1.2	0.3	2.3	1.8
その他	277	59.9	31.0	2.5	0.7	2.2	0.7	1.4	1.4

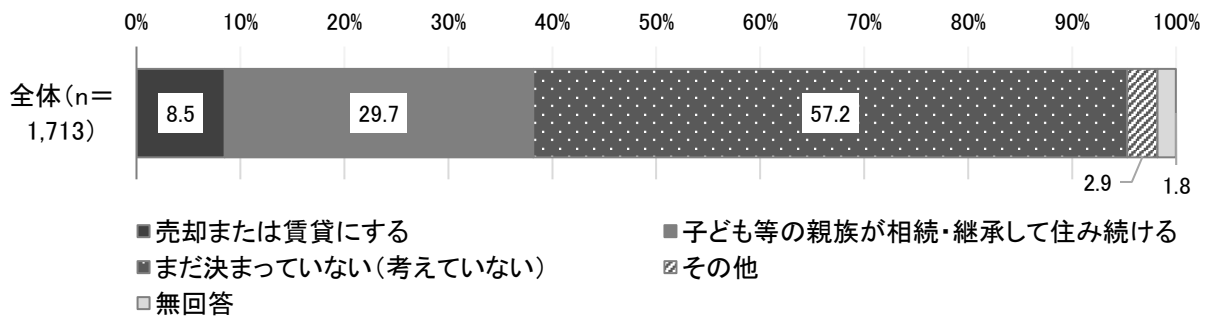
[問1-(4)①]（問1-(4)で「持家」と回答した人に）あなたのお住まいの将来の見通しについて、どのように考えていますか。（単一回答）

【全体】

- ・「まだ決まっていない（考えていない）」が57.2%で最も高く、次いで「子ども等の親族が相続・継承して住み続ける」が29.7%となっています。

【年齢別】

- ・「まだ決まっていない（考えていない）」は、65～74歳では65.1%と7割弱を占めるほか、85歳以上についても40.9%となっています。



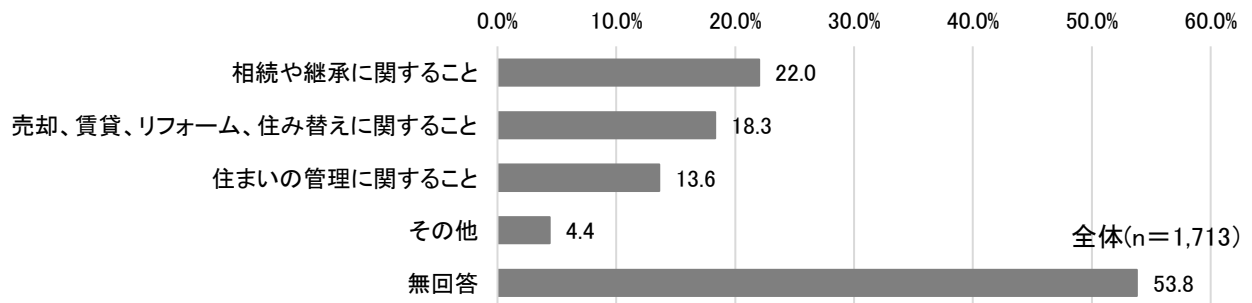
(単位：%)

		件数 (n)	売却 または 賃貸 にする	子ども 等の 親族が 相続・ 継承して 住み 続ける	まだ 決まっ てい ない (考 え て い な い)	そ の 他	無 回 答
全体		1,713	8.5	29.7	57.2	2.9	1.8
性別	男性	771	8.2	29.6	59.7	1.6	1.0
	女性	941	8.7	29.8	55.2	3.9	2.4
年齢	65～74歳	679	8.1	23.9	65.1	2.4	0.6
	75～84歳	734	7.4	31.6	56.4	3.4	1.2
	85歳以上	298	12.1	38.3	40.9	2.7	6.0
要介護度	一般	1,412	7.6	30.1	58.8	2.5	0.9
	総合事業対象者	50	18.0	22.0	54.0	4.0	2.0
	要支援1	112	14.3	32.1	44.6	3.6	5.4
	要支援2	138	8.7	26.1	52.2	5.1	8.0
日常生活圏域	A圏域	900	8.2	29.3	58.3	2.8	1.3
	第一小学校区	124	2.4	42.7	48.4	4.8	1.6
	第二小学校区	98	1.0	44.9	51.0	0.0	3.1
	南山小学校区	225	9.3	31.1	56.4	1.8	1.3
	池の上小学校区	262	14.1	20.2	61.8	2.3	1.5
	桜台小学校区	191	6.3	23.0	66.0	4.7	0.0
	B圏域	812	8.7	30.0	55.9	3.0	2.3
	第三小学校区	202	5.9	28.7	58.4	3.5	3.5
	大山口小学校区	233	8.2	31.3	56.2	2.1	2.1
	清水口小学校区	221	10.9	30.3	53.4	3.2	2.3
	七次台小学校区	156	10.3	29.5	55.8	3.2	1.3

[問1-(4)②]（問1-(4)で「持家」と回答した人に）ご自身のお住まいの見通しを立てるうえで、知りたいことは何ですか。（複数回答）

【全体】

- ・「無回答」が53.8%と最も高くなりましたが、「相続や継承に関すること（22.0%）」、「売却、賃貸、リフォーム、住み替えに関すること（18.3%）」等も一定数みられます。



(単位：%)

		件数 (n)	相続 や継承 に関する こと	売却、 賃貸、 リフォーム、 住み替え に関する こと	住まいの 管理に 関すること	その他	無 回 答
全体		1,713	22.0	18.3	13.6	4.4	53.8
性別	男性	867	24.8	19.5	14.4	3.5	51.1
	女性	1,046	19.7	17.4	12.9	5.3	56.1
年齢	65～74歳	744	21.9	20.4	13.3	3.8	54.7
	75～84歳	817	22.0	17.7	14.3	4.4	52.8
	85歳以上	351	22.2	15.4	12.5	6.0	54.4
要介護 度	一般	1,541	22.6	18.4	14.1	4.3	53.1
	総合事業対象者	59	16.9	27.1	8.5	3.4	52.5
	要支援1	141	15.6	17.7	11.3	6.4	58.9
	要支援2	172	23.8	15.7	12.2	4.7	56.4
日常生活 圏域	A圏域	995	22.8	18.1	14.6	3.7	54.6
	第一小学校区	136	25.7	14.0	10.3	1.5	57.4
	第二小学校区	107	23.4	7.5	20.6	6.5	51.4
	南山小学校区	263	22.4	16.0	13.3	4.6	55.9
	池の上小学校区	275	20.0	26.2	14.2	3.6	51.6
	桜台小学校区	214	24.8	18.2	16.4	2.8	56.5
	B圏域	918	21.1	18.6	12.5	5.2	53.1
	第三小学校区	228	23.2	13.2	10.1	9.2	52.2
	大山口小学校区	242	19.4	22.3	16.5	4.5	50.0
	清水口小学校区	284	19.0	17.6	9.2	4.2	58.5
	七次台小学校区	164	24.4	22.6	15.9	2.4	49.4

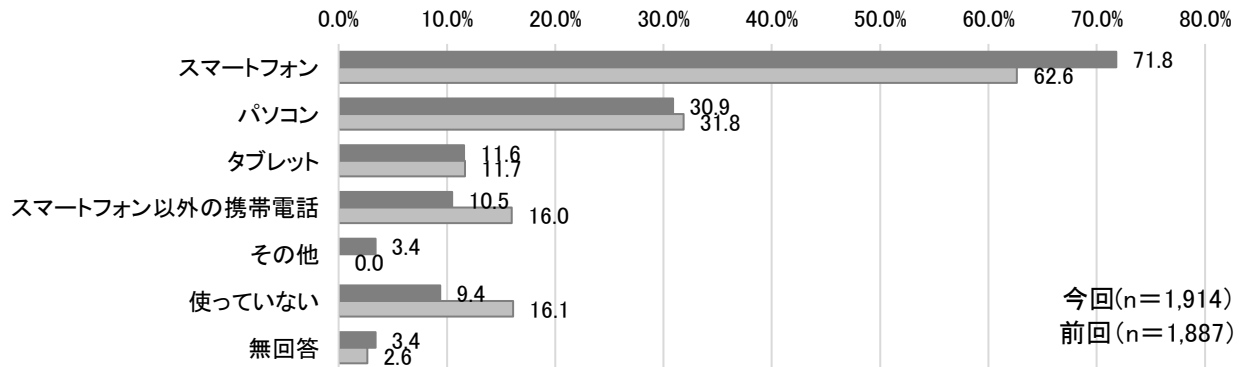
〔問1-（5）〕あなたが普段お使いの情報機器をお答えください。（複数回答）

【全体+前回比較】

- ・「スマートフォン」が71.8%で最も高く、次いで「パソコン（30.9%）」、「タブレット（11.6%）」が続いています。
- ・「スマートフォン」は前回よりも9.2ポイント上昇した一方、「スマートフォン以外の携帯電話」は5.5ポイント、「使っていない」は6.7ポイント低下しています。

【性別／年齢別】

- ・「パソコン」は、男性は49.9%、女性は15.1%と、男性が女性を大きく上回っています。
- ・「スマートフォン」は、65～74歳では86.2%である一方、85歳以上では43.3%と半数以下となっています。



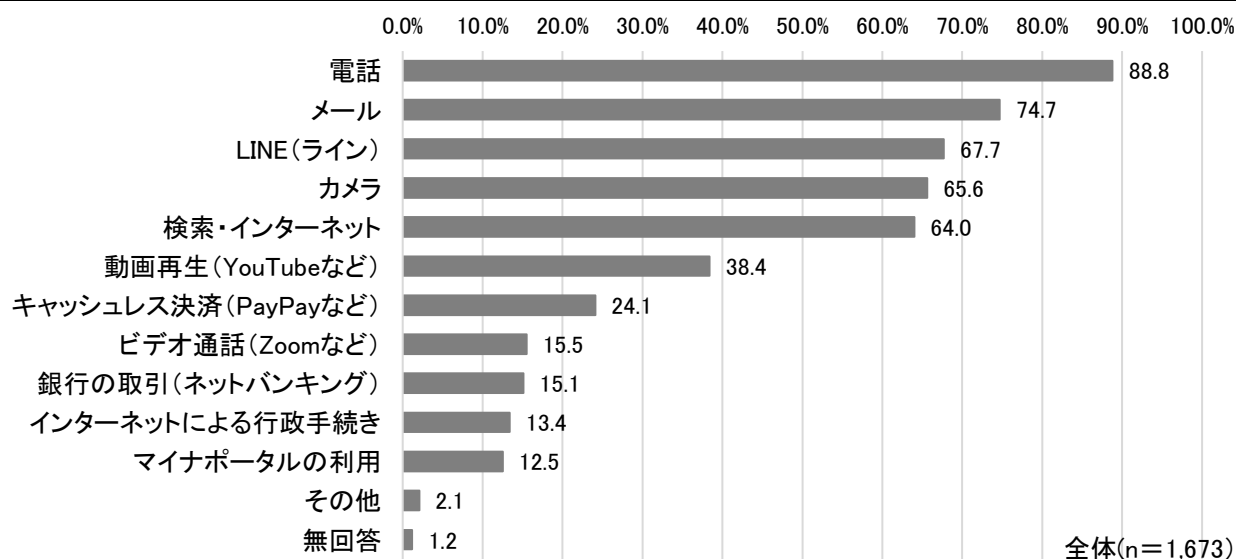
（単位：％）

		件数 (n)	スマートフォン	パソコン	タブレット	スマートフォン以外の携帯電話	その他	使っていない	無回答
全体		1,914	71.8	30.9	11.6	10.5	3.4	9.4	3.5
性別	男性	867	76.0	49.9	13.8	7.5	3.5	7.0	2.9
	女性	1,046	68.4	15.1	9.8	12.9	3.3	11.4	3.9
年齢	65～74歳	744	86.2	39.2	17.2	5.8	1.6	3.9	1.6
	75～84歳	817	71.0	29.0	9.1	10.9	4.2	9.4	3.5
	85歳以上	351	43.3	17.7	5.7	19.4	5.4	21.1	7.1
要介護度	一般	1,541	76.8	34.3	13.3	8.3	3.1	7.3	3.0
	総合事業対象者	59	52.5	16.9	1.7	20.3	6.8	15.3	6.8
	要支援1	141	58.2	17.7	5.0	14.2	2.1	19.1	4.3
	要支援2	172	45.3	16.3	5.2	23.3	5.8	18.0	5.2
日常生活圏域	A圏域	995	71.2	31.4	12.3	10.9	3.1	10.6	3.5
	第一小学校区	136	60.3	18.4	10.3	14.0	5.9	11.0	7.4
	第二小学校区	107	52.3	15.0	4.7	17.8	2.8	24.3	4.7
	南山小学校区	263	70.3	34.2	14.8	13.3	3.0	9.5	3.0
	池の上小学校区	275	76.7	38.2	13.5	5.8	2.9	7.3	4.0
	桜台小学校区	214	81.3	35.5	12.6	8.9	1.9	8.9	0.5
	B圏域	918	72.5	30.4	10.9	10.0	3.7	8.2	3.4
	第三小学校区	228	70.6	23.7	9.2	11.4	3.9	9.6	2.6
	大山口小学校区	242	74.0	36.8	12.8	8.7	2.9	7.9	4.1
	清水口小学校区	284	72.5	29.9	12.0	9.2	4.6	8.5	4.2
	七次台小学校区	164	73.2	31.1	8.5	11.6	3.0	6.1	1.8

[問1-(5)①] [問1-(5)で「使っていない」以外の方に) 使用している機能をお答えください。(複数回答)

【全体】

- ・「電話（88.8%）」、「メール（74.7%）」、「LINE（ライン）（67.7%）」、「カメラ（65.6%）」、「検索・インターネット（64.0%）」はいずれも6割を上回っています。
- ・「マイナポータル利用（12.5%）」、「インターネットによる行政手続き（13.4%）」、「銀行の取引（ネットバンキング）（15.1%）」といった手続き関係の機能は、比較的低くなっています。



(単位: %)

		件数 (n)	電話	メール	LINE (ライン)	カメラ	検索・ インター ネット	動画再生 (YouTube eなど)
全体		1,673	88.8	74.7	67.7	65.6	64.0	38.5
性別	男性	782	85.7	75.7	64.5	66.5	72.6	43.1
	女性	890	91.6	73.7	70.7	64.8	56.4	34.4
年齢	65～74歳	705	88.2	86.0	82.1	78.3	81.6	53.8
	75～84歳	714	89.2	72.1	64.7	60.9	57.7	31.7
	85歳以上	252	89.3	50.0	36.1	43.3	32.5	14.7
要介護度	一般	1,386	88.8	77.6	71.8	69.0	68.5	42.1
	総合事業対象者	46	93.5	71.7	54.3	56.5	41.3	21.7
	要支援1	108	84.3	59.3	50.0	46.3	44.4	25.9
	要支援2	132	90.9	56.8	44.7	48.5	40.2	15.9
日常生活圏域	A圏域	857	89.4	75.8	67.7	66.0	66.2	40.8
	第一小学校区	111	91.0	68.5	59.5	68.5	55.0	31.5
	第二小学校区	77	90.9	46.8	40.3	39.0	39.0	15.6
	南山小学校区	230	89.1	80.4	70.0	67.8	69.6	46.1
	池の上小学校区	244	88.9	79.9	69.3	67.2	68.4	41.8
	桜台小学校区	195	88.7	81.0	78.5	71.8	76.4	48.7
	B圏域	815	88.2	73.4	67.9	65.2	61.7	36.0
	第三小学校区	201	88.6	65.2	64.7	59.2	53.7	30.8
	大山口小学校区	214	89.3	77.6	68.2	69.2	66.4	38.3
	清水口小学校区	249	87.1	75.9	71.9	68.7	63.9	39.8
	七次台小学校区	151	88.1	74.2	64.9	61.6	62.3	33.1

3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

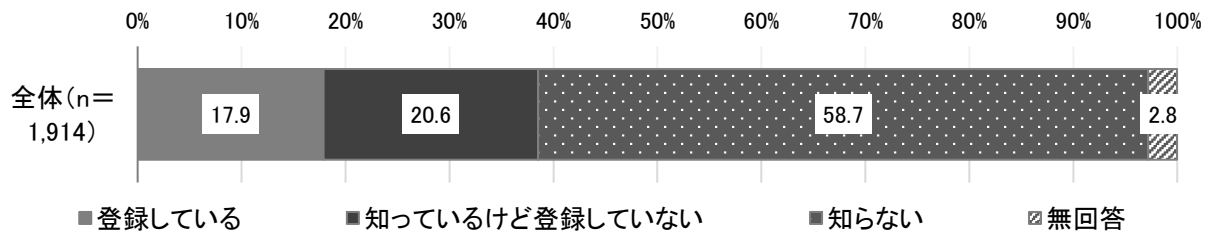
(単位：％)

		件数 (n)	キャッシュレス決済 (PayPayなど)	ビデオ通話 (Zoomなど)	銀行の取引 (ネットバンキング)	インターネットによる 行政手続き	マイナポータルの利用	その他	無回答
全体		1,673	24.0	15.6	15.1	13.4	12.5	2.1	1.2
性別	男性	782	26.7	15.9	22.0	20.2	17.9	3.3	1.2
	女性	890	21.7	15.3	9.0	7.4	7.8	1.0	1.2
年齢	65～74歳	705	37.7	24.7	23.8	21.7	22.4	1.8	0.6
	75～84歳	714	16.2	10.1	10.5	9.1	6.0	2.1	1.3
	85歳以上	252	7.5	5.6	3.6	2.4	3.2	2.8	2.8
要介護度	一般	1,386	26.9	17.5	16.5	15.7	14.1	2.1	1.0
	総合事業対象者	46	13.0	0.0	4.3	2.2	4.3	0.0	2.2
	要支援1	108	11.1	1.9	10.2	1.9	5.6	4.6	3.7
	要支援2	132	8.3	6.1	7.6	2.3	4.5	0.8	0.8
日常生活圏域	A圏域	857	25.2	14.5	16.8	14.1	13.3	1.8	1.1
	第一小学校区	111	22.5	11.7	11.7	9.9	9.9	2.7	1.8
	第二小学校区	77	10.4	5.2	5.2	6.5	5.2	0.0	0.0
	南山小学校区	230	27.8	16.1	19.1	13.0	14.3	1.7	1.3
	池の上小学校区	244	27.0	16.8	16.8	15.6	11.5	2.5	1.2
	桜台小学校区	195	27.2	14.9	21.5	19.0	19.5	1.0	0.5
	B圏域	815	22.8	16.7	13.3	12.6	11.7	2.5	1.3
	第三小学校区	201	19.9	12.9	11.4	11.4	9.5	3.0	2.0
	大山口小学校区	214	26.6	18.2	18.7	15.0	11.2	1.4	0.5
	清水口小学校区	249	24.5	18.9	12.0	14.1	14.1	2.0	2.0
	七次台小学校区	151	18.5	15.9	9.9	8.6	11.3	4.0	0.7

[問 1-（6）] 白井市の公式 LINE（ライン）を知っていますか。（単一回答）

【全体】

- ・「知らない」が 58.7%と最も高く、次いで「知っているけど登録していない（20.6%）」となっています。



(単位：%)

		件数 (n)	登録 している	知 っ て い る け ど 登 録 し て い な い	知 ら な い	無 回 答
全体		1,914	17.9	20.6	58.7	2.8
性 別	男性	867	19.5	19.0	58.7	2.8
	女性	1,046	16.5	21.8	58.8	2.9
年 齢	65～74歳	744	27.0	21.8	50.0	1.2
	75～84歳	817	14.8	22.0	60.6	2.6
	85歳以上	351	5.7	14.2	73.2	6.8
要 介 護 度	一般	1,541	20.6	22.1	54.9	2.4
	総合事業対象者	59	5.1	11.9	81.4	1.7
	要支援 1	141	7.8	14.2	73.8	4.3
	要支援 2	172	5.8	15.1	73.3	5.8
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	16.5	20.7	60.2	2.6
	第一小学校区	136	13.2	16.9	66.9	2.9
	第二小学校区	107	12.1	13.1	68.2	6.5
	南山小学校区	263	13.3	25.9	59.3	1.5
	池の上小学校区	275	18.9	20.4	58.5	2.2
	桜台小学校区	214	21.5	21.0	55.1	2.3
	B圏域	918	19.4	20.4	57.2	3.1
	第三小学校区	228	17.1	18.4	62.3	2.2
	大山口小学校区	242	20.7	21.1	54.5	3.7
	清水口小学校区	284	19.4	20.8	56.0	3.9
	七次台小学校区	164	20.7	21.3	56.1	1.8

2 からだを動かすことについて

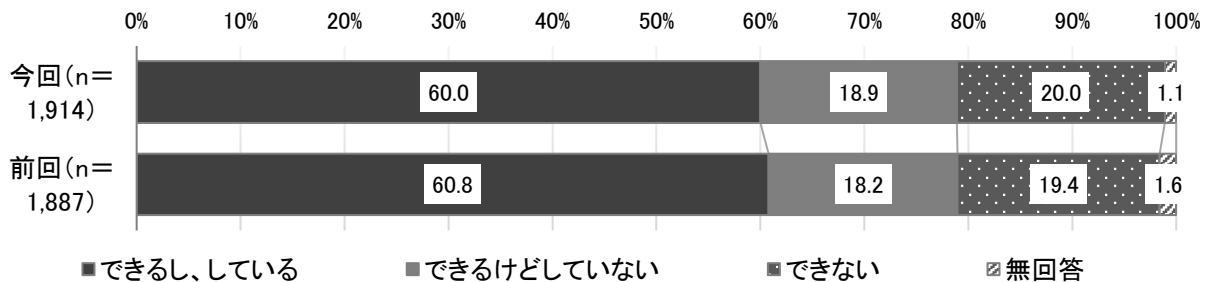
[問2-（1）] 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「できるし、している」が60.0%で最も高くなっています。
- ・「できるし、している」は前回の60.8%から0.8ポイント低下している一方で、「できるけどしていない」は前回より0.7%、「できない」は0.6ポイント上昇しています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「できない」は女性が男性を上回っています。
- ・「できない」は年齢が上がるにつれ、回答割合が高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別では、要介護度が上がるにつれ、「できない」の回答割合が高くなり、要支援2の方では72.1%となっています。



（単位：％）

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無 回 答
全体		1,914	60.0	18.9	20.0	1.2
性別	男性	867	67.7	17.5	13.8	0.9
	女性	1,046	53.5	20.1	25.0	1.3
年齢	65～74歳	744	76.6	15.2	7.5	0.7
	75～84歳	817	57.0	21.7	20.2	1.1
	85歳以上	351	31.3	20.5	45.9	2.3
要介護度	一般	1,541	69.4	19.3	10.2	1.1
	総合事業対象者	59	32.2	22.0	45.8	0.0
	要支援1	141	26.2	19.9	52.5	1.4
	要支援2	172	12.2	14.0	72.1	1.7
日常生活圏域	A圏域	995	60.3	19.1	19.5	1.1
	第一小学校区	136	60.3	20.6	18.4	0.7
	第二小学校区	107	54.2	20.6	22.4	2.8
	南山小学校区	263	55.5	20.5	23.2	0.8
	池の上小学校区	275	61.8	19.6	17.5	1.1
	桜台小学校区	214	67.3	15.0	16.8	0.9
	B圏域	918	59.6	18.7	20.5	1.2
	第三小学校区	228	56.1	19.7	22.8	1.3
	大山口小学校区	242	61.6	20.2	16.9	1.2
	清水口小学校区	284	61.3	15.5	21.8	1.4
	七次台小学校区	164	58.5	20.7	20.1	0.6

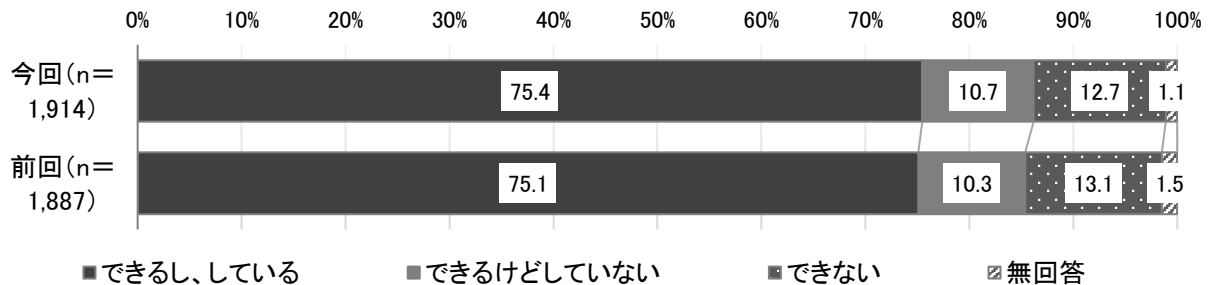
[問2-（2）] 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「できるし、している」が75.4%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の75.1%から0.3ポイント上昇している一方で、「できない」は前回の13.1%から0.4ポイント低下しています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「できない」は女性が男性を上回っています。
- ・「できない」は年齢が上がるにつれ、回答割合が高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別では、要支援2の方で「できない」が55.8%と全体を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	75.4	10.7	12.7	1.1
性別	男性	867	78.5	11.2	9.2	1.0
	女性	1,046	72.8	10.3	15.7	1.1
年齢	65～74歳	744	88.0	8.1	3.2	0.7
	75～84歳	817	73.3	12.0	13.6	1.1
	85歳以上	351	53.6	13.4	31.1	2.0
要介護度	一般	1,541	83.5	10.1	5.3	1.1
	総合事業対象者	59	47.5	13.6	39.0	0.0
	要支援1	141	56.0	12.1	31.2	0.7
	要支援2	172	28.5	14.0	55.8	1.7
日常生活圏域	A圏域	995	76.4	9.7	12.7	1.2
	第一小学校区	136	75.0	9.6	14.7	0.7
	第二小学校区	107	66.4	14.0	15.9	3.7
	南山小学校区	263	73.8	9.9	15.2	1.1
	池の上小学校区	275	78.5	9.1	11.6	0.7
	桜台小学校区	214	82.7	8.4	7.9	0.9
	B圏域	918	74.4	11.8	12.9	1.0
	第三小学校区	228	69.3	14.0	15.8	0.9
	大山口小学校区	242	77.3	12.0	10.3	0.4
	清水口小学校区	284	76.1	10.2	12.0	1.8
	七次台小学校区	164	74.4	11.0	14.0	0.6

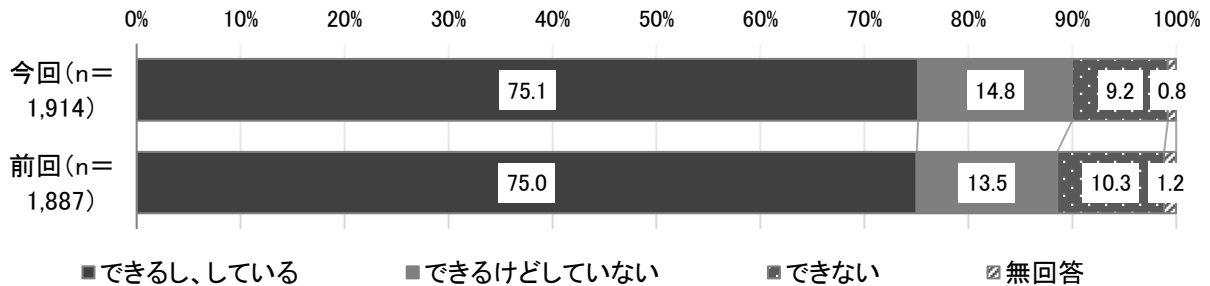
[問2-（3）] 15分位続けて歩いていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が75.1%で最も高い割合となっています。
- ・「できるけどしていない（14.8%）」は、前回の13.5%から1.3ポイント上昇している一方で、「できない（9.2%）」は前回の10.3%から1.1ポイント低下しています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「できない」は女性が男性を上回っています。
- ・「できない」は年齢が上がるにつれ、回答割合が高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別では、要支援2の方で「できない」が46.5%と全体を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	75.1	14.8	9.2	0.8
性別	男性	867	75.8	15.5	8.0	0.8
	女性	1,046	74.6	14.3	10.2	0.9
年齢	65～74歳	744	82.9	14.1	2.7	0.3
	75～84歳	817	73.7	15.3	9.9	1.1
	85歳以上	351	61.8	15.4	21.4	1.4
要介護度	一般	1,541	80.6	14.9	3.8	0.7
	総合事業対象者	59	71.2	11.9	16.9	0.0
	要支援1	141	58.2	20.6	19.9	1.4
	要支援2	172	41.3	10.5	46.5	1.7
日常生活圏域	A圏域	995	75.6	14.6	9.1	0.7
	第一小学校区	136	65.4	22.8	11.0	0.7
	第二小学校区	107	62.6	24.3	10.3	2.8
	南山小学校区	263	76.0	13.3	10.3	0.4
	池の上小学校区	275	80.4	11.6	7.6	0.4
	桜台小学校区	214	81.8	9.8	7.9	0.5
	B圏域	918	74.6	15.1	9.3	1.0
	第三小学校区	228	68.4	19.7	11.0	0.9
	大山口小学校区	242	79.3	12.0	8.3	0.4
	清水口小学校区	284	76.4	13.0	8.8	1.8
	七次台小学校区	164	73.2	17.1	9.1	0.6

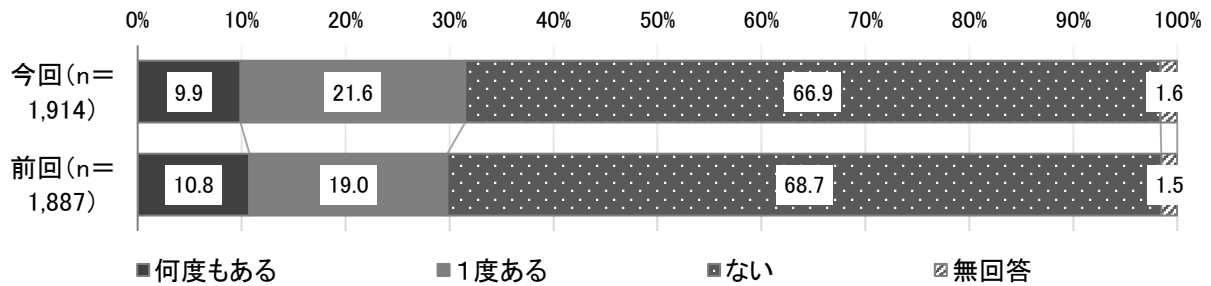
[問2-（4）] 過去1年間に転んだ経験がありますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「ない」が66.9%で最も高い割合となっています。
- ・「何度もある（9.9%）」は、前回の10.8%から0.9ポイント低下しましたが、「1度ある（21.6%）」は前回の19.0%から2.6ポイント上昇しました。

【年齢別／要介護度別】

- ・「何度もある」は85歳以上（14.8%）や要支援2（28.5%）の方で特に高い割合となっています。



(単位：%)

		件数 (n)	何度 もある	1 度 ある	な い	無 回 答
全体		1,914	9.9	21.6	66.9	1.6
性 別	男性	867	10.0	18.9	69.9	1.2
	女性	1,046	9.8	23.8	64.4	1.9
年 齢	65～74歳	744	7.4	18.7	72.7	1.2
	75～84歳	817	10.2	21.3	67.0	1.6
	85歳以上	351	14.8	28.5	54.4	2.3
要 介 護 度	一般	1,541	6.4	21.0	71.3	1.3
	総合事業対象者	59	20.3	16.9	61.0	1.7
	要支援1	141	21.3	26.2	48.9	3.5
	要支援2	172	28.5	24.4	44.8	2.3
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	9.5	22.2	66.5	1.7
	第一小学校区	136	13.2	27.2	56.6	2.9
	第二小学校区	107	12.1	25.2	60.7	1.9
	南山小学校区	263	8.0	24.0	66.9	1.1
	池の上小学校区	275	8.4	20.7	69.8	1.1
	桜台小学校区	214	9.3	17.3	71.0	2.3
	B圏域	918	10.3	20.9	67.3	1.4
	第三小学校区	228	13.2	17.5	67.1	2.2
	大山口小学校区	242	11.2	21.5	66.1	1.2
	清水口小学校区	284	8.8	20.8	69.0	1.4
	七次台小学校区	164	7.9	25.0	66.5	0.6

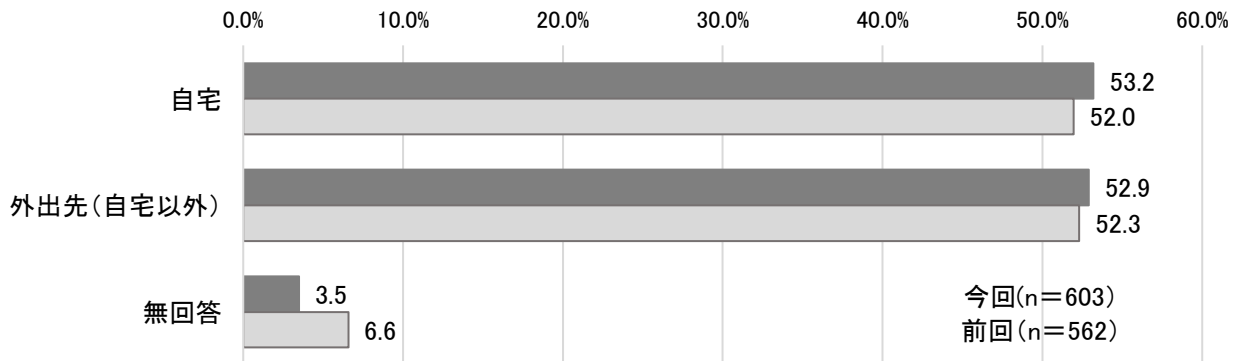
[問2-（4）①] （問2-（4）で「何度もある」「一度ある」と回答した方に）転んだ場所を教えてください。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「自宅」が53.2%、「外出先（自宅以外）」が52.9%となっています。
- ・「自宅」および「外出先（自宅以外）」のいずれも前回よりやや上昇しています。

【性別／年齢別／要介護度別／日常生活圏域別】

- ・「自宅」で転んだ人は、女性が男性を上回っています。
- ・「自宅」で転んだ人は、年齢や要介護度が上がるにつれて高くなっています。
- ・「外出先（自宅以外）」で転んだ人は、「桜台小学校区」や「池の上小学校区」でやや高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	自宅	(自宅以外) 外出先	無回答
全体		1,914	53.2	52.9	3.5
性別	男性	251	44.6	61.8	4.8
	女性	352	59.4	46.6	2.6
年齢	65～74歳	194	45.4	58.2	5.2
	75～84歳	257	53.3	51.8	3.9
	85歳以上	152	63.2	48.0	0.7
要介護度	一般	423	47.3	55.6	3.8
	総合事業対象者	22	31.8	81.8	4.5
	要支援1	67	65.7	44.8	4.5
	要支援2	91	76.9	39.6	1.1
日常生活圏域	A圏域	316	52.8	52.5	3.2
	第一小学校区	55	60.0	43.6	7.3
	第二小学校区	40	65.0	35.0	2.5
	南山小学校区	84	53.6	50.0	2.4
	池の上小学校区	80	46.3	62.5	2.5
	桜台小学校区	57	45.6	63.2	1.8
	B圏域	287	53.7	53.3	3.8
	第三小学校区	70	51.4	47.1	10.0
	大山口小学校区	79	59.5	51.9	2.5
	清水口小学校区	84	53.6	56.0	1.2
	七次台小学校区	54	48.1	59.3	1.9

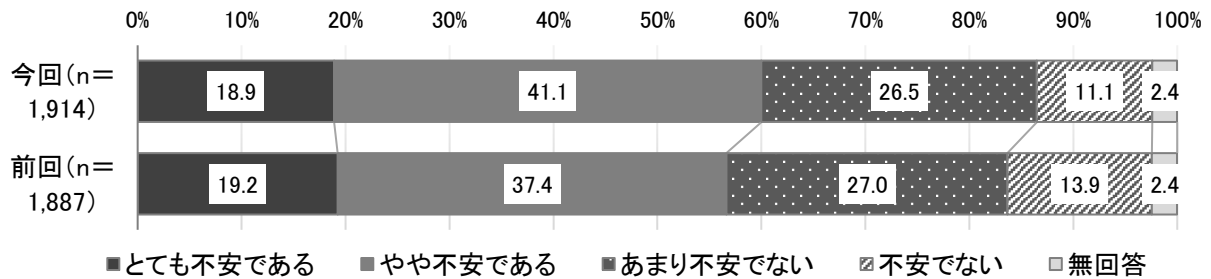
[問2-（5）] 転倒に対する不安は大きいですか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「やや不安」が41.1%で最も高く、次いで「あまり不安でない」（26.5%）、「とても不安である」（18.9%）となっています。
- ・「とても不安」と「やや不安」を合わせた割合は60.0%と、前回の56.6%から3.4ポイント上昇した一方、「不安でない」と「あまり不安でない」を合わせた割合は37.6%と、前回の40.9%から3.3ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「とても不安」や「やや不安」は、女性が男性を上回っています。
- ・「とても不安」は要介護度が上がるにつれて上昇しています。



(単位：%)

		件数 (n)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体		1,914	18.9	41.1	26.5	11.1	2.4
性別	男性	867	12.9	36.6	30.1	17.6	2.8
	女性	1,046	23.8	44.8	23.5	5.7	2.1
年齢	65～74歳	744	11.3	42.5	30.0	14.5	1.7
	75～84歳	817	18.4	41.9	27.8	9.5	2.4
	85歳以上	351	36.2	36.5	16.0	7.7	3.7
要介護度	一般	1,541	11.5	42.2	30.6	13.4	2.3
	総合事業対象者	59	39.0	44.1	11.9	3.4	1.7
	要支援1	141	40.4	44.0	12.8	2.1	0.7
	要支援2	172	60.5	27.9	6.4	0.6	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	18.4	40.8	25.8	12.4	2.6
	第一小学校区	136	21.3	44.1	17.6	15.4	1.5
	第二小学校区	107	15.9	34.6	29.0	16.8	3.7
	南山小学校区	263	22.4	44.5	20.5	10.6	1.9
	池の上小学校区	275	16.0	38.5	31.3	10.5	3.6
	桜台小学校区	214	15.9	40.2	29.0	12.6	2.3
	B圏域	918	19.4	41.4	27.2	9.8	2.2
	第三小学校区	228	19.3	42.5	25.0	9.2	3.9
	大山口小学校区	242	16.9	36.4	31.8	13.6	1.2
	清水口小学校区	284	20.8	46.5	24.3	7.0	1.4
	七次台小学校区	164	20.7	38.4	28.7	9.8	2.4

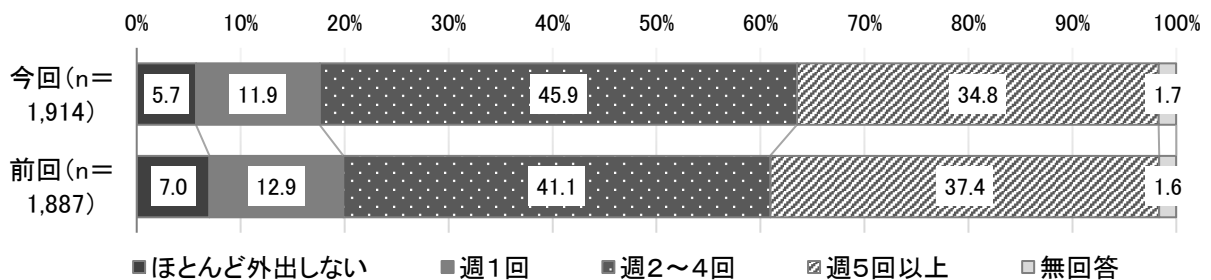
〔問2-（6）〕 週に1回以上は外出していますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「週2～4回」が45.9%で最も高く、次いで「週5回以上」（34.8%）、「週1回」（11.9%）の順となっています。
- ・「ほとんど外出しない（5.7%）」と「週1回（11.9%）」を合わせた割合は17.6%と、前回の19.9%に比べて2.3ポイント低下しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・男性は「週5回以上（43.8%）」が最も高い一方、女性は「週2～4回（51.0%）」が最も高く、全体的に女性のほうが外出頻度が少ない傾向があります。
- ・日常生活圏域別にみると、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた割合は、A圏域が18.6%、B圏域が16.5%で、A圏域のほうが外出頻度はやや少ない傾向がみられます。

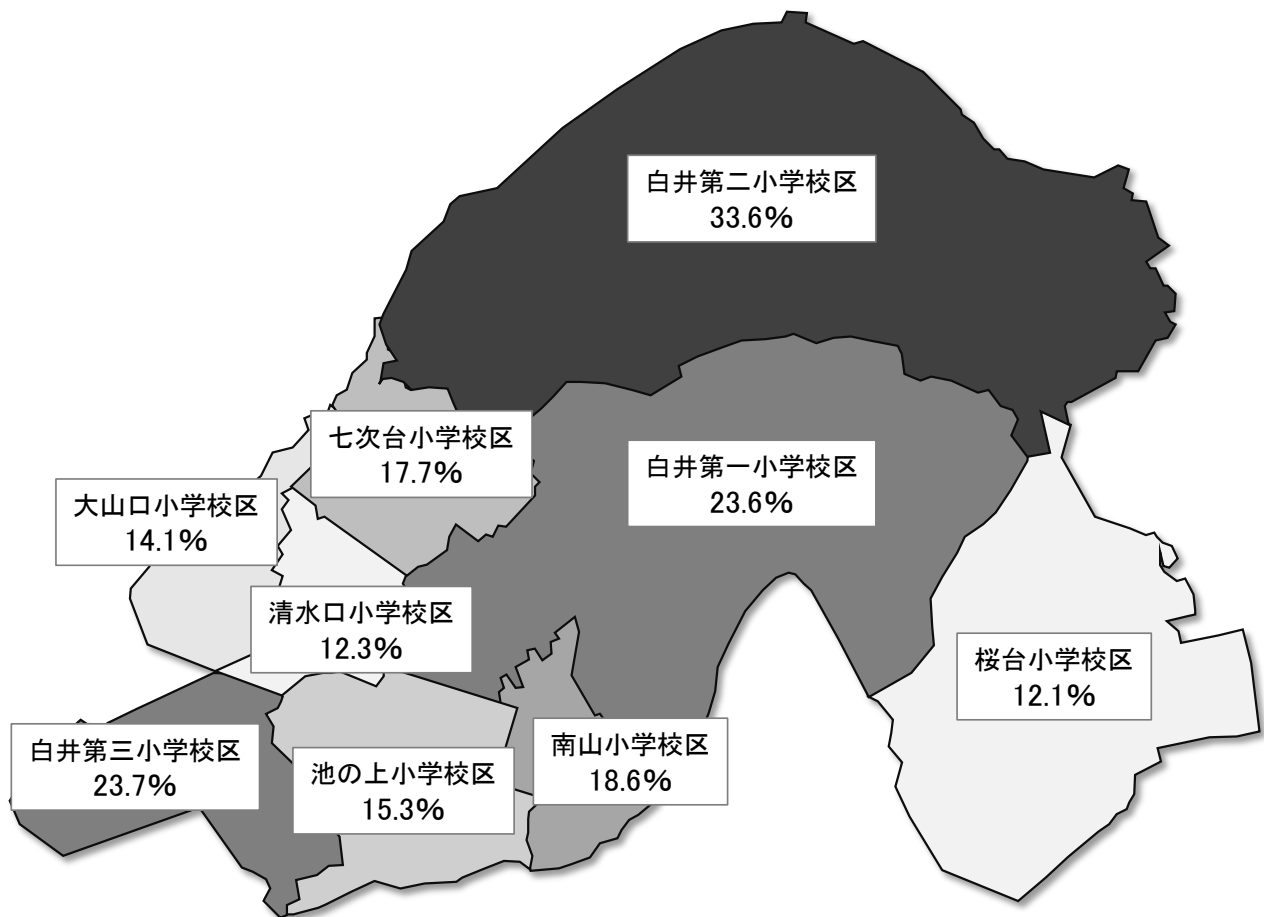


（単位：％）

		件数 (n)	ほとんど 外出 しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		1,914	5.7	11.9	45.9	34.8	1.7
性別	男性	867	5.2	9.1	39.9	43.8	2.0
	女性	1,046	6.2	14.1	51.0	27.2	1.4
年齢	65～74歳	744	3.5	6.3	42.5	46.8	0.9
	75～84歳	817	4.9	13.6	49.0	31.0	1.6
	85歳以上	351	12.5	19.7	46.2	18.2	3.4
要介護度	一般	1,541	3.8	9.8	45.4	39.6	1.3
	総合事業対象者	59	8.5	20.3	44.1	22.0	5.1
	要支援1	141	12.1	27.0	43.3	16.3	1.4
	要支援2	172	16.9	15.1	53.5	10.5	4.1
日常生活圏域	A圏域	995	6.1	12.5	45.5	33.9	2.0
	第一小学校区	136	9.6	14.0	50.0	25.0	1.5
	第二小学校区	107	6.5	27.1	34.6	28.0	3.7
	南山小学校区	263	6.1	12.5	43.0	36.9	1.5
	池の上小学校区	275	5.8	9.5	48.4	33.5	2.9
	桜台小学校区	214	4.2	7.9	47.7	39.3	0.9
	B圏域	918	5.3	11.2	46.4	35.7	1.3
	第三小学校区	228	8.3	15.4	40.8	33.8	1.8
	大山口小学校区	242	2.9	11.2	47.5	37.2	1.2
	清水口小学校区	284	4.6	7.7	50.4	37.0	0.4
	七次台小学校区	164	6.1	11.6	45.7	34.1	2.4

■ 「ほとんど外出しない」＋「週1回」の地域別分布（小学校区別）

- ・ 「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた割合は、白井第二小学校区で33.6%と最も高く、次いで白井第三小学校区（23.7%）、白井第一小学校区（23.6%）が続いています。
- ・ 一方で、桜台小学校区（12.1%）、清水口小学校区（12.3%）では低くなっています。



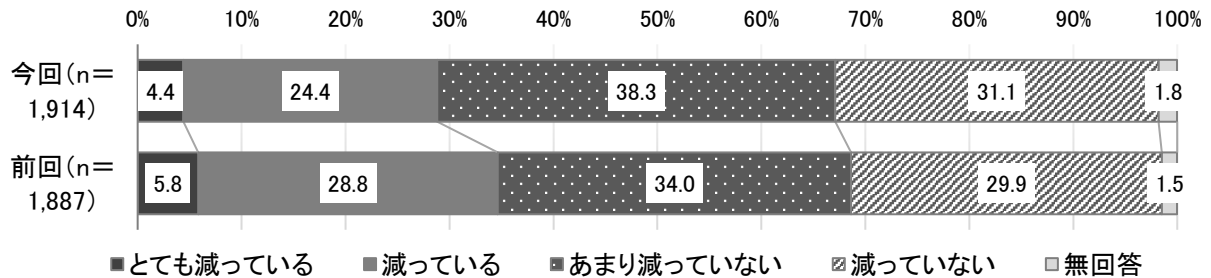
[問2-（7）] 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「あまり減っていない」が38.3%で最も高く、次いで「減っていない（31.1%）」、「減っている（24.4%）」の順となっています。
- ・「とても減っている（4.4%）」と「減っている（24.4%）」を合わせた割合は28.8%で、前回の34.6%から5.8ポイント低下しています。

【年齢別／要介護度別】

- ・年齢別にみると、「とても減っている」は、85歳以上で10.5%と平均を上回っています。
- ・要介護度別にみると、「とても減っている」は要介護度が上がるにつれて上昇し、要支援2では14.5%と平均を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	とても 減って いる	減っ ている	あま り減っ てい ない	減っ てい ない	無回 答
全体		1,914	4.4	24.4	38.3	31.1	1.8
性別	男性	867	3.2	22.0	35.9	36.7	2.2
	女性	1,046	5.4	26.4	40.3	26.5	1.4
年齢	65～74歳	744	2.4	15.3	39.0	42.5	0.8
	75～84歳	817	3.5	28.0	38.9	27.8	1.7
	85歳以上	351	10.5	35.0	35.6	14.8	4.0
要介護度	一般	1,541	2.7	19.5	39.8	36.7	1.2
	総合事業対象者	59	8.5	47.5	32.2	8.5	3.4
	要支援1	141	8.5	45.4	34.0	9.9	2.1
	要支援2	172	14.5	43.6	30.2	5.8	5.8
日常生活圏域	A圏域	995	4.5	25.0	37.9	30.4	2.2
	第一小学校区	136	3.7	27.9	38.2	27.2	2.9
	第二小学校区	107	2.8	34.6	30.8	29.0	2.8
	南山小学校区	263	7.2	24.0	37.6	29.3	1.9
	池の上小学校区	275	4.0	23.3	37.1	32.7	2.9
	桜台小学校区	214	3.3	22.0	42.5	31.3	0.9
	B圏域	918	4.2	23.7	38.8	31.9	1.3
	第三小学校区	228	6.1	25.4	35.1	31.6	1.8
	大山口小学校区	242	2.9	21.1	45.5	28.9	1.7
	清水口小学校区	284	3.9	26.1	37.3	32.0	0.7
	七次台小学校区	164	4.3	21.3	36.6	36.6	1.2

3 食べることについて

[問3-（1）] 身長・体重（数値記入）

【全体】

・平均身長は 158.7 cm、平均体重は 57.9 kg となっています。身長・体重の両方に回答があった人の結果を基に算出した BMI は 22.8 となっており、全体では「普通体重」の判定基準に該当します。

■身長

	平均 (cm)	最小値 (cm)	最大値 (cm)
全体 (n=1,834)	158.7	115	186

■体重

	平均 (kg)	最小値 (kg)	最大値 (kg)
全体 (n=1,822)	57.9	30	103

■BMI 値

（身長・体重の両方に回答があった人の結果を基に計算）

	平均	最小値	最大値
全体 (n=1,819)	22.8	12.8	40.8

（BMI 値の判定基準）

BMI値	判定
18.5未満	低体重(痩せ型)
18.5～25未満	普通体重
25～30未満	肥満(1度)
30～35未満	肥満(2度)
35～40未満	肥満(3度)
40以上	肥満(4度)

※BMI 値とは肥満度を表す指数で、体重（kg）
 $\div$ （身長（m） $\times$ 身長（m））により算出される。
 日本肥満学会による成人の判定基準は上記の通りで、「22」を統計的に最も病気になりにくい適正体重（標準体重）としている。

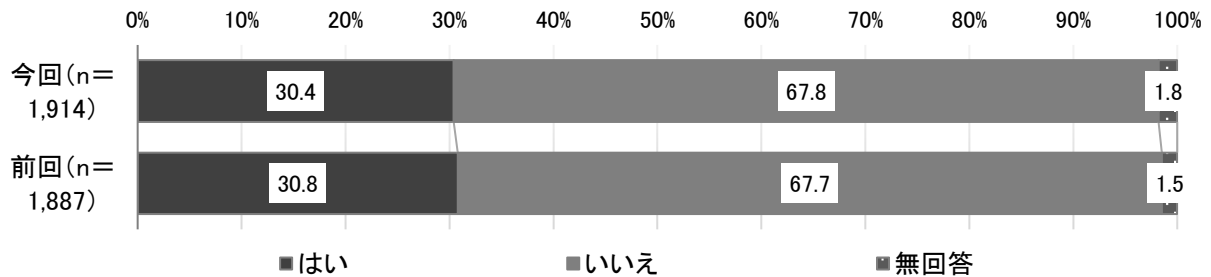
[問3-（2）] 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「はい（固いものが食べにくくなった）」が30.4%、「いいえ」が67.8%となっています。
- ・「はい」と回答した人の割合は前回の30.8%から0.4ポイント低下しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が27.8%、女性が32.6%で、女性の方が高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合は第一小学校区で41.9%と平均を大きく上回っている一方で、「いいえ」と回答した人の割合は、桜台小学校区で72.4%とやや高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	30.4	67.8	1.8
性別	男性	867	27.8	70.0	2.2
	女性	1,046	32.6	65.9	1.5
年齢	65～74歳	744	24.9	74.3	0.8
	75～84歳	817	30.7	67.0	2.3
	85歳以上	351	41.6	55.6	2.8
要介護度	一般	1,541	26.9	71.4	1.6
	総合事業対象者	59	37.3	59.3	3.4
	要支援1	141	40.4	58.2	1.4
	要支援2	172	51.2	45.3	3.5
日常生活圏域	A圏域	995	29.7	68.3	1.9
	第一小学校区	136	41.9	57.4	0.7
	第二小学校区	107	31.8	66.4	1.9
	南山小学校区	263	28.9	69.6	1.5
	池の上小学校区	275	26.5	70.2	3.3
	桜台小学校区	214	26.2	72.4	1.4
	B圏域	918	31.2	67.1	1.7
	第三小学校区	228	35.5	61.4	3.1
	大山口小学校区	242	30.2	69.0	0.8
	清水口小学校区	284	28.9	69.4	1.8
	七次台小学校区	164	30.5	68.3	1.2

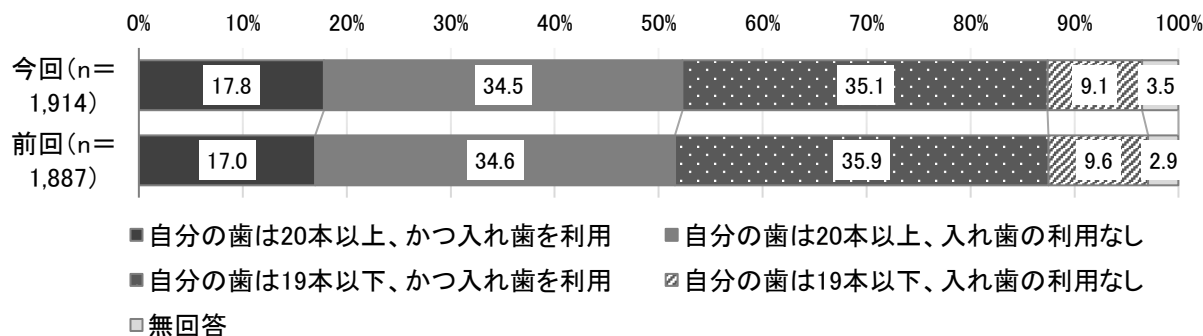
[問3-（3）] 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.1%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし（34.5%）」、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用（17.8%）」、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし（9.1%）」の順となっています。
- ・前回に比べ、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が0.8ポイント上昇した一方、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は0.8ポイント低下しています。

【年齢別】

- ・「自分の歯は20本以上」の割合は、年代が上がるにつれ、低下する傾向がみられます。



(単位：%)

		件数 (n)	20 本以上、 入れ歯を 利用	20 本以上、 入れ歯利 用なし	19 本以下、 入れ歯を 利用	19 本以下、 入れ歯利 用なし	無 回 答
全体		1,914	17.8	34.5	35.1	9.1	3.5
性別	男性	867	19.4	36.0	32.4	8.8	3.5
	女性	1,046	16.4	33.2	37.4	9.5	3.5
年齢	65～74歳	744	17.2	44.5	24.3	11.8	2.2
	75～84歳	817	19.3	30.7	38.4	8.2	3.3
	85歳以上	351	15.4	21.7	50.4	5.7	6.8
要介護度	一般	1,541	18.6	36.0	32.8	9.7	2.9
	総合事業対象者	59	8.5	33.9	49.2	5.1	3.4
	要支援1	141	17.0	29.1	45.4	5.0	3.5
	要支援2	172	14.5	25.0	43.0	8.7	8.7
日常生活圏域	A圏域	995	17.7	34.7	34.5	9.1	4.0
	第一小学校区	136	15.4	21.3	47.8	11.8	3.7
	第二小学校区	107	11.2	25.2	43.0	12.1	8.4
	南山小学校区	263	17.5	36.5	36.1	8.0	1.9
	池の上小学校区	275	20.4	39.3	28.7	8.0	3.6
	桜台小学校区	214	19.2	39.7	27.1	8.9	5.1
	B圏域	918	17.9	34.2	35.8	9.2	2.9
	第三小学校区	228	17.1	27.6	42.5	9.2	3.5
	大山口小学校区	242	18.6	38.8	31.8	7.0	3.7
	清水口小学校区	284	18.7	34.9	34.2	9.9	2.5
	七次台小学校区	164	16.5	35.4	35.4	11.0	1.8

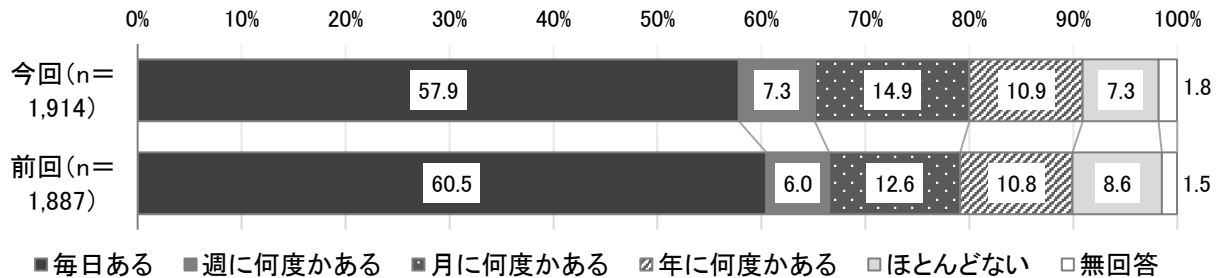
〔問3-（4）〕 どなたかと食事をとる機会がありますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「毎日ある」が57.9%で最も高く、次いで「月に何度かある（14.9%）」、「年に何度かある（10.9%）」の順となっています。
- ・「毎日ある」は、前回の60.5%から2.6ポイント低下しています。

【年齢別／要介護度別】

- ・年齢別にみると、「毎日ある」は年齢が上がるにつれて低下しています。
- ・要介護度別にみると、「毎日ある」は、総合事業対象者の方で28.8%と特に低くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	毎日 ある	週に 何度か ある	月に 何度か ある	年に 何度か ある	ほと んど ない	無回 答
全体		1,914	57.9	7.3	14.9	10.9	7.3	1.8
性別	男性	867	58.7	5.3	13.3	11.2	9.1	2.4
	女性	1,046	57.2	8.9	16.3	10.6	5.8	1.2
年齢	65～74歳	744	67.2	8.6	10.6	8.3	3.9	1.3
	75～84歳	817	55.3	4.7	17.7	11.6	9.1	1.6
	85歳以上	351	44.2	10.5	17.1	14.5	10.5	3.1
要介護度	一般	1,541	62.1	6.7	13.8	10.3	5.6	1.6
	総合事業対象者	59	28.8	16.9	18.6	11.9	23.7	0.0
	要支援1	141	42.6	7.8	19.9	16.3	12.1	1.4
	要支援2	172	42.4	8.7	19.2	11.6	13.4	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	57.0	8.0	14.1	12.3	6.7	1.9
	第一小学校区	136	55.1	4.4	17.6	14.7	6.6	1.5
	第二小学校区	107	55.1	8.4	17.8	12.1	4.7	1.9
	南山小学校区	263	53.6	10.3	12.5	13.7	8.4	1.5
	池の上小学校区	275	56.0	7.3	15.6	12.4	5.8	2.9
	桜台小学校区	214	64.5	8.4	9.8	8.9	7.0	1.4
	B圏域	918	58.8	6.4	15.8	9.4	8.0	1.6
	第三小学校区	228	55.7	6.1	16.2	11.0	9.6	1.3
	大山口小学校区	242	62.4	5.8	15.3	8.3	6.6	1.7
	清水口小学校区	284	53.5	8.5	17.3	9.9	8.8	2.1
	七次台小学校区	164	67.1	4.3	13.4	7.9	6.1	1.2

【外出頻度（問2-（6））との関係】

・外出頻度別では、外出の頻度が上がるにつれて、「毎日ある」の割合が上昇する一方、「ほとんどない」や「年に何度かある」の割合は低下しています。

(単位: %)

	件数 (n)	毎日 ある	週 に何 度か ある	月 に何 度か ある	年 に何 度か ある	ほ とん ど な い	無 回 答
全体	1,882	58.7	7.3	15.0	10.8	7.3	0.8
ほとんど外出しない	110	50.0	8.2	9.1	15.5	17.3	0.0
週1回	227	53.3	6.6	12.8	13.2	13.2	0.9
週2～4回	879	55.7	6.4	18.0	11.8	7.1	1.0
週5回以上	666	65.9	8.7	12.9	7.8	4.1	0.6

4 聞こえについて

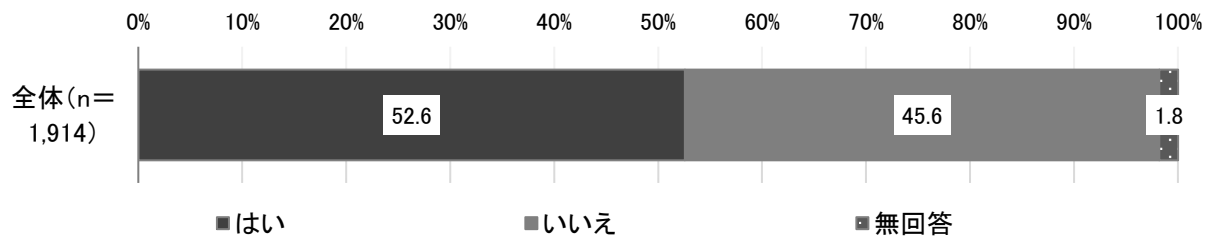
[問4-（1）] 加齢により聴力が衰えたと感じますか。（単一回答）

【全体】

- ・「はい（加齢により聴力が衰えたと感じる）」が 52.6%で、「いいえ（45.6%）」を上回っています。

【性別／要介護度別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が 55.2%、女性が 50.4%で、男性の方が高くなっています。
- ・要介護度別にみると、「はい」と回答した割合は、要支援1の方で 66.7%とやや高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	52.6	45.6	1.8
性別	男性	867	55.2	43.3	1.5
	女性	1,046	50.4	47.6	2.0
年齢	65～74歳	744	43.8	54.7	1.5
	75～84歳	817	53.4	45.4	1.2
	85歳以上	351	69.2	27.1	3.7
要介護度	一般	1,541	50.2	48.5	1.3
	総合事業対象者	59	59.3	37.3	3.4
	要支援1	141	66.7	31.9	1.4
	要支援2	172	59.9	34.3	5.8
日常生活圏域	A圏域	995	52.8	45.4	1.8
	第一小学校区	136	52.2	47.1	0.7
	第二小学校区	107	60.7	35.5	3.7
	南山小学校区	263	52.5	46.0	1.5
	池の上小学校区	275	51.6	46.2	2.2
	桜台小学校区	214	50.9	47.7	1.4
	B圏域	918	52.4	45.9	1.7
	第三小学校区	228	55.3	42.5	2.2
	大山口小学校区	242	52.5	45.5	2.1
	清水口小学校区	284	49.3	48.9	1.8
	七次台小学校区	164	53.7	45.7	0.6

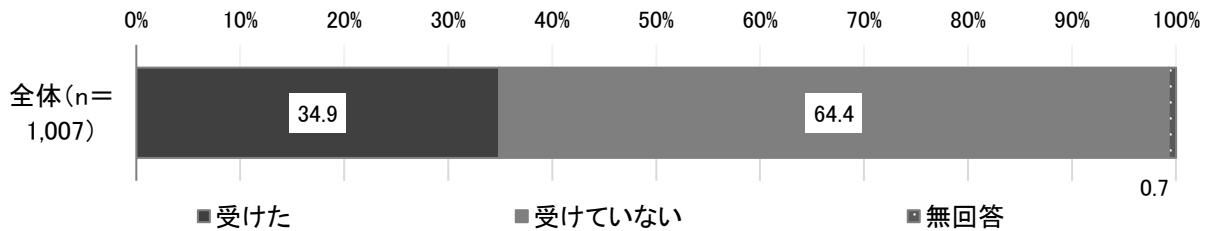
[問4-（1）①]（問4-（1）で「はい」と回答した方に）あなたは、過去1年以内に医療機関で聴力検査を受けましたか。（単一回答）

【全体】

・「受けていない」が64.4%、「受けた」が34.9%となっています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「受けていない」は女性が70.8%、男性が57.4%と、女性のほうが高くなっています。
- ・年齢別にみると、65～74歳では「受けた」が45.1%である一方、75歳以上ではいずれも3割程度にとどまっています。
- ・要介護度別では、要支援2の方で「受けていない」の回答が多くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	受 け た	い 受 け て い な い	無 回 答
全体		1,007	34.9	64.4	0.7
性別	男性	479	41.3	57.4	1.3
	女性	527	29.0	70.8	0.2
年齢	65～74歳	326	45.1	54.0	0.9
	75～84歳	436	28.4	70.6	0.9
	85歳以上	243	32.9	67.1	0.0
要介護度	一般	774	36.0	63.2	0.8
	総合事業対象者	35	40.0	60.0	0.0
	要支援1	94	33.0	66.0	1.1
	要支援2	103	26.2	73.8	0.0
日常生活圏域	A圏域	525	36.0	63.0	1.0
	第一小学校区	71	33.8	66.2	0.0
	第二小学校区	65	27.7	72.3	0.0
	南山小学校区	138	31.2	67.4	1.4
	池の上小学校区	142	40.8	58.5	0.7
	桜台小学校区	109	42.2	56.0	1.8
	B圏域	481	33.7	65.9	0.4
	第三小学校区	126	35.7	63.5	0.8
	大山口小学校区	127	36.2	63.8	0.0
	清水口小学校区	140	30.7	68.6	0.7
	七次台小学校区	88	31.8	68.2	0.0

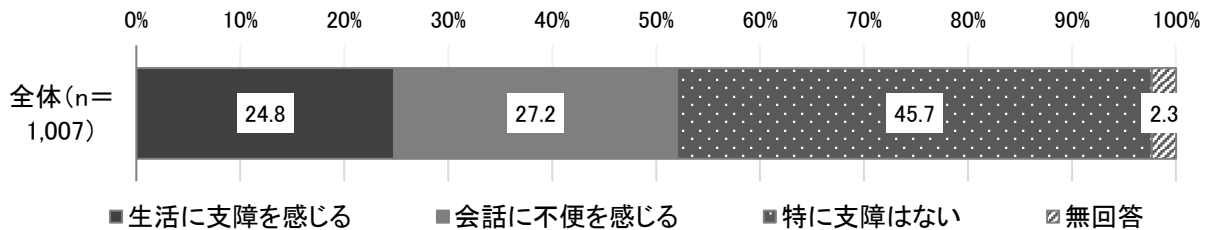
[問4-（1）②]（問4-（1）で「はい」と回答した方に）聴力の衰えをどの程度感じていますか。（単一回答）

【全体】

- ・「特に支障はない」が45.7%で最も高く、次いで「会話に不便を感じる（27.2%）」、「生活に支障を感じる（24.8%）」となっています。

【性別／年齢別】

- ・男性のほうが女性よりも、「生活に支障を感じる」、「会話に不便を感じる」と回答する割合が3～4ポイント程度高くなっています。
- ・年齢別にみると、85歳以上で「生活に支障を感じる（37.0%）」、「会話に不便を感じる（33.3%）」が全体を上回っています。



（単位：％）

		件数 (n)	生活に支障 を感じる	会話に不便 を感じる	特に支障は ない	無回答
全体		1,007	24.9	27.2	45.7	2.3
性別	男性	479	27.1	29.0	41.8	2.1
	女性	527	22.8	25.6	49.1	2.5
年齢	65～74歳	326	17.2	23.3	58.6	0.9
	75～84歳	436	23.9	26.8	46.6	2.8
	85歳以上	243	37.0	33.3	26.3	3.3
要介護度	一般	774	20.8	26.4	50.8	2.1
	総合事業対象者	35	40.0	40.0	17.1	2.9
	要支援1	94	36.2	26.6	34.0	3.2
	要支援2	103	39.8	30.1	27.2	2.9
日常生活圏域	A圏域	525	25.7	26.7	45.1	2.5
	第一小学校区	71	31.0	25.4	40.8	2.8
	第二小学校区	65	27.7	26.2	44.6	1.5
	南山小学校区	138	26.1	31.9	39.9	2.2
	池の上小学校区	142	24.6	26.8	45.1	3.5
	桜台小学校区	109	22.0	21.1	55.0	1.8
	B圏域	481	23.9	27.9	46.2	2.1
	第三小学校区	126	23.8	24.6	46.8	4.8
	大山口小学校区	127	22.8	33.1	43.3	0.8
	清水口小学校区	140	27.9	23.6	47.9	0.7
	七次台小学校区	88	19.3	31.8	46.6	2.3

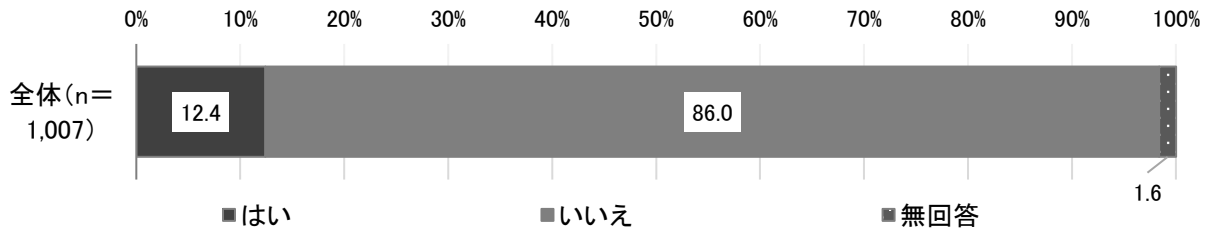
[問4-（1）③]（問4-（1）で「はい」と回答した方に）聴力の衰えを感じて家族以外の人との交流が減りましたか。（単一回答）

【全体】

・「いいえ」が86.0%で、「はい」の12.4%を大きく上回っています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「はい」の回答割合は、男性（14.4%）が女性（10.6%）を上回っています。
- ・年齢別にみると、85歳以上で「はい（21.0%）」が2割を超えています。
- ・要介護度別にみると、「はい」の回答割合は、一般の方は9.4%であるのに対し、総合事業対象者、要支援1、2の方ではいずれも2割を超えています。



（単位：％）

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,007	12.4	86.0	1.6
性別	男性	479	14.4	83.5	2.1
	女性	527	10.6	88.2	1.1
年齢	65～74歳	326	5.8	93.3	0.9
	75～84歳	436	12.6	86.0	1.4
	85歳以上	243	21.0	76.1	2.9
要介護度	一般	774	9.4	89.1	1.4
	総合事業対象者	35	25.7	74.3	0.0
	要支援1	94	22.3	75.5	2.1
	要支援2	103	21.4	75.7	2.9
日常生活圏域	A圏域	525	12.2	85.9	1.9
	第一小学校区	71	9.9	88.7	1.4
	第二小学校区	65	20.0	78.5	1.5
	南山小学校区	138	13.0	84.8	2.2
	池の上小学校区	142	9.2	88.0	2.8
	桜台小学校区	109	11.9	87.2	0.9
	B圏域	481	12.7	86.1	1.2
	第三小学校区	126	14.3	84.1	1.6
	大山口小学校区	127	10.2	89.0	0.8
	清水口小学校区	140	14.3	83.6	2.1
	七次台小学校区	88	11.4	88.6	0.0

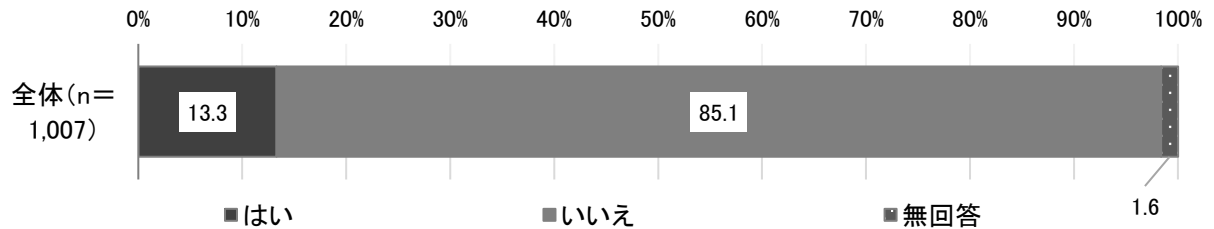
[問4-（1）④]（問4-（1）で「はい」と回答した方に）補聴器を使用していますか。（単一回答）

【全体】

・「いいえ」が85.1%で、「はい」の13.3%を大きく上回っています。

【年齢別／要介護度別】

・年齢別にみると、85歳以上では「はい」の回答割合が28.8%と高くなっています。
・要介護度別にみると、「はい」の回答割合は、要支援1の方で27.7%、次いで総合事業対象者で22.9%と比較的高い一方、要支援2の方では14.6%となっています。



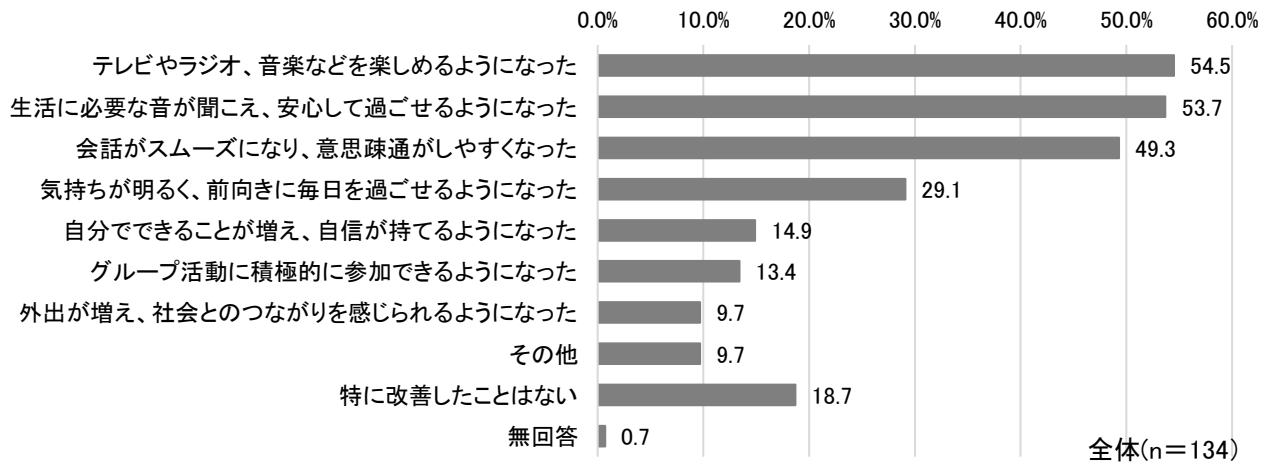
(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,007	13.3	85.1	1.6
性別	男性	479	13.6	85.2	1.3
	女性	527	13.1	85.0	1.9
年齢	65～74歳	326	3.1	96.0	0.9
	75～84歳	436	12.4	86.7	0.9
	85歳以上	243	28.8	67.5	3.7
要介護度	一般	774	11.0	87.6	1.4
	総合事業対象者	35	22.9	74.3	2.9
	要支援1	94	27.7	69.1	3.2
	要支援2	103	14.6	84.5	1.0
日常生活圏域	A圏域	525	14.9	83.0	2.1
	第一小学校区	71	9.9	88.7	1.4
	第二小学校区	65	12.3	86.2	1.5
	南山小学校区	138	19.6	79.0	1.4
	池の上小学校区	142	19.0	76.8	4.2
	桜台小学校区	109	8.3	90.8	0.9
	B圏域	481	11.6	87.3	1.0
	第三小学校区	126	12.7	85.7	1.6
	大山口小学校区	127	11.0	88.2	0.8
	清水口小学校区	140	12.9	86.4	0.7
	七次台小学校区	88	9.1	89.8	1.1

[問4-（1）⑤]（問4-（1）④で「はい（補聴器を使用している）」と回答した方に）補聴器のおかげで改善したと思うことは何ですか。（複数回答）

【全体】

- ・「テレビやラジオ、音楽などを楽しめるようになった」が54.5%と最も高く、次いで「生活に必要な音が聞こえ、安心して過ごせるようになった（53.7%）」、「会話がスムーズになり、意思疎通がしやすくなった（49.3%）」が僅差で続いています。



		件数 (n)	テレビやラジオ、 音楽などを楽しめ るようになった	生活に必要な音が 聞こえ、安心して 過ごせるように なった	会話がスムーズに なり、周囲の人と の意思疎通がしや すくなった	気持ちが明るく、 前向きに毎日を過 ごせるようになった	自分でできるこ とが増え、自信が 持てようになった
全体		134	54.5	53.7	49.3	29.1	14.9
性別	男性	65	46.2	50.8	41.5	18.5	9.2
	女性	69	62.3	56.5	56.5	39.1	20.3
年齢	65～74歳	10	70.0	70.0	90.0	20.0	20.0
	75～84歳	54	46.3	46.3	42.6	18.5	13.0
	85歳以上	70	58.6	57.1	48.6	38.6	15.7
要介護度	一般	85	51.8	55.3	50.6	28.2	14.1
	総合事業対象者	8	37.5	37.5	50.0	25.0	12.5
	要支援1	26	50.0	46.2	34.6	34.6	19.2
	要支援2	15	86.7	66.7	66.7	26.7	13.3
日常生活圏域	A圏域	78	59.0	55.1	55.1	32.1	17.9
	第一小学校区	7	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6
	第二小学校区	8	50.0	62.5	12.5	50.0	37.5
	南山小学校区	27	63.0	51.9	63.0	25.9	18.5
	池の上小学校区	27	66.7	63.0	59.3	33.3	11.1
	桜台小学校区	9	33.3	22.2	55.6	11.1	11.1
	B圏域	56	48.2	51.8	41.1	25.0	10.7
	第三小学校区	16	37.5	56.3	50.0	25.0	6.3
	大山口小学校区	14	35.7	57.1	42.9	14.3	7.1
	清水口小学校区	18	61.1	33.3	27.8	27.8	22.2
	七次台小学校区	8	62.5	75.0	50.0	37.5	0.0

※回答数が少ないため、クロス集計結果は参考データ

3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

(単位：％)

		件数 (n)	グループ活動に 積極的に参加でき るようになった	外出が増え、社会 とのつながりを感じ られるようになった	その他	特に改善したこと はない	無回答
全体		134	13.4	9.7	9.7	18.7	0.7
性別	男性	65	9.2	6.2	12.3	21.5	0.0
	女性	69	17.4	13.0	7.2	15.9	1.4
年齢	65～74歳	10	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	54	13.0	9.3	14.8	24.1	1.9
	85歳以上	70	12.9	10.0	7.1	17.1	0.0
要介護度	一般	85	15.3	10.6	10.6	15.3	1.2
	総合事業対象者	8	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0
	要支援 1	26	7.7	3.8	11.5	26.9	0.0
	要支援 2	15	13.3	13.3	0.0	20.0	0.0
日常生活圏域	A圏域	78	17.9	15.4	10.3	19.2	1.3
	第一小学校区	7	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
	第二小学校区	8	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0
	南山小学校区	27	11.1	3.7	7.4	22.2	0.0
	池の上小学校区	27	29.6	22.2	7.4	11.1	3.7
	桜台小学校区	9	22.2	11.1	11.1	55.6	0.0
	B圏域	56	7.1	1.8	8.9	17.9	0.0
	第三小学校区	16	6.3	0.0	6.3	25.0	0.0
	大山口小学校区	14	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0
	清水口小学校区	18	5.6	5.6	16.7	11.1	0.0
	七次台小学校区	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答数が少ないため、クロス集計結果は参考データ

5 毎日の生活について

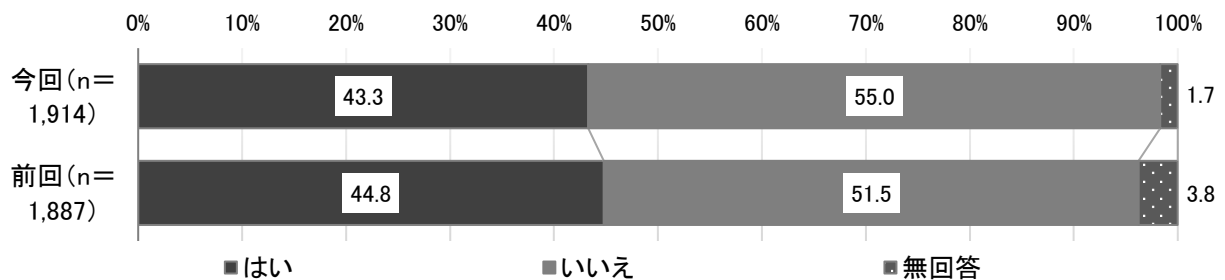
〔問5-（1）〕 物忘れが多いと感じますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「はい（物忘れが多い）」が43.3%、「いいえ」が55.0%となっています。
- ・「はい」と回答した人の割合は前回の44.8%から1.5ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が42.3%、女性が44.2%で女性の方が高くなっています。
- ・要介護度別にみると、「はい」と回答した人の割合は、要支援2の方が63.4%、要支援1の方が54.6%、総合事業対象者が57.6%で、いずれも過半数となっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	43.3	55.0	1.7
性別	男性	867	42.3	57.0	0.7
	女性	1,046	44.2	53.3	2.6
年齢	65～74歳	744	35.6	63.2	1.2
	75～84歳	817	45.4	52.5	2.1
	85歳以上	351	55.0	43.0	2.0
要介護度	一般	1,541	39.5	58.8	1.7
	総合事業対象者	59	57.6	40.7	1.7
	要支援1	141	54.6	44.7	0.7
	要支援2	172	63.4	33.7	2.9
日常生活圏域	A圏域	995	44.4	54.0	1.6
	第一小学校区	136	44.9	50.7	4.4
	第二小学校区	107	46.7	51.4	1.9
	南山小学校区	263	48.7	50.2	1.1
	池の上小学校区	275	44.0	55.3	0.7
	桜台小学校区	214	38.3	60.3	1.4
	B圏域	918	42.2	56.0	1.9
	第三小学校区	228	39.0	58.3	2.6
	大山口小学校区	242	42.1	55.8	2.1
	清水口小学校区	284	43.3	54.9	1.8
	七次台小学校区	164	44.5	54.9	0.6

【外出頻度（問2-（6））との関係】

・外出頻度別にみると、外出の頻度が上がるにつれて、「はい（物忘れが多い）」の割合は低下しています。

（単位：％）

	件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体	1,882	43.5	54.9	1.6
ほとんど外出しない	110	54.5	44.5	0.9
週1回	227	51.5	45.4	3.1
週2～4回	879	46.8	51.5	1.7
週5回以上	666	34.5	64.3	1.2

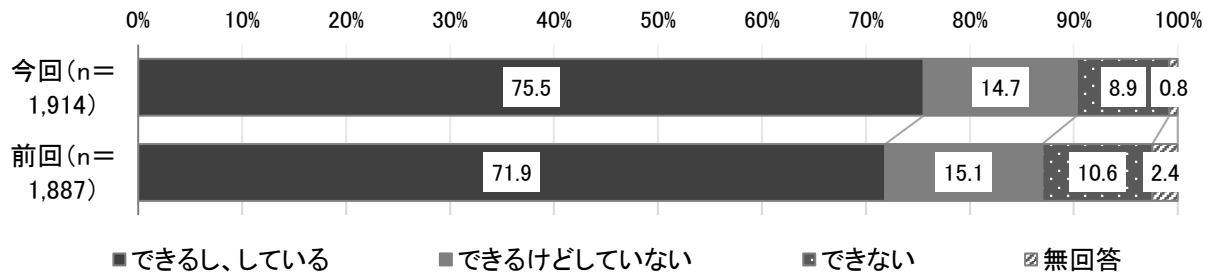
[問5-（2）] バスや電車を使って1人で外出していますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が75.5%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の71.9%から3.6ポイント上昇しています。一方で「できない」は、前回から1.7ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「できない」の割合は男性が6.8%、女性が10.7%で女性の方が高くなっています。
- ・要介護度別にみると、「できるけどしていない」は要支援1の方で31.9%と比較的高く、「できない」は要支援2の方で39.0%と高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	75.5	14.7	8.9	0.8
性別	男性	867	82.6	10.0	6.8	0.6
	女性	1,046	69.6	18.6	10.7	1.1
年齢	65～74歳	744	86.2	9.9	3.4	0.5
	75～84歳	817	76.1	15.2	7.7	1.0
	85歳以上	351	51.3	23.9	23.6	1.1
要介護度	一般	1,541	82.7	12.3	4.2	0.8
	総合事業対象者	59	69.5	18.6	11.9	0.0
	要支援1	141	44.0	31.9	22.7	1.4
	要支援2	172	39.0	20.9	39.0	1.2
日常生活圏域	A圏域	995	75.3	14.5	9.4	0.8
	第一小学校区	136	72.1	14.0	13.2	0.7
	第二小学校区	107	66.4	17.8	13.1	2.8
	南山小学校区	263	76.0	12.5	10.6	0.8
	池の上小学校区	275	77.1	15.6	6.5	0.7
	桜台小学校区	214	78.5	14.0	7.5	0.0
	B圏域	918	75.7	15.0	8.4	0.9
	第三小学校区	228	71.5	17.5	10.1	0.9
	大山口小学校区	242	77.3	14.5	7.4	0.8
	清水口小学校区	284	77.8	14.1	7.0	1.1
	七次台小学校区	164	75.6	14.0	9.8	0.6

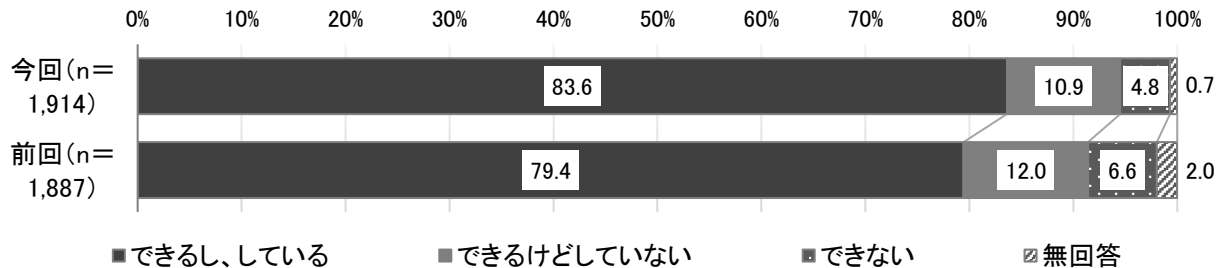
[問5-（3）] 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が83.6%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の79.4%から4.2ポイント上昇しています。「できない」は4.8%で、前回の6.6%から1.8ポイント低下しています。

【年齢別／要介護度別】

- ・「できない」の割合は年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別にみると、「できない」と回答した人の割合は、要支援2の方で21.5%、要支援1の方で13.5%と、一般の方（2.1%）を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	83.6	10.9	4.8	0.7
性別	男性	867	78.8	15.9	4.8	0.5
	女性	1,046	87.6	6.8	4.8	0.9
年齢	65～74歳	744	90.7	7.1	1.5	0.7
	75～84歳	817	83.4	11.5	4.7	0.5
	85歳以上	351	68.9	17.7	12.3	1.1
要介護度	一般	1,541	88.0	9.1	2.1	0.7
	総合事業対象者	59	86.4	8.5	5.1	0.0
	要支援1	141	70.2	16.3	13.5	0.0
	要支援2	172	54.1	23.3	21.5	1.2
日常生活圏域	A圏域	995	83.6	10.8	5.2	0.4
	第一小学校区	136	79.4	11.8	8.1	0.7
	第二小学校区	107	81.3	13.1	4.7	0.9
	南山小学校区	263	84.0	9.5	6.5	0.0
	池の上小学校区	275	82.9	13.1	4.0	0.0
	桜台小学校区	214	87.9	7.5	3.7	0.9
	B圏域	918	83.6	11.1	4.4	1.0
	第三小学校区	228	84.6	10.5	3.9	0.9
	大山口小学校区	242	85.1	10.7	3.3	0.8
	清水口小学校区	284	84.2	10.2	4.6	1.1
	七次台小学校区	164	78.7	14.0	6.1	1.2

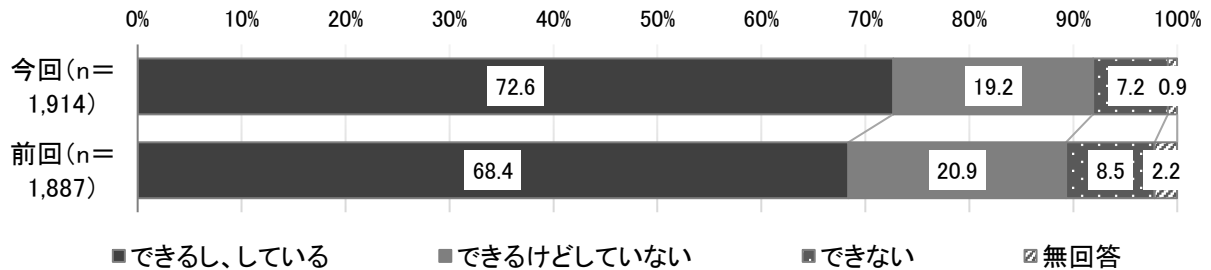
[問5-（4）] 自分で食事の用意をしていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が72.6%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の68.4%から4.2ポイント上昇しています。「できない」は7.2%で、前回の8.5%から1.3ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「できない」の割合は男性が13.5%、女性が2.0%で、男性の方が高くなっています。
- ・要介護度別にみると、「できない」と回答した人の割合は、要支援2の方で14.5%、要支援1の方で16.3%と、一般の方（5.5%）を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	72.6	19.2	7.2	0.9
性別	男性	867	50.3	35.2	13.5	1.0
	女性	1,046	91.2	5.9	2.0	0.9
年齢	65～74歳	744	77.3	17.2	4.8	0.7
	75～84歳	817	70.6	21.9	6.7	0.7
	85歳以上	351	67.5	17.1	13.4	2.0
要介護度	一般	1,541	73.9	19.9	5.5	0.6
	総合事業対象者	59	79.7	11.9	8.5	0.0
	要支援1	141	64.5	19.1	16.3	0.0
	要支援2	172	65.7	15.1	14.5	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	72.8	19.2	7.4	0.6
	第一小学校区	136	73.5	20.6	4.4	1.5
	第二小学校区	107	71.0	21.5	7.5	0.0
	南山小学校区	263	72.6	20.2	6.8	0.4
	池の上小学校区	275	73.1	17.1	9.1	0.7
	桜台小学校区	214	72.9	18.7	7.9	0.5
	B圏域	918	72.5	19.2	7.0	1.3
	第三小学校区	228	66.2	24.6	7.9	1.3
	大山口小学校区	242	76.0	16.1	6.6	1.2
	清水口小学校区	284	76.8	15.5	6.0	1.8
	七次台小学校区	164	68.9	22.6	7.9	0.6

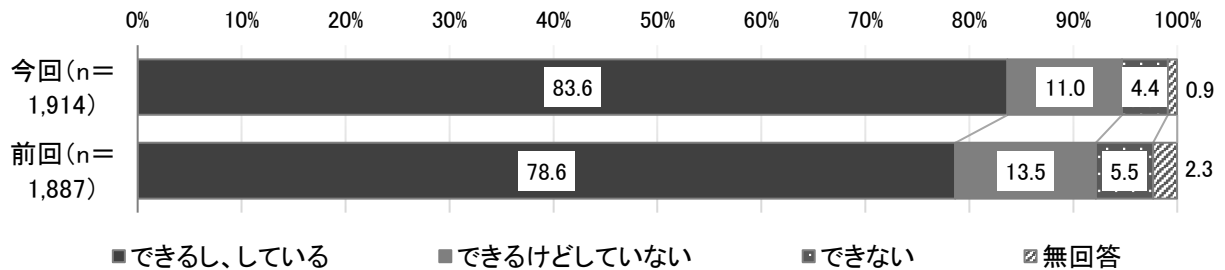
[問5-（5）] 自分で請求書の支払いをしていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が83.6%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の78.6%から5.0ポイント上昇しています。「できない」は4.4%で前回の5.5%から1.1ポイント低下しています。

【年齢別／要介護度別】

- ・「できない」の割合は年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別にみると、「できない」と回答した人の割合は、要支援2の方で13.4%、要支援1の方で12.1%と、一般の方（2.7%）を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,914	83.6	11.0	4.4	0.9
性別	男性	867	77.4	16.7	5.1	0.8
	女性	1,046	88.8	6.3	3.9	1.0
年齢	65～74歳	744	88.6	8.5	1.9	1.1
	75～84歳	817	84.0	12.0	3.1	1.0
	85歳以上	351	72.4	14.2	13.1	0.3
要介護度	一般	1,541	86.1	10.3	2.7	0.9
	総合事業対象者	59	84.7	8.5	6.8	0.0
	要支援1	141	75.9	10.6	12.1	1.4
	要支援2	172	67.4	18.6	13.4	0.6
日常生活圏域	A圏域	995	82.7	12.0	4.8	0.5
	第一小学校区	136	77.2	16.9	4.4	1.5
	第二小学校区	107	77.6	14.0	7.5	0.9
	南山小学校区	263	82.1	11.4	5.7	0.8
	池の上小学校区	275	85.5	10.2	4.4	0.0
	桜台小学校区	214	86.0	10.7	3.3	0.0
	B圏域	918	84.6	10.0	4.0	1.3
	第三小学校区	228	83.3	11.4	4.8	0.4
	大山口小学校区	242	83.5	10.7	4.1	1.7
	清水口小学校区	284	84.9	9.9	3.5	1.8
	七次台小学校区	164	87.8	7.3	3.7	1.2

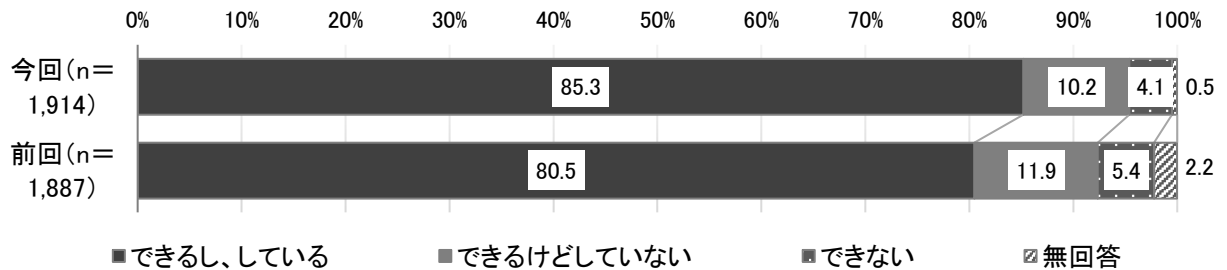
[問5-（6）] 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「できるし、している」が85.3%で最も高い割合となっています。
- ・「できるし、している」は前回の80.5%から4.8ポイント上昇しています。「できない」は4.1%で前回の5.4%から1.3ポイント低下しています。

【年齢別／要介護度別】

- ・「できない」の割合は年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられます。
- ・要介護度別にみると、「できない」と回答した人の割合は、要支援2の方で14.0%、要支援1の方で12.1%と、一般の方（2.3%）を大きく上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回 答
全体		1,914	85.3	10.2	4.1	0.5
性別	男性	867	79.9	14.8	5.0	0.3
	女性	1,046	89.7	6.4	3.3	0.6
年齢	65～74歳	744	91.1	6.9	1.3	0.7
	75～84歳	817	85.7	10.5	3.3	0.5
	85歳以上	351	71.8	16.5	11.7	0.0
要介護度	一般	1,541	87.7	9.5	2.3	0.5
	総合事業対象者	59	86.4	10.2	3.4	0.0
	要支援1	141	75.9	11.3	12.1	0.7
	要支援2	172	70.9	15.1	14.0	0.0
日常生活圏域	A圏域	995	85.2	9.7	4.8	0.2
	第一小学校区	136	80.9	10.3	8.1	0.7
	第二小学校区	107	82.2	9.3	7.5	0.9
	南山小学校区	263	83.3	12.2	4.6	0.0
	池の上小学校区	275	89.1	7.3	3.6	0.0
	桜台小学校区	214	86.9	9.8	3.3	0.0
	B圏域	918	85.3	10.7	3.3	0.8
	第三小学校区	228	87.3	8.8	3.9	0.0
	大山口小学校区	242	84.3	10.7	3.7	1.2
	清水口小学校区	284	85.2	10.9	2.8	1.1
	七次台小学校区	164	84.1	12.8	2.4	0.6

6 認知症に関する相談窓口の把握について

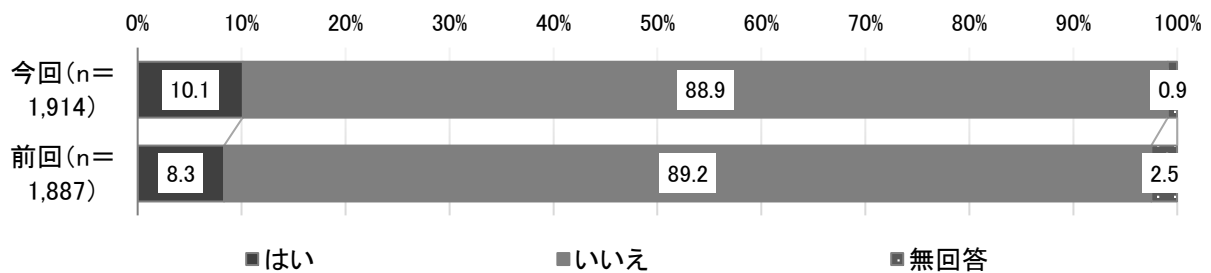
[問6-(1)] 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(単一回答)

【全体＋前回比較】

- ・「はい（認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる）」が 10.1%、「いいえ」が 88.9%となっています。
- ・「はい」の割合は前回の 8.3%から 1.8 ポイント上昇しています。

【要介護度別／日常生活圏域別】

- ・要介護度によると、「はい」と回答した人の割合は、要支援1の方で 22.0%と特に高くなっています。
- ・日常生活圏域別によると、「はい」と回答した人の割合は、A圏域で 8.7%、B圏域で 11.7%とB圏域のほうがやや高く、特に大山口小学校区で 14.9%と高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	10.1	88.9	0.9
性別	男性	867	9.9	89.4	0.7
	女性	1,046	10.3	88.5	1.1
年齢	65～74歳	744	7.8	92.1	0.1
	75～84歳	817	11.4	87.1	1.5
	85歳以上	351	12.3	86.3	1.4
要介護度	一般	1,541	8.9	90.2	0.9
	総合事業対象者	59	6.8	91.5	1.7
	要支援1	141	22.0	78.0	0.0
	要支援2	172	12.8	85.5	1.7
日常生活圏域	A圏域	995	8.7	90.7	0.6
	第一小学校区	136	10.3	88.2	1.5
	第二小学校区	107	4.7	95.3	0.0
	南山小学校区	263	10.3	89.0	0.8
	池の上小学校区	275	10.2	89.5	0.4
	桜台小学校区	214	6.1	93.5	0.5
	B圏域	918	11.7	87.0	1.3
	第三小学校区	228	10.5	88.6	0.9
	大山口小学校区	242	14.9	83.9	1.2
	清水口小学校区	284	10.6	87.7	1.8
	七次台小学校区	164	10.4	88.4	1.2

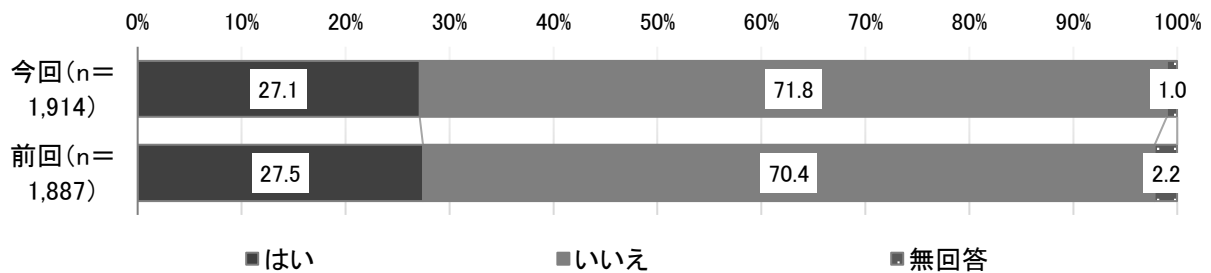
[問6-（2）] 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「はい（認知症に関する相談窓口を知っている）」が 27.1%、「いいえ」が 71.8%となっています。
- ・「いいえ」の割合は前回の 70.4%から 1.4 ポイント上昇しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・「いいえ」と回答した人の割合は、男性が 77.7%、女性が 67.0%で男性の方が高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「いいえ」と回答した人の割合は、A 圏域で 70.8%、B 圏域で 73.1%と B 圏域のほうがやや高く、特に七次台小学校区 (76.8%) や第三小学校区 (75.9%) で比較的高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	27.1	71.8	1.0
性別	男性	867	21.9	77.7	0.3
	女性	1,046	31.4	67.0	1.6
年齢	65～74歳	744	26.1	73.0	0.9
	75～84歳	817	29.3	69.9	0.9
	85歳以上	351	24.2	74.1	1.7
要介護度	一般	1,541	27.4	71.7	0.8
	総合事業対象者	59	28.8	69.5	1.7
	要支援 1	141	27.0	72.3	0.7
	要支援 2	172	23.3	73.8	2.9
日常生活圏域	A圏域	995	28.3	70.8	0.9
	第一小学校区	136	24.3	73.5	2.2
	第二小学校区	107	25.2	73.8	0.9
	南山小学校区	263	30.0	68.8	1.1
	池の上小学校区	275	31.3	68.4	0.4
	桜台小学校区	214	26.6	72.9	0.5
	B圏域	918	25.7	73.1	1.2
	第三小学校区	228	23.7	75.9	0.4
	大山口小学校区	242	29.3	69.0	1.7
	清水口小学校区	284	26.4	72.2	1.4
	七次台小学校区	164	22.0	76.8	1.2

【認知症の症状があるか（問6-（1））との関係】

- ・認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる方のうち、「相談窓口を知っている」方は44.3%と、半数未満にとどまっています。
- ・なお、認知症の症状がない方の、相談窓口の認知度は25.1%となっています。

		(単位: %)		
		相談窓口を知っているか		
	件数 (n)	はい	いいえ	無回答
認知症の 症状があるか	全体	27.1	72.1	0.8
	はい	44.3	54.6	1.0
	いいえ	25.1	74.1	0.8

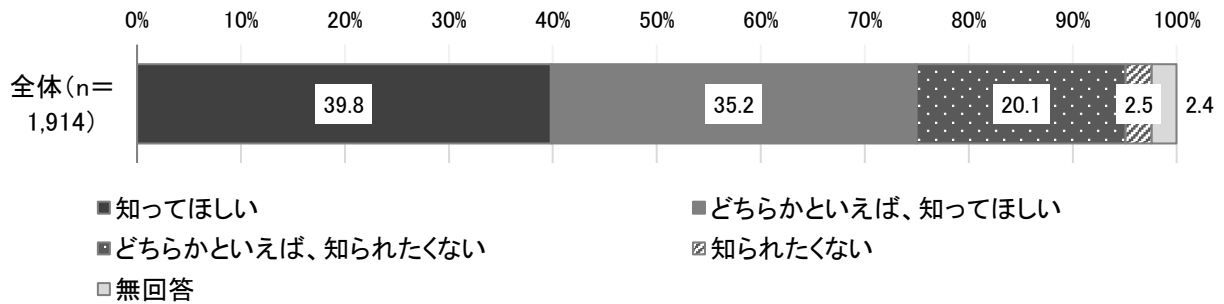
〔問6-（3）〕 もしご自身や家族が認知症になったとき、あなたはそのことを周囲の人に知ってほしいと思いますか。（単一回答）

【全体】

- ・「知ってほしい」が39.8%で最も高く、「どちらかといえば、知ってほしい（35.2%）」と併せて、約75%が周囲の人に知られたい・知られても構わないという結果になっています。

【要介護度別】

- ・「知ってほしい」と回答した人の割合は、総合事業対象者で52.5%、要支援1の方で45.4%と、やや高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	知 っ て ほ し い	ど ち ら か と い え ば、 知 っ て ほ し い	ど ち ら か と い え ば、 知 ら れ た く な い	知 ら れ た く な い	無 回 答
全体		1,914	39.8	35.2	20.1	2.5	2.4
性 別	男性	867	40.4	34.3	21.0	2.7	1.7
	女性	1,046	39.4	35.9	19.3	2.4	3.0
年 齢	65～74歳	744	38.6	37.5	19.9	2.2	1.9
	75～84歳	817	39.4	34.5	20.9	2.6	2.6
	85歳以上	351	43.6	31.6	18.5	3.1	3.1
要 介 護 度	一般	1,541	39.6	35.8	20.2	2.2	2.2
	総合事業対象者	59	52.5	28.8	16.9	1.7	0.0
	要支援1	141	45.4	29.8	19.9	2.8	2.1
	要支援2	172	33.1	36.0	20.3	5.2	5.2
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	39.7	35.6	20.3	2.3	2.1
	第一小学校区	136	44.1	30.1	18.4	3.7	3.7
	第二小学校区	107	40.2	29.9	23.4	3.7	2.8
	南山小学校区	263	42.2	36.5	17.5	2.3	1.5
	池の上小学校区	275	38.5	35.6	21.8	1.8	2.2
	桜台小学校区	214	35.0	40.7	21.5	1.4	1.4
	B圏域	918	40.0	34.7	19.8	2.7	2.7
	第三小学校区	228	41.7	36.0	17.1	3.1	2.2
	大山口小学校区	242	38.0	34.7	20.7	3.3	3.3
	清水口小学校区	284	40.8	35.9	17.3	2.5	3.5
	七次台小学校区	164	39.0	31.1	26.8	1.8	1.2

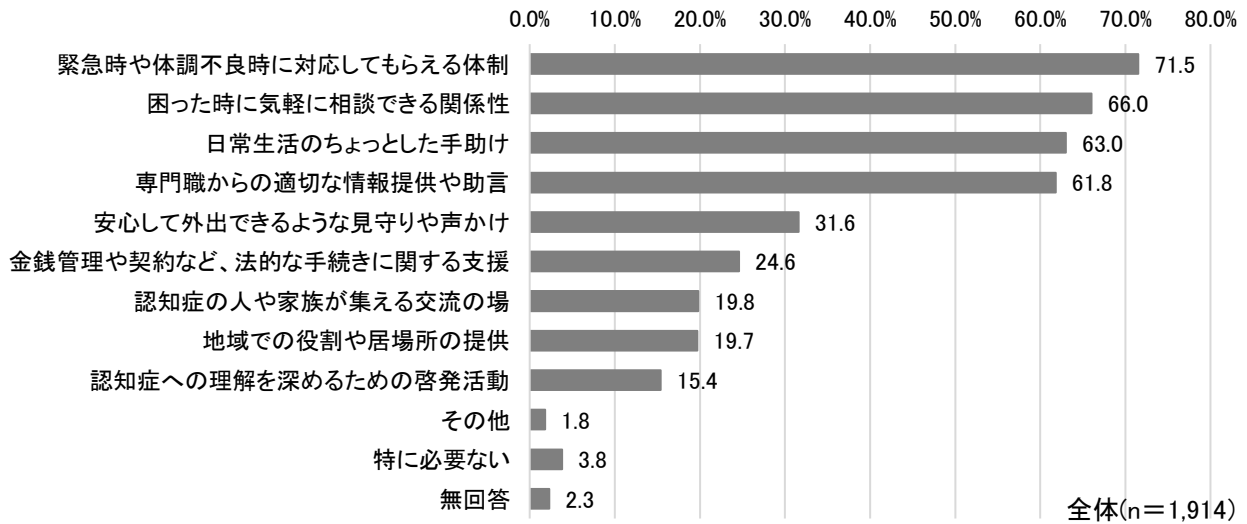
〔問6-（4）〕 もしご自身や家族が認知症になったとき、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、周りからどのような支えや協力があれば心強いと感じますか。（複数回答）

【全体】

- ・「緊急時や体調不良時に対応してもらえる体制」が71.5%で最も高く、次いで「困った時に気軽に相談できる関係性（66.0%）」、「日常生活のちょっとした手助け（63.0%）」などとなっています。

【性別】

- ・多くの選択肢で、男性よりも女性のほうが高い割合となっています。特に「困った時に気軽に相談できる関係性」は、女性のほうが10ポイント近く高くなっています。



		件数 (n)	緊急時や体調不良時に対応してもらえる体制に	困った時に気軽に相談できる関係性（近所の人、民生委員、かかりつけ医など）	日常生活のちょっとした手助け（買い物、ゴミ出し、簡単な家事など）	専門職（医師、看護師、ケアマネジャーなど）からの適切な情報提供や助言	安心して外出できるような見守りや声かけ	金銭管理や契約など、法的な手続きに関する支援
全体		1,914	71.6	66.0	63.0	61.8	31.6	24.6
性別	男性	867	68.3	60.7	61.8	58.2	28.3	27.6
	女性	1,046	74.3	70.6	64.1	64.8	34.3	22.1
年齢	65～74歳	744	74.3	66.7	61.2	66.4	35.5	30.5
	75～84歳	817	70.5	67.7	65.4	61.1	30.5	22.0
	85歳以上	351	68.1	61.0	61.8	54.1	25.9	17.9
要介護度	一般	1,541	71.9	65.3	61.1	62.2	31.2	24.9
	総合事業対象者	59	76.3	81.4	74.6	64.4	52.5	27.1
	要支援1	141	69.5	69.5	70.2	58.9	27.0	17.0
	要支援2	172	68.6	64.5	70.3	60.5	31.4	26.7
日常生活圏域	A圏域	995	71.1	65.4	62.4	60.8	30.8	24.1
	第一小学校区	136	65.4	63.2	64.0	51.5	32.4	21.3
	第二小学校区	107	57.0	68.2	57.9	47.7	23.4	19.6
	南山小学校区	263	75.3	70.3	64.6	62.4	32.3	24.0
	池の上小学校区	275	72.7	59.6	64.4	64.7	30.2	23.6
	桜台小学校区	214	74.3	66.8	58.4	66.4	32.2	29.0
	B圏域	918	72.1	66.8	63.7	63.0	32.5	25.1
	第三小学校区	228	68.4	62.7	58.8	62.3	31.1	24.6
	大山口小学校区	242	72.3	62.8	61.2	61.2	34.7	23.1
	清水口小学校区	284	73.9	72.2	66.9	62.0	31.7	23.6
	七次台小学校区	164	73.8	68.9	68.9	68.3	32.3	31.1

3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

（単位：％）

		件数 (n)	認知症の人や家族が 集える交流の場	地域での役割や居場所 の提供（ボランティア 活動、地域行事への 参加など）	深めるための理解を 得るための啓発活動	その他	特に必要ない	無回答
全体		1,914	19.8	19.8	15.4	1.8	3.8	2.3
性別	男性	867	18.1	19.3	14.3	1.8	4.6	2.2
	女性	1,046	21.2	20.2	16.3	1.8	3.2	2.4
年齢	65～74歳	744	21.0	24.5	16.0	1.5	2.3	2.2
	75～84歳	817	20.6	18.1	15.7	1.5	4.3	2.2
	85歳以上	351	15.4	13.7	13.4	3.4	6.0	2.8
要介護度	一般	1,541	19.4	20.8	15.3	1.8	4.0	2.3
	総合事業対象者	59	30.5	25.4	23.7	0.0		1.7
	要支援1	141	17.0	12.1	12.8	2.8	3.5	0.7
	要支援2	172	22.1	15.1	15.1	2.3	2.9	4.1
日常生活圏域	A圏域	995	18.3	19.1	15.0	1.7	3.8	2.3
	第一小学校区	136	16.2	15.4	11.0	1.5	5.9	3.7
	第二小学校区	107	7.5	10.3	10.3	1.9	2.8	1.9
	南山小学校区	263	20.9	24.7	19.4	1.9	3.0	3.4
	池の上小学校区	275	18.5	19.3	13.5	1.8	4.7	1.8
	桜台小学校区	214	21.5	18.7	16.4	1.4	2.8	0.9
	B圏域	918	21.5	20.5	15.8	2.0	3.8	2.3
	第三小学校区	228	19.7	18.9	15.4	2.6	5.3	2.6
	大山口小学校区	242	19.4	20.2	19.4	2.5	3.3	2.9
	清水口小学校区	284	23.2	20.1	13.4	1.8	3.5	1.8
	七次台小学校区	164	23.8	23.8	15.2	0.6	3.0	1.8

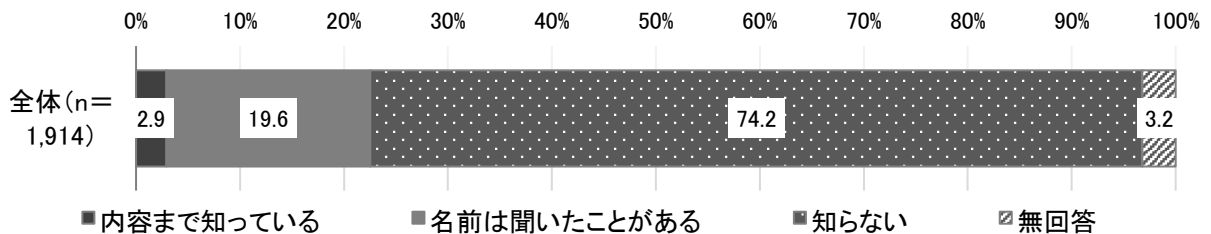
〔問6－（5）〕 国が示す『新しい認知症観（認知症になっても、住み慣れた地域で仲間とながりにながら、自分らしい生活を続けていけるという前向きな考え方）』を知っていますか。（単一回答）

【全体】

・「知らない」が74.2%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」が19.6%となっています。「内容まで知っている」は2.9%にとどまっています。

【性別】

・「知らない」は男性が79.9%、女性が69.5%で、男性のほうが高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	内容まで 知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体		1,914	2.9	19.6	74.2	3.2
性別	男性	867	2.3	14.9	79.9	2.9
	女性	1,046	3.4	23.5	69.5	3.5
年齢	65～74歳	744	3.1	17.6	76.6	2.7
	75～84歳	817	2.2	20.8	74.1	2.9
	85歳以上	351	4.3	21.1	69.5	5.1
要介護度	一般	1,541	2.9	19.0	75.1	2.9
	総合事業対象者	59	6.8	22.0	67.8	3.4
	要支援1	141	1.4	25.5	68.1	5.0
	要支援2	172	2.9	19.2	73.3	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	3.2	18.8	75.2	2.8
	第一小学校区	136	3.7	17.6	74.3	4.4
	第二小学校区	107	3.7	19.6	70.1	6.5
	南山小学校区	263	3.8	17.9	76.8	1.5
	池の上小学校区	275	2.9	20.0	74.9	2.2
	桜台小学校区	214	2.3	18.7	76.6	2.3
	B圏域	918	2.6	20.5	73.2	3.7
	第三小学校区	228	2.6	19.3	73.2	4.8
	大山口小学校区	242	3.3	21.1	72.7	2.9
	清水口小学校区	284	2.5	19.0	73.9	4.6
	七次台小学校区	164	1.8	23.8	72.6	1.8

7 地域での活動について

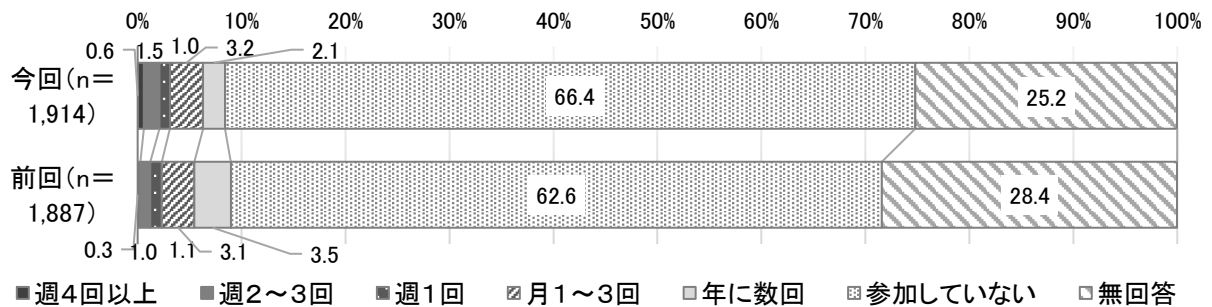
〔問7-（1）①〕 ボランティアのグループへの参加頻度（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「参加していない」が66.4%で最も高く、次いで「月1～3回(3.2%)」、「年に数回(2.1%)」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の62.6%から3.8ポイント上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・性別では、「参加していない」の割合は、男性が70.0%、女性が63.4%で男性の方が高くなっています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が下がるにつれ、高くなる傾向がみられます。



(単位：％)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	0.6	1.5	1.0	3.2	2.1	66.4	25.1
性 別	男性	867	0.7	2.0	1.3	2.4	2.5	70.0	21.1
	女性	1,046	0.6	1.1	0.9	3.8	1.8	63.4	28.5
年 齢	65～74歳	744	0.8	0.8	1.3	3.5	2.8	76.7	14.0
	75～84歳	817	0.6	2.1	1.0	3.2	2.3	60.8	30.0
	85歳以上	351	0.3	1.4	0.6	2.6	0.3	57.3	37.6
要 介 護 度	一般	1,541	0.6	1.4	1.2	3.4	2.4	67.5	23.4
	総合事業対象者	59	0.0	1.7	0.0	3.4	1.7	55.9	37.3
	要支援1	141	0.7	0.7	0.0	1.4	0.7	64.5	31.9
	要支援2	172	1.2	2.3	0.6	2.3	1.2	61.6	30.8
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	0.6	1.4	0.9	3.0	2.5	66.5	25.0
	第一小学校区	136	1.5	0.7	1.5	1.5	1.5	66.2	27.2
	第二小学校区	107	0.9	0.0	1.9	2.8	5.6	56.1	32.7
	南山小学校区	263	0.8	2.3	0.4	3.0	1.9	66.5	25.1
	池の上小学校区	275	0.0	1.8	0.7	3.6	2.2	67.6	24.0
	桜台小学校区	214	0.5	0.9	0.9	3.3	2.8	70.6	21.0
	B圏域	918	0.7	1.5	1.2	3.4	1.7	66.2	25.3
	第三小学校区	228	1.8	2.2	0.9	2.6	1.3	62.7	28.5
	大山口小学校区	242	0.4	2.1	1.2	4.1	1.2	65.3	25.6
	清水口小学校区	284	0.0	1.4	1.4	3.5	2.5	64.1	27.1
	七次台小学校区	164	0.6	0.0	1.2	3.0	1.8	76.2	17.1

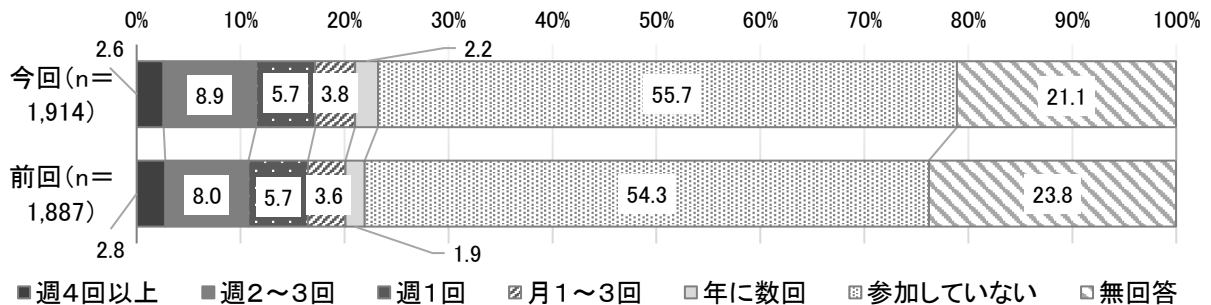
[問7-（1）②] スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「参加していない」が55.7%で最も高く、次いで「週2～3回（8.9%）」、「週1回（5.7%）」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の54.3%から1.4ポイント上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・性別では、「参加していない」の割合は、男性が58.8%、女性が53.2%で、男性の方が高くなっています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が下がるにつれ、高くなる傾向がみられます。



（単位：％）

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	2.6	8.9	5.7	3.8	2.2	55.7	21.1
性 別	男性	867	2.7	8.0	5.1	4.6	4.0	58.8	16.8
	女性	1,046	2.6	9.8	6.2	3.0	0.7	53.2	24.7
年 齢	65～74歳	744	3.5	9.7	5.2	4.6	2.6	62.8	11.7
	75～84歳	817	2.3	9.3	6.2	3.9	2.0	51.5	24.7
	85歳以上	351	1.4	6.6	5.4	1.4	2.0	50.4	32.8
要 介 護 度	一般	1,541	3.1	10.0	5.8	4.3	2.5	55.4	18.9
	総合事業対象者	59	0.0	5.1	8.5	5.1	0.0	40.7	40.7
	要支援1	141	0.7	4.3	7.1	0.7	0.7	58.2	28.4
	要支援2	172	0.6	4.7	2.3	0.6	1.2	62.2	28.5
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	3.1	7.5	5.4	3.8	2.1	56.9	21.1
	第一小学校区	136	1.5	4.4	2.9	2.9	0.7	61.8	25.7
	第二小学校区	107	0.9	3.7	3.7	1.9	0.9	57.0	31.8
	南山小学校区	263	3.4	7.6	5.7	3.8	2.7	55.1	21.7
	池の上小学校区	275	2.5	9.5	7.6	5.1	1.8	55.6	17.8
	桜台小学校区	214	5.6	8.9	4.7	3.7	3.3	57.5	16.4
	B圏域	918	2.1	10.5	6.0	3.6	2.3	54.5	21.1
	第三小学校区	228	1.8	8.3	2.2	2.2	2.2	55.3	28.1
	大山口小学校区	242	2.1	12.8	5.0	2.5	2.5	55.0	20.2
	清水口小学校区	284	1.8	11.3	9.9	5.3	2.5	49.6	19.7
	七次台小学校区	164	3.0	8.5	6.1	4.3	1.8	61.0	15.2

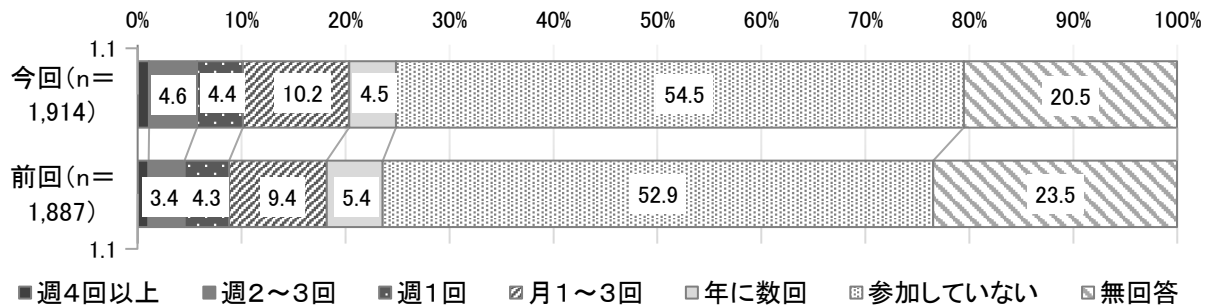
[問7-（1）③] 趣味関係のグループへの参加頻度（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「参加していない」が54.5%で最も高く、次いで「月1～3回（10.2%）」、「週2～3回（4.6%）」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の52.9%から1.6ポイント上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・「参加していない」と回答した人の割合は、男性が55.7%、女性が53.6%で、男性の方が高くなっています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が下がるにつれ、高くなる傾向がみられます。



（単位：％）

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	1.2	4.6	4.4	10.2	4.5	54.5	20.4
性別	男性	867	1.6	4.8	5.3	9.1	6.2	55.7	17.2
	女性	1,046	0.8	4.4	3.7	11.2	3.2	53.6	23.1
年齢	65～74歳	744	1.1	3.9	3.4	10.2	5.8	62.9	12.8
	75～84歳	817	1.3	5.3	5.5	11.4	3.9	49.4	23.1
	85歳以上	351	0.9	4.3	4.3	7.7	3.4	49.0	30.5
要介護度	一般	1,541	1.4	4.9	4.6	10.8	4.9	54.6	18.9
	総合事業対象者	59	0.0	3.4	10.2	13.6	6.8	39.0	27.1
	要支援1	141	0.7	3.5	2.8	9.9	2.8	54.6	25.5
	要支援2	172	0.0	3.5	2.3	4.7	2.3	59.3	27.9
日常生活圏域	A圏域	995	0.8	4.9	5.3	9.5	5.3	54.2	19.9
	第一小学校区	136	0.7	4.4	4.4	8.1	6.6	52.9	22.8
	第二小学校区	107	0.9	2.8	2.8	2.8	2.8	55.1	32.7
	南山小学校区	263	0.8	6.8	6.5	11.4	5.7	52.1	16.7
	池の上小学校区	275	1.1	5.1	6.9	11.6	5.5	52.4	17.5
	桜台小学校区	214	0.5	3.7	3.7	8.9	5.1	59.3	18.7
	B圏域	918	1.5	4.2	3.5	11.0	3.7	55.0	21.0
	第三小学校区	228	1.8	3.9	3.1	5.7	3.1	57.9	24.6
	大山口小学校区	242	1.7	4.5	2.9	12.0	4.5	52.9	21.5
	清水口小学校区	284	2.1	3.5	3.9	15.1	3.2	51.8	20.4
	七次台小学校区	164	0.0	5.5	4.3	9.8	4.3	59.8	16.5

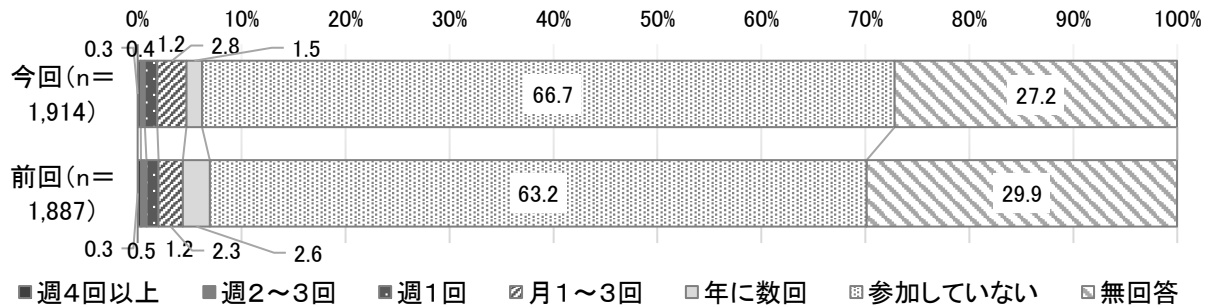
[問7-（1）④] 学習・教養サークルへの参加頻度（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「参加していない」が66.7%で最も高く、次いで「月1～3回(2.8%)」、「年に数回(1.5%)」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の63.2%から3.5ポイント上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・「参加していない」と回答した人の割合は、男性が71.0%、女性が63.1%で、男性の方が高くなっています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が下がるにつれ、高くなる傾向がみられます。



(単位：%)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	0.3	0.4	1.2	2.8	1.5	66.7	27.2
性別	男性	867	0.1	0.5	1.0	2.4	1.8	71.0	23.1
	女性	1,046	0.4	0.3	1.3	3.2	1.1	63.1	30.6
年齢	65～74歳	744	0.4	0.4	1.3	3.0	1.9	78.5	14.5
	75～84歳	817	0.2	0.5	1.3	2.2	1.5	61.1	33.2
	85歳以上	351	0.0	0.0	0.6	4.0	0.6	54.7	40.2
要介護度	一般	1,541	0.3	0.3	1.4	3.0	1.7	68.3	25.0
	総合事業対象者	59	0.0	1.7	1.7	1.7	1.7	47.5	45.8
	要支援1	141	0.0	0.0	0.0	3.5	0.7	61.0	34.8
	要支援2	172	0.0	0.6	0.0	1.2	0.0	64.0	34.3
日常生活圏域	A圏域	995	0.2	0.4	1.3	2.8	1.8	66.6	26.8
	第一小学校区	136	0.0	0.0	2.2	0.7	2.2	66.2	28.7
	第二小学校区	107	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	62.6	33.6
	南山小学校区	263	0.4	0.4	0.8	3.8	1.9	65.4	27.4
	池の上小学校区	275	0.4	0.7	1.8	2.9	2.5	66.9	24.7
	桜台小学校区	214	0.0	0.5	1.4	3.3	0.5	70.1	24.3
	B圏域	918	0.3	0.3	1.1	2.8	1.1	66.8	27.6
	第三小学校区	228	0.0	0.0	0.9	3.9	0.0	63.2	32.0
	大山口小学校区	242	0.8	0.4	0.0	2.5	1.2	66.9	28.1
	清水口小学校区	284	0.4	0.4	1.8	3.2	1.8	64.8	27.8
	七次台小学校区	164	0.0	0.6	1.8	1.2	1.2	75.0	20.1

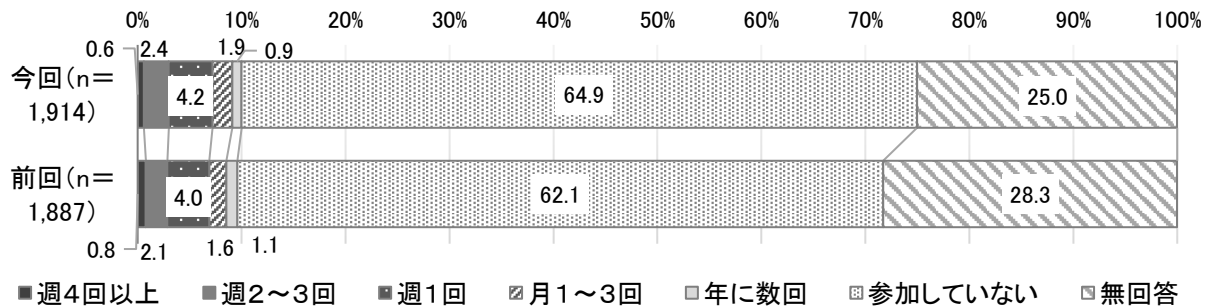
[問7-（1）⑤] 介護予防のための通いの場への参加頻度（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「参加していない」が64.9%で最も高く、次いで「週1回（4.2%）」、「週2～3回（2.4%）」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の62.1%から2.8ポイント上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・「参加していない」と回答した人の割合は、男性が71.6%、女性が59.5%で、男性の方が高くなっています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が下がるにつれ、高くなる傾向がみられます。



(単位：%)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	0.6	2.4	4.2	1.9	0.9	64.9	24.9
性 別	男性	867	0.3	1.3	2.1	1.0	0.6	71.6	23.1
	女性	1,046	0.9	3.3	6.0	2.7	1.1	59.5	26.5
年 齢	65～74歳	744	0.4	1.2	2.0	0.5	0.8	80.4	14.7
	75～84歳	817	0.5	1.8	4.9	2.1	1.0	58.8	31.0
	85歳以上	351	1.4	6.3	7.4	4.6	0.9	46.7	32.8
要 介 護 度	一般	1,541	0.6	1.1	2.1	1.2	0.8	69.0	25.2
	総合事業対象者	59	1.7	3.4	15.3	10.2	1.7	42.4	25.4
	要支援1	141	0.7	3.5	18.4	3.5	1.4	48.2	24.1
	要支援2	172	0.6	12.8	8.1	4.1	1.2	50.6	22.7
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	0.7	1.8	4.5	2.0	0.9	66.0	24.0
	第一小学校区	136	0.0	2.2	3.7	0.7	0.7	66.9	25.7
	第二小学校区	107	0.9	0.9	2.8	1.9	2.8	56.1	34.6
	南山小学校区	263	0.4	3.0	6.1	4.2	0.8	63.5	22.1
	池の上小学校区	275	1.5	1.5	4.7	1.5	0.7	68.4	21.8
	桜台小学校区	214	0.5	0.9	3.7	0.9	0.5	70.6	22.9
	B圏域	918	0.5	3.1	3.9	1.9	0.9	63.8	25.9
	第三小学校区	228	0.4	1.8	0.9	0.9	0.9	61.4	33.8
	大山口小学校区	242	0.4	0.8	2.9	4.1	0.4	64.9	26.4
	清水口小学校区	284	1.1	5.6	6.7	1.4	0.7	60.2	24.3
	七次台小学校区	164	0.0	3.7	4.9	0.6	1.8	72.0	17.1

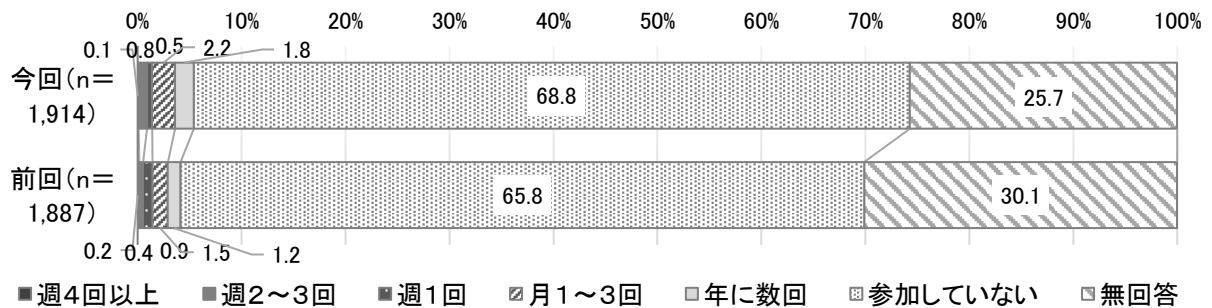
[問7-（1）⑥] 高齢者クラブへの参加頻度（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「参加していない」が68.8%で最も高く、次いで「月1～3回(2.2%)」、「年に数回(1.8%)」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の65.8%から3.0ポイント上昇しています。

【性別／年齢別／要介護度別】

- ・「参加していない」と回答した人の割合は、男性が72.7%、女性が65.7%で、男性の方が高くなっています。
- ・年齢が低くなるにつれて、「参加していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



(単位：％)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	0.1	0.8	0.5	2.2	1.8	68.8	25.7
性 別	男性	867	0.1	1.0	0.7	1.6	2.0	72.7	21.9
	女性	1,046	0.1	0.6	0.4	2.8	1.7	65.7	28.8
年 齢	65～74歳	744	0.1	0.1	0.3	0.7	0.8	82.4	15.6
	75～84歳	817	0.1	0.7	0.5	3.4	2.6	62.5	30.1
	85歳以上	351	0.0	2.3	1.1	2.8	2.3	54.7	36.8
要 介 護 度	一般	1,541	0.1	0.6	0.4	2.1	1.6	71.0	24.2
	総合事業対象者	59	0.0	0.0	0.0	8.5	3.4	52.5	35.6
	要支援1	141	0.7	2.1	1.4	1.4	1.4	61.0	31.9
	要支援2	172	0.0	1.2	1.2	2.3	3.5	61.6	30.2
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	0.2	1.0	0.7	1.2	2.0	69.6	25.2
	第一小学校区	136	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	70.6	27.9
	第二小学校区	107	0.0	0.0	0.9	2.8	7.5	57.0	31.8
	南山小学校区	263	0.0	2.3	1.1	1.5	2.3	68.4	24.3
	池の上小学校区	275	0.4	0.4	0.7	1.1	1.1	71.6	24.7
	桜台小学校区	214	0.5	1.4	0.5	0.5	0.9	74.3	22.0
	B圏域	918	0.0	0.5	0.3	3.4	1.6	68.0	26.1
	第三小学校区	228	0.0	0.0	0.0	4.8	1.8	62.3	31.1
	大山口小学校区	242	0.0	0.8	0.4	4.1	2.1	66.5	26.0
	清水口小学校区	284	0.0	0.7	0.7	3.5	1.8	67.3	26.1
	七次台小学校区	164	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	79.3	19.5

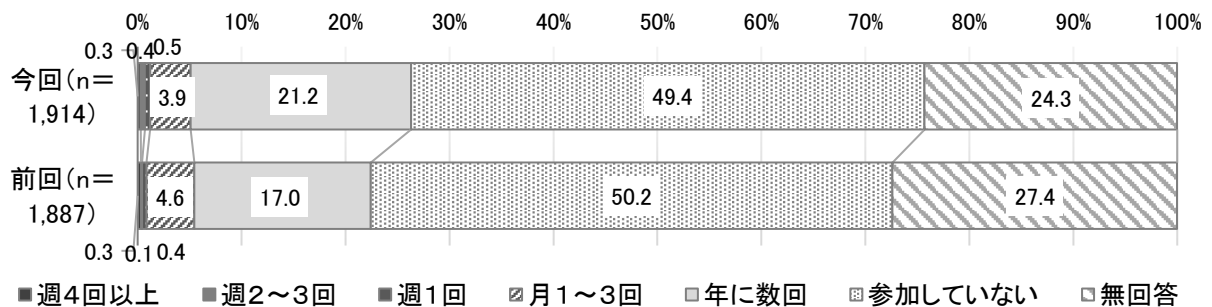
[問7-（1）⑦] 町内会・自治会への参加頻度（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「参加していない」が49.4%で最も高く、次いで「年に数回(21.2%)」、「月1～3回(3.9%)」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の50.2%から0.8ポイント低下しています。

【性別／年齢別／日常生活圏域別】

- ・「参加していない」の割合は、男性が49.6%、女性が49.3%で、男性が女性をわずかに上回っています。
- ・「参加していない」の割合は、65～74歳で5割を超えています。
- ・日常生活圏域別にみると、「参加していない」の割合は、七次台小学校区（54.9%）や池の上小学校区（54.5%）でやや高くなっています。



(単位：％)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	0.3	0.4	0.5	3.9	21.2	49.4	24.3
性別	男性	867	0.6	0.5	0.7	4.4	24.6	49.6	19.7
	女性	1,046	0.0	0.4	0.4	3.4	18.4	49.3	28.1
年齢	65～74歳	744	0.5	0.3	0.8	3.6	26.3	55.0	13.4
	75～84歳	817	0.1	0.7	0.4	4.2	20.2	45.5	28.9
	85歳以上	351	0.0	0.0	0.3	3.7	12.5	46.7	36.8
要介護度	一般	1,541	0.3	0.5	0.6	3.7	22.8	49.7	22.4
	総合事業対象者	59	0.0	0.0	0.0	1.7	22.0	40.7	35.6
	要支援1	141	0.0	0.7	0.7	5.7	12.8	49.6	30.5
	要支援2	172	0.0	0.0	0.0	4.7	12.8	50.0	32.6
日常生活圏域	A圏域	995	0.4	0.0	0.5	3.6	21.7	49.7	24.0
	第一小学校区	136	0.0	0.0	0.0	0.7	22.8	52.2	24.3
	第二小学校区	107	0.0	0.0	0.9	0.9	27.1	39.3	31.8
	南山小学校区	263	0.8	0.0	0.8	5.7	18.6	48.7	25.5
	池の上小学校区	275	0.0	0.0	0.7	2.9	18.9	54.5	22.9
	桜台小学校区	214	0.9	0.0	0.0	5.1	25.7	48.6	19.6
	B圏域	918	0.1	0.9	0.5	4.1	20.6	49.1	24.6
	第三小学校区	228	0.0	2.6	0.0	3.5	17.1	49.1	27.6
	大山口小学校区	242	0.0	0.4	1.2	7.0	24.8	44.2	22.3
	清水口小学校区	284	0.4	0.0	0.7	3.9	18.0	50.0	27.1
	七次台小学校区	164	0.0	0.6	0.0	1.2	23.8	54.9	19.5

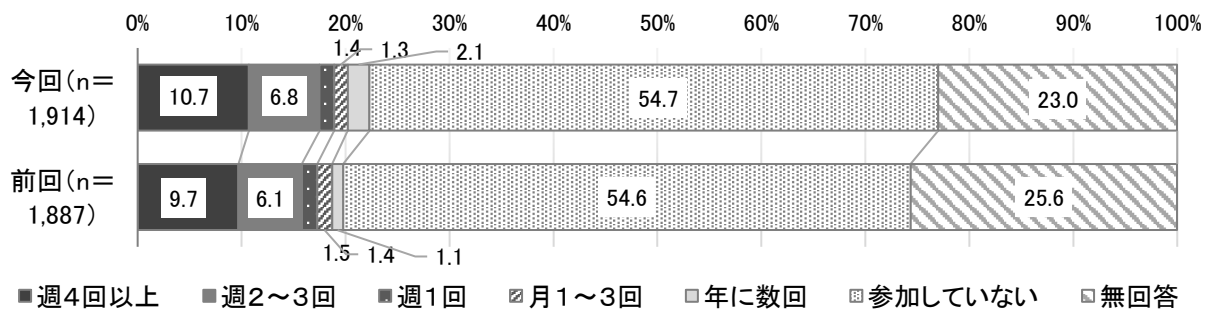
[問7-（1）⑧] 収入のある仕事への参加頻度（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「参加していない」が54.7%で最も高く、次いで「週4回以上（10.7%）」、「週2～3回（6.8%）」の順となっています。
- ・「参加していない」の割合は前回の54.6%から0.1ポイント上昇しています。

【性別／年齢別／日常生活圏域別】

- ・「参加していない」と回答した人の割合は、男性が52.2%、女性が56.8%で、女性が男性を上回っています。
- ・「参加していない」の割合は、年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられます。
- ・日常生活圏域別にみると、「参加していない」の割合は、七次台小学校区（61.0%）でやや高くなっています。

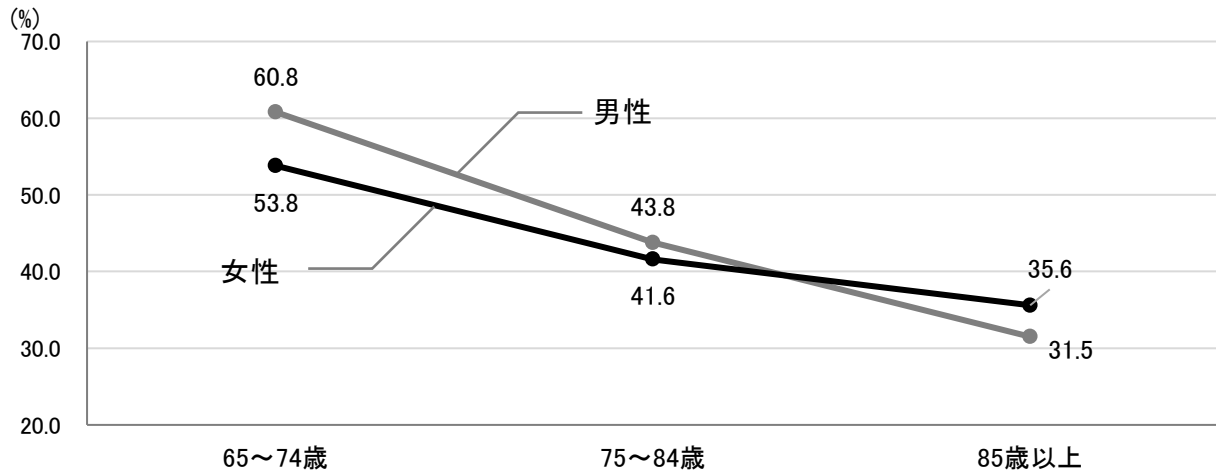


(単位：%)

		件数 (n)	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,914	10.7	6.8	1.4	1.3	2.1	54.7	23.0
性 別	男性	867	15.3	8.4	1.6	2.0	2.3	52.2	18.1
	女性	1,046	6.8	5.4	1.2	0.7	1.9	56.8	27.2
年 齢	65～74歳	744	21.6	11.2	1.9	1.5	2.3	52.3	9.3
	75～84歳	817	4.8	5.6	1.6	1.5	2.4	55.4	28.6
	85歳以上	351	1.1	0.3	0.0	0.3	0.9	58.1	39.3
要 介 護 度	一般	1,541	13.0	8.2	1.6	1.5	2.3	53.1	20.3
	総合事業対象者	59	0.0	1.7	0.0	0.0	5.1	52.5	40.7
	要支援1	141	2.1	0.7	0.7	0.0	0.7	62.4	33.3
	要支援2	172	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	64.0	33.1
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	10.9	6.7	0.9	1.2	2.6	54.7	23.0
	第一小学校区	136	16.2	7.4	0.0	2.2	2.9	48.5	22.8
	第二小学校区	107	12.1	10.3	0.9	0.0	4.7	45.8	26.2
	南山小学校区	263	10.6	2.7	0.8	1.5	1.5	56.7	26.2
	池の上小学校区	275	6.9	8.0	1.5	1.5	3.3	57.1	21.8
	桜台小学校区	214	12.1	7.9	0.9	0.5	1.9	57.5	19.2
	B圏域	918	10.5	6.9	2.0	1.3	1.5	54.8	23.1
	第三小学校区	228	11.0	7.5	1.3	1.3	0.9	50.0	28.1
	大山口小学校区	242	10.7	8.3	2.1	1.2	2.1	56.2	19.4
	清水口小学校区	284	10.6	6.0	2.1	0.7	1.4	53.9	25.4
	七次台小学校区	164	9.1	5.5	2.4	2.4	1.8	61.0	17.7

■社会参加率

- ・問7-(1) ①～⑧のいずれかの活動に週1回以上参加している（月1～3回以上参加している活動が2つ以上ある場合は「週1回以上」とみなす）割合を「社会参加率」として算出しました。
- ・性年代別にみると、男女ともに、年齢が上がるにつれて社会参加率は低下しています。
- ・65～74歳は男性（60.8%）が女性（53.8%）よりも7ポイント高くなっていますが、85歳以上では逆転しています。
- ・日常生活圏域別にみると、清水口小学校区（52.8%）や大山口小学校区（49.6%）、南山小学校区（48.3%）では比較的高い一方で、第二小学校区（37.4%）や第三小学校区（39.9%）ではやや低くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	社会参加率
全体		1,914	46.6
性別	男性	867	48.4
	女性	1,046	45.1
年齢	65～74歳	744	57.0
	75～84歳	817	42.6
	85歳以上	351	33.9
要介護度	一般	1,541	48.8
	総合事業対象者	59	45.8
	要支援1	141	38.3
	要支援2	172	34.3
日常生活圏域	A圏域	995	46.0
	第一小学校区	136	44.9
	第二小学校区	107	37.4
	南山小学校区	263	48.3
	池の上小学校区	275	46.9
	桜台小学校区	214	47.2
	B圏域	918	47.3
	第三小学校区	228	39.9
	大山口小学校区	242	49.6
	清水口小学校区	284	52.8
	七次台小学校区	164	44.5

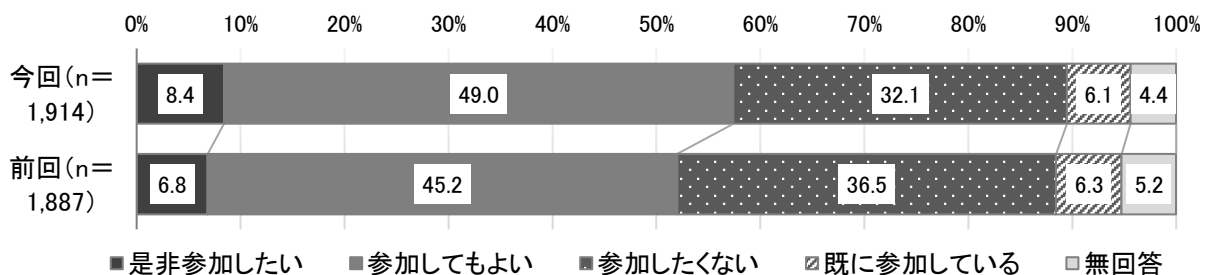
〔問7-（2）〕 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「参加してもよい」が49.0%で最も高く、「是非参加したい」（8.4%）と「既に参加している」（6.1%）を合わせると63.5%となっています。一方、「参加したくない」は32.1%となっています。
- ・「参加したくない」は前回の36.5%から4.4ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「参加したくない」と回答した人の割合は、男性が33.4%、女性が31.1%で、男性が女性をやや上回っています。
- ・要介護度別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合は、要支援2の方で41.3%と高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 した くない	既 に 参 加 し て い る	無 回 答
全体		1,914	8.4	48.9	32.1	6.1	4.4
性別	男性	867	6.5	50.4	33.4	6.7	3.0
	女性	1,046	9.9	47.7	31.1	5.6	5.6
年齢	65～74歳	744	9.4	55.1	28.8	4.0	2.7
	75～84歳	817	7.6	48.6	31.7	6.9	5.3
	85歳以上	351	8.0	36.8	40.5	8.8	6.0
要介護度	一般	1,541	8.0	51.1	31.0	6.1	3.8
	総合事業対象者	59	16.9	42.4	27.1	11.9	1.7
	要支援1	141	5.7	44.7	36.2	5.0	8.5
	要支援2	172	10.5	35.5	41.3	5.2	7.6
日常生活圏域	A圏域	995	8.6	48.1	32.4	6.8	4.0
	第一小学校区	136	8.1	42.6	36.8	6.6	5.9
	第二小学校区	107	2.8	46.7	37.4	3.7	9.3
	南山小学校区	263	10.6	44.9	33.5	8.4	2.7
	池の上小学校区	275	9.5	50.2	29.5	8.4	2.5
	桜台小学校区	214	8.4	53.7	29.4	4.7	3.7
	B圏域	918	8.1	49.8	31.9	5.3	4.9
	第三小学校区	228	7.5	43.0	38.6	5.3	5.7
	大山口小学校区	242	7.4	54.1	28.5	5.0	5.0
	清水口小学校区	284	6.3	51.8	28.9	7.0	6.0
	七次台小学校区	164	12.8	49.4	32.9	3.0	1.8

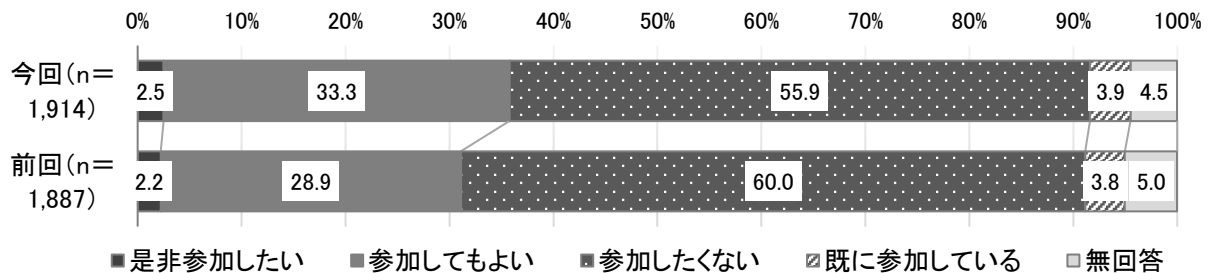
【問7-（3）】 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「参加したくない」が55.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」（33.3%）、「既に参加している」（3.9%）の順となっています。
- ・前問の参加者としての参加と異なり、企画・運営としての参加については「参加したくない」が約半数を占めています。
- ・「参加したくない」は前回の60.0%から4.1ポイント低下しました。

【性別／要介護度別】

- ・「参加したくない」と回答した人の割合は、男性が55.0%、女性が56.6%で、女性が男性をやや上回っています。
- ・「参加したくない」と回答した人の割合は、総合事業対象者で59.3%、要支援1の方で61.0%、要支援2の方で65.1%と、要介護度が上がるにつれて高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		1,914	2.5	33.3	55.9	3.9	4.5
性別	男性	867	2.3	34.8	55.0	4.7	3.1
	女性	1,046	2.6	31.9	56.6	3.3	5.6
年齢	65～74歳	744	3.6	36.3	54.7	2.6	2.8
	75～84歳	817	1.5	34.1	54.8	5.0	4.5
	85歳以上	351	2.3	24.8	60.7	4.3	8.0
要介護度	一般	1,541	2.4	35.5	54.3	4.2	3.6
	総合事業対象者	59	1.7	28.8	59.3	1.7	8.5
	要支援1	141	1.4	27.7	61.0	3.5	6.4
	要支援2	172	4.1	19.2	65.1	2.3	9.3
日常生活圏域	A圏域	995	2.5	33.1	56.7	3.9	3.8
	第一小学校区	136	2.9	31.6	55.9	4.4	5.1
	第二小学校区	107	1.9	29.9	57.0	3.7	7.5
	南山小学校区	263	3.8	33.1	57.8	3.4	1.9
	池の上小学校区	275	1.5	37.1	53.8	5.5	2.2
	桜台小学校区	214	2.3	30.4	59.3	2.3	5.6
	B圏域	918	2.4	33.4	55.0	3.9	5.2
	第三小学校区	228	2.6	31.6	56.6	3.1	6.1
	大山口小学校区	242	1.7	35.5	52.1	5.8	5.0
	清水口小学校区	284	2.5	32.4	54.6	3.9	6.7
	七次台小学校区	164	3.0	34.8	57.9	2.4	1.8

8 就労について

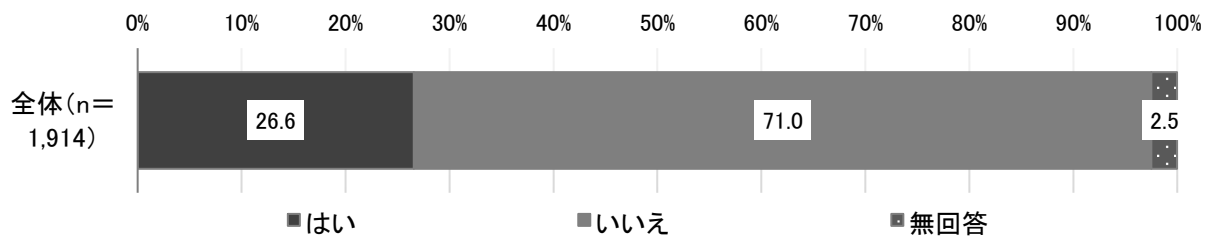
[問8-（1）] あなたは現在、何らかの収入を伴う仕事（正社員、パート、アルバイト、自営業、有償ボランティアなど）をしていますか。（単一回答）

【全体】

・「はい」が26.6%、「いいえ」が71.0%となっています。

【性別／年齢別／日常生活圏域別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が35.1%、女性が19.5%で、男性のほうが高くなっています。
- ・年齢別では、65～74歳では「はい」が46.1%と全体を大きく上回っています。
- ・日常生活圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合は、第一小学校区（39.0%）や第二小学校区（40.2%）で特に高くなっています。



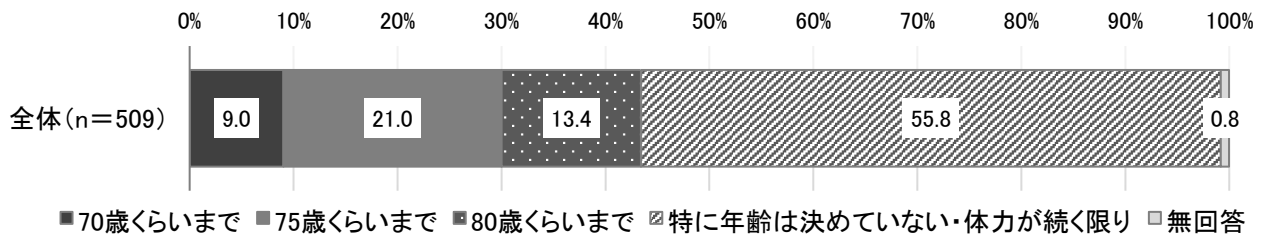
（単位：％）

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	26.6	71.0	2.5
性別	男性	867	35.1	62.7	2.2
	女性	1,046	19.5	77.8	2.7
年齢	65～74歳	744	46.1	53.0	0.9
	75～84歳	817	19.0	79.2	1.8
	85歳以上	351	2.8	90.0	7.1
要介護度	一般	1,541	32.1	66.3	1.7
	総合事業対象者	59	5.1	91.5	3.4
	要支援1	141	3.5	90.8	5.7
	要支援2	172	3.5	90.1	6.4
日常生活圏域	A圏域	995	27.3	70.1	2.6
	第一小学校区	136	39.0	58.8	2.2
	第二小学校区	107	40.2	54.2	5.6
	南山小学校区	263	18.3	79.1	2.7
	池の上小学校区	275	22.2	76.0	1.8
	桜台小学校区	214	31.3	66.4	2.3
	B圏域	918	25.7	72.0	2.3
	第三小学校区	228	28.9	68.0	3.1
	大山口小学校区	242	25.2	72.3	2.5
	清水口小学校区	284	23.9	73.6	2.5
	七次台小学校区	164	25.0	74.4	0.6

〔問8-（1）①〕（問8-（1）で「はい（収入を伴う仕事をしている）」と回答した方に）何歳ごろまで仕事を続けたいと考えていますか。（単一回答）

【全体】

・「特に年齢は決めていない・体力が続く限り」が55.8%で最も高く、次いで「75歳くらいまで（21.0%）」、「80歳くらいまで（13.4%）」などとなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	70歳 くらい まで	75歳 くらい まで	80歳 くらい まで	特に 年齢は 決めて いない・ 体力が 続く限 り	無回 答
全体		509	9.0	21.0	13.4	55.8	0.8
性別	男性	304	9.5	19.7	16.4	54.3	0.0
	女性	204	8.3	23.0	8.8	57.8	2.0
年齢	65～74歳	343	13.4	30.9	6.7	48.1	0.9
	75～84歳	155	0.0	0.6	29.0	70.3	0.0
	85歳以上	10	0.0	0.0	0.0	90.0	10.0
要介護 度	一般	494	9.3	21.7	13.4	54.9	0.8
	総合事業対象者	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	要支援1	5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	要支援2	6	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
日常生活 圏域	A圏域	272	9.6	19.5	11.8	57.7	1.5
	第一小学校区	53	7.5	11.3	9.4	71.7	0.0
	第二小学校区	43	9.3	11.6	16.3	60.5	2.3
	南山小学校区	48	6.3	25.0	25.0	43.8	0.0
	池の上小学校区	61	4.9	23.0	4.9	65.6	1.6
	桜台小学校区	67	17.9	23.9	7.5	47.8	3.0
	B圏域	236	8.5	22.9	15.3	53.4	0.0
	第三小学校区	66	6.1	27.3	16.7	50.0	0.0
	大山口小学校区	61	8.2	21.3	16.4	54.1	0.0
	清水口小学校区	68	11.8	14.7	11.8	61.8	0.0
	七次台小学校区	41	7.3	31.7	17.1	43.9	0.0

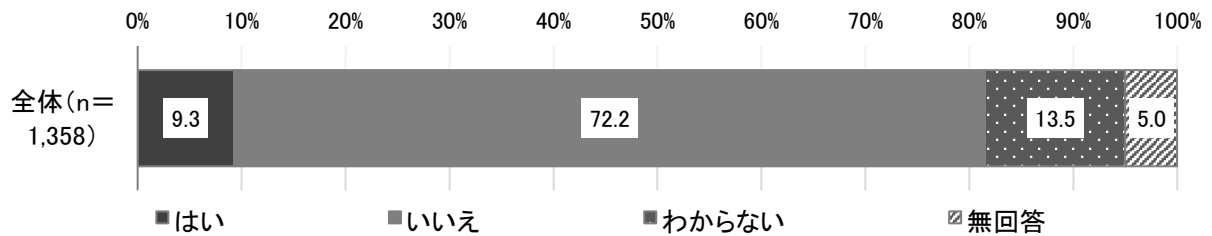
[問8-(1)②] (問8-(1)で「いいえ(収入を伴う仕事をしていない)」と回答した方に)
あなたは今後、何らかの収入を伴う仕事(正社員、パート、アルバイト、自営業、有償ボランティアなど)をしてみたいと思いますか。(単一回答)

【全体】

・「はい」が9.3%、「いいえ」が72.2%となっています。

【性別／要介護度別／日常生活圏域別】

- ・性別にみると、「はい」と回答した人の割合は、男性が11.2%、女性が8.0%で、男性のほうが高くなっています。
- ・年齢別にみると、「はい」と回答した人の割合は、年齢が下がるほど高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合は、桜台小学校区で17.6%と特に高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		1,358	9.3	72.2	13.5	5.0
性別	男性	544	11.2	72.6	13.4	2.8
	女性	814	8.0	71.9	13.6	6.5
年齢	65～74歳	394	16.0	60.7	21.1	2.3
	75～84歳	647	8.0	75.0	12.2	4.8
	85歳以上	316	3.2	81.0	7.0	8.9
要介護度	一般	1,021	10.8	69.7	15.3	4.2
	総合事業対象者	54	1.9	85.2	5.6	7.4
	要支援1	128	4.7	78.1	10.9	6.3
	要支援2	155	5.8	78.7	7.1	8.4
日常生活圏域	A圏域	697	10.2	70.7	13.3	5.7
	第一小学校区	80	8.8	62.5	21.3	7.5
	第二小学校区	58	5.2	70.7	13.8	10.3
	南山小学校区	208	8.7	77.4	11.1	2.9
	池の上小学校区	209	8.6	71.3	12.0	8.1
	桜台小学校区	142	17.6	64.8	14.1	3.5
	B圏域	661	8.3	73.7	13.8	4.2
	第三小学校区	155	7.7	67.7	19.4	5.2
	大山口小学校区	175	9.7	78.9	9.1	2.3
	清水口小学校区	209	5.7	75.6	12.4	6.2
	七次台小学校区	122	11.5	70.5	15.6	2.5

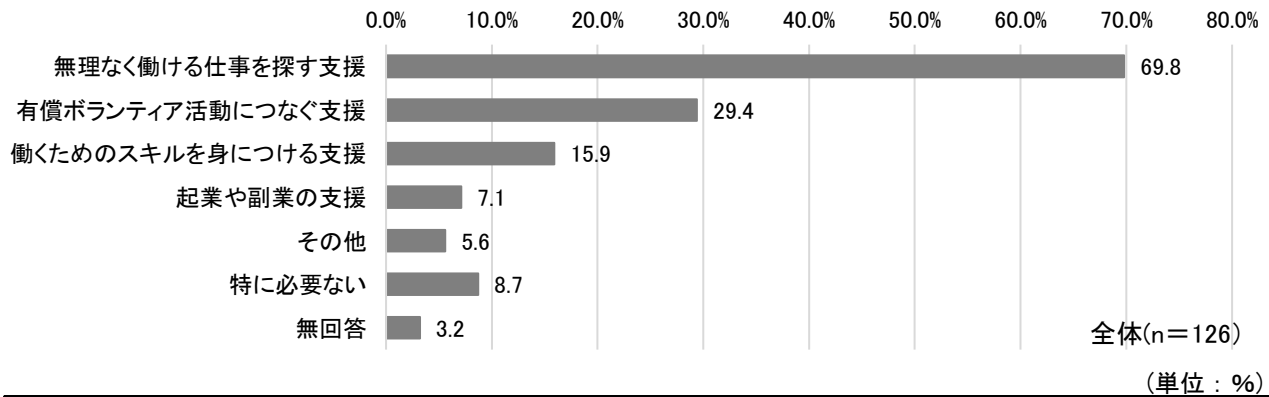
〔問8-（1）③〕（問8-（1）②で「はい（今後仕事をしてみたい）」と回答した方に）就労支援について、どのような内容に興味がありますか。（複数回答）

【全体】

- ・「無理なく働ける仕事を探す支援」が69.8%で最も高く、次いで「有償ボランティア活動につなぐ支援（29.4%）」などとなっています。

【性別】

- ・「無理なく働ける仕事を探す支援」や「有償ボランティア活動につなぐ支援」は、男性よりも女性のほうが高くなっています。一方で、男性は「働くためのスキルを身につける支援」や「起業や副業などの支援」において女性よりも高い傾向がみられます。



		件数 (n)	無理 なく 働ける 仕事 を探す 支援	有償 ボラン ティア 活動 につな ぐ支援	働く ための スキル を 身につ ける 支援	起 業 や 副業 の 支援	そ の 他	特 に 必要 ない	無 回 答
全体		126	69.8	29.4	15.9	7.1	5.6	8.7	3.2
性 別	男性	61	63.9	19.7	18.0	11.5	4.9	9.8	3.3
	女性	65	75.4	38.5	13.8	3.1	6.2	7.7	3.1
年 齢	65～74歳	63	74.6	36.5	19.0	4.8	3.2	11.1	1.6
	75～84歳	52	67.3	17.3	11.5	11.5	7.7	5.8	5.8
	85歳以上	10	50.0	40.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
要 介 護 度	一般	110	70.9	30.9	16.4	8.2	6.4	8.2	2.7
	総合事業対象者	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1	6	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	要支援2	9	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
日 常 生 活 圏 域	A圏域	71	67.6	31.0	16.9	5.6	5.6	8.5	1.4
	第一小学校区	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	第二小学校区	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南山小学校区	18	61.1	33.3	5.6	16.7	5.6	11.1	0.0
	池の上小学校区	18	55.6	22.2	22.2	5.6	11.1	5.6	5.6
	桜台小学校区	25	80.0	44.0	24.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	B圏域	55	72.7	27.3	14.5	9.1	5.5	9.1	5.5
	第三小学校区	12	58.3	25.0	8.3	0.0	8.3	25.0	16.7
	大山口小学校区	17	64.7	17.6	11.8	11.8	0.0	11.8	0.0
	清水口小学校区	12	83.3	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3
	七次台小学校区	14	85.7	35.7	28.6	14.3	7.1	0.0	0.0

9 たすけあいについて

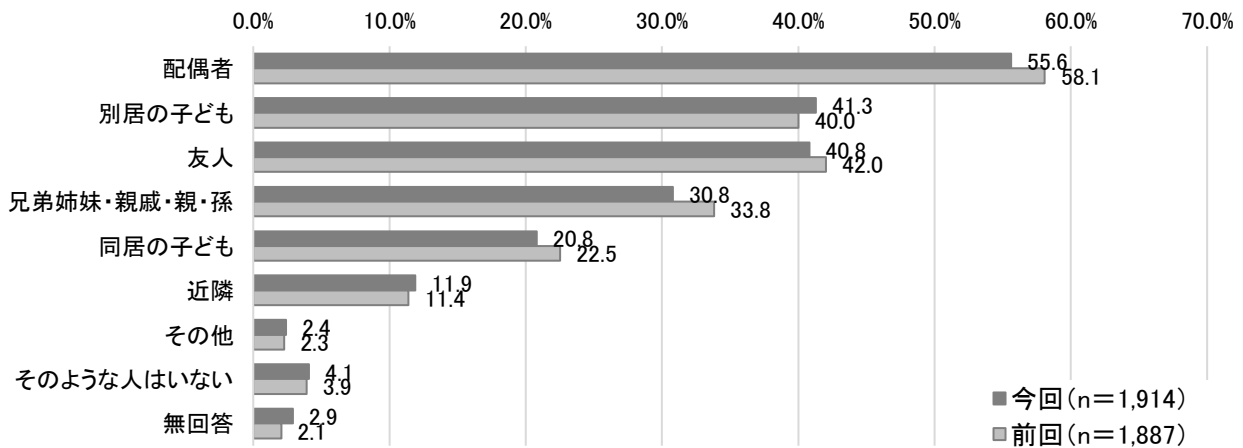
[問9-（1）] あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。（複数回答）

【全体＋前回比較】

- ・「配偶者」が55.6%で最も高く、次いで「別居の子ども（41.3%）」、「友人（40.8%）」の順となっています。
- ・前回と比較すると、「別居の子ども」や「近隣」は回答割合が上昇しましたが、「配偶者」や「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」等は回答割合が低下しました。

【性別／年齢別】

- ・性別にみると、女性は「友人（51.6%）」が最も高い割合となっています。
- ・年齢別にみると、85歳以上は「別居の子ども（42.5%）」が最も高い割合となっています。



(単位：%)

		件数 (n)	配偶者	別居の子ども	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人	無回答
全体		1,914	55.6	41.3	40.8	30.8	20.8	11.9	2.4	4.1	2.9
性別	男性	867	71.3	34.3	27.6	23.3	15.7	7.7	2.2	5.2	2.5
	女性	1,046	42.7	47.1	51.6	36.9	25.1	15.3	2.6	3.3	3.2
年齢	65～74歳	744	68.0	39.1	48.0	33.5	16.9	10.3	2.7	3.9	2.3
	75～84歳	817	55.4	42.8	40.8	29.9	20.9	13.3	2.0	3.1	3.4
	85歳以上	351	30.2	42.5	25.1	27.1	29.1	11.7	2.8	7.1	2.8
要介護度	一般	1,541	61.0	40.5	42.8	30.9	20.6	11.6	2.2	3.6	2.5
	総合事業対象者	59	20.3	44.1	47.5	35.6	13.6	23.7	1.7	10.2	3.4
	要支援1	141	37.6	42.6	31.2	31.2	22.7	7.8	1.4	5.0	5.0
	要支援2	172	34.9	46.5	27.3	27.3	23.8	13.4	5.2	6.4	4.1
日常生活圏域	A圏域	995	55.4	39.8	40.7	31.6	20.6	10.9	2.6	4.4	3.0
	第一小学校区	136	58.1	39.7	41.2	35.3	31.6	16.9	0.7	2.2	2.2
	第二小学校区	107	56.1	33.6	36.4	39.3	28.0	15.9	0.9	2.8	1.9
	南山小学校区	263	47.5	41.4	42.6	31.6	17.1	11.4	3.8	5.7	5.3
	池の上小学校区	275	52.4	45.8	41.1	29.1	14.2	9.1	3.3	4.4	2.9
	桜台小学校区	214	66.8	33.2	39.7	28.5	22.4	6.1	2.3	5.1	1.4
	B圏域	918	56.0	42.9	40.7	29.8	21.1	13.0	2.2	3.8	2.7
	第三小学校区	228	50.0	39.9	34.2	30.3	21.9	13.6	2.2	4.8	3.1
	大山口小学校区	242	61.6	43.0	40.5	36.4	22.7	13.2	1.7	3.7	2.1
	清水口小学校区	284	53.2	46.8	47.2	26.1	18.0	13.0	2.5	4.6	2.8
	七次台小学校区	164	61.0	40.2	39.0	26.2	23.2	11.6	2.4	1.2	3.0

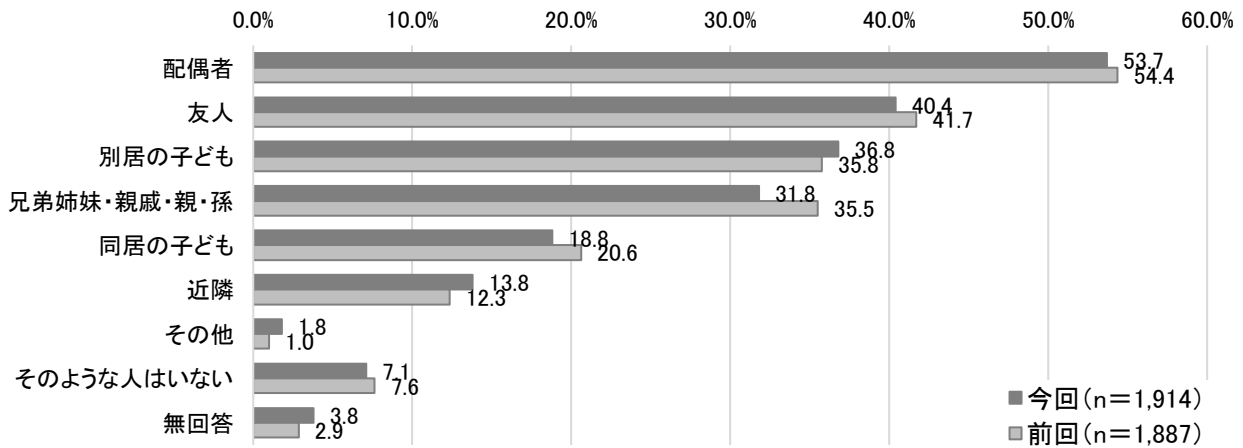
[問9-（2）] 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。（複数回答）

【全体＋前回比較】

- ・「配偶者」が53.7%で最も高く、次いで「友人（40.4%）」、「別居の子ども（36.8%）」の順となっています。
- ・前回と比較すると、「別居の子ども」や「近隣」は回答割合が上昇しましたが、「配偶者」や「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」等は回答割合が低下しました。

【性別／年齢別】

- ・性別にみると、女性は「友人」が51.6%で最も高い割合となっています。
- ・年齢別にみると、85歳以上で「そのような人はいない」が14.8%と高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,914	53.7	40.4	36.8	31.8	18.8	13.8	1.8	7.1	3.8
性別	男性	867	69.3	26.9	33.6	24.1	15.1	8.5	1.8	7.4	3.1
	女性	1,046	40.8	51.6	39.5	38.0	21.9	18.2	1.8	6.8	4.4
年齢	65～74歳	744	65.7	46.6	37.4	34.5	17.7	12.2	2.6	5.8	2.2
	75～84歳	817	54.0	39.9	38.4	31.9	19.1	15.7	1.1	4.9	4.8
	85歳以上	351	27.9	28.2	31.9	25.4	20.5	12.8	2.0	14.8	5.1
要介護度	一般	1,541	59.4	42.2	38.2	32.8	19.8	13.8	1.8	5.3	3.2
	総合事業対象者	59	18.6	50.8	32.2	27.1	6.8	23.7	0.0	16.9	5.1
	要支援1	141	32.6	33.3	29.8	25.5	14.9	8.5	2.1	13.5	7.1
	要支援2	172	32.6	26.7	32.0	28.5	17.4	15.1	2.3	14.0	6.4
日常生活圏域	A圏域	995	53.3	40.3	35.0	33.5	19.2	12.6	2.0	7.3	4.2
	第一小学校区	136	52.9	40.4	26.5	38.2	26.5	16.9	0.7	6.6	5.1
	第二小学校区	107	51.4	32.7	27.1	40.2	22.4	17.8	1.9	5.6	7.5
	南山小学校区	263	46.8	41.1	38.8	31.6	17.9	12.9	2.3	9.5	6.1
	池の上小学校区	275	51.3	44.4	40.4	32.7	13.8	10.9	2.9	6.5	2.5
	桜台小学校区	214	65.0	37.9	32.7	30.4	21.5	8.9	1.4	7.0	1.9
	B圏域	918	54.2	40.5	38.8	29.8	18.4	15.1	1.6	6.8	3.4
	第三小学校区	228	47.8	34.6	34.2	26.3	18.4	15.4	1.3	11.0	4.4
	大山口小学校区	242	59.9	40.1	40.9	38.8	20.7	15.3	0.8	5.4	3.3
	清水口小学校区	284	51.1	48.6	42.6	26.8	14.4	16.2	2.1	6.3	2.5
	七次台小学校区	164	60.4	35.4	35.4	26.8	22.0	12.8	2.4	3.7	3.7

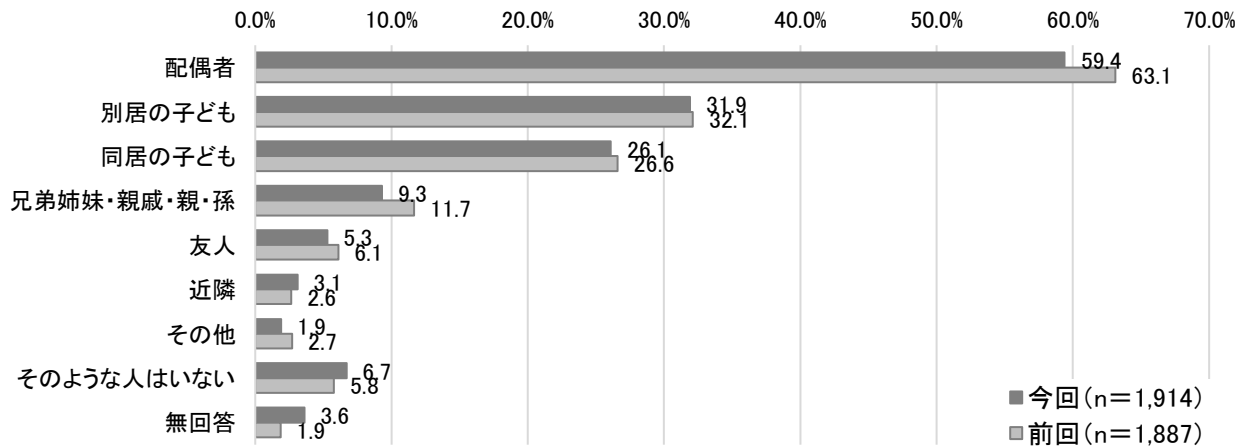
〔問9-（3）〕 あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人。（複数回答）

【全体+前回比較】

- ・「配偶者」が59.4%で最も高く、次いで「別居の子ども(31.9%)」、「同居の子ども(26.1%)」の順となっています。
- ・前回と比較すると、全体的に回答割合が低下した一方、「そのような人はいない」の回答割合はやや上昇しました。

【性別／要介護度別】

- ・男性は「配偶者」が74.6%である一方、女性では46.7%となっています。
- ・要介護度別にみると、総合事業対象者や要支援2の方で「そのような人はいない」が比較的高くなっています。



(単位：％)

		件数 (n)	配偶者	別居 の子ども	同居 の子ども	兄弟 姉妹・親 戚・親・孫	友人	近隣	その他	そ の よ う な 人	無 回 答
全体		1,914	59.4	31.9	26.1	9.3	5.3	3.1	1.9	6.7	3.6
性別	男性	867	74.6	25.3	20.4	7.4	1.7	1.6	1.7	6.2	3.0
	女性	1,046	46.7	37.5	30.8	10.9	8.2	4.3	2.1	7.2	4.0
年齢	65～74歳	744	73.7	25.4	22.2	10.2	4.2	2.6	0.7	6.0	2.6
	75～84歳	817	58.9	34.4	25.7	8.7	5.6	3.3	2.0	5.8	4.4
	85歳以上	351	30.2	40.2	35.3	8.8	6.8	3.7	4.3	10.3	3.7
要介護度	一般	1,541	65.2	30.3	26.0	9.1	4.2	2.5	1.3	5.6	3.4
	総合事業対象者	59	20.3	44.1	16.9	15.3	20.3	15.3	0.0	15.3	3.4
	要支援1	141	39.0	36.9	26.2	9.9	6.4	2.8	5.7	6.4	5.0
	要支援2	172	36.6	38.4	30.2	8.7	9.3	4.7	5.2	14.0	3.5
日常生活圏域	A圏域	995	60.4	28.7	26.0	10.9	4.7	3.3	2.4	6.1	3.8
	第一小学校区	136	58.8	27.2	36.8	13.2	3.7	2.2	2.2	4.4	5.1
	第二小学校区	107	58.9	29.9	38.3	16.8	1.9	2.8	0.9	2.8	5.6
	南山小学校区	263	52.9	32.3	22.8	9.9	7.6	4.6	2.3	6.8	5.3
	池の上小学校区	275	58.5	28.0	18.5	9.5	6.9	5.5	4.4	8.7	3.3
	桜台小学校区	214	73.8	25.7	26.6	9.3	0.5	0.0	0.9	4.7	0.9
	B圏域	918	58.2	35.4	26.1	7.6	5.9	2.8	1.4	7.4	3.3
	第三小学校区	228	56.6	35.1	28.5	7.0	4.4	3.1	2.2	8.3	4.8
	大山口小学校区	242	60.7	32.2	28.1	5.4	5.0	2.1	0.8	8.7	2.5
	清水口小学校区	284	54.6	42.3	22.2	8.1	9.2	3.5	1.8	7.0	3.2
	七次台小学校区	164	62.8	28.7	26.8	11.0	3.7	2.4	0.6	4.9	2.4

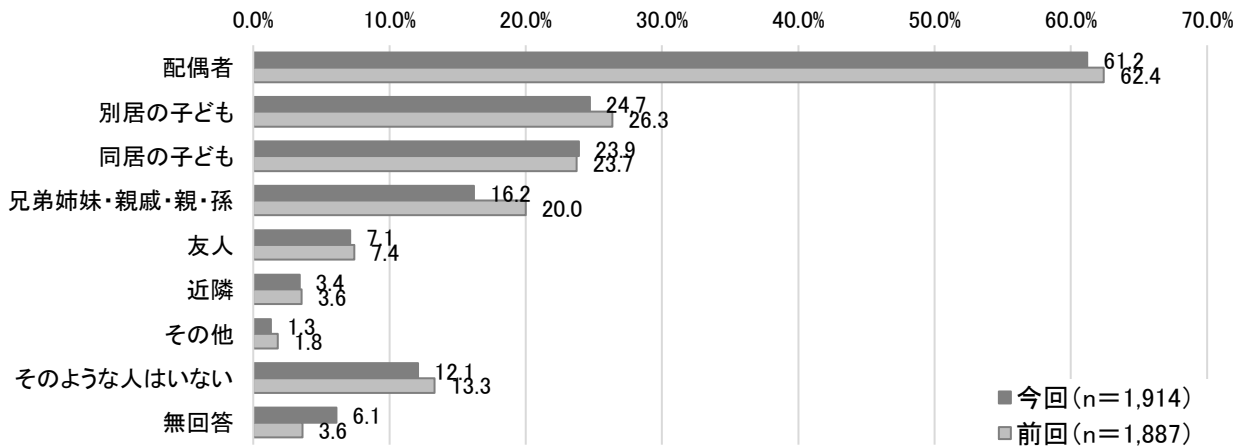
[問9-（4）] 反対に、あなたが看病や世話をしあける人。（複数回答）

【全体+前回比較】

- ・「配偶者」が61.2%で最も高く、次いで「別居の子ども(24.7%)」、「同居の子ども(23.9%)」の順となっています。
- ・前回と比較すると、「同居の子ども」は回答割合がわずかに上昇しましたが、それ以外は回答割合が低下しました。

【年齢別／要介護度別】

- ・年齢別にみると、85歳以上では「そのような人はいない」が25.6%と高くなっています。
- ・要介護度別にみると、総合事業対象者では「友人（22.0%）」や「近隣（11.9%）」が比較的高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	配偶者	別居の 子ども	同居の 子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	友人	近 隣	そ 他	そ の よ う な 人	無 回 答
全体		1,914	61.2	24.7	23.9	16.2	7.1	3.4	1.3	12.1	6.1
性別	男性	867	73.0	20.6	19.8	12.8	2.8	1.5	0.7	11.6	4.3
	女性	1,046	51.4	28.1	27.2	19.0	10.7	5.0	1.8	12.5	7.6
年齢	65～74歳	744	74.5	28.5	23.1	21.4	6.6	3.4	0.5	8.5	3.1
	75～84歳	817	62.1	25.2	25.2	15.1	7.0	3.9	1.3	9.7	6.4
	85歳以上	351	31.3	15.7	22.5	8.0	8.3	2.3	2.8	25.6	11.7
要介護度	一般	1,541	67.1	27.4	25.4	17.9	6.7	3.3	0.8	8.6	5.1
	総合事業対象者	59	25.4	18.6	10.2	11.9	22.0	11.9	1.7	25.4	15.3
	要支援1	141	40.4	12.8	21.3	12.1	6.4	2.8	2.1	23.4	6.4
	要支援2	172	37.8	12.8	17.4	5.8	5.8	1.7	4.7	30.2	11.0
日常生活圏域	A圏域	995	60.6	23.0	23.5	17.0	6.8	3.5	1.3	12.1	6.7
	第一小学校区	136	61.8	17.6	36.0	22.1	4.4	1.5	1.5	13.2	5.1
	第二小学校区	107	62.6	18.7	28.0	23.4	2.8	1.9	0.9	9.3	9.3
	南山小学校区	263	54.4	22.8	20.9	14.4	8.4	4.2	0.8	13.7	10.6
	池の上小学校区	275	56.4	26.2	17.1	14.2	11.3	5.8	2.5	11.6	6.2
	桜台小学校区	214	72.0	24.8	24.8	17.3	2.8	1.9	0.5	11.2	2.3
	B圏域	918	61.9	26.6	24.3	15.4	7.4	3.3	1.3	12.2	5.3
	第三小学校区	228	60.1	25.0	24.6	13.2	5.7	2.6	0.9	16.2	6.1
	大山口小学校区	242	65.3	25.2	28.5	19.4	7.4	4.1	2.1	7.9	5.8
	清水口小学校区	284	57.0	32.0	20.4	14.4	10.6	3.2	1.4	13.4	5.3
	七次台小学校区	164	67.7	21.3	24.4	14.0	4.3	3.0	0.6	11.0	3.7

【うつリスクとの関係】

- ・生活機能評価におけるうつリスク（詳細は P111 を参照）との関係をみると、うつリスクありに該当する人は、「心配事や愚痴を聞いてもらう・聞いてあげる」といった情緒的サポートについて、全体よりも低い結果となっています。
- ・一方で、「看病や世話をしてもらう・してあげる」といった手段的サポートについては、全体との差異は数ポイントにとどまっています。

問9-(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人【情緒的サポート・受領】

(単位: %)

	件数 (n)	配偶者	別居の子ども	友人	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	その ような 人 はい ない	無 回 答
全体	1,914	55.6	41.3	40.8	30.8	20.8	11.9	2.4	4.1	2.9
うつリスクあり	709	33.8	26.6	27.2	21.2	13.1	7.8	1.9	4.0	0.4
差異⇒		21.8	14.7	13.5	9.6	7.8	4.1	0.5	0.1	2.5

問9-(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人【情緒的サポート・提供】

(単位: %)

	件数 (n)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	その ような 人 はい ない	無 回 答
全体	1,914	53.7	40.4	36.8	31.8	18.8	13.8	1.8	7.1	3.8
うつリスクあり	709	32.2	26.8	22.3	21.6	11.4	9.0	1.6	7.0	1.4
差異⇒		21.5	13.7	14.4	10.2	7.4	4.8	0.2	0.0	2.4

問9-(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人【手段的サポート・受領】

(単位: %)

	件数 (n)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	友人	近隣	その他	その ような 人 はい ない	無 回 答
全体	1,914	59.4	31.9	26.1	9.3	5.3	3.1	1.9	6.7	3.6
うつリスクあり	709	55.0	29.9	25.4	10.4	5.6	3.5	2.1	10.4	1.8
差異⇒		4.3	2.0	0.7	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 3.7	1.7

問9-(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人【手段的サポート・提供】

(単位: %)

	件数 (n)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	友人	近隣	その他	その ような 人 はい ない	無 回 答
全体	1,914	61.2	24.7	23.9	16.2	7.1	3.4	1.3	12.1	6.1
うつリスクあり	709	58.3	22.1	23.1	15.2	7.8	3.1	1.7	14.2	4.7
差異⇒		3.0	2.6	0.7	1.0	▲ 0.7	0.3	▲ 0.4	▲ 2.1	1.4

[問9-（5）] 日常的に困っていることはありますか。（複数回答）

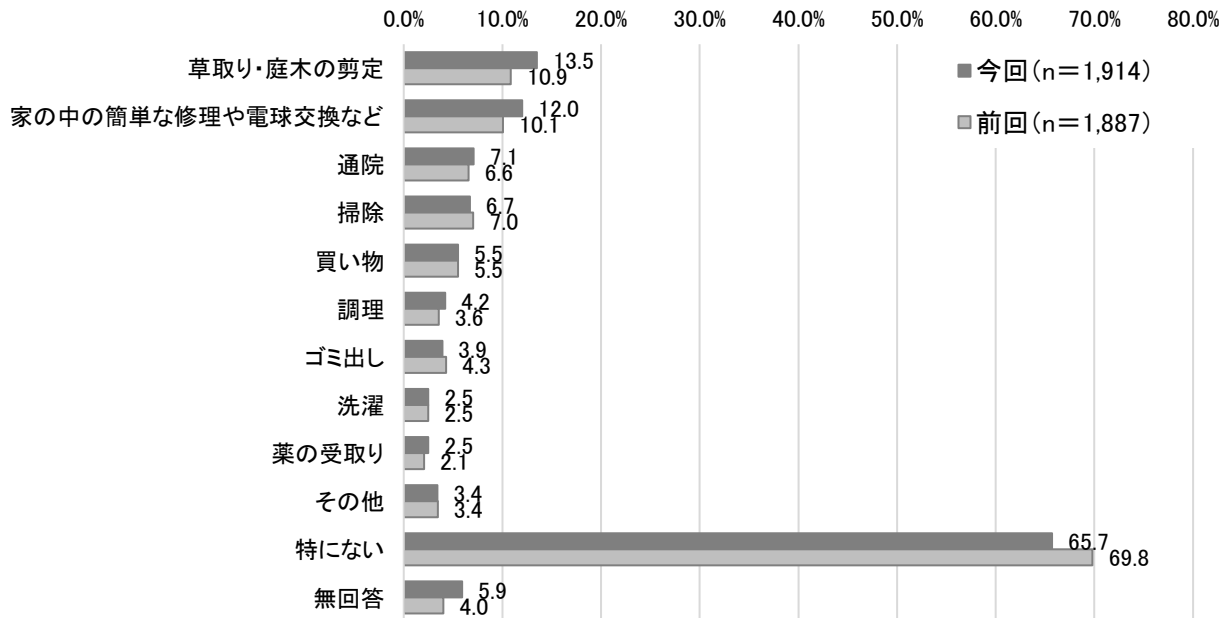
【全体＋前回比較】

・「特にない（65.7%）」を除くと、「草取り・庭木の剪定（13.5%）」、「家の中の簡単な修理や電球交換など（12.0%）」、「通院（7.1%）」などとなっています。

【性別／要介護度別】

・全体的に男性よりも女性のほうが高く、特に「家の中の簡単な修理や電球交換など」は男性に比べて10.5ポイント、「草取り・庭木の選定」は3.4ポイント高くなっています。

・要介護度別にみると、要支援2の方では、通院（29.1%）、掃除（28.5%）、草取り・庭木の剪定（26.7%）、買い物（24.4%）、ゴミ出し（22.7%）等も2割を超えています。



※その他の内訳：断捨離、家の整理整頓、高いところの掃除、デジタル機器の操作等

(単位：%)

		件数 (n)	草 取り ・ 庭 木 の 剪 定	家 の中 の 簡 単 な 修 理 や 電 球 交 換 な ど	通 院	掃 除	買 い 物	調 理
全体		1,914	13.5	12.0	7.1	6.7	5.5	4.2
性別	男性	867	11.6	6.2	6.7	5.5	4.4	5.0
	女性	1,046	15.0	16.7	7.5	7.6	6.4	3.5
年齢	65～74歳	744	9.9	4.4	2.8	3.6	1.5	1.5
	75～84歳	817	14.2	13.8	8.0	6.4	5.8	4.4
	85歳以上	351	19.4	23.6	14.2	14.0	13.4	9.4
要介護度	一般	1,541	11.4	6.6	3.7	3.4	2.1	2.0
	総合事業対象者	59	18.6	44.1	10.2	16.9	20.3	11.9
	要支援1	141	18.4	27.0	16.3	12.1	13.5	7.1
	要支援2	172	26.7	37.2	29.1	28.5	24.4	18.6
日常生活圏域	A圏域	995	11.9	10.9	6.7	6.2	5.4	3.5
	第一小学校区	136	20.6	8.8	5.1	7.4	2.2	2.2
	第二小学校区	107	15.9	8.4	8.4	7.5	8.4	1.9
	南山小学校区	263	6.8	15.6	8.0	7.6	7.2	4.9
	池の上小学校区	275	12.0	10.2	5.5	4.7	4.7	3.3
	桜台小学校区	214	10.3	8.4	7.0	5.1	4.7	3.7
	B圏域	918	15.3	13.2	7.5	7.2	5.6	4.9
	第三小学校区	228	14.0	11.0	8.3	7.9	4.4	4.8
	大山口小学校区	242	16.1	10.7	5.8	6.2	4.1	5.0
	清水口小学校区	284	14.1	15.1	6.3	6.7	4.9	4.2
	七次台小学校区	164	17.7	16.5	11.0	8.5	10.4	6.1

3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

（単位：％）

		件数 (n)	ゴミ 出し	そ の 他	洗 濯	薬の 受取 り	特 に な い	無 回 答
全体		1,914	3.9	3.5	2.5	2.5	65.7	5.9
性別	男性	867	2.3	2.9	3.0	1.7	72.0	4.5
	女性	1,046	5.2	3.9	2.0	3.1	60.4	7.0
年齢	65～74歳	744	1.1	3.1	0.7	0.4	76.9	4.0
	75～84歳	817	4.3	3.7	2.2	3.2	63.4	6.7
	85歳以上	351	8.8	3.7	6.8	5.1	47.0	7.7
要介護度	一般	1,541	1.4	2.6	1.1	0.7	73.7	5.3
	総合事業対象者	59	10.2	10.2	5.1	3.4	0.0	11.9
	要支援1	141	5.7	5.0	5.0	6.4	36.9	9.2
	要支援2	172	22.7	7.6	11.6	14.5	33.7	6.4
日常生活圏域	A圏域	995	3.6	3.2	2.3	2.4	66.8	5.9
	第一小学校区	136	5.1	2.2	1.5	0.0	64.0	4.4
	第二小学校区	107	3.7	1.9	2.8	4.7	63.6	9.3
	南山小学校区	263	3.8	4.2	3.0	3.4	62.7	7.6
	池の上小学校区	275	3.6	3.6	2.9	2.9	69.1	5.1
	桜台小学校区	214	2.3	2.8	0.9	0.9	72.4	4.2
	B圏域	918	4.1	3.7	2.6	2.5	64.4	5.8
	第三小学校区	228	5.7	3.1	3.5	2.6	68.0	7.0
	大山口小学校区	242	2.9	4.1	2.5	2.1	66.5	3.7
	清水口小学校区	284	3.5	3.5	2.5	1.1	61.3	6.7
	七次台小学校区	164	4.9	4.3	1.8	5.5	61.6	5.5

【家族構成（問1-（1））との関係】

・家族構成別にみると、1人暮らしの方では、「洗濯」と「特にない」を除く全ての項目で高く、特に「家の中の簡単な修理や電球交換など」は全体よりも12.8ポイント高くなっています。

（単位：％）

	件数 (n)	草取り・庭木の剪定	家の中の簡単な修理や電球交換など	通院	掃除	買い物	調理	ゴミ出し	その他	洗濯	薬の受取り	特にない	無回答
全体	1,881	13.5	11.9	7.1	6.6	5.4	4.1	3.8	3.3	2.4	2.4	66.0	5.5
1人暮らし	376	16.8	24.7	9.0	10.6	8.5	4.5	6.9	4.3	2.1	2.7	51.9	5.3
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	823	11.5	9.6	7.7	5.2	4.9	4.1	3.3	3.4	2.3	2.1	69.9	5.2
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	63	14.3	1.6	3.2	3.2	0.0	1.6	0.0	3.2	0.0	0.0	76.2	3.2
息子・娘との2世帯	342	15.5	7.3	6.7	7.6	5.8	5.0	3.5	1.5	3.2	3.2	66.4	7.3
その他	277	12.3	9.4	4.3	5.1	3.6	3.2	2.5	4.3	2.5	2.5	70.8	4.7

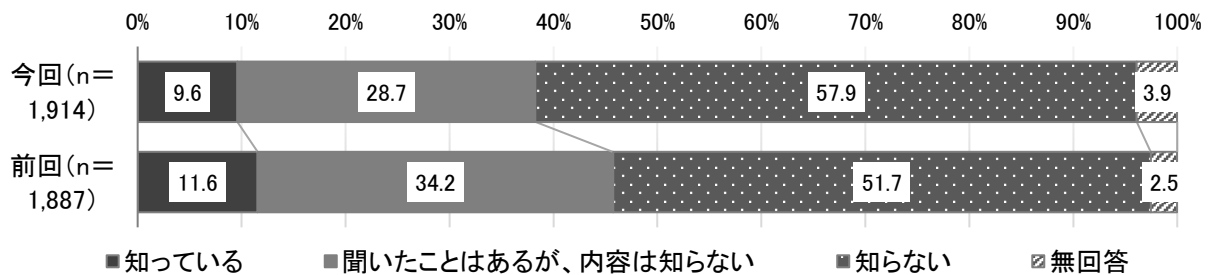
[問9-（6）] 生活支援コーディネーターについて知っていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「知らない」が 57.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない(28.7%)」となっています。
- ・「知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた割合は 38.3%と、前回の 45.8%から 7.5 ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「知らない」と回答した人の割合は、男性が 64.6%、女性が 52.4%で、男性のほうが高くなっています。
- ・要介護度別にみると、総合事業対象者及び要支援 1、2 の方では「知っている」と回答した人の割合が全体を上回っています。



(単位：%)

		件数 (n)	知 っ て い る	あ る が、 こ の 内 容 は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全体		1,914	9.6	28.7	57.9	3.9
性別	男性	867	6.7	26.2	64.6	2.5
	女性	1,046	11.9	30.8	52.4	5.0
年齢	65～74歳	744	8.6	27.3	61.6	2.6
	75～84歳	817	9.1	32.4	54.1	4.4
	85歳以上	351	12.5	23.1	59.0	5.4
要介護度	一般	1,541	8.2	30.4	58.2	3.2
	総合事業対象者	59	20.3	22.0	52.5	5.1
	要支援 1	141	13.5	25.5	53.2	7.8
	要支援 2	172	14.0	18.6	61.0	6.4
日常生活圏域	A圏域	995	9.6	29.3	56.9	4.1
	第一小学校区	136	12.5	26.5	57.4	3.7
	第二小学校区	107	7.5	32.7	53.3	6.5
	南山小学校区	263	12.5	25.9	55.1	6.5
	池の上小学校区	275	8.7	34.2	54.2	2.9
	桜台小学校区	214	6.5	27.6	64.0	1.9
	B圏域	918	9.4	28.0	59.0	3.6
	第三小学校区	228	7.0	25.9	63.6	3.5
	大山口小学校区	242	11.2	30.2	55.4	3.3
	清水口小学校区	284	9.5	26.4	59.5	4.6
	七次台小学校区	164	9.8	30.5	57.3	2.4

10 健康について

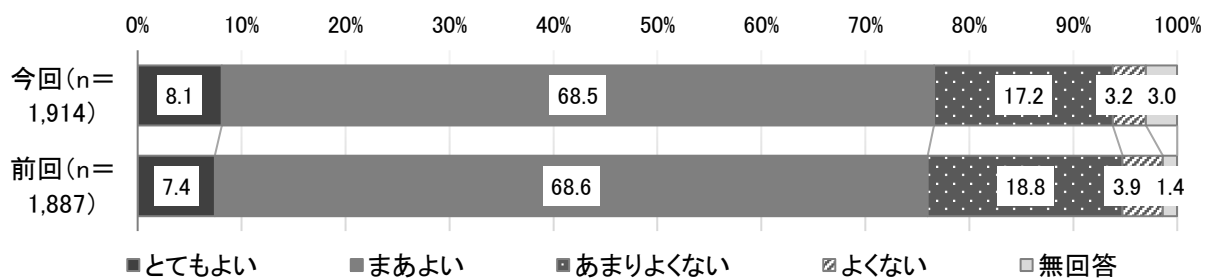
〔問10-（1）〕 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「まあよい」が68.5%で最も高く、次いで「あまりよくない(17.2%)」、「とてもよい(8.1%)」の順となっています。
- ・「とてもよい」と回答した人の割合は前回の7.4%から0.7ポイント上昇した一方、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合は20.4%と、前回の22.7%から2.3ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合は、男性が21.1%、女性が19.9%と、男性が女性をやや上回っています。
- ・要介護度別にみると、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合は、要支援2の方では51.2%と過半数を占めています。

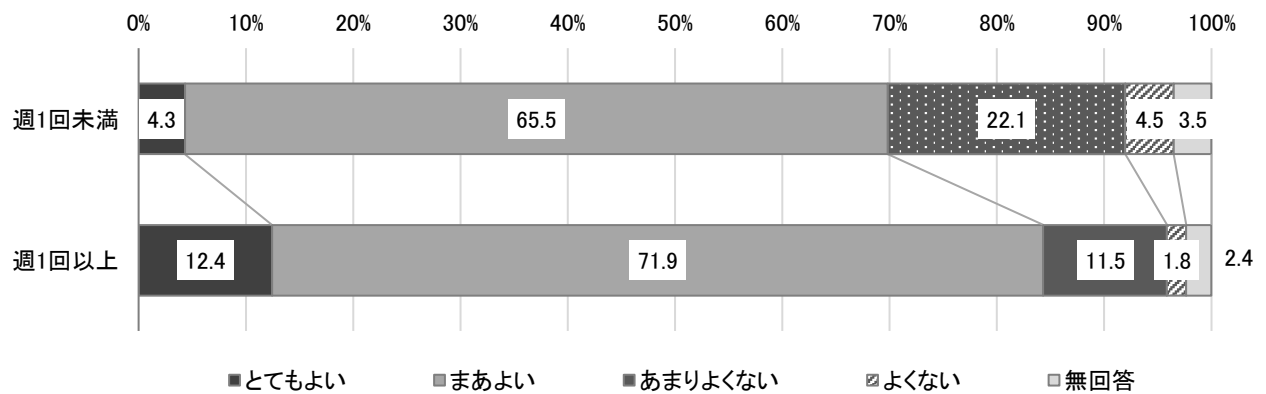


（単位：％）

		件数 (n)	とても よい	まあ よい	よく ない あまり	よく ない	無 回 答
全体		1,914	8.1	68.5	17.2	3.2	3.0
性別	男性	867	8.4	68.1	17.6	3.5	2.4
	女性	1,046	7.7	68.9	16.8	3.1	3.4
年齢	65～74歳	744	11.7	71.2	13.0	1.9	2.2
	75～84歳	817	6.2	68.4	18.8	2.8	3.7
	85歳以上	351	4.3	63.2	22.2	7.1	3.1
要介護度	一般	1,541	9.7	72.8	13.4	1.5	2.6
	総合事業対象者	59	1.7	59.3	25.4	10.2	3.4
	要支援1	141	1.4	56.7	30.5	6.4	5.0
	要支援2	172	1.2	43.0	37.2	14.0	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	8.3	66.8	18.4	3.2	3.2
	第一小学校区	136	4.4	65.4	23.5	5.1	1.5
	第二小学校区	107	4.7	74.8	17.8	0.0	2.8
	南山小学校区	263	6.8	63.5	20.9	2.7	6.1
	池の上小学校区	275	11.3	64.4	17.8	3.6	2.9
	桜台小学校区	214	10.7	71.0	13.1	3.7	1.4
	B圏域	918	7.7	70.4	15.9	3.3	2.7
	第三小学校区	228	9.2	63.6	21.1	2.6	3.5
	大山口小学校区	242	7.0	74.4	13.2	3.7	1.7
	清水口小学校区	284	6.7	72.5	13.7	3.9	3.2
	七次台小学校区	164	8.5	70.1	16.5	2.4	2.4

【社会参加率との関係】

・社会参加率が低い（週 1 回未満）層に比べ、社会参加率が高い（週 1 回以上）層では、「とてもよい」と回答した人の割合は 8.1 ポイント高く、「まあよい」と回答した人の割合は 6.4 ポイント高くなっています。



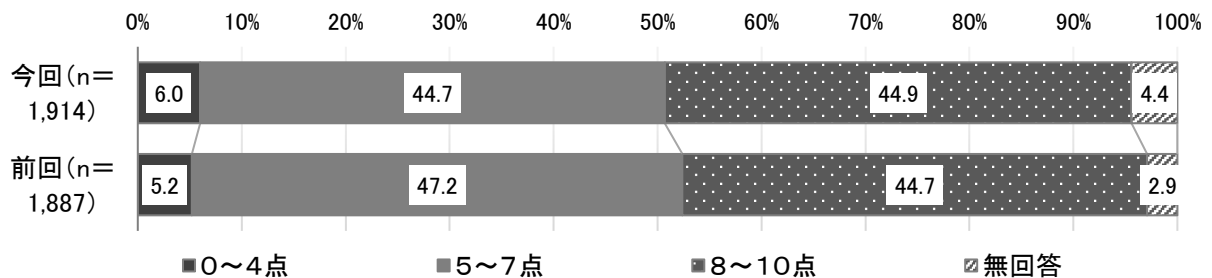
[問10-（2）] あなたは、現在どの程度幸せですか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・回答割合が最も高かったのは「8～10点（44.9%）」、次いで「5～7点（44.7%）」、「0～4点（6.0%）」となっています。
- ・前回と比較すると、「8～10点（幸せ度が高い層）」は前回の44.7%から0.2ポイント上昇しています。一方で「0～4点（幸せ度が低い層）」も0.8ポイント上昇しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・「8～10点」は、男性（40.3%）よりも女性（48.5%）のほうが高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「8～10点」は、桜台小学校区で51.0%と特に高くなっています。

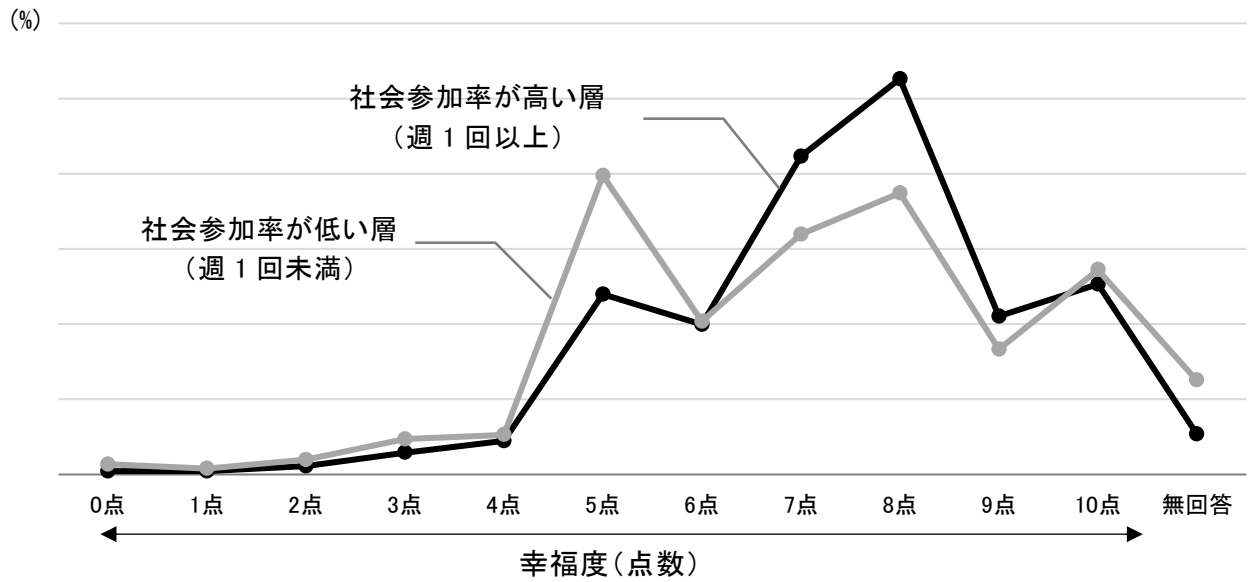


（単位：％）

		件数 (n)	0 ～ 4 点	5 ～ 7 点	8 ～ 1 0 点	無 回 答
全体		1,914	6.0	44.7	44.9	4.4
性別	男性	867	7.1	49.7	40.3	3.0
	女性	1,046	5.1	40.4	48.5	5.7
年齢	65～74歳	744	5.3	42.8	48.9	3.1
	75～84歳	817	6.5	48.1	39.8	5.5
	85歳以上	351	6.4	40.8	47.6	5.1
要介護度	一般	1,541	5.3	43.6	47.0	4.1
	総合事業対象者	59	8.5	45.7	39.0	5.1
	要支援1	141	7.0	48.9	36.9	6.4
	要支援2	172	11.1	49.4	33.1	6.4
日常生活圏域	A圏域	995	5.9	43.6	45.2	5.0
	第一小学校区	136	3.6	49.9	44.2	2.2
	第二小学校区	107	4.6	48.6	42.1	4.7
	南山小学校区	263	9.1	40.3	43.7	6.5
	池の上小学校区	275	5.7	44.7	44.1	5.1
	桜台小学校区	214	4.3	39.6	51.0	5.1
	B圏域	918	6.0	45.7	44.3	3.9
	第三小学校区	228	7.8	45.2	42.0	4.8
	大山口小学校区	242	5.4	47.1	43.4	4.1
	清水口小学校区	284	6.1	45.1	45.4	3.5
	七次台小学校区	164	4.2	45.7	46.9	3.0

【社会参加率との関係】

・社会参加率が低い（週1回未満）層に比べ、社会参加率が高い（週1回以上）層では、7点や8点の割合が高くなっており、幸福度が比較的高い傾向がみられます。



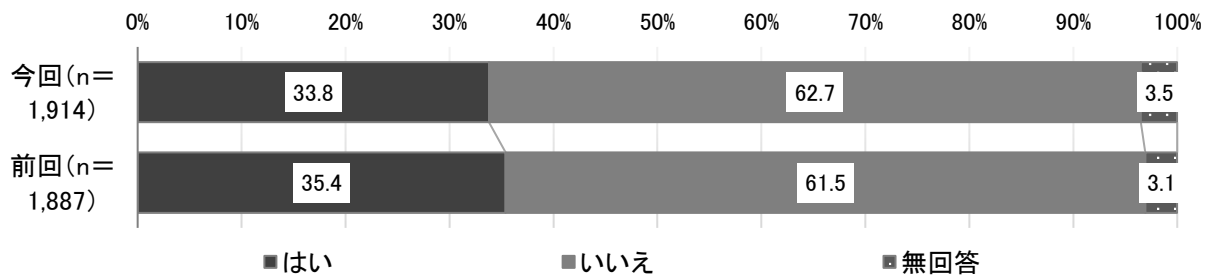
〔問10-（3）〕 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「はい（この1か月間に気分が沈んだりゆううつな気持ちになったことがあった）」が33.8%、「いいえ」が62.7%となっています。
- ・「はい」と回答した人の割合は、前回の35.4%から1.6ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が29.2%、女性が37.6%で、女性の方が高くなっています。
- ・要介護度別では、「はい」と回答した割合は、総合事業対象者や要支援1、2の方は一般の方（30.2%）に比べて約15～20ポイント高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	33.8	62.7	3.5
性別	男性	867	29.2	68.1	2.8
	女性	1,046	37.6	58.3	4.1
年齢	65～74歳	744	32.4	64.8	2.8
	75～84歳	817	34.6	60.8	4.5
	85歳以上	351	34.8	62.7	2.6
要介護度	一般	1,541	30.2	66.7	3.1
	総合事業対象者	59	54.2	39.0	6.8
	要支援1	141	44.0	50.4	5.7
	要支援2	172	50.6	45.3	4.1
日常生活圏域	A圏域	995	35.3	61.1	3.6
	第一小学校区	136	38.2	57.4	4.4
	第二小学校区	107	30.8	64.5	4.7
	南山小学校区	263	37.3	57.4	5.3
	池の上小学校区	275	37.5	60.0	2.5
	桜台小学校区	214	30.4	67.8	1.9
	B圏域	918	32.1	64.5	3.4
	第三小学校区	228	25.4	69.7	4.8
	大山口小学校区	242	33.5	63.6	2.9
	清水口小学校区	284	34.2	62.7	3.2
	七次台小学校区	164	36.0	61.6	2.4

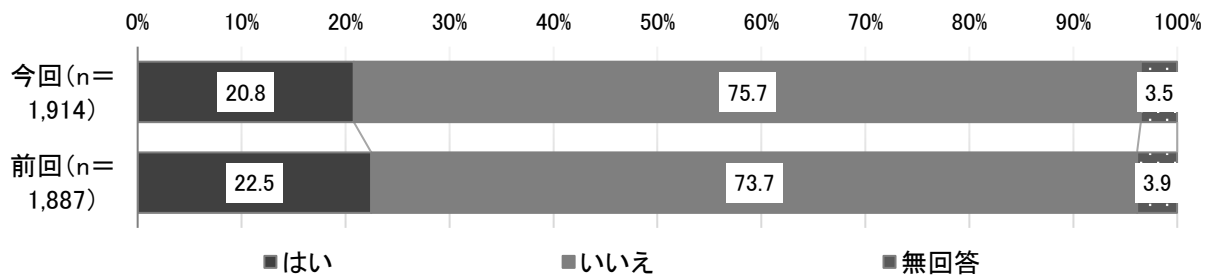
[問10-(4)] この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「はい（この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった）」が20.8%、「いいえ」が75.7%となっています。
- ・「はい」と回答した人の割合は、前回の22.5%から1.7ポイント低下しています。

【性別／要介護度別】

- ・「はい」と回答した人の割合は、男性が19.6%、女性が21.8%で、女性の方がやや高くなっています。
- ・要介護度別では、「はい」と回答した割合は、総合事業対象者や要支援1、2の方は一般の方（17.6%）に比べて10ポイント以上高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		1,914	20.8	75.7	3.5
性別	男性	867	19.6	77.6	2.8
	女性	1,046	21.8	74.1	4.1
年齢	65～74歳	744	17.7	80.0	2.3
	75～84歳	817	22.2	73.6	4.3
	85歳以上	351	24.2	71.5	4.3
要介護度	一般	1,541	17.6	79.1	3.3
	総合事業対象者	59	42.4	54.2	3.4
	要支援1	141	29.1	66.7	4.3
	要支援2	172	35.5	59.9	4.7
日常生活圏域	A圏域	995	21.7	74.5	3.8
	第一小学校区	136	25.0	72.8	2.2
	第二小学校区	107	21.5	71.0	7.5
	南山小学校区	263	24.7	70.0	5.3
	池の上小学校区	275	18.9	77.8	3.3
	桜台小学校区	214	19.6	78.5	1.9
	B圏域	918	19.8	77.0	3.2
	第三小学校区	228	19.3	76.3	4.4
	大山口小学校区	242	19.8	76.9	3.3
	清水口小学校区	284	21.1	76.4	2.5
	七次台小学校区	164	18.3	79.3	2.4

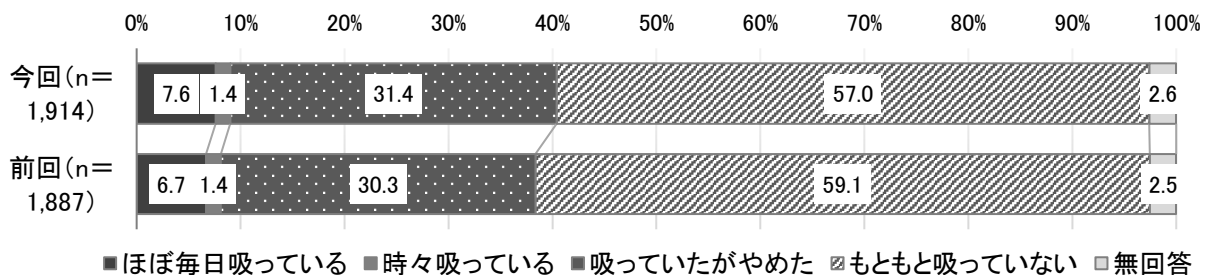
【問10-（5）】 タバコは吸っていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「もともと吸っていない」が57.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」（31.4%）、「ほぼ毎日吸っている」（7.6%）の順となっています。
- ・「ほぼ毎日吸っている」は前回の6.7%から0.9ポイント上昇している一方、「吸っていたがやめた」は前回の30.3%から1.1ポイント上昇しています。

【性別／要介護度別／日常生活圏域別】

- ・「ほぼ毎日吸っている」と回答した人の割合は、男性が13.0%、女性が3.1%で、男性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と回答した人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなっています。
- ・日常生活圏域別では、「ほぼ毎日吸っている」と回答した人の割合は、第三小学校区（12.3%）や第一小学校区（11.8%）でやや高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	吸 っ て い る ほ ぼ 毎 日	時 々 吸 っ て い る	吸 っ て い た が や め た	吸 っ て い な い も と も と	無 回 答
全体		1,914	7.6	1.4	31.4	57.0	2.6
性 別	男性	867	13.0	2.0	56.4	26.4	2.2
	女性	1,046	3.1	1.0	10.7	82.3	3.0
年 齢	65～74歳	744	11.4	1.3	33.2	52.2	1.9
	75～84歳	817	6.4	1.8	31.6	57.4	2.8
	85歳以上	351	2.3	0.6	27.4	66.1	3.7
要 介 護 度	一般	1,541	8.2	1.5	32.4	55.6	2.2
	総合事業対象者	59	6.8	0.0	11.9	74.6	6.8
	要支援1	141	4.3	1.4	29.1	61.0	4.3
	要支援2	172	4.7	1.2	30.8	59.9	3.5
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	6.6	1.5	31.8	57.4	2.7
	第一小学校区	136	11.8	2.2	35.3	48.5	2.2
	第二小学校区	107	6.5	3.7	25.2	61.7	2.8
	南山小学校区	263	7.6	0.8	31.2	55.5	4.9
	池の上小学校区	275	4.4	0.0	32.4	61.5	1.8
	桜台小学校区	214	5.1	2.8	32.7	57.9	1.4
	B圏域	918	8.6	1.3	31.0	56.5	2.5
	第三小学校区	228	12.3	1.3	32.9	49.6	3.9
	大山口小学校区	242	5.4	0.4	31.0	61.2	2.1
	清水口小学校区	284	8.8	1.4	28.9	58.8	2.1
	七次台小学校区	164	7.9	2.4	32.3	55.5	1.8

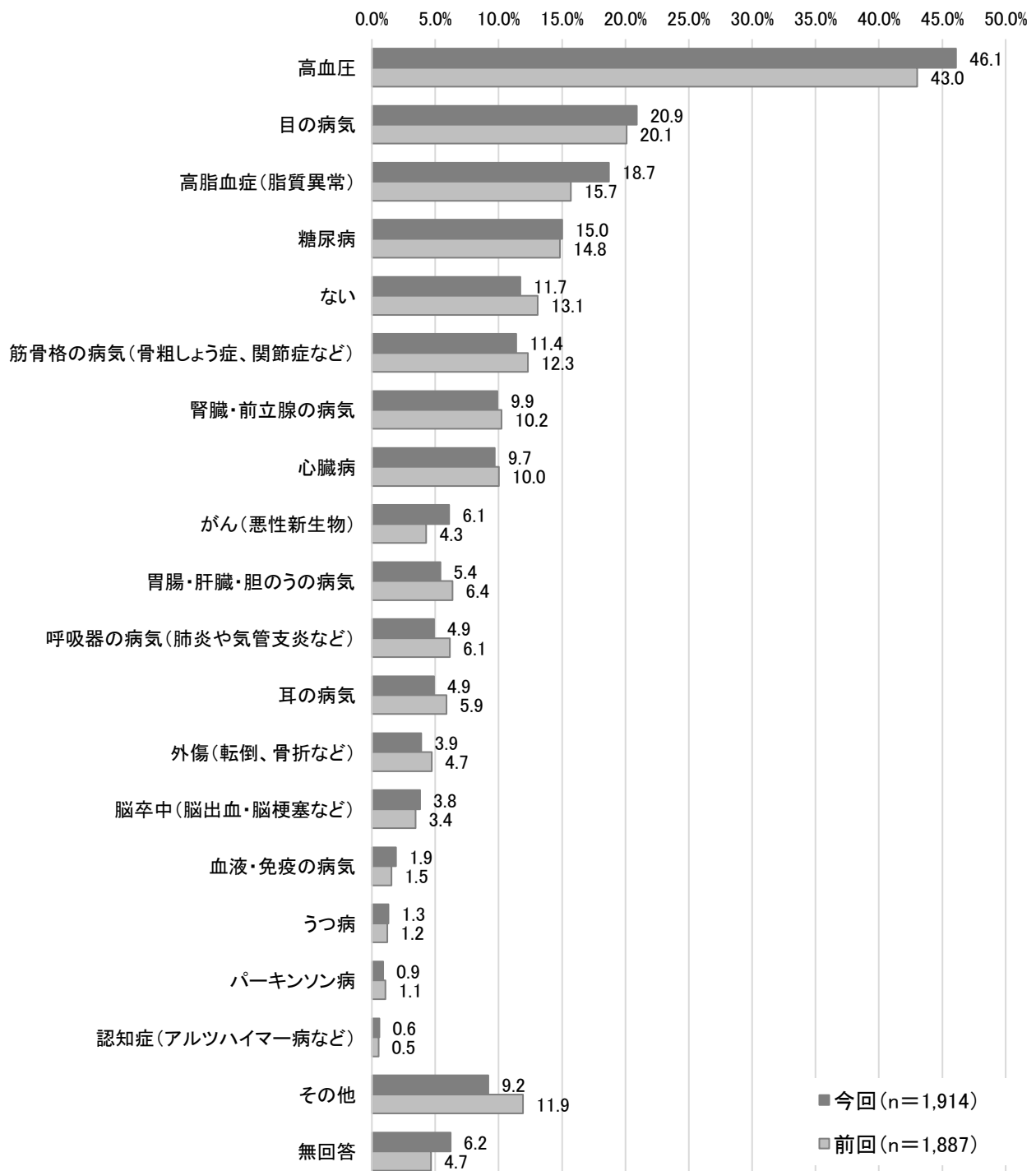
[問10-（6）] 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（複数回答）

【全体＋前回比較】

- ・「高血圧」が46.1%で最も高く、次いで「目の病気」（20.9%）、「高脂血症」（18.7%）の順となっています。
- ・各選択肢の順位、割合はおおむね前回と同様の傾向となっていますが、回答上位項目は前回よりも回答割合が僅かに上昇しています。

【性別／年齢別】

- ・男性では「腎臓・前立腺の病気」や「糖尿病」が女性よりも特に高い一方、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」や「目の病気」が男性よりも特に高くなっています。
- ・年齢別にみると、85歳以上で「高血圧」の回答割合が特に高くなっています。



3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

(単位：％)

		件数 (n)	高血 圧	目 の 病 気	(脂 質 高 脂 血 症 異 常)	糖 尿 病	な い	(骨 粗 しょう 骨 の 病 気、 関 節 症 な ど)	腎 臓・前 立 腺 の 病 気
全体		1,914	46.1	20.9	18.7	15.0	11.7	11.4	9.9
性 別	男性	867	46.9	16.7	16.0	18.9	11.1	4.4	17.5
	女性	1,046	45.5	24.4	20.8	11.8	12.0	17.2	3.6
年 齢	65～74歳	744	39.7	18.5	21.2	13.4	16.1	9.0	7.1
	75～84歳	817	49.1	21.7	19.5	15.8	10.0	12.0	10.5
	85歳以上	351	53.3	24.2	11.4	16.5	5.4	15.1	14.5
要 介 護 度	一般	1,541	44.5	19.8	19.4	14.0	13.5	9.1	9.3
	総合事業対象者	59	52.5	27.1	16.9	18.6	6.8	13.6	13.6
	要支援1	141	52.5	25.5	17.0	18.4	4.3	19.9	13.5
	要支援2	172	53.5	25.0	14.0	20.3	2.3	23.8	11.0
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	46.2	22.2	19.5	14.8	11.1	10.2	9.7
	第一小学校区	136	49.3	27.2	20.6	20.6	11.8	9.6	11.8
	第二小学校区	107	48.6	18.7	15.0	15.9	13.1	9.3	7.5
	南山小学校区	263	49.0	19.0	20.2	18.3	9.1	12.2	11.0
	池の上小学校区	275	46.9	22.5	21.1	12.7	10.9	11.3	11.6
	桜台小学校区	214	38.8	24.3	18.2	8.9	12.1	7.0	5.6
	B圏域	918	46.1	19.5	17.8	15.3	12.2	12.7	10.1
	第三小学校区	228	50.4	14.0	14.9	15.8	11.8	13.6	4.8
	大山口小学校区	242	41.3	18.2	17.4	11.6	15.3	11.2	14.5
	清水口小学校区	284	48.9	22.2	19.7	15.5	8.1	13.0	11.6
	七次台小学校区	164	42.1	24.4	18.9	19.5	15.2	13.4	8.5

(単位：％)

		件数 (n)	心 臓 病	(悪 性 新 生 物 が ん)	胆 胃 腸 の 肝 臓 病 気	(肺 呼 吸 器 の 病 気 支 気 炎 な ど)	耳 の 病 気	外 傷 (転 倒、 骨 折 な ど)	脳 卒 中 (脳 出 血 ・ 脳 梗 塞 な ど)
全体		1,914	9.7	6.1	5.4	4.9	4.9	3.9	3.8
性 別	男性	867	11.8	7.7	5.4	5.3	4.0	2.5	5.2
	女性	1,046	8.0	4.7	5.4	4.5	5.6	5.1	2.7
年 齢	65～74歳	744	6.2	5.8	3.8	3.8	2.2	3.5	2.3
	75～84歳	817	10.4	5.5	5.6	5.3	4.8	3.8	3.9
	85歳以上	351	15.7	8.0	8.3	6.3	11.1	5.1	6.8
要 介 護 度	一般	1,541	8.2	5.6	4.1	4.5	3.7	2.3	2.3
	総合事業対象者	59	18.6	10.2	11.9	10.2	6.8		6.8
	要支援1	141	14.2	6.4	12.8	5.0	13.5	9.2	10.6
	要支援2	172	16.9	8.1	8.7	5.8	8.1	13.4	11.0
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	10.4	6.0	5.1	4.0	4.6	3.9	2.6
	第一小学校区	136	8.1	1.5	4.4	4.4	5.9	3.7	2.9
	第二小学校区	107	10.3	4.7	2.8	3.7	2.8	7.5	0.0
	南山小学校区	263	11.0	5.7	5.7	5.3	3.8	4.2	3.0
	池の上小学校区	275	11.3	8.0	4.4	2.9	4.7	2.2	2.9
	桜台小学校区	214	9.8	7.5	7.0	3.7	5.6	4.2	2.8
	B圏域	918	9.0	6.1	5.7	5.8	5.2	3.9	5.1
	第三小学校区	228	7.5	4.8	4.8	6.1	5.3	2.6	4.8
	大山口小学校区	242	8.3	5.8	2.9	5.8	3.3	5.4	4.1
	清水口小学校区	284	10.6	7.0	7.0	6.0	5.6	4.9	6.0
	七次台小学校区	164	9.8	6.7	8.5	4.9	7.3	1.8	5.5

3章 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

（単位：％）

		件数 (n)	血液・免疫の病気	うつ病	パーキンソン病	認知症（アルツハイマー病など）	その他	無回答
全体		1,914	1.9	1.3	0.9	0.6	9.3	6.2
性別	男性	867	2.0	0.8	0.9	0.8	9.5	4.8
	女性	1,046	1.8	1.7	1.0	0.5	9.1	7.3
年齢	65～74歳	744	2.0	1.5	1.1	0.3	9.7	5.4
	75～84歳	817	2.1	1.0	1.1	1.0	8.6	5.6
	85歳以上	351	1.1	1.7	0.3	0.6	10.0	9.1
要介護度	一般	1,541	1.9	0.9	0.3	0.5	9.1	5.5
	総合事業対象者	59	3.4	3.4	0.0	1.7	5.1	10.2
	要支援 1	141	2.8	2.8	4.3	2.1	15.6	7.8
	要支援 2	172	0.6	2.9	4.1	0.6	7.0	9.9
日常生活圏域	A圏域	995	1.8	1.4	0.7	0.5	9.7	5.9
	第一小学校区	136	2.2	0.7	1.5	0.0	8.1	7.4
	第二小学校区	107	1.9	0.0	0.0	0.0	7.5	5.6
	南山小学校区	263	1.5	1.5	0.8	1.5	8.4	4.9
	池の上小学校区	275	1.8	1.1	0.7	0.0	11.3	5.8
	桜台小学校区	214	1.9	2.8	0.5	0.5	11.7	6.5
	B圏域	918	2.0	1.2	1.2	0.8	8.7	6.4
	第三小学校区	228	1.3	2.2	0.9	0.4	7.9	10.1
	大山口小学校区	242	2.5	0.8	1.2	0.0	7.9	5.0
	清水口小学校区	284	2.1	1.1	1.1	1.8	11.6	6.3
	七次台小学校区	164	1.8	0.6	1.8	0.6	6.1	3.7

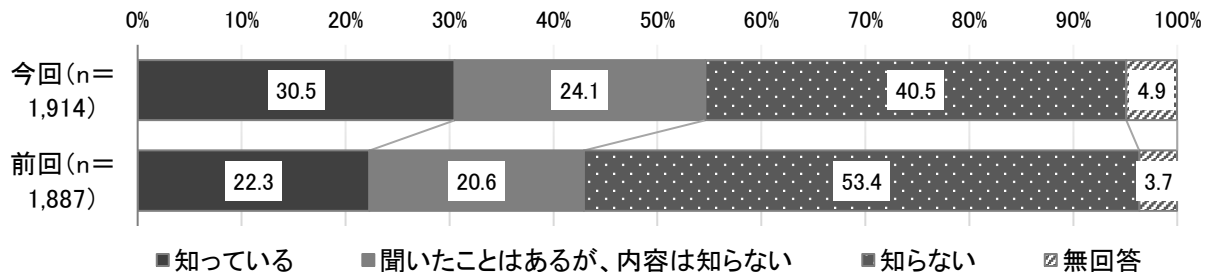
[問10-（7）] フレイルまたはフレイル予防について知っていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「知らない」が40.5%で最も高く、次いで「知っている（30.5%）」、「聞いたことはあるが、内容は知らない（24.1%）」となっています。
- ・「知らない」は前回の53.4%から12.9ポイント低下しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・「知らない」と回答した人の割合は、男性で49.6%、女性で33.1%と、男性のほうが高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合は、第二小学校区（53.3%）や第三小学校区（49.6%）で比較的高くなっています。



（単位：％）

		件数 (n)	知 っ て い る	あ る が、 内 容 は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全体		1,914	30.5	24.1	40.5	4.9
性 別	男性	867	22.6	24.0	49.6	3.8
	女性	1,046	36.9	24.2	33.1	5.8
年 齢	65～74歳	744	31.9	23.5	41.9	2.7
	75～84歳	817	31.3	24.5	39.5	4.7
	85歳以上	351	25.4	24.2	40.2	10.3
要 介 護 度	一般	1,541	31.3	24.1	40.7	3.9
	総合事業対象者	59	30.5	27.1	33.9	8.5
	要支援1	141	31.2	21.3	39.0	8.5
	要支援2	172	21.5	25.6	43.0	9.9
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	30.6	23.6	40.8	5.0
	第一小学校区	136	21.3	27.2	42.6	8.8
	第二小学校区	107	23.4	16.8	53.3	6.5
	南山小学校区	263	34.6	22.1	39.9	3.4
	池の上小学校区	275	33.8	24.7	37.1	4.4
	桜台小学校区	214	30.8	25.2	39.3	4.7
	B圏域	918	30.3	24.6	40.3	4.8
	第三小学校区	228	20.2	21.5	49.6	8.8
	大山口小学校区	242	33.1	28.9	35.5	2.5
	清水口小学校区	284	34.5	24.6	35.9	4.9
	七次台小学校区	164	32.9	22.6	42.1	2.4

1.1 今後の暮らし方・終末期について

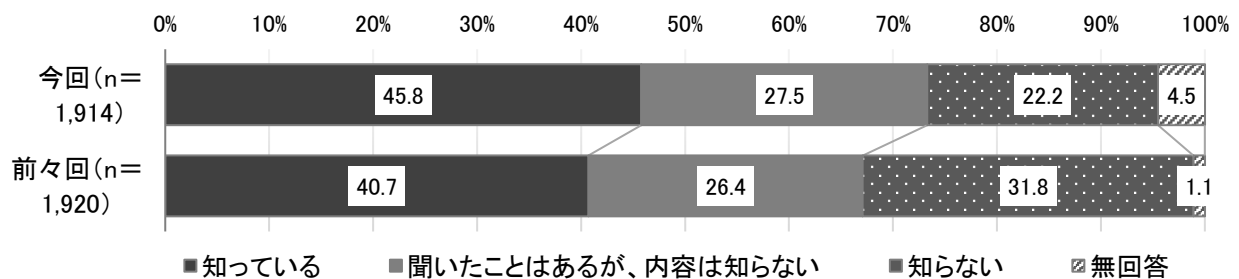
[問 1-1-(1)] 地域の高齢者相談の窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。
(単一回答)

【全体+前々回比較】

- ・「知っている」が 45.8%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない (27.5%)」、「知らない (22.2%)」となっています。
- ・「知っている」は前々回の 40.7%から 5.1 ポイント上昇しています。

【性別／日常生活圏域別】

- ・「知らない」と回答した人の割合は、男性で 30.8%、女性で 15.0%と、男性のほうが高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合は、第二小学校区 (33.6%) や第三小学校区 (28.9%) で比較的高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	知 っ て い る	あ る が 、 内 容 は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全体		1,914	45.8	27.5	22.2	4.5
性別	男性	867	33.9	31.9	30.8	3.3
	女性	1,046	55.6	23.9	15.0	5.4
年齢	65～74歳	744	39.9	31.3	26.1	2.7
	75～84歳	817	47.4	26.8	21.3	4.5
	85歳以上	351	54.4	21.4	16.0	8.3
要介護度	一般	1,541	39.8	31.1	25.4	3.7
	総合事業対象者	59	81.4	8.5	1.7	8.5
	要支援 1	141	66.0	14.2	14.2	5.7
	要支援 2	172	70.3	13.4	7.0	9.3
日常生活圏域	A圏域	995	45.5	27.9	21.8	4.7
	第一小学校区	136	36.8	30.9	25.0	7.4
	第二小学校区	107	36.4	22.4	33.6	7.5
	南山小学校区	263	57.4	24.7	15.2	2.7
	池の上小学校区	275	48.7	26.5	20.7	4.0
	桜台小学校区	214	36.9	34.6	23.4	5.1
	B圏域	918	46.1	27.1	22.5	4.2
	第三小学校区	228	36.4	27.2	28.9	7.5
	大山口小学校区	242	51.7	26.9	19.0	2.5
	清水口小学校区	284	52.8	23.6	19.4	4.2
	七次台小学校区	164	39.6	33.5	24.4	2.4

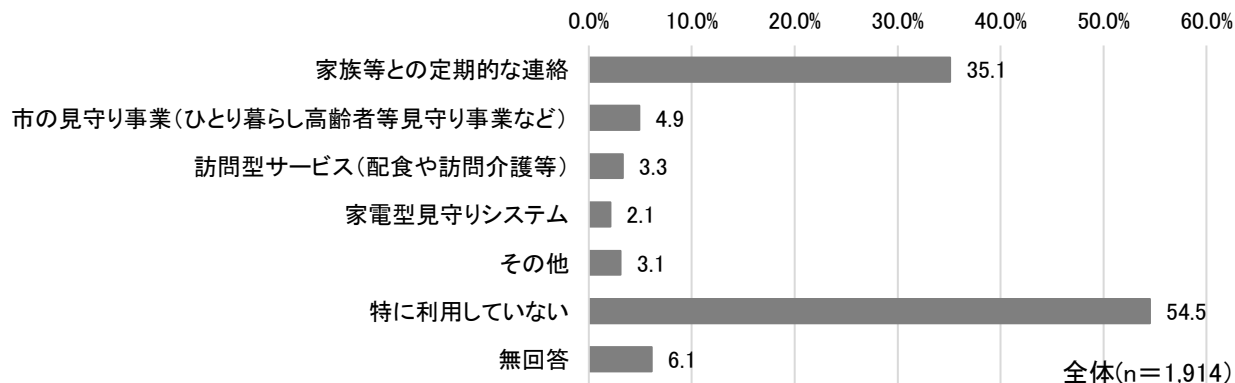
〔問 1 1-（2）〕 ご自身の見守りや安否確認のために、ご自身や家族が取り入れている手段は何ですか。（複数回答）

【全体】

- ・「特に利用していない（54.5%）」を除くと、「家族等との定期的な連絡（35.1%）」が高くなっています。

【性別／要介護度別】

- ・「特に利用していない」は男性で 57.8%、女性で 51.8%と、男性のほうが高くなっています。
- ・要介護度別にみると、総合事業対象者や要支援 1、2の方は、一般の方に比べて、家電型見守りシステムを除いて利用している割合が高くなっています。



※その他の内訳：民間のホームセキュリティ、近所や友人、新聞や生協等の定期配達等

(単位：%)

		件数 (n)	家族等との定期的な 連絡	市の見守り事業 (ひとり暮らし高齢者 等見守り事業など)	訪問型サービス (配食や訪問介護等)	家電型見守りシステム	その他	特に利用していない	無回答
全体		1,914	35.1	4.9	3.3	2.1	3.1	54.5	6.1
性別	男性	867	31.8	3.2	3.2	2.7	2.5	57.8	4.7
	女性	1,046	37.8	6.3	3.3	1.7	3.5	51.8	7.2
年齢	65～74歳	744	32.3	2.2	1.5	1.9	1.6	61.8	3.4
	75～84歳	817	35.5	3.9	3.4	1.6	3.4	53.7	6.5
	85歳以上	351	40.2	13.1	6.8	4.0	5.4	40.7	10.8
要介護度	一般	1,541	33.0	2.5	1.2	2.0	2.3	59.7	4.7
	総合事業対象者	59	50.8	20.3	8.5	0.0	3.4	28.8	11.9
	要支援 1	141	42.6	10.6	9.2	5.0	5.7	36.2	9.9
	要支援 2	172	41.9	16.3	15.1	1.7	8.1	32.0	13.4
日常生活圏域	A圏域	995	33.8	4.3	3.0	2.8	3.6	54.7	6.7
	第一小学校区	136	25.0	2.2	0.7	2.2	0.0	64.0	11.0
	第二小学校区	107	28.0	1.9	0.9	4.7	1.9	57.0	11.2
	南山小学校区	263	39.9	8.4	4.2	1.9	4.6	47.5	3.8
	池の上小学校区	275	34.5	4.0	4.4	3.6	5.1	52.4	6.5
	桜台小学校区	214	33.6	2.3	2.3	2.3	3.7	59.3	5.6
	B圏域	918	36.5	5.6	3.6	1.4	2.5	54.4	5.3
	第三小学校区	228	34.6	2.6	6.1	1.8	2.2	51.8	9.6
	大山口小学校区	242	39.3	5.8	2.5	1.7	3.7	54.1	3.7
	清水口小学校区	284	35.2	8.5	2.1	1.1	2.8	54.2	5.3
	七次台小学校区	164	37.2	4.3	4.3	1.2	0.6	58.5	1.8

【家族構成（問1-（1））との関係】

- ・家族構成別にみると、1人暮らしの方では、「家族との定期的な連絡（46.8%）」、「市の見守り事業（ひとり暮らし高齢者等見守り事業など）（15.4%）」が全体よりも10ポイント以上高くなっているほか、「訪問型サービス（配食や訪問介護等）（6.1%）」、「架電型見守りシステム（4.3%）」などの手段もやや高くなっています。
- ・1人暮らしの方についても「特に利用していない」が33.0%みられます。

（単位：％）

	件数 (n)	家族等との定期的な連絡	市の見守り事業（ひとり暮らし 高齢者等見守り事業など）	訪問型サービス （配食や訪問介護等）	架電型見守りシステム	その他	特に利用していない	無回答
全体	1,881	35.0	4.9	3.3	2.1	3.1	54.9	5.8
1人暮らし	376	46.8	15.4	6.1	4.3	8.0	33.0	9.6
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	823	39.1	2.3	2.9	1.7	1.5	54.7	4.4
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	63	31.7	0.0	1.6	1.6	3.2	63.5	0.0
息子・娘との2世帯	342	23.7	2.3	1.5	0.9	2.3	66.7	7.0
その他	277	21.7	2.9	3.6	2.2	2.5	68.6	4.7

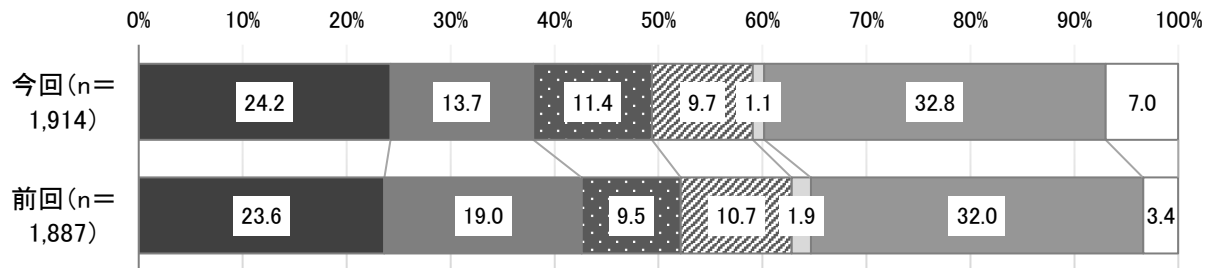
〔問 1 1-（3）〕 介護が必要になったとき、どんな暮らし方が一番希望に近いですか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「わからない・まだ考えていない（32.8%）」が最も高く、次いで「ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい（24.2%）」、「家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい（13.7%）」などとなっています。
- ・「家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい」は前回よりも 5.3 ポイント低下しています。

【性別／年齢別】

- ・「家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい」は男性や 85 歳以上で高くなっています。



- ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい
- 家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい
- サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどに転居して暮らしたい
- 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して暮らしたい
- その他
- わからない・まだ考えていない
- 無回答

(単位：%)

		件数 (n)	ホームヘルパーなどの 介護サービスや医師に よる訪問診療を利用し て自宅で暮らしたい	家族からの介護を受け て自宅で暮らしたい	サービス付き高齢者向 け住宅や有料老人ホー ムなどに転居して暮ら したい	特別養護老人ホームな ど介護施設に入所し て暮らしたい	その他	わからない・まだ考 えていない	無回 答
全体		1,914	24.2	13.7	11.4	9.7	1.2	32.8	7.0
性別	男性	867	23.2	16.3	10.7	9.5	0.8	34.4	5.2
	女性	1,046	25.0	11.6	12.0	9.9	1.4	31.5	8.5
年齢	65～74歳	744	24.9	11.8	12.5	8.5	0.5	37.6	4.2
	75～84歳	817	24.8	14.1	10.3	9.8	1.2	32.4	7.3
	85歳以上	351	21.4	16.8	11.7	12.3	2.3	23.4	12.3
要介護度	一般	1,541	23.6	13.6	11.0	9.2	0.9	36.1	5.6
	総合事業対象者	59	28.8	15.3	16.9	10.2	1.7	16.9	10.2
	要支援 1	141	27.7	14.9	13.5	13.5	0.0	19.9	10.6
	要支援 2	172	25.6	13.4	11.6	11.0	4.1	19.2	15.1
日常生活圏域	A圏域	995	24.2	12.6	12.3	9.7	1.1	33.8	6.3
	第一小学校区	136	15.4	13.2	8.8	8.1	1.5	44.1	8.8
	第二小学校区	107	27.1	12.1	8.4	6.5	0.0	38.3	7.5
	南山小学校区	263	26.6	14.1	13.3	11.4	0.8	28.1	5.7
	池の上小学校区	275	25.8	11.6	13.1	10.2	2.2	31.6	5.5
	桜台小学校区	214	23.4	11.7	14.0	9.8	0.5	34.6	6.1
	B圏域	918	24.2	14.9	10.5	9.7	1.2	31.8	7.7
	第三小学校区	228	23.2	16.7	5.7	7.9	1.3	32.5	12.7
	大山口小学校区	242	22.3	14.0	12.4	9.5	1.2	33.9	6.6
	清水口小学校区	284	27.5	13.7	12.7	10.9	1.4	28.2	5.6
	七次台小学校区	164	22.6	15.9	10.4	10.4	0.6	34.1	6.1

【家族構成（問1-（1））との関係】

- ・家族構成別にみると、いずれも「ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい」が、「わからない・まだ考えていない」以外では最も高くなっています。
- ・次いで、1人暮らしの方を除いて「家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい」の順になっています。
- ・1人暮らしの方では、「サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどに転居して暮らしたい（15.7%）」もやや高くなっています。

（単位：％）

	件数 (n)	ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい	家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい	サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどに転居して暮らしたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して暮らしたい	その他	わからない・まだ考えていない	無回答
全体	1,881	24.3	13.8	11.4	9.7	1.1	32.9	6.9
1人暮らし	376	25.3	7.2	15.7	9.3	2.1	30.3	10.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	823	27.5	14.6	12.2	9.4	0.5	30.1	5.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	63	23.8	17.5	12.7	6.3	1.6	34.9	3.2
息子・娘との2世帯	342	21.6	17.0	7.0	12.9	1.5	32.7	7.3
その他	277	17.3	15.5	8.3	7.9	1.1	44.0	5.8

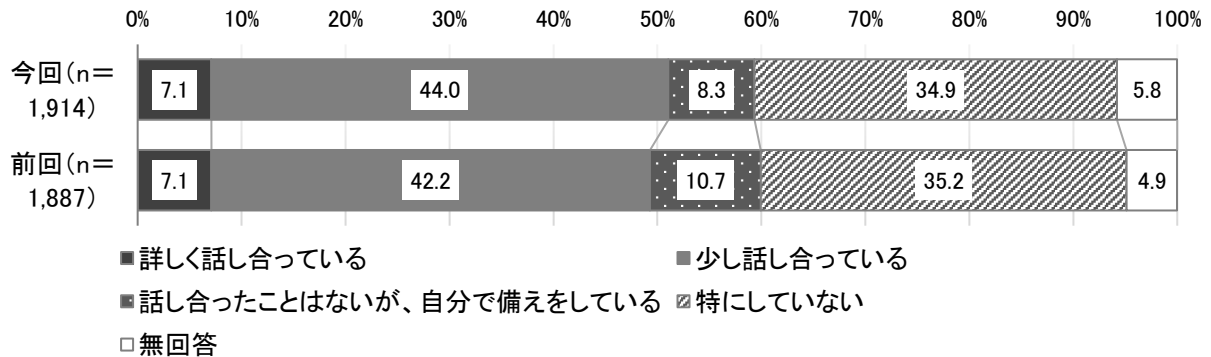
[問11-(4)] もしものとき（終末期）に備えて、介護や医療、葬儀、お墓などの希望について、ご家族などと話し合いや備えをしていますか。（単一回答）

【全体+前回比較】

- ・「少し話し合っている（44.0%）」が最も高く、次いで「特にしていない（34.9%）」、「話し合ったことはないが、自分で備えをしている（8.3%）」などとなっています。

【年齢別】

- ・「詳しく話し合っている」は、年齢が上がるにつれて高くなっています。



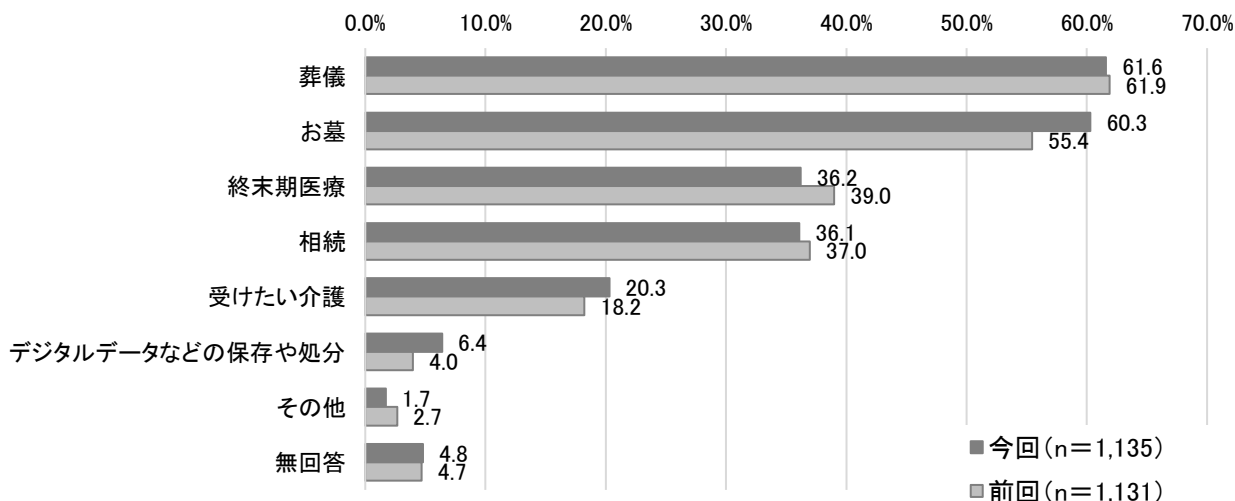
(単位：%)

		件数 (n)	詳しく 話し合っ ている	少し 話し合っ ている	話し合っ たことは ないが、自 分で備え をしてい る	特にし ていない	無回 答
全体		1,914	7.1	44.0	8.3	34.9	5.8
性別	男性	867	6.1	40.8	8.2	40.7	4.2
	女性	1,046	7.8	46.6	8.3	30.1	7.2
年齢	65～74歳	744	4.0	43.3	6.9	42.7	3.1
	75～84歳	817	7.7	43.7	9.2	33.3	6.1
	85歳以上	351	12.0	46.2	9.1	21.9	10.8
要介護度	一般	1,541	6.1	43.0	8.9	37.2	4.8
	総合事業対象者	59	10.2	49.2	6.8	25.4	8.5
	要支援1	141	9.9	50.4	6.4	23.4	9.9
	要支援2	172	12.2	45.9	4.7	26.7	10.5
日常生活圏域	A圏域	995	7.5	41.0	9.4	35.9	6.1
	第一小学校区	136	4.4	36.0	10.3	40.4	8.8
	第二小学校区	107	2.8	27.1	12.1	43.9	14.0
	南山小学校区	263	10.6	47.1	10.6	28.1	3.4
	池の上小学校区	275	8.4	41.5	9.8	35.3	5.1
	桜台小学校区	214	7.0	43.0	5.6	39.3	5.1
	B圏域	918	6.5	47.2	7.0	33.9	5.4
	第三小学校区	228	4.8	42.1	7.0	36.8	9.2
	大山口小学校区	242	6.2	50.8	7.9	31.8	3.3
	清水口小学校区	284	7.7	49.6	6.7	29.9	6.0
	七次台小学校区	164	7.3	44.5	6.1	39.6	2.4

〔問 1 1-（4）①〕〔問 1 1-（4）で「詳しく話している」「少し話している」「話し合ったことはないが、自分で備えをしている」と回答した方に）話し合いや備えをしているのはどのようなことですか。（複数回答）

【全体+前回比較】

- ・「葬儀」が 61.6% で最も高く、僅差で「お墓（60.3%）」、次いで「終末期医療（36.2%）」、「相続（36.1%）」などとなっています。
- ・「お墓」は前回よりも 4.9 ポイント、「受けた介護」は 2.1 ポイントそれぞれ上昇しています。



（単位：％）

		件数 (n)	葬儀	お墓	終末期医療	相続	受けた介護	デジタルデータなどの保存や処分	その他	無回答
全体		1,135	61.6	60.3	36.2	36.1	20.3	6.4	1.7	4.8
性別	男性	478	60.7	60.7	35.1	41.6	17.8	8.6	2.3	4.2
	女性	656	62.3	59.9	37.0	32.2	22.1	4.9	1.2	5.2
年齢	65～74歳	403	57.6	64.5	32.8	35.7	18.1	8.2	1.2	3.5
	75～84歳	495	64.4	61.0	37.0	38.2	20.4	6.5	1.6	5.1
	85歳以上	236	62.7	51.3	40.7	32.6	23.7	3.4	2.5	6.4
要介護度	一般	893	63.2	63.8	35.2	36.5	17.7	7.5	1.5	3.9
	総合事業対象者	39	51.3	43.6	46.2	41.0	23.1	5.1	0.0	2.6
	要支援 1	94	56.4	52.1	35.1	35.1	28.7	1.1	2.1	11.7
	要支援 2	108	57.4	43.5	42.6	32.4	33.3	2.8	3.7	6.5
日常生活圏域	A圏域	577	59.6	60.3	34.8	36.6	21.0	6.4	1.2	5.5
	第一小学校区	69	59.4	49.3	37.7	30.4	24.6	2.9	1.4	4.3
	第二小学校区	45	51.1	42.2	26.7	44.4	17.8	4.4	2.2	11.1
	南山小学校区	180	63.9	63.3	33.3	36.7	16.7	6.7	1.1	5.0
	池の上小学校区	164	63.4	65.9	35.4	42.7	22.0	7.3	0.6	4.9
	桜台小学校区	119	51.3	61.3	37.8	28.6	25.2	7.6	1.7	5.9
	B圏域	557	63.7	60.1	37.7	35.7	19.6	6.5	2.2	3.9
	第三小学校区	123	62.6	58.5	34.1	36.6	17.9	6.5	1.6	3.3
	大山口小学校区	157	63.1	61.8	43.3	38.9	21.0	8.3	2.5	1.3
	清水口小学校区	182	65.9	60.4	35.7	33.0	20.3	6.0	3.3	4.9
	七次台小学校区	95	62.1	58.9	36.8	34.7	17.9	4.2	0.0	7.4

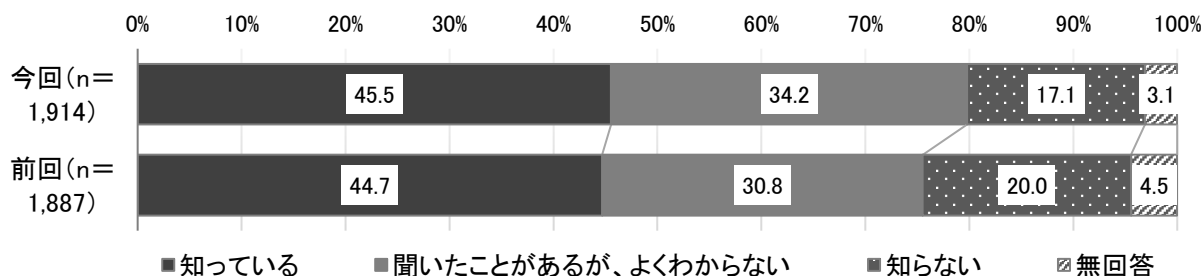
[問 1 1 - (5)] 成年後見制度について知っていますか。（単一回答）

【全体＋前回比較】

- ・「知っている」が 45.5%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが、よくわからない（34.2%）」、「知らない（17.1%）」となっています。

【性別／要介護度別／日常生活圏域別】

- ・「知らない」と回答した人の割合は、男性が 21.6%、女性が 13.5%で、男性のほうが高くなっています。
- ・「知らない」と回答した人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合は、第二小学校区（31.8%）や第三小学校区（23.2%）で比較的高くなっています。



(単位：%)

		件数 (n)	知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る が 、 よ く わ か ら な い	知 ら な い	無 回 答
全体		1,914	45.5	34.2	17.1	3.1
性 別	男性	867	43.0	33.8	21.6	1.6
	女性	1,046	47.5	34.6	13.5	4.4
年 齢	65～74歳	744	50.1	33.2	14.9	1.7
	75～84歳	817	45.2	34.5	16.8	3.5
	85歳以上	351	36.2	35.9	22.8	5.1
要 介 護 度	一般	1,541	47.3	33.5	16.5	2.7
	総合事業対象者	59	50.8	28.8	18.6	1.7
	要支援 1	141	35.5	37.6	21.3	5.7
	要支援 2	172	35.5	40.1	19.2	5.2
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	46.4	33.1	17.4	3.1
	第一小学校区	136	39.7	35.3	22.1	2.9
	第二小学校区	107	29.9	29.0	31.8	9.3
	南山小学校区	263	52.9	30.0	15.2	1.9
	池の上小学校区	275	50.9	33.1	13.8	2.2
	桜台小学校区	214	45.3	37.4	14.5	2.8
	B圏域	918	44.4	35.5	16.9	3.2
	第三小学校区	228	40.4	30.3	23.2	6.1
	大山口小学校区	242	48.3	35.1	14.0	2.5
	清水口小学校区	284	43.0	39.1	15.5	2.5
	七次台小学校区	164	47.0	37.2	14.6	1.2

1 2 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

調査結果をもとに、要介護状態になるリスクの発生状況について、「運動器機能低下リスク」、「閉じこもりリスク」、「転倒リスク」、「認知機能低下リスク」、「うつリスク」、「手段的自立度（IADL）の低下リスク」の各区分でリスク判定を行いました。

各区分のリスク該当者は下表の通りです。

リスクの内容	リスク該当者数	回答者に対する割合
① 運動器機能低下リスク	250 人	13.1%
② 閉じこもりリスク	337 人	17.6%
③ 転倒リスク	603 人	31.5%
④ 認知機能低下リスク	829 人	44.1%
⑤ うつリスク	709 人	37.0%
⑥ 手段的自立度(IADL)の低下リスク	142 人	7.4%

① 運動器機能低下リスク

調査票の以下の5つの設問のうち、3項目以上に該当する人を運動器機能低下リスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

- ・「リスクあり」は、男性（10.1%）よりも女性（15.5%）のほうが5.4ポイント高くなっています。
- ・「リスクあり」は、85歳以上と要支援1の方では3割超、要支援2の方では5割超となっています。

(単位：%)

		件数 (n)	低運動器機能 あり リスク	低運動器機能 なし リスク
全体		1,914	13.1	86.9
性別	男性	867	10.1	89.9
	女性	1,046	15.5	84.5
年齢	65～74歳	744	5.2	94.8
	75～84歳	817	12.9	87.1
	85歳以上	351	30.2	69.8
要介護度	一般	1,541	6.3	93.7
	総合事業対象者	59	28.8	71.2
	要支援1	141	30.5	69.5
	要支援2	172	54.1	45.9
日常生活圏域	A圏域	995	13.4	86.6
	第一小学校区	136	14.7	85.3
	第二小学校区	107	17.8	82.2
	南山小学校区	263	14.4	85.6
	池の上小学校区	275	12.0	88.0
	桜台小学校区	214	10.7	89.3
	B圏域	918	12.7	87.3
	第三小学校区	228	14.0	86.0
	大山口小学校区	242	9.9	90.1
	清水口小学校区	284	13.4	86.6
	七次台小学校区	164	14.0	86.0

② 閉じこもりリスク

調査票の以下の設問について該当する人を閉じこもりリスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

- ・「リスクあり」は、男性（14.3%）よりも女性（20.4%）のほうが6.1ポイント高くなっています。
- ・要介護度別にみると、要支援1の方が39.0%と最も高くなっています。
- ・日常生活圏域別にみると、「第二小学校区（33.6%）」でやや高い傾向がみられます。

(単位：%)

		件数 (n)	リ閉 スジ クあ りも り	リ閉 スジ クこ な し
全体		1,914	17.6	82.3
性 別	男性	867	14.3	85.7
	女性	1,046	20.4	79.6
年 齢	65～74歳	744	9.8	90.2
	75～84歳	817	18.5	81.5
	85歳以上	351	32.2	67.8
要 介 護 度	一般	1,541	13.6	86.4
	総合事業対象者	59	28.8	71.2
	要支援1	141	39.0	61.0
	要支援2	172	32.0	68.0
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	18.6	81.4
	第一小学校区	136	23.5	76.5
	第二小学校区	107	33.6	66.4
	南山小学校区	263	18.6	81.4
	池の上小学校区	275	15.3	84.7
	桜台小学校区	214	12.1	87.9
	B圏域	918	16.6	83.4
	第三小学校区	228	23.7	76.3
	大山口小学校区	242	14.0	86.0
	清水口小学校区	284	12.3	87.7
	七次台小学校区	164	17.7	82.3

③ 転倒リスク

調査票の以下の設問について該当する人を転倒リスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

- ・「リスクあり」は、男性（29.0%）よりも女性（33.7%）のほうが4.7ポイント高くなっています。
- ・要介護度別にみると、要支援1、2の方では約半数で「リスクあり」となっています。

(単位：%)

		件数 (n)	転 倒 リ ス ク あ り	転 倒 リ ス ク な し
全体		1,914	31.5	68.4
性 別	男性	867	29.0	71.0
	女性	1,046	33.7	66.3
年 齢	65～74歳	744	26.1	73.9
	75～84歳	817	31.5	68.5
	85歳以上	351	43.3	56.7
要 介 護 度	一般	1,541	27.4	72.6
	総合事業対象者	59	37.3	62.7
	要支援1	141	47.5	52.5
	要支援2	172	52.9	47.1
日 常 生 活 圏 域	A圏域	995	31.8	68.2
	第一小学校区	136	40.4	59.6
	第二小学校区	107	37.4	62.6
	南山小学校区	263	31.9	68.1
	池の上小学校区	275	29.1	70.9
	桜台小学校区	214	26.6	73.4
	B圏域	918	31.3	68.7
	第三小学校区	228	30.7	69.3
	大山口小学校区	242	32.6	67.4
	清水口小学校区	284	29.6	70.4
	七次台小学校区	164	32.9	67.1

④ 認知機能低下リスク

調査票の以下の設問について該当する人を認知機能低下リスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問5-(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

- ・「リスクあり」は、男性（42.6％）よりも女性（45.3％）のほうが2.7ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて高くなっており、85歳以上では5割超を占めています。

(単位：％)

		件数 (n)	低 下 認 知 機 能 あ り リ ス ク	低 下 認 知 機 能 な し リ ス ク
全体		1,880	44.1	55.9
性 別	男性	861	42.6	57.4
	女性	1,019	45.3	54.7
年 齢	65～74歳	735	36.1	63.9
	75～84歳	800	46.4	53.6
	85歳以上	344	56.1	43.9
要 介 護 度	一般	1,515	40.2	59.8
	総合事業対象者	58	58.6	41.4
	要支援1	140	55.0	45.0
	要支援2	167	65.3	34.7
日 常 生 活 圏 域	A圏域	979	45.1	54.9
	第一小学校区	130	46.9	53.1
	第二小学校区	105	47.6	52.4
	南山小学校区	260	49.2	50.8
	池の上小学校区	273	44.3	55.7
	桜台小学校区	211	38.9	61.1
	B圏域	901	43.0	57.0
	第三小学校区	222	40.1	59.9
	大山口小学校区	237	43.0	57.0
	清水口小学校区	279	44.1	55.9
	七次台小学校区	163	44.8	55.2

⑤ うつリスク

調査票の以下の2つの設問のうち、1項目以上に該当する人をうつリスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問10-(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問10-(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

- ・「リスクあり」は、男性（33.1%）よりも女性（40.3%）のほうが7.2ポイント高くなっています。
- ・要介護度別にみると、「リスクあり」は、総合事業対象者（59.3%）、要支援1（46.8%）、要支援2（53.5%）の方で、約半数を占めています。

(単位：%)

		件数 (n)	うつ あり リスク	うつ なし リスク
全体		1,914	37.0	62.9
性別	男性	867	33.1	66.9
	女性	1,046	40.3	59.7
年齢	65～74歳	744	34.9	65.1
	75～84歳	817	38.7	61.3
	85歳以上	351	37.9	62.1
要介護度	一般	1,541	33.5	66.5
	総合事業対象者	59	59.3	40.7
	要支援1	141	46.8	53.2
	要支援2	172	53.5	46.5
日常生活圏域	A圏域	995	38.1	61.9
	第一小学校区	136	41.9	58.1
	第二小学校区	107	32.7	67.3
	南山小学校区	263	39.2	60.8
	池の上小学校区	275	39.6	60.4
	桜台小学校区	214	35.0	65.0
	B圏域	918	35.9	64.1
	第三小学校区	228	31.6	68.4
	大山口小学校区	242	37.6	62.4
	清水口小学校区	284	36.6	63.4
	七次台小学校区	164	38.4	61.6

⑥ 手段的自立度（IADL）の低下リスク

調査票の以下の設問の回答から、手段的自立度（IADL¹）の判定を行いました。

各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として5点満点で評価しており、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」としています。「低い」に該当する人を手段的自立度（IADL）リスク該当者と判定しました。

■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問5-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点
問5-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	〃
問5-(4)	自分で食事の用意をしていますか	〃
問5-(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	〃
問5-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	〃

【リスク該当状況】

- ・年齢別にみると、85歳以上では18.5%と、他の年齢に比べて特になくなっていきます。
- ・要介護度別にみると、要支援1（20.6%）、要支援2（26.2%）の方で高くなっています。

（単位：％）

		件数 (n)	I 低 A い D L	や I や A 低 D い L	I 高 A い D L
全体		1,914	7.4	9.0	83.5
性別	男性	867	7.5	12.1	80.4
	女性	1,046	7.4	6.4	86.2
年齢	65～74歳	744	3.2	5.9	90.9
	75～84歳	817	6.5	8.9	84.6
	85歳以上	351	18.5	15.7	65.8
要介護度	一般	1,541	4.1	6.9	89.0
	総合事業対象者	59	8.5	11.9	79.7
	要支援1	141	20.6	12.8	66.7
	要支援2	172	26.2	23.8	50.0
日常生活圏域	A圏域	995	8.2	8.6	83.1
	第一小学校区	136	11.0	8.1	80.9
	第二小学校区	107	12.1	10.3	77.6
	南山小学校区	263	8.0	9.9	82.1
	池の上小学校区	275	6.5	8.4	85.1
	桜台小学校区	214	7.0	7.0	86.0
	B圏域	918	6.5	9.4	84.1
	第三小学校区	228	6.1	13.2	80.7
	大山口小学校区	242	6.2	7.4	86.4
	清水口小学校区	284	7.4	6.3	86.3
	七次台小学校区	164	6.1	12.2	81.7

¹ Instrumental Activities of Daily Living の略称で、買い物、食事の準備、財産管理など、自立した生活を送るために必要な、日常生活における複雑な動作のことを指します。

⑦ 一般（認定非該当者）中の各リスクの状況

現在介護認定を受けていない一般高齢者が、将来的に要介護状態になることを未然に防ぐために、一般高齢者における各リスクの状況を整理しました。

【リスク該当状況】

- ・男性は、女性よりも「認知機能低下リスク（42.4%）」、「社会的自立度（IADL）低下リスク（4.5%）」が高い傾向があります。
- ・一方で、女性は男性よりも「運動器機能低下リスク（7.6%）」、「閉じこもりリスク（15.7%）」、「転倒リスク（29.1%）」、「うつリスク（36.7%）」が高い傾向があります。
- ・85歳以上では、「うつリスク」を除いて、85歳未満よりも各リスクが顕著に高くなる傾向がみられます。
- ・日常生活圏域別にみると、「運動器機能低下リスク」は第二小学校区（13.2%）で、「閉じこもりリスク」は、第二小学校区（26.4%）や第三小学校区（21.7%）で、他の小学校区よりもやや多くなっています。

(単位：%)

	件数 (n)	運動器 機能低下	閉じこもり	転倒	認知機能 低下	うつ	社会的 自立度 (IADL)
全体	1,914	13.1	17.6	31.5	43.3	37.0	7.4
要 介 護 度	一般	1,541	6.3	13.6	27.4	39.5	33.5
	総合事業対象者	59	28.8	28.8	37.3	57.6	59.3
	要支援1	141	30.5	39.0	47.5	54.6	46.8
	要支援2	172	54.1	32.0	52.9	63.4	53.5

(単位：%)

	件数 (n)	運動器 機能低下	閉じこもり	転倒	認知機能 低下	うつ	社会的 自立度 (IADL)
全体	1,541	6.3	13.6	27.4	39.5	33.5	4.1
性 別	男性	739	4.9	11.4	25.7	42.4	30.0
	女性	802	7.6	15.7	29.1	36.9	36.7
年 齢	65～74歳	709	3.9	9.3	25.0	34.8	34.6
	75～84歳	661	6.5	15.0	27.7	41.6	34.2
	85歳以上	170	15.3	26.5	37.1	51.2	26.5
日 常 生 活 圏 域	A圏域	802	6.9	14.2	27.8	40.6	34.0
	第一小学校区	116	6.9	19.0	36.2	44.0	37.9
	第二小学校区	91	13.2	26.4	34.1	42.9	31.9
	南山小学校区	189	5.3	14.8	27.0	43.4	32.8
	池の上小学校区	218	6.4	9.2	24.3	39.9	34.4
	桜台小学校区	188	5.9	10.6	24.5	35.6	33.5
	B圏域	739	5.7	13.0	27.1	38.3	32.9
	第三小学校区	184	5.4	21.7	25.5	35.9	27.7
	大山口小学校区	200	4.5	9.5	27.5	38.0	33.5
	清水口小学校区	218	5.5	9.2	24.3	38.5	33.0
	七次台小学校区	137	8.0	12.4	32.8	41.6	38.7

13 市の事業について（自由意見）

〔問12〕 白井市で、いつまでも自分らしく生活していけるよう、今後の市の事業に望むこと、または自らしたい（できる）ことなどあればお書きください。

① 交通手段・移動支援に関する意見

- **バスの増便・ダイヤやルート見直し**
 - ・ バスが少なく不便。病院や買い物、コミュニティ活動に行きやすいように、もっと本数を増やしたり、ダイヤ、ルートを見直したりしてほしい。
 - ・ 講座やサークルに参加したいが、バスの時刻が合わず参加できない。
 - ・ 駅まで行くバスが不便なので改善を切に願う。
- **循環バス・小型バスの導入**
 - ・ 高齢者が利用しやすいように、市内の主要施設や住宅街を巡る循環バスや、狭い道も通れる小型バスを導入してほしい。
 - ・ 停留所に行かなくても、手を挙げたら停まってくれるバスがあるとよい。
- **新鎌ヶ谷駅・千葉ニュータウン中央駅へのバス路線拡大**
 - ・ 新鎌ヶ谷駅や千葉ニュータウン中央駅へのバス路線を増やしてほしい。現在のバス路線では行きたい場所に行けない。
 - ・ 印西市と協力してバス便を増やしてほしい。
- **バス運行時間の延長・土日運行**
 - ・ バスが早い時間に終わってしまうので、もう少し遅い時間まで運行してほしい。
 - ・ 土日でもバスを運行してほしい。特に休日のお出かけに利用したい。
- **ナッシー号（コミュニティバス）の利便性向上**
 - ・ ナッシー号をもっと増便してほしい。ルートも利用しやすいように見直してほしい。
 - ・ 高齢者は無料にしてほしい。
 - ・ 印西市の「ふれあいバス」のように、ナッシー号が活躍することを期待している。
- **免許返納後の移動手段への不安**
 - ・ 免許を返納したあとの日常生活が不安。
 - ・ 免許返納後の移動手段を充実させてほしい。
- **タクシー利用補助・制度の充実**
 - ・ 乗合タクシーや介護タクシーを導入してほしい。特に病院への通院時に利用したい。
 - ・ 高齢者向けのタクシー割引制度や補助券など、経済的な負担を減らしてほしい。
- **その他**
 - ・ 自動運転といった新しい移動手段も検討してほしい。
 - ・ 白井大橋の歩道橋が狭くて危険なので改善してほしい。
 - ・ 生活道路の凸凹や砂利道を整備し、散歩しやすくしてほしい。

② 高齢者の居場所に関する意見

● 気軽に立ち寄れる場所

- ・ 誰でも参加できるサロンのような場所が欲しい。
- ・ 縁側カフェのような、誰もがふらっと立ち寄れるようなスペースを作ってほしい。
- ・ 高齢者と子供がもっと触れ合える場所が欲しい。
- ・ 古いベンチや椅子が多いので、駅や公園などに安全なベンチが欲しい。

● サークル活動・講座

- ・ サークル活動等に参加し、友人を多く作り、楽しく日々を過ごしていきたい。
- ・ まだ働いている人も多いと思うので、週末の集まりを増やしてほしい。

● 公共施設の活用

- ・ コミュニティセンターや公民館を「集いの場」として利用できるように工夫してほしい。
- ・ 福祉センター等は隣接市と共同で使えるようになればよい。

③ 介護・医療・健康に関する意見

● 介護サービスの充実

- ・ 最期まで自宅で暮らしたいので、訪問診療やホームヘルパーを充実させてほしい。
- ・ 土日や夜間などの要介護者の預かりサービスを提供してほしい。
- ・ 特別養護老人ホームを増やして、待機せずに入所できるようにしてほしい。
- ・ 介護施設の空き状況などの情報を、もっと定期的に分かりやすく提供してほしい。
- ・ 介助・介護から医療までワンストップで対応してもらえる制度を望む。
- ・ 介護施設の職員の待遇改善を希望。
- ・ 買い物支援、家事支援、病院への付き添いなど、高齢者の生活をサポートするサービスを拡充してほしい。
- ・ 同居家族が主な介護者の世帯に対する支援が必要だと感じる。
- ・ 老々介護をしており、疲弊しないためにもショートステイ等の拡充を検討してほしい。
- ・ 楽リハを継続したい。
- ・ 自宅での訪問診療を定期的に受けられれば安心できる。

● 健康維持・フレイル予防

- ・ 心身の健康に気を付けている。健康のために歩くようにしている。
- ・ 健康体操やフレイル予防の講座を各地域のセンターで実施してほしい。
- ・ 健康増進ルームでの体操・筋トレが無くなってしまい残念。
- ・ 健康ポイント制度など、健康に興味を持ち実行できるような仕掛けが必要だと思う。
- ・ 公園に高齢者用の健康器具を設置してほしい。
- ・ 安価で利用しやすい温水プール等を整備してほしい。
- ・ 十余公園のテニスコートがハードコートで膝や腰に負担があるため、オムニコートにしてほしい。
- ・ 市内の学校の体育館や空き教室を開放するなど、気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・ 市内や隣接市のゴルフ場が割引されるとよい。
- ・ カラオケができると良い。

● 医療費・補助金に関する要望

- ・ 医療費や介護保険料の負担を軽減してほしい。80歳以上は1割負担になると良い。
- ・ 補聴器の購入補助を高齢者にも適用してほしい。
- ・ 予防接種など各種補助金を拡充してほしい。

④ 地域での助け合い・見守りに関する意見

● 地域での助け合い

- ・ まだ体力があるので、軽作業であればお困りの方の手伝いができる。マッチングセンターがあれば住民の相互助け合いができる。
- ・ 地域には顔見知りが多く、茶話会で民生委員が話を聞いてくれるのでありがたい。そういった取組に対する市からの支援があると良い。
- ・ 地域の支え合い、助け合いの仕組みづくりを行い、必要であれば積極的に参加したい。
- ・ 近隣とのコミュニティが薄くなっていると感じる。災害時等に共助が発揮できるよう、市も対応してほしい。
- ・ まちづくり協議会の活動を活性化させたい。
- ・ 個人情報の保護が足かせとなり、自治会単独では動きづらい実情がある。行政と自治会・町内会などが連携して必要な支援が行える仕組みが必要だ。

● 見守りサービス

- ・ 1人暮らしの高齢者に対する、電話やLINE等での見守りサービスがあると良い。

⑤ 日常生活に関する意見

● 移動スーパーの要望

- ・ 生協を利用しているが、自分の目で選ぶのも楽しいため、野菜の移動販売トラックなどがあると良い。

● 部分的な生活サポート

- ・ 布団の入れ替え、重いものの移動、ベランダや大きな窓ガラスの掃除など、若い人の手を少し借りたい。

⑥ 住まいに関する意見

● 住宅の改修・リフォーム支援

- ・ 手すりを設置するといったリフォームの補助をしてほしい。
- ・ 浴槽などのリフォームをしたいが、要支援・要介護認定を受けていないと補助が受けられないと聞いているため、認定が無くても受けられるようにしてほしい。
- ・ エレベーターの無い建物に住んでいる高齢者のために、昇降補助設備を導入する自治体や管理組合に助成をしてほしい。

● 住まいの維持管理

- ・ 庭木の剪定や除草などを、シルバー人材センターにお願いできる制度があるとよい。

⑦ 相談窓口・情報提供に関する意見

- 終活のサポート
 - ・ 独身で子供もおらず不安なため、終活支援センターが白井市にもあると良い。
 - ・ 身元保証サービスがあれば安心できる。
- 情報提供
 - ・ 今後の老いの展開が想像できず、どのように準備すればよいかわからない。
 - ・ 介護・医療制度や認知症相談などの講座をさらに開催してほしい。
 - ・ 日々の暮らしの手助け等について手軽に相談できる仕組みがあるとよい。
 - ・ 介護、入院、死亡や相続への備えについて元気なうちに相談できる制度があるとよい。
 - ・ お元気まもり事業についてもっと周知してほしい。
 - ・ 軽度認知障害から認知症に移行しないための予防策やアイデア、取組を伝える場を設けてほしい。
 - ・ 情報難民になりがちなので、詳しくわかりやすく説明してくれる場がほしい。
 - ・ 高齢者福祉に関する事業計画の説明会やインターネットでの情報公開を希望。

⑧ 就労に関する意見

- 高齢者雇用の拡大
 - ・ シルバー人材センターを含む高齢者雇用の拡大を望む。
- 知恵やノウハウの継承
 - ・ 川崎市の寺子屋事業のように、若い世代に自身の得意分野の知識や経験を教えたり伝えたりする機会があるとよい。

⑨ その他 市の事業に関する意見

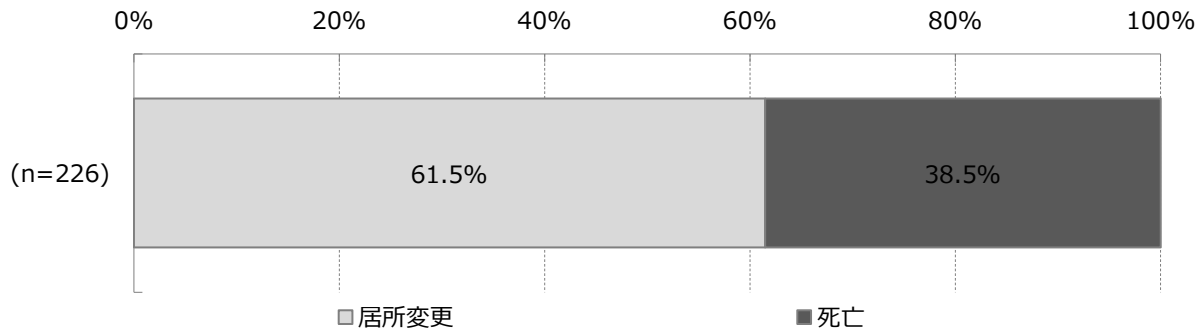
- 企業や商店の誘致、活性化
 - ・ 白井工業団地内に食料品スーパーを誘致してほしい。
 - ・ 土地を有効活用して住宅を増やし、活気あるまちにしてほしい。
 - ・ 駅前を活性化させてほしい。国道沿いに商業施設を増やしてほしい。
 - ・ 地域での雇用や起業を後押しし、魅力あるまちにしてほしい。
- 防災・防犯
 - ・ 防災無線が建物に反響して聞こえづらい。もっとゆっくり、繰り返し話してほしい。
 - ・ 詐欺には気を付けている。
 - ・ 空き家が増えており防犯上懸念があるため、空き家対策を進めてほしい。
- 広報・プロモーション
 - ・ 広報しろいの文字が薄く、読みづらいので濃くしてほしい。文字を大きくしてほしい。
 - ・ 市の知名度アップのため、エッセイコンテストなどを開催してほしい。
- デジタル化
 - ・ 小さなまちだからこそ、デジタル化の推進に大いに取り組んでほしい。

4章 調査結果(在宅生活改善調査)

1 共通設問

2) 過去1年間の実績

① 過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合

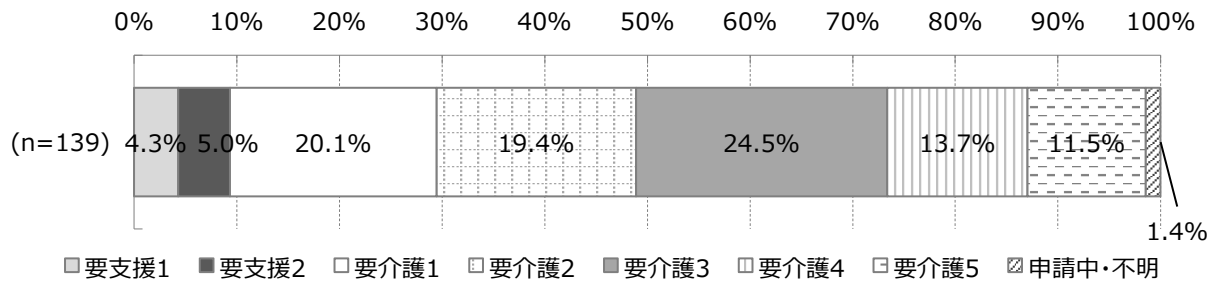


	回答実数
白井市全体で、過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者数	139 人
白井市全体で、過去1年間に自宅等で死亡した利用者数	87 人

② 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

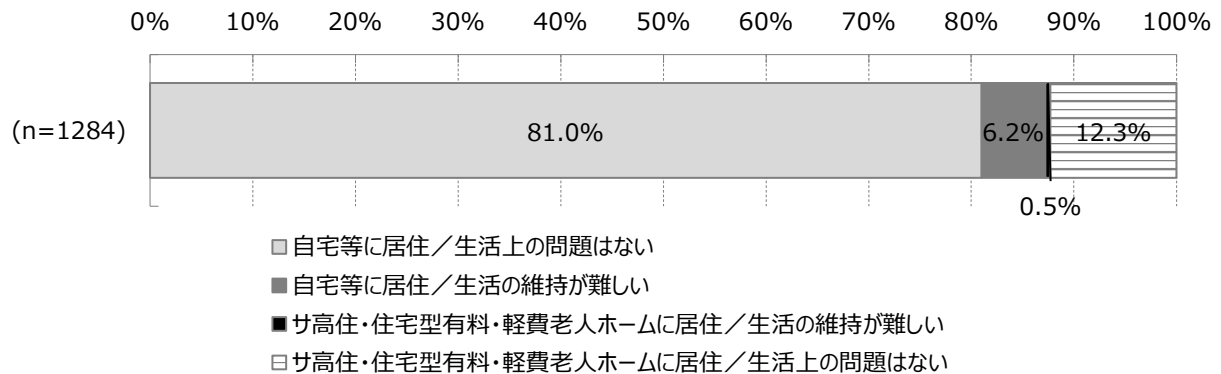
行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	6人	2人	8人
	4.3%	1.4%	5.8%
住宅型有料老人ホーム	4人	8人	12人
	2.9%	5.8%	8.6%
軽費老人ホーム	1人	1人	2人
	0.7%	0.7%	1.4%
サービス付き高齢者向け住宅	4人	8人	12人
	2.9%	5.8%	8.6%
グループホーム	4人	3人	7人
	2.9%	2.2%	5.0%
特定施設	1人	2人	3人
	0.7%	1.4%	2.2%
地域密着型特定施設	4人	0人	4人
	2.9%	0.0%	2.9%
介護老人保健施設	11人	9人	20人
	7.9%	6.5%	14.4%
介護医療院	0人	3人	3人
	0.0%	2.2%	2.2%
特別養護老人ホーム	35人	5人	40人
	25.2%	3.6%	28.8%
地域密着型特別養護老人ホーム	1人	1人	2人
	0.7%	0.7%	1.4%
病院・診療所	15人	8人	23人
	10.8%	5.8%	16.5%
その他	0人	1人	1人
	0.0%	0.7%	0.7%
把握していない			2人
			1.4%
合計	86人	51人	139人
	61.9%	36.7%	100.0%

③ 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



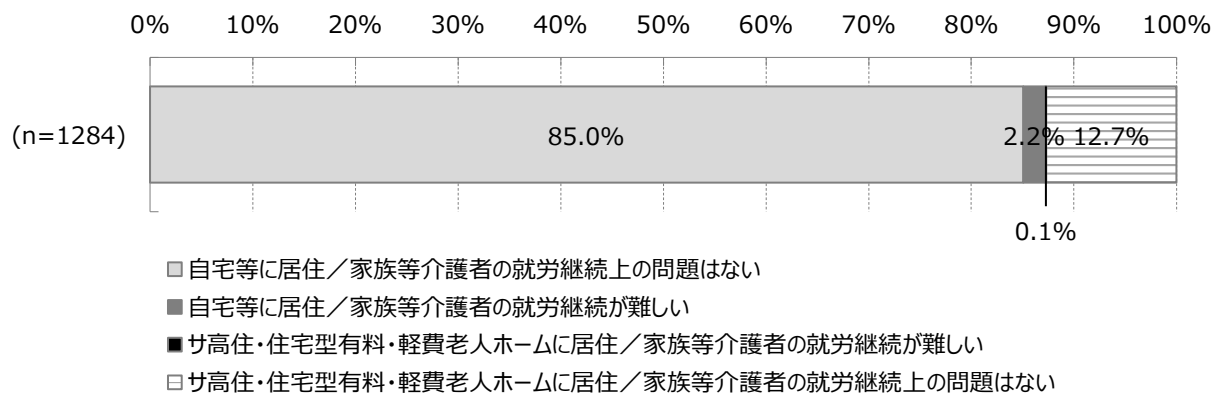
3) 現在の利用者の状況

① 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



	割合/回答実数
自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合	6.7%
白井市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数	86 人

② 現在、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者

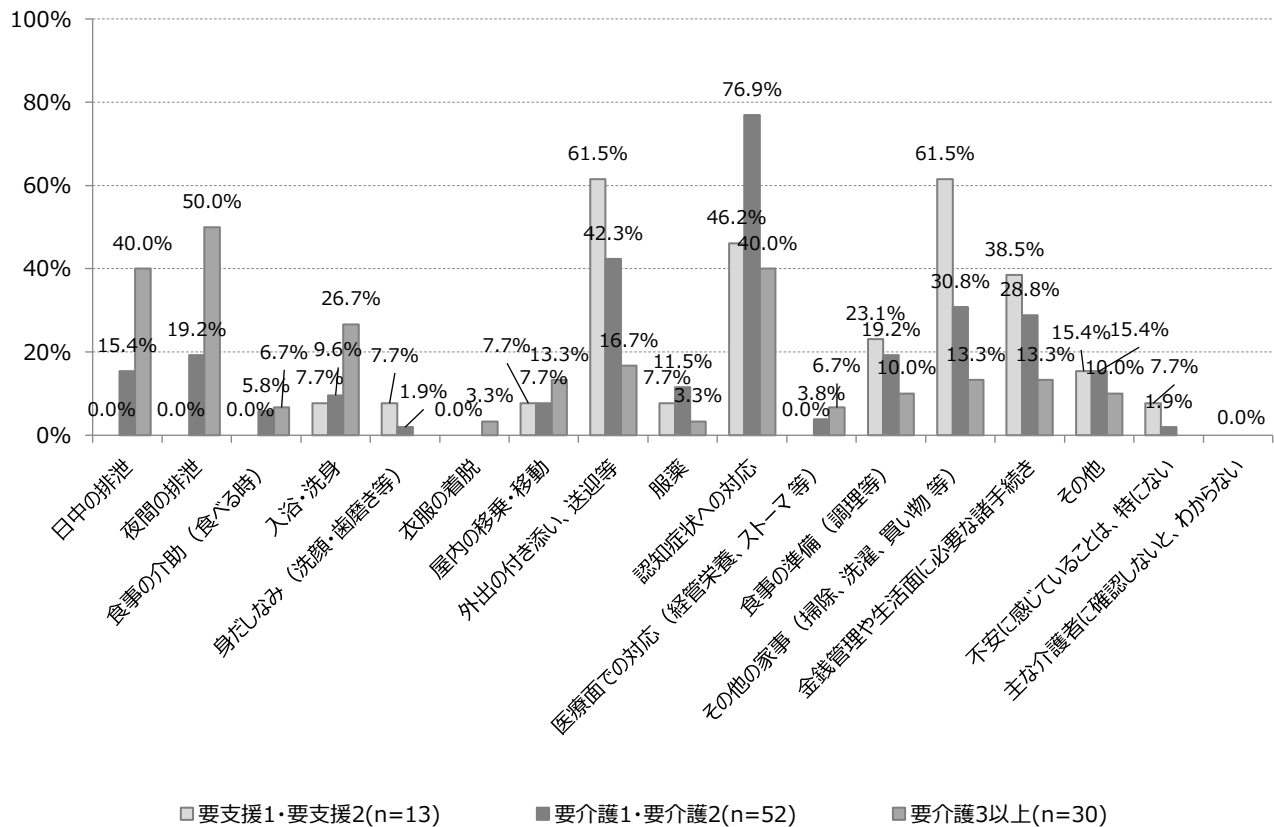


	割合/回答実数
自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、家族等介護者の就労継続が難しくなっている割合	2.3%
白井市全体で、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者数	29 人

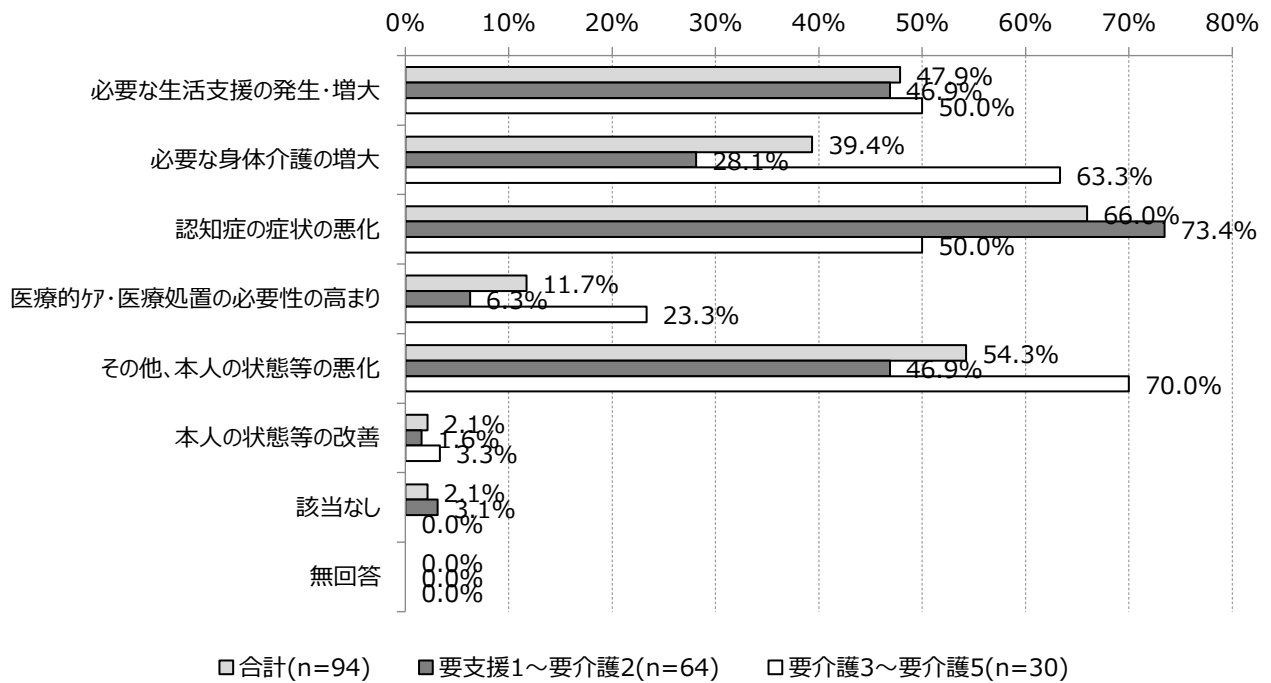
③ 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位	回答実数	粗推計	割合	世帯累計				要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	要介護2以下	要介護3以上
1	26人	26人	27.7%	★				★	
2	18人	18人	19.1%		★			★	
3	13人	13人	13.8%				★		★
4	12人	12人	12.8%				★		
5	9人	9人	9.6%			★		★	
6	8人	8人	8.5%			★		★	★
7	4人	4人	4.3%		★				★
7	4人	4人	4.3%	★					★
合計	94人	94人	100.0%						

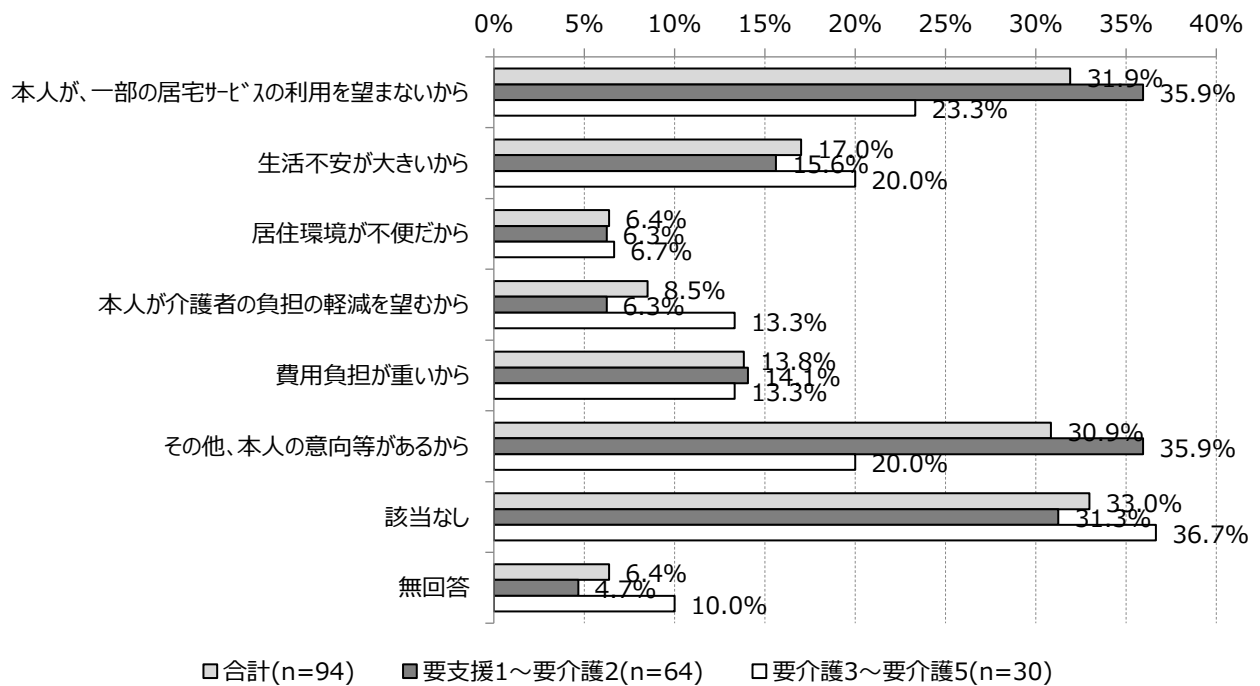
④ 現在、家族等介護者の負担になっている介護



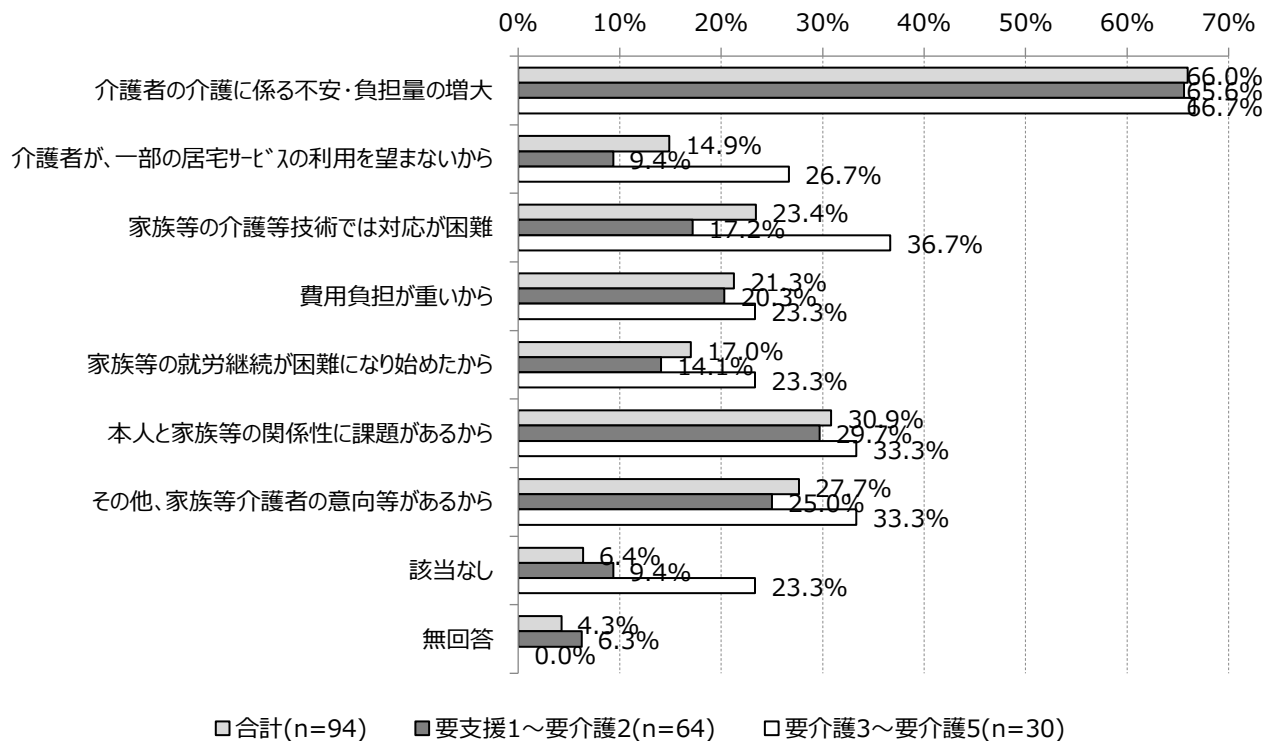
⑤ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由）



⑥ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由）



⑦ 生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等に属する理由）



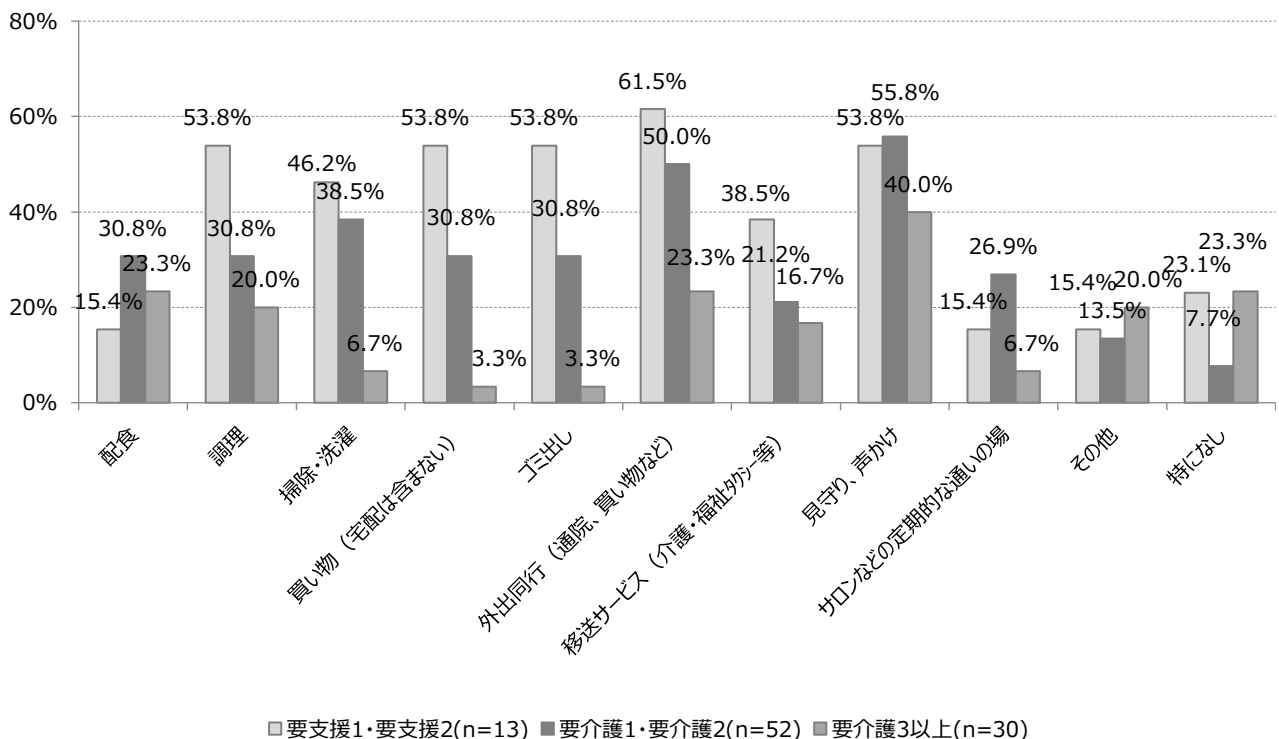
⑧ 在宅生活の維持が難しくなる場合

※自由記述の内容を趣旨を損なわない程度に整理して掲載

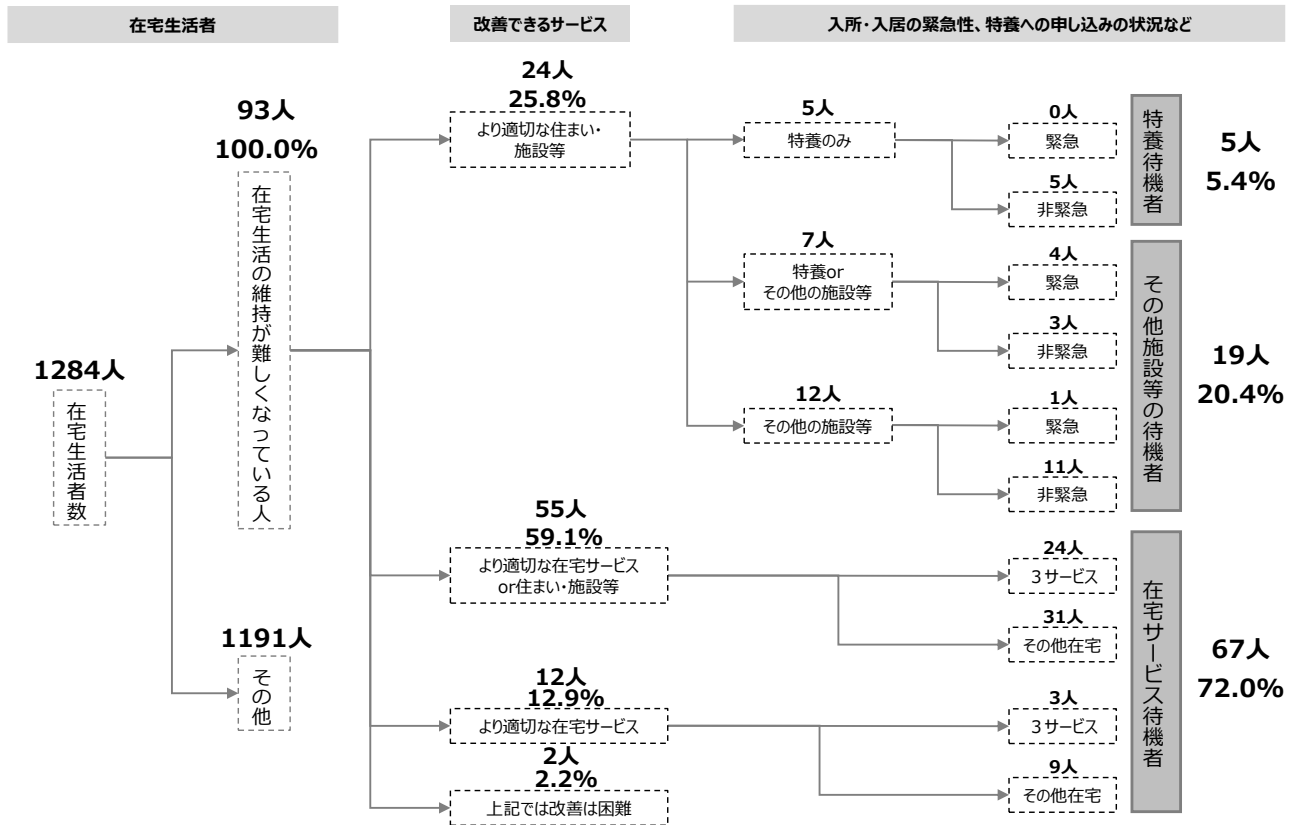
・ 認知機能低下による日常生活に支障が生じた時、急変などによる歩行困難や医療依存度が高くなった時。特に独居の方は在宅継続が困難となるケースが高い。
・ 家族介護が見込まれるのは、配偶者と同居のケース。子がいる場合でも、同居・別居に関わらず、就労・疾患を理由に介護が難しい状況にある場合が多い。
・ 疾患、転倒等による ADL の変化によって、在宅生活の維持が難しくなるケース。
・ 認知症の進行によるケース(独居)。
・ 独居で認知症がひどくなり、日常生活が送れなくなったとき。
・ 身体機能の低下で家族の介護負担が増えたとき。
・ 利用者の年齢が高くなると共に、介護する家族も高齢になり、体調不良等で、在宅での介護が困難になってくるケースが見受けられる。
・ また、排泄面で昼夜を問わず、大変になってくると、入所に向けた相談が多くなる。
・ ADL の低下により介助量が大きくなってしまった
・ 認知症の進行
・ 独居または高齢者世帯で介護できる親族が近くにいない。
・ 病状の悪化による医療ケア増大、ADL 低下。
・ 認知症による家族の介護負担増加。
・ 認知症状の悪化や身体状況の悪化により介護量が増えたとき。
・ 本人や介護者が進行性の疾患にかかってしまった場合、認知症の進行、排泄の失敗、ケガ。
・ 転倒して骨折した場合。
・ 認知症状が悪化し、家族での在宅介護が難しくなった場合。
・ 一人暮らしで、夜間のサービスが手薄と感じた場合。

・ 認知症の方や要介護度の高い一人暮らしの方の在宅生活は厳しい。
・ 認知症が進行したり急激な ADL の低下等、本人の状態が変化した場合。
・ 排泄の失敗が頻繁になったり、一人で留守番が出来ない状態になると施設を検討することが多い。
・ 歩行が困難となるが、家族の介助が「就労」「遠方」などにより難しい場合。
・ 認知症状の進行や ADL の低下による介助量が増えたことで在宅生活が難しくなった。
・ ADL 低下から排泄介助や食事介助が家族だけでは負担が多くなったとき。
・ 認知症の悪化から、家族が夜しっかり睡眠がとれなくなったとき。
・ 認知症の悪化から、徘徊が頻繁に出てしまったり、被害妄想が強く家族に対して攻撃が強くなってしまったとき。
・ 介護者のうち配偶者が高齢で介護できない場合、また高齢者の子が介護者の場合に子が仕事と介護の両立ができなくなった場合がほとんど。
・ 本人の機能低下、特に認知症の進行。
・ 家族の心身の疲弊、体調不良。
・ 転倒骨折し ADL 低下。認知症が重度になり介護者が疲弊。集合住宅でエレベーターなし、階段があがれなくなったとき。

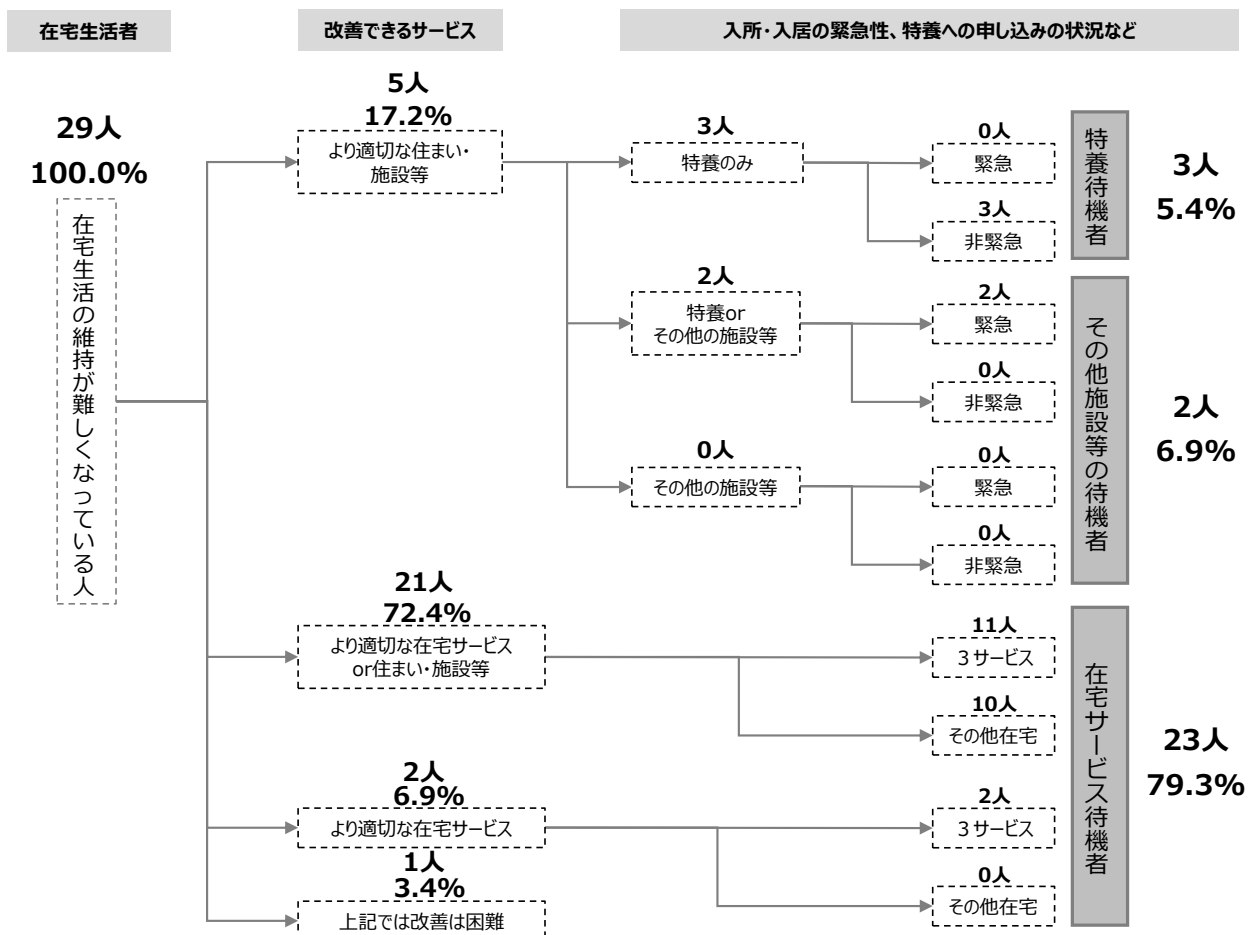
⑨ 本人の生活の維持もしくは家族等介護者の就労継続のため、充実が必要な生活支援



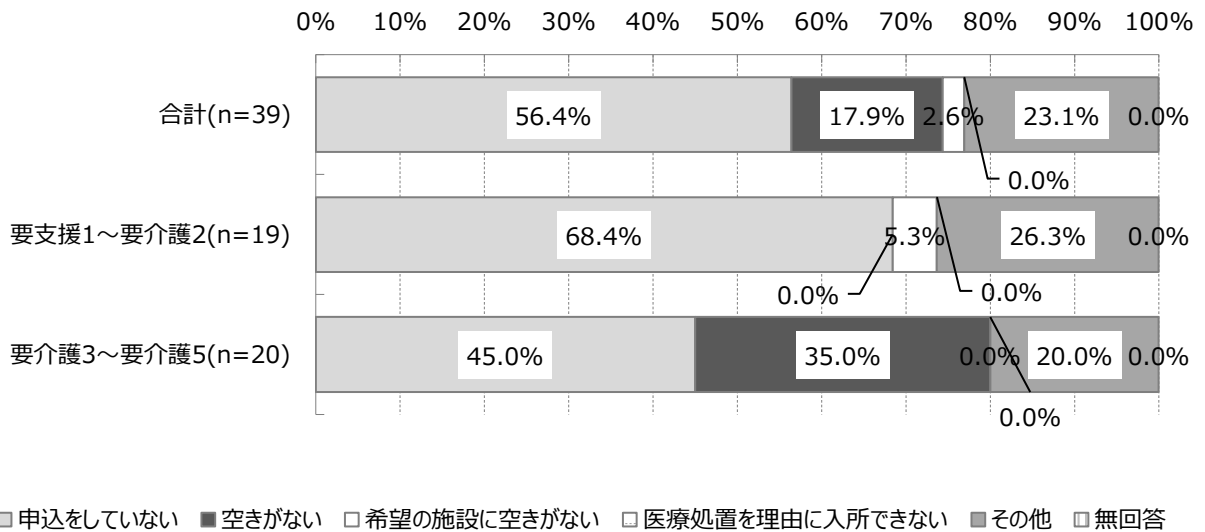
⑩ 生活の維持が難しくなっている人の生活の改善に必要なサービス変更



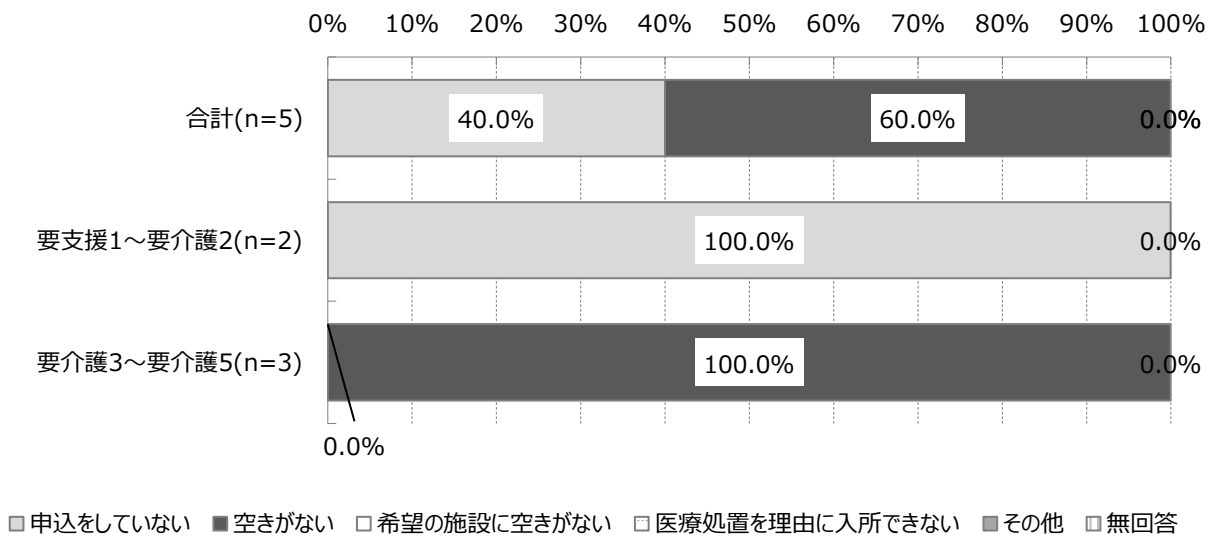
⑪ 生活の維持が難しくなっている人の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）



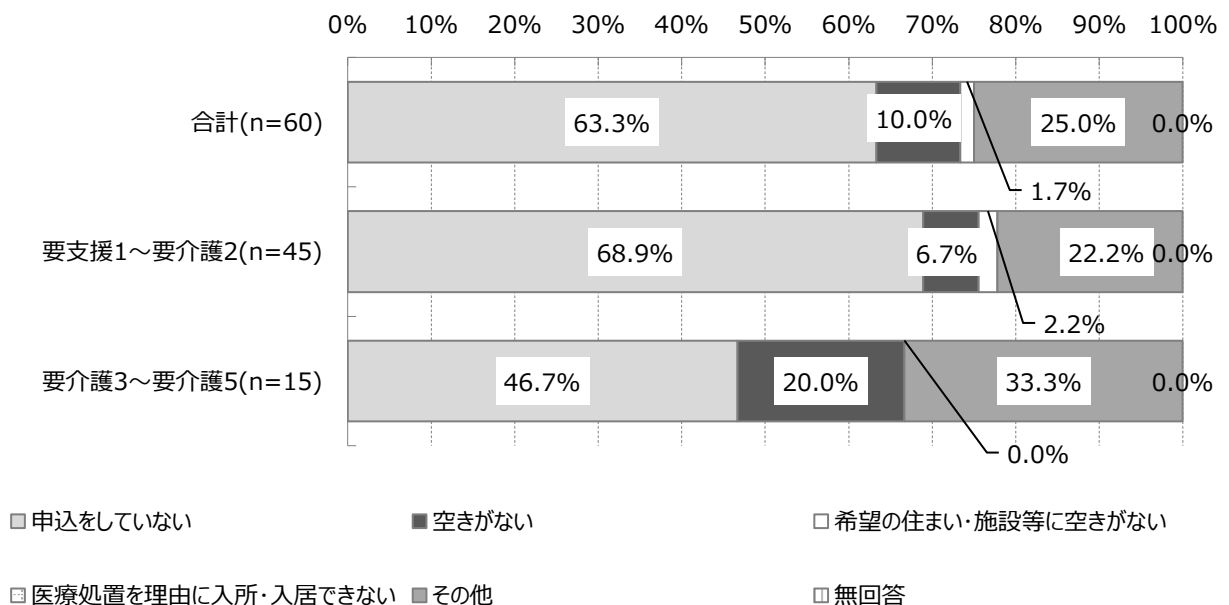
⑫ 特養に入所できていない理由（改善に必要なサービスで、特養を選択した人）



⑬ 特養に入所できていない理由（改善に必要なサービスで、特養のみを選択した人）



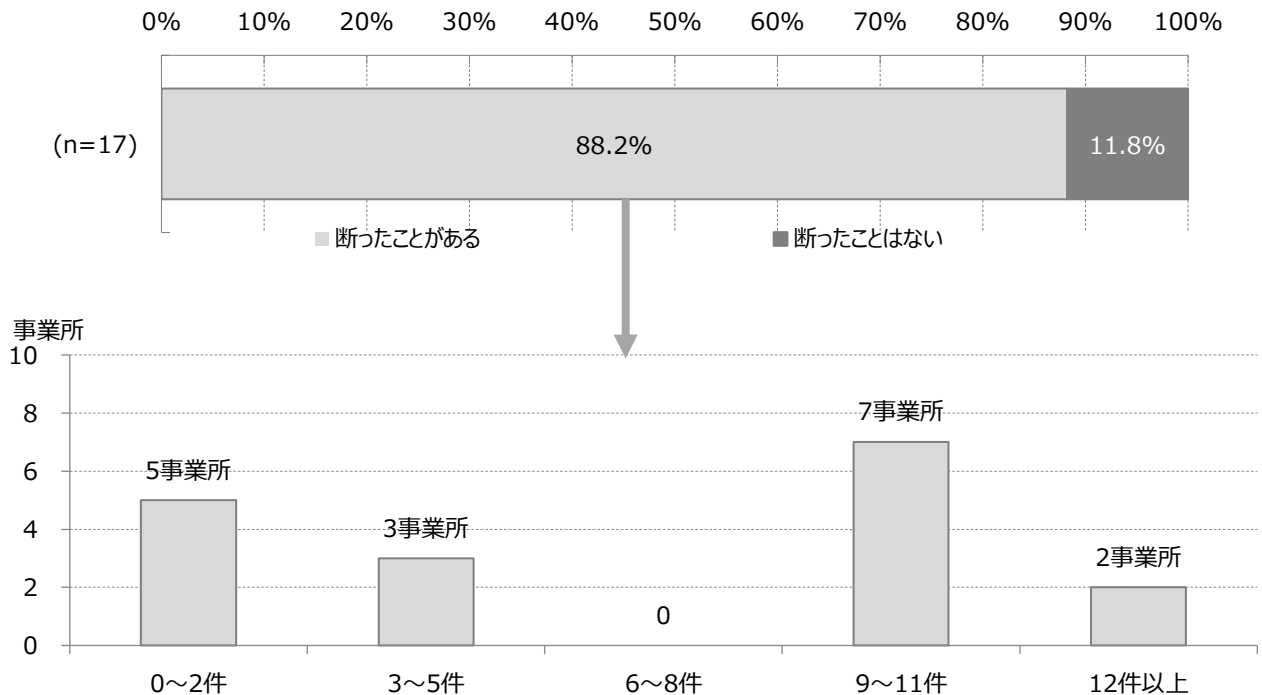
⑭ 特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由（改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人）



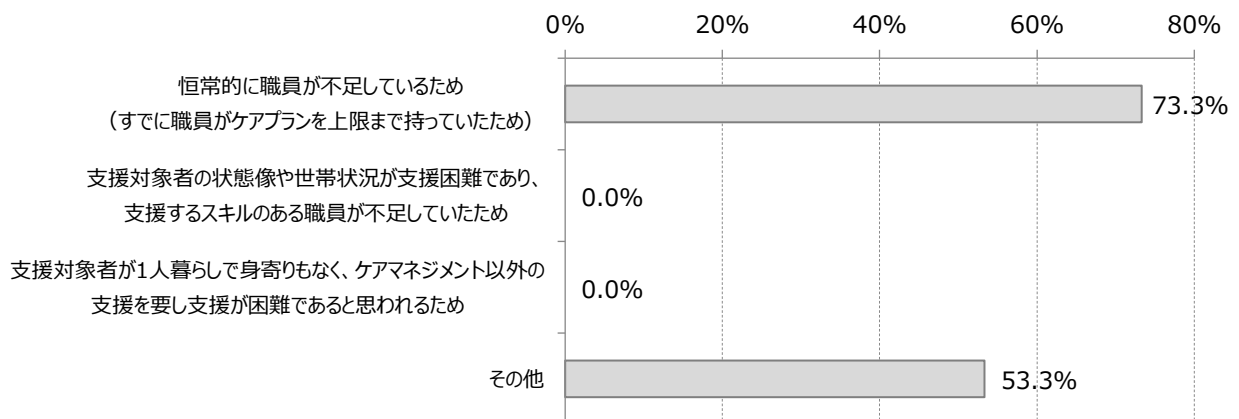
2 白井市の独自設問

1) ケアマネジメントの状況について

① ケアマネジメントの依頼を断ったケース（令和7年の1年間）



② ケアマネジメントの依頼を断った理由（令和7年の1年間）

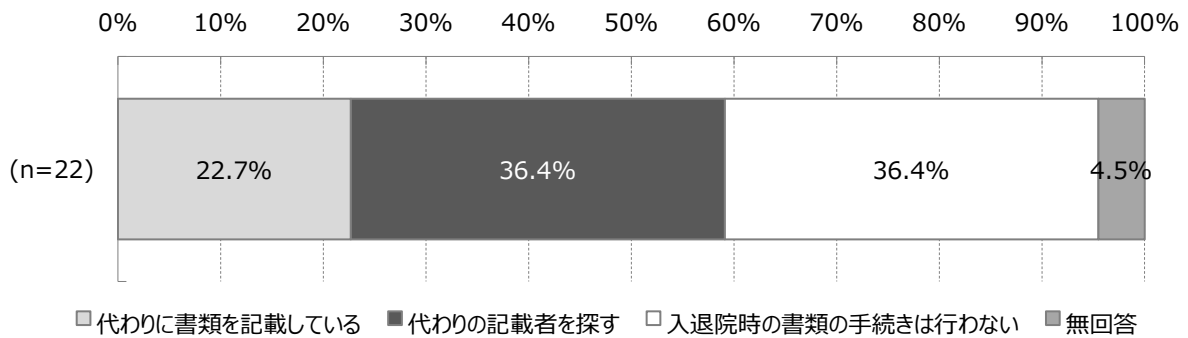


【その他】

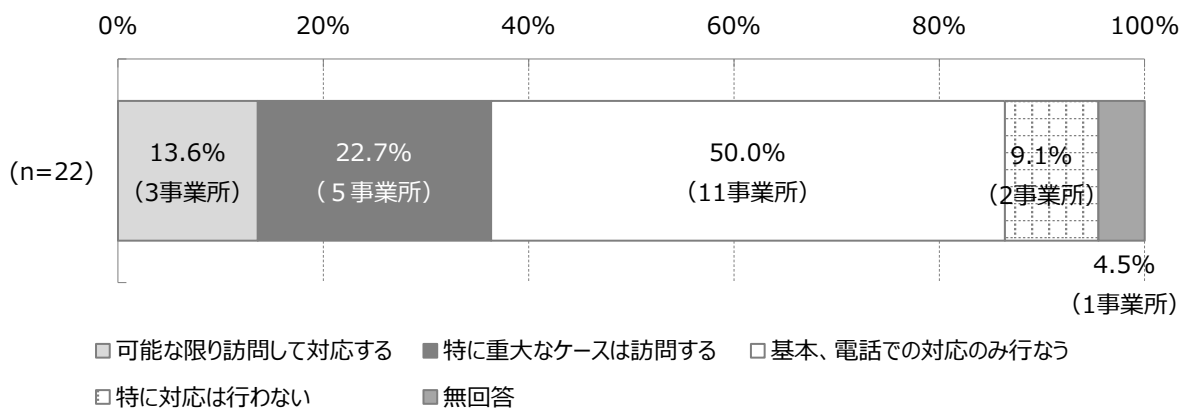
- ・ 3人ともその月に新規を何件も受けていて対応できなかった。
- ・ 新規の依頼が重なったり、看取り支援で多忙な場合。
- ・ 早急に対応が必要な依頼が重なり、対応が困難であったため。
- ・ 担当地域ではあるが自宅が遠すぎて訪問に時間が掛かると判断したため。
- ・ 上限には至らないが予防含めた件数が多すぎて支援が行き届かないため。
- ・ 相談が続いて、その時すぐに対応できる職員がいなかったため。
- ・ 「介護保険サービス」「障害福祉サービス」の利用者で、相談支援専門員と兼務・事業者であること。
- ・ 所属の法人の経営が不振で事業所の継続に確信が持てないため。

2) 独居高齢者の支援について

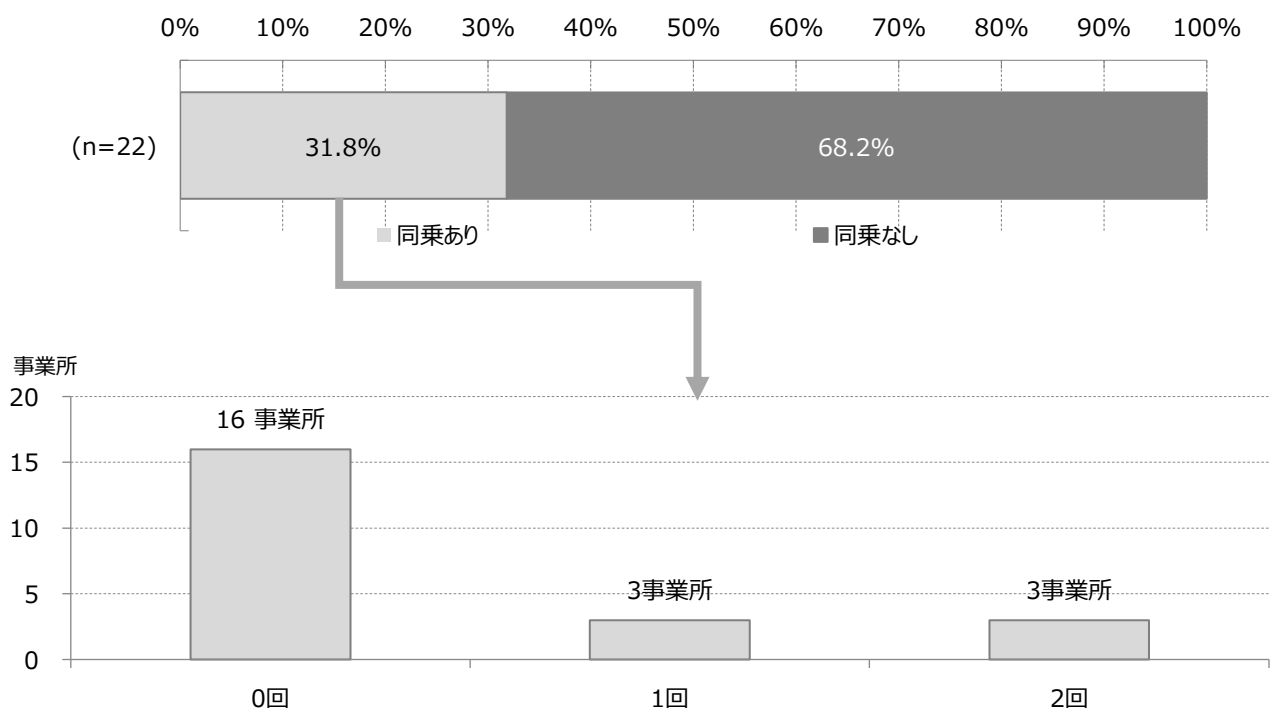
① 独居高齢者の入退院時に手続きする人がいない場合の対応



② 独居高齢者からの夜間緊急連絡への対応

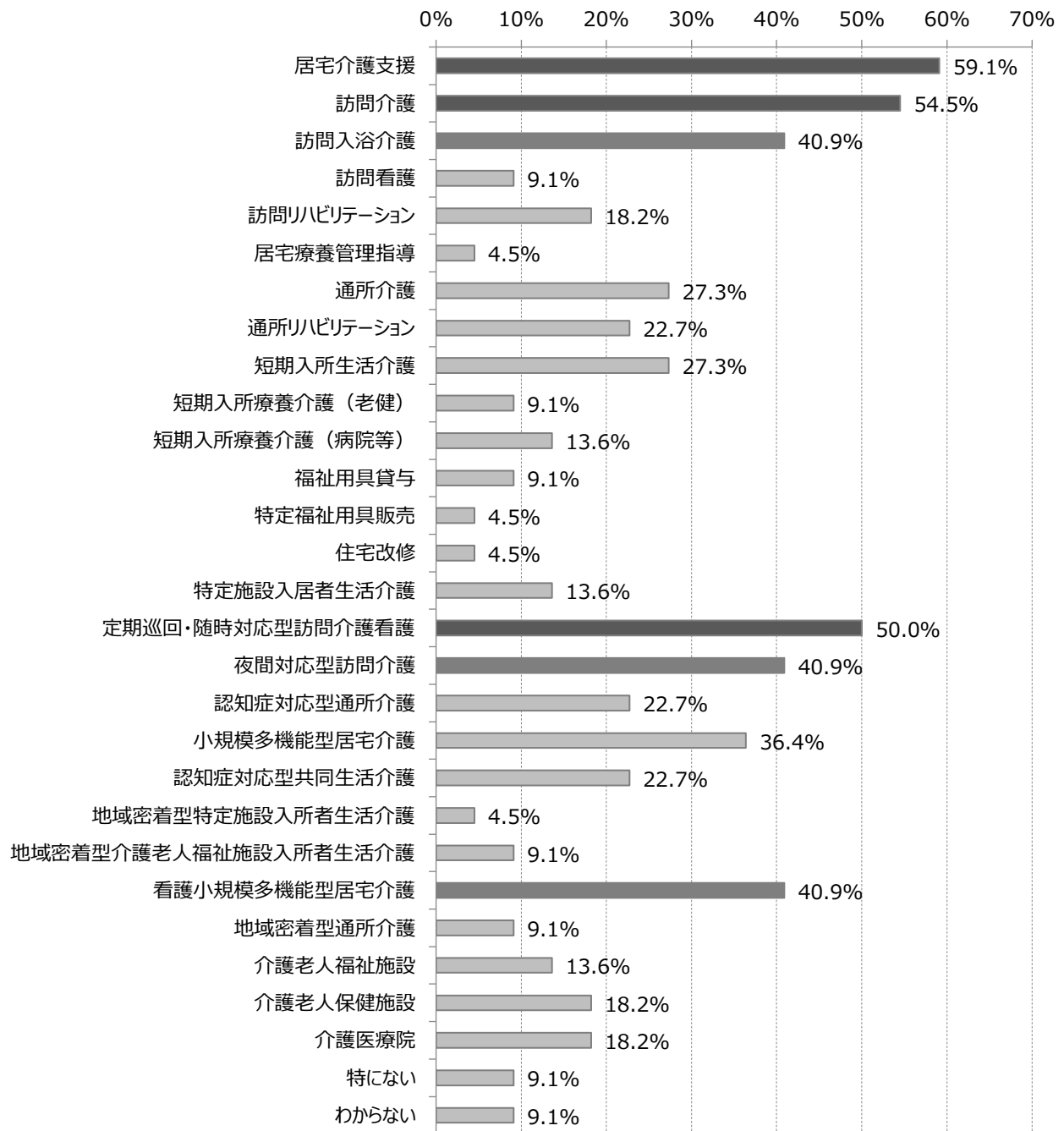


③ 独居高齢者の救急搬送における救急車への同乗



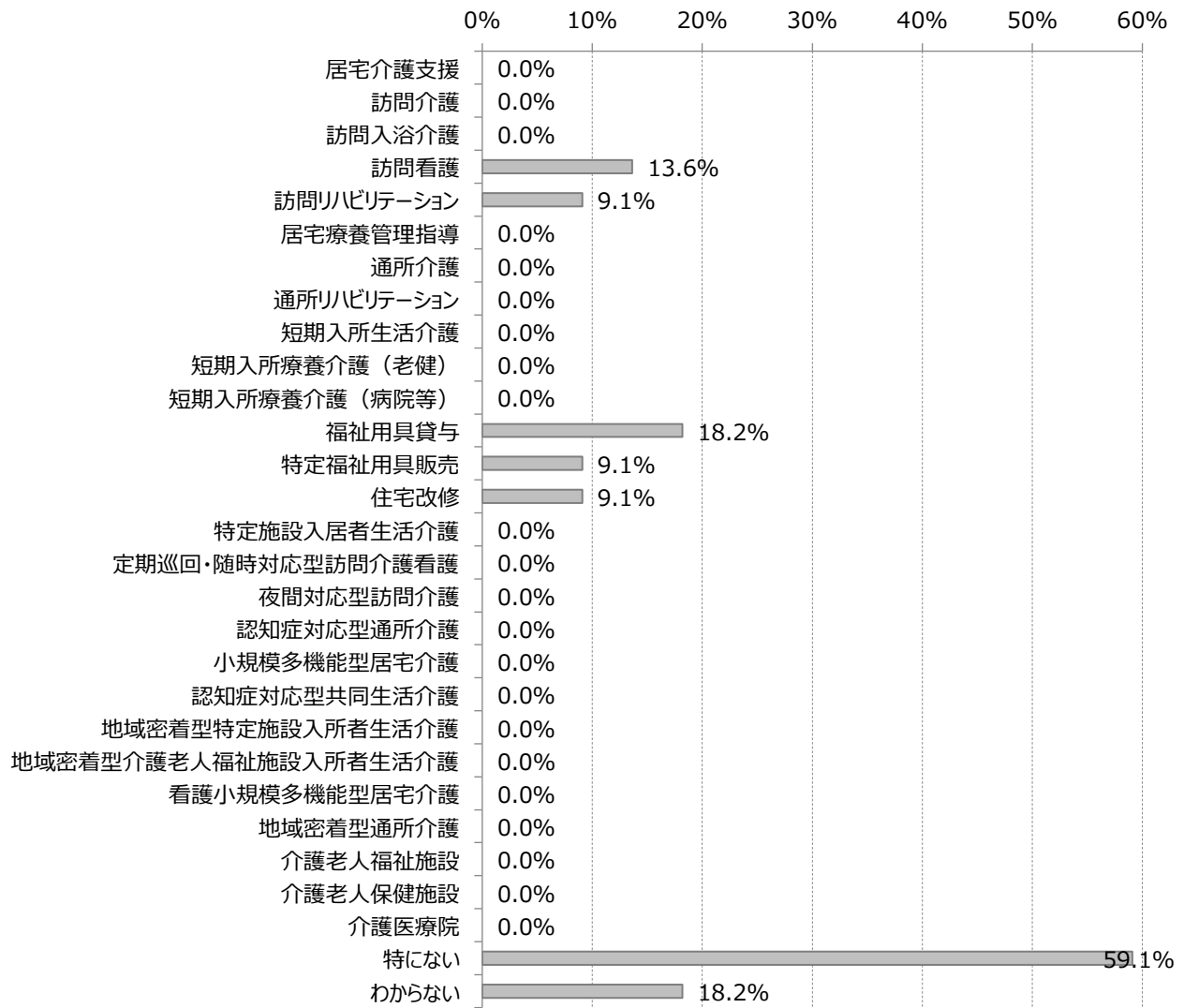
3) 市内の介護保険サービスの過不足

① 白井市に不足している介護保険サービス



※ ■…50%以上 ■…30%以上

② 白井市で供給過多と思われる介護保険サービス



③ 市内にあれば助かると思う介護保険外サービス

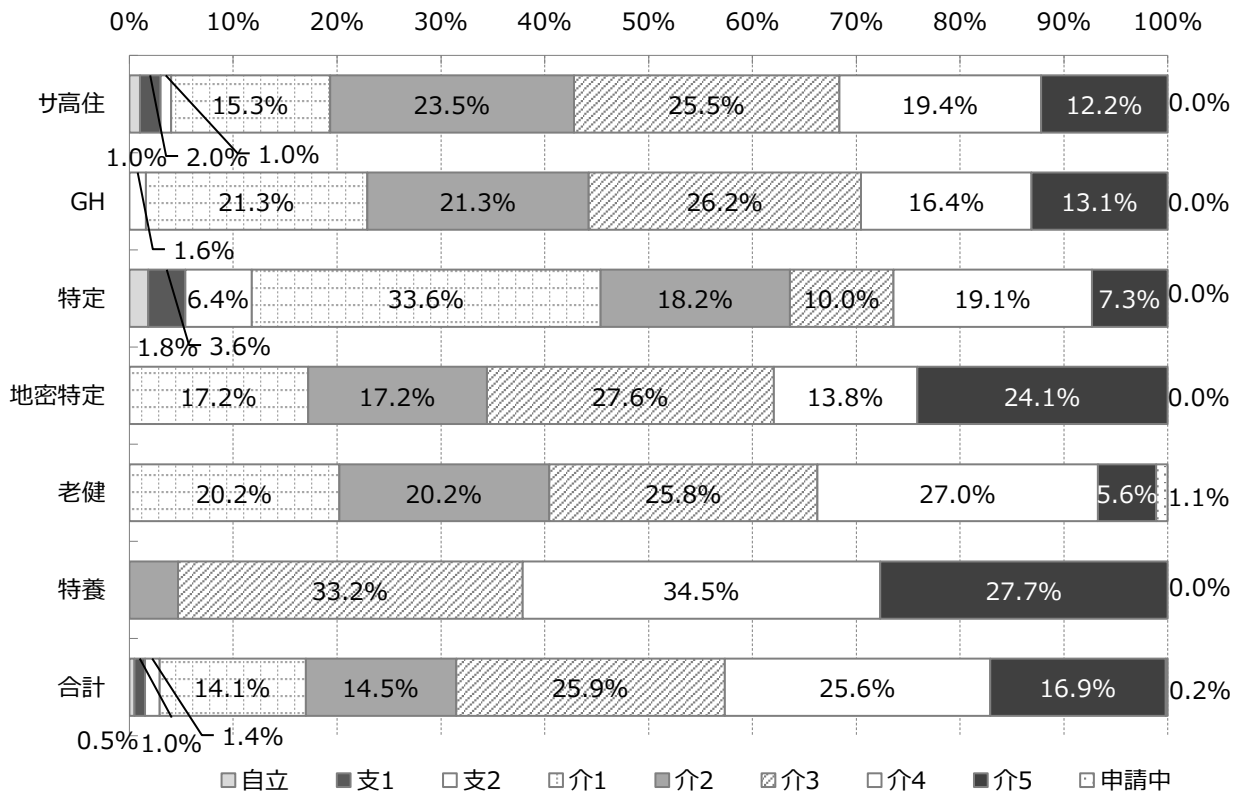
※自由記述の内容を趣旨を損なわない程度に整理して掲載

・地域の活動に参加するまで…などのちょっとした付き添いや車出し（短時間、低料金） ・元気なうちに免許返納した方の移動支援（自宅が駅から距離がある方） ・ゴミ捨て支援（ちょいこまは現在新規不可） ・見守りサービス（週1回以上） ・楽トレ以外の体操や運動の場
・病院付き添い、移送サービス
・巻き爪対応のできるフットケアサービス、訪問理美容、通院同行サービス、見守りサービス
・移動販売車まで行けない方のための、予約すれば玄関まで来てくれる移動販売 ・安価な院内介助（みんなサポが正式に使用できると良い）
・移送サービス（費用があまりかからない）、有償ボランティアが各地域に欲しい
・軽度者の方へのタクシー券の配布、ちょっとした困りごとサービスの充実
・緊急時や入退院時に家族が対応できないときに代わりに有償での対応をしてくれるサービス
・ゴミ捨て：ボランティアでは重いゴミ（オムツ等）は持っていけないと断られてしまう。また地域差があり、ボランティアの組織のない地域は利用さえもできない状況。
・ゴミ出し、電球の交換等の短時間のサービス ・ペットの散歩、舞台鑑賞やコンサート・墓参りの付き添い等の生きがい支援のサービス ・配食弁当の復活
・書類作成・申請代行、通院同行、交通インフラ（本数・停留所の数・多彩なコース）、見守りお喋り、お散歩同行
・階段昇降を介助してくれる（階段昇降機での対応含む） ・通院同行、院内の付き添い ・自宅内で転倒した時に起こすのを手伝ってくれる ・お泊りデイや時間延長、認知症の方の見守りサービス等
・受診の付き添い、話し相手、不要な書類や物品の整理
・受診同行をしてくれるヘルパー ・草むしりや窓掃除などの自費ヘルパー ・単なる見守り（家族が不在時・数時間程度） ・介護している同居家族へのサービス（ちょっとした家事手伝い、子育てのファミサポのようなもの）
・目的や利用者の条件に制限のない移送サービス（格安で）
・移送サービス、通院同行サービス、介護保険では認められていない内容にも対応できるヘルパーサービス

5章 調査結果(居所変更実態調査)

1 共通設問

① 現在の入所・入居者の要支援・要介護度



② 過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合

サービス種別	居所変更	死亡	合計
サ高住 (n=3)	12人 48.0%	13人 52.0%	25人 100.0%
GH (n=6)	10人 62.5%	6人 37.5%	16人 100.0%
特定 (n=1)	7人 24.1%	22人 75.9%	29人 100.0%
地密特定 (n=1)	14人 93.3%	1人 6.7%	15人 100.0%
老健 (n=1)	68人 82.9%	14人 17.1%	82人 100.0%
特養 (n=3)	71人 78.9%	19人 21.1%	90人 100.0%
合計 (n=15)	182人 70.8%	75人 29.2%	257人 100.0%

③ 過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ

サービス付き高齢者向け住宅：9施設（98戸）

新規入居			
入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	7人 21.2%	16人 48.5%	23人 69.7%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	1人 3.0%	0人 0.0%	1人 3.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	2人 6.1%	2人 6.1%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	1人 3.0%	6人 18.2%	7人 21.2%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	9人 27.3%	24人 72.7%	33人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	2人 16.7%	4人 33.3%	6人 50.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	6人 50.0%	0人 0.0%	6人 50.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	8人 66.7%	4人 33.3%	12人 100.0%
居所変更			12人 48.0%
死亡			13人 52.0%
総計			25人 100.0%

④ 過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ

グループホーム：6施設（定員81人）

新規入居			
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	11人 45.8%	0人 0.0%	11人 45.8%
住宅型有料	2人 8.3%	0人 0.0%	2人 8.3%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 4.2%	1人 4.2%	2人 8.3%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	1人 4.2%	0人 0.0%	1人 4.2%
老健	2人 8.3%	0人 0.0%	2人 8.3%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	3人 0.0%	0人 0.0%	3人 0.0%
その他	3人 0.0%	0人 0.0%	3人 12.5%
把握していない			0人 0.0%
合計	23人 95.8%	1人 4.2%	24人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 10.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	1人 10.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
病院・診療所	4人 40.0%	0人 0.0%	4人 40.0%
特養	4人 40.0%	0人 0.0%	4人 40.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	10人 100.0%	0人 0.0%	10人 100.0%
居所変更			10人 62.5%
死亡			6人 37.5%
総計			16人 100.0%

⑤ 過去1年間の特定施設の入所及び退所の流れ

特定施設：1施設（定員120人）

新規入居			
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	6人 22.2%	7人 25.9%	13人 48.1%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	2人 7.4%	2人 7.4%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	5人 18.5%	7人 25.9%	12人 44.4%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	11人 40.7%	16人 59.3%	27人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	1人 14.3%	1人 14.3%
住宅型有料	1人 14.3%	0人 0.0%	1人 14.3%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	2人 28.6%	2人 28.6%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	0人 0.0%	1人 14.3%	1人 14.3%
特養	1人 14.3%	1人 14.3%	2人 28.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	2人 28.6%	5人 71.4%	7人 100.0%
居所変更			7人 24.1%
死亡			22人 75.9%
総計			29人 100.0%

⑥ 過去1年間の地域密着型特定施設の入所及び退所の流れ

地域密着型特定施設：1施設（定員29人）

新規入居			
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	6人 60.0%	0人 0.0%	6人 60.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	1人 10.0%	1人 10.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	3人 30.0%	0人 0.0%	3人 30.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	9人 90.0%	1人 10.0%	10人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	2人 14.3%	0人 0.0%	2人 14.3%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	8人 57.1%	0人 0.0%	8人 57.1%
特養	3人 21.4%	1人 7.1%	4人 28.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	13人 92.9%	1人 7.1%	14人 100.0%
居所変更			14人 93.3%
死亡			1人 6.7%
総計			15人 100.0%

⑦ 過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ

介護老人保健施設：1施設（定員100人）

新規入居			
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	8人 9.4%	0人 0.0%	8人 9.4%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.2%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	14人 16.5%	62人 72.9%	76人 89.4%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	22人 25.9%	63人 74.1%	85人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	2人 2.9%	4人 5.9%	6人 8.8%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	1人 1.5%	0人 0.0%	1人 1.5%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	4人 5.9%	54人 79.4%	58人 85.3%
特養	0人 0.0%	3人 4.4%	3人 4.4%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	7人 10.3%	61人 89.7%	68人 100.0%
居所変更			68人 82.9%
死亡			14人 17.1%
総計			82人 100.0%

⑧ 過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

特別養護老人ホーム：3施設（定員260人）

新規入居			
入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	36人 42.9%	10人 11.9%	46人 54.8%
住宅型有料	2人 2.4%	0人 0.0%	2人 2.4%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 1.2%	0人 0.0%	1人 1.2%
GH	1人 1.2%	2人 2.4%	3人 3.6%
特定	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.2%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	6人 7.1%	10人 11.9%	16人 19.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	10人 11.9%	4人 4.8%	14人 16.7%
その他	1人 1.2%	0人 0.0%	1人 1.2%
把握していない			0人 0.0%
合計	57人 67.9%	27人 32.1%	84人 100.0%

退去			
変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	1人 1.4%	1人 1.4%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	1人 1.4%	1人 1.4%	2人 2.8%
病院・診療所	61人 85.9%	5人 7.0%	66人 93.0%
特養	0人 0.0%	2人 2.8%	2人 2.8%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	62人 87.3%	9人 12.7%	71人 100.0%
居所変更			71人 78.9%
死亡			19人 21.1%
総計			90人 100.0%

⑨ 居所変更した人の要支援・要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 16.0%	1人 4.0%	4人 16.0%	2人 8.0%	1人 4.0%	13人 52.0%	0人 0.0%	25人 100.0%
GH (n=6)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.3%	4人 25.0%	3人 18.8%	2人 12.5%	6人 37.5%	0人 0.0%	16人 100.0%
特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	3人 10.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	22人 75.9%	0人 0.0%	29人 100.0%
地密特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	5人 33.3%	5人 33.3%	3人 20.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	15人 100.0%
老健 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	10人 12.2%	15人 18.3%	13人 15.9%	21人 25.6%	9人 11.0%	14人 17.1%	0人 0.0%	82人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.1%	1人 1.1%	14人 15.6%	25人 27.8%	30人 33.3%	19人 21.1%	0人 0.0%	90人 100.0%
地密特養 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計 (n=15)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	18人 7.0%	21人 8.2%	40人 15.6%	56人 21.8%	47人 18.3%	75人 29.2%	0人 0.0%	257人 100.0%

⑩ 居所変更した人の要支援・要介護度（老健を除外）

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 16.0%	1人 4.0%	4人 16.0%	2人 8.0%	1人 4.0%	13人 52.0%	0人 0.0%	25人 100.0%
GH (n=6)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.3%	4人 25.0%	3人 18.8%	2人 12.5%	6人 37.5%	0人 0.0%	16人 100.0%
特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	3人 10.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 6.9%	22人 75.9%	0人 0.0%	29人 100.0%
地密特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	5人 33.3%	5人 33.3%	3人 20.0%	1人 6.7%	0人 0.0%	15人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.1%	1人 1.1%	14人 15.6%	25人 27.8%	30人 33.3%	19人 21.1%	0人 0.0%	90人 100.0%
地密特養 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計(老健除 (n=14)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	8人 4.6%	6人 3.4%	27人 15.4%	35人 20.0%	38人 21.7%	61人 34.9%	0人 0.0%	175人 100.0%

⑪ 居所変更した理由

	生活 支援	身体 介護	認知症	医療的 ケア	その他 状態像 の悪化	状態等 の改善	居宅 サービス 利用を 望まな かった	費用 負担	本人の 希望	その他	無回答
住宅型有料 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
軽費 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
サ高住 (n=3)	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
GH (n=6)	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
特定 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地密特定 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
老健 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特養 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
地密特養 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計 (n=15)	1 6.7%	3 20.0%	1 6.7%	10 66.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%

⑫ 受け入れ可能な医療処置の種類

サービス 種別	点滴の 管理	中心静脈 栄養	透析	スーマの 処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開 の処置	疼痛の 看護
住宅型有料 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
軽費 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
サ高住 (n=3)	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
GH (n=6)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
特定 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地密特定 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
老健 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特養 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地密特養 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計 (n=15)	4 26.7%	2 13.3%	4 26.7%	11 73.3%	9 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%

サービス 種別	経管栄養	モニター測定	褥瘡の 処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン 注射	対応可能 な医療処 置はない
住宅型有料 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
軽費 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
サ高住 (n=3)	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%
GH (n=6)	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%
特定 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
地密特定 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
老健 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
介護医療院 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特養 (n=3)	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
地密特養 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計 (n=15)	9 60.0%	0 0.0%	13 86.7%	7 46.7%	6 40.0%	8 53.3%	2 13.3%

⑬ 医療処置が必要な入所・入居者数の割合

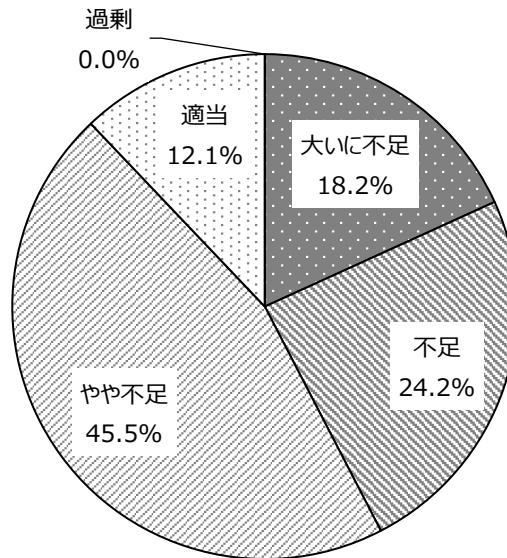
サービス 種別	医療処置を受けている 入所・入居者数
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%
サ高住 (n=3)	10人 10.2%
GH (n=6)	3人 4.9%
特定 (n=1)	18人 16.4%
地密特定 (n=1)	3人 10.3%
老健 (n=1)	5人 5.6%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%
特養 (n=3)	35人 14.9%
地密特養 (n=0)	0人 0.0%
合計 (n=15)	74人 11.9%

6章 調査結果(介護人材実態調査)

1 白井市の独自設問

① 介護職員の過不足状況

介護職員の過不足状況は、「やや不足」が45.5%で一番多く、「不足」（24.2%）、「大いに不足」（18.2%）が続いている。

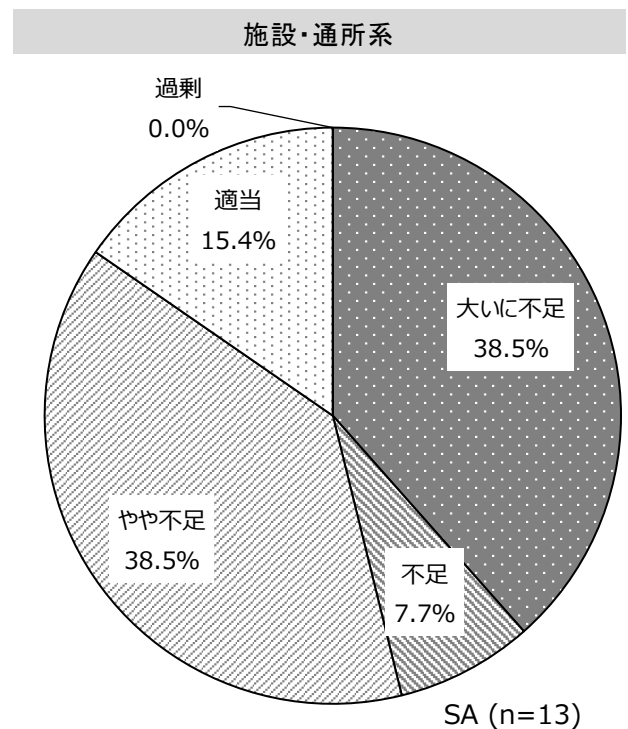
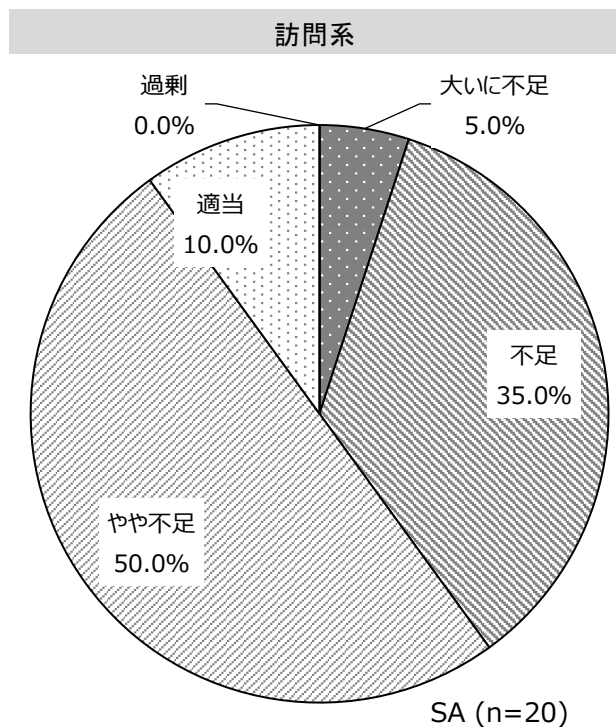


SA (n=33)

② 介護職員の過不足状況（訪問系/施設・通所系）

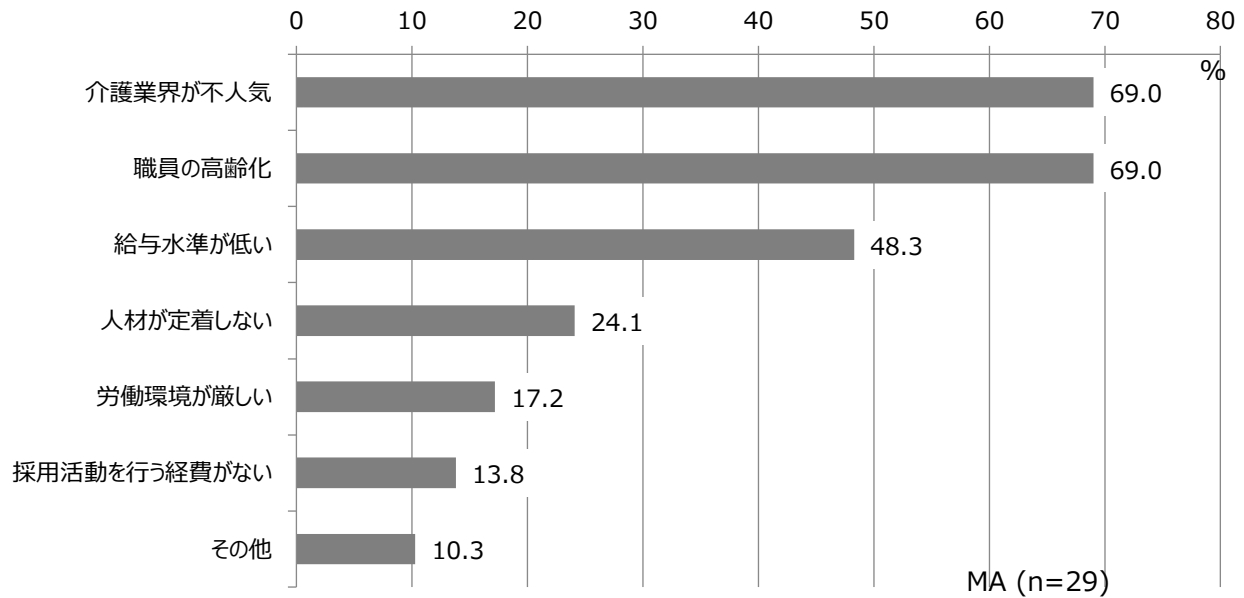
介護職員の過不足状況を施設の種別別にみると、訪問系は「大いに不足（38.5%）」と「不足（7.7%）」をあわせて46.2%となっている。

一方、施設・通所系は、「大いに不足（5.0%）」と「不足（35.0%）」をあわせて40.0%となっている。



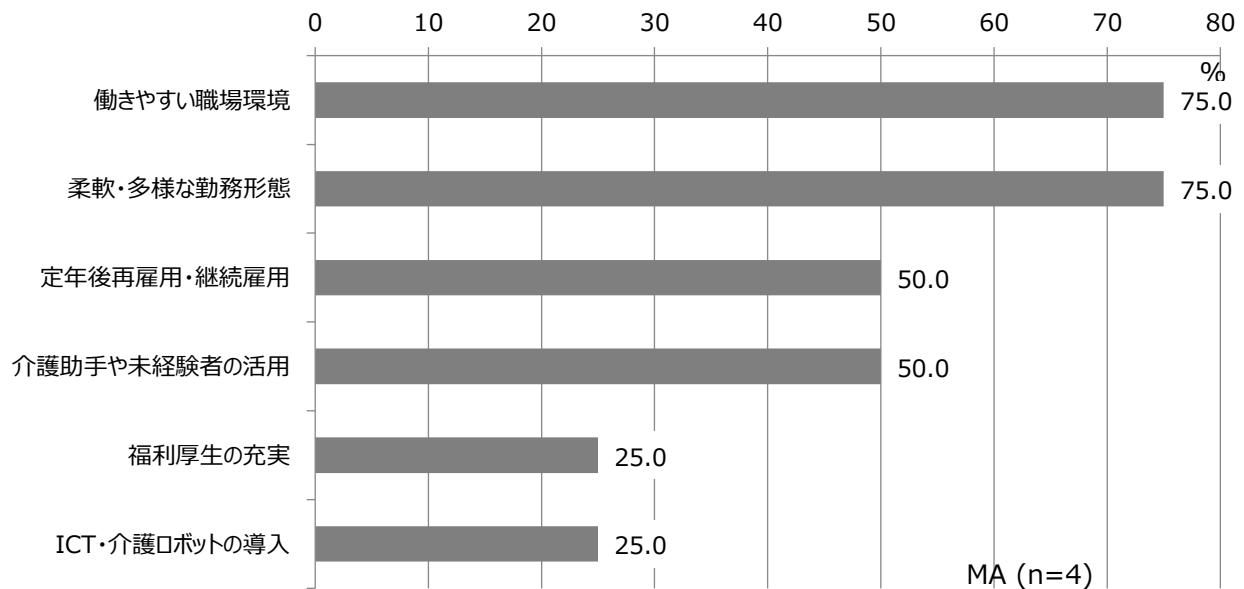
③ 介護職員が不足する要因

介護職員が不足する要因は、「介護業界が不人気」と「職員の高齢化」が 69.0%で一番多く、「給与水準が低い」（48.3%）が続いている。



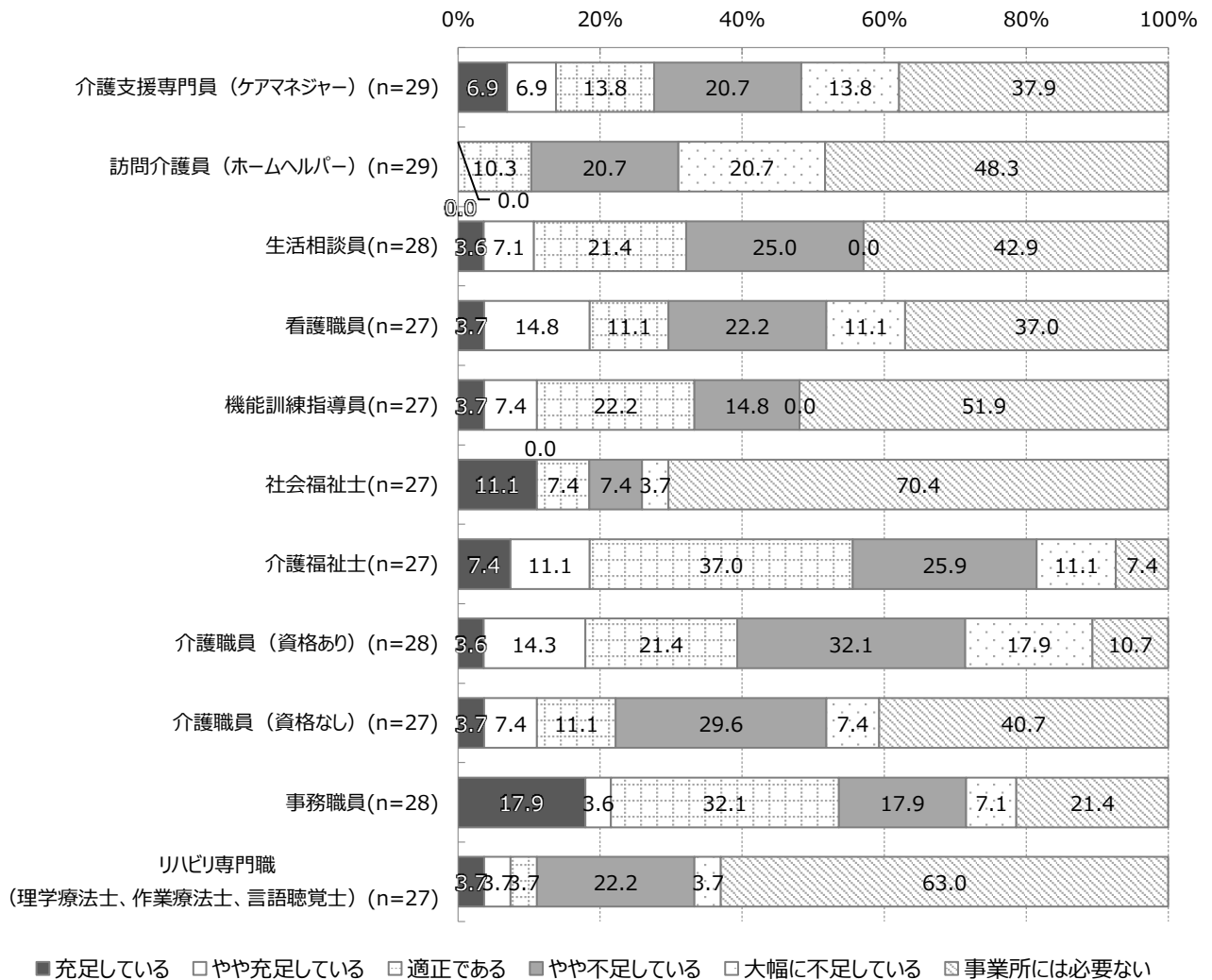
④ 介護職員を確保できている要因

介護職員を確保できている要因は、「働きやすい職場環境」と「柔軟・多様な勤務形態」が 75.0%で一番多く、「定年後再雇用・継続雇用」（50.0%）が続いている。



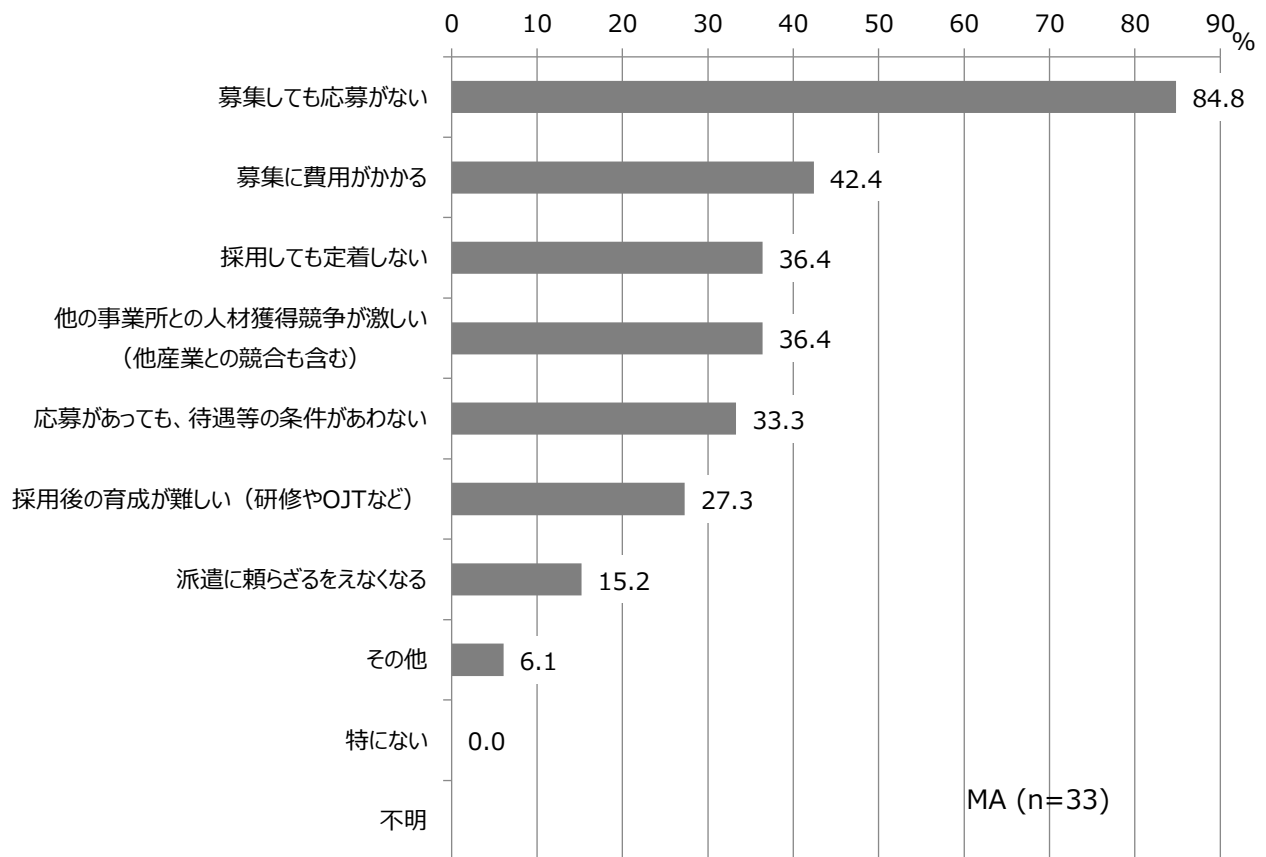
⑤ 各職種の充足度

各職種の充足度をみると、「大幅に不足している」職種は、「訪問介護員（ホームヘルパー）」（20.7%）が一番多く、「介護職員（資格あり）」（17.9%）、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」（13.8%）が続いている。



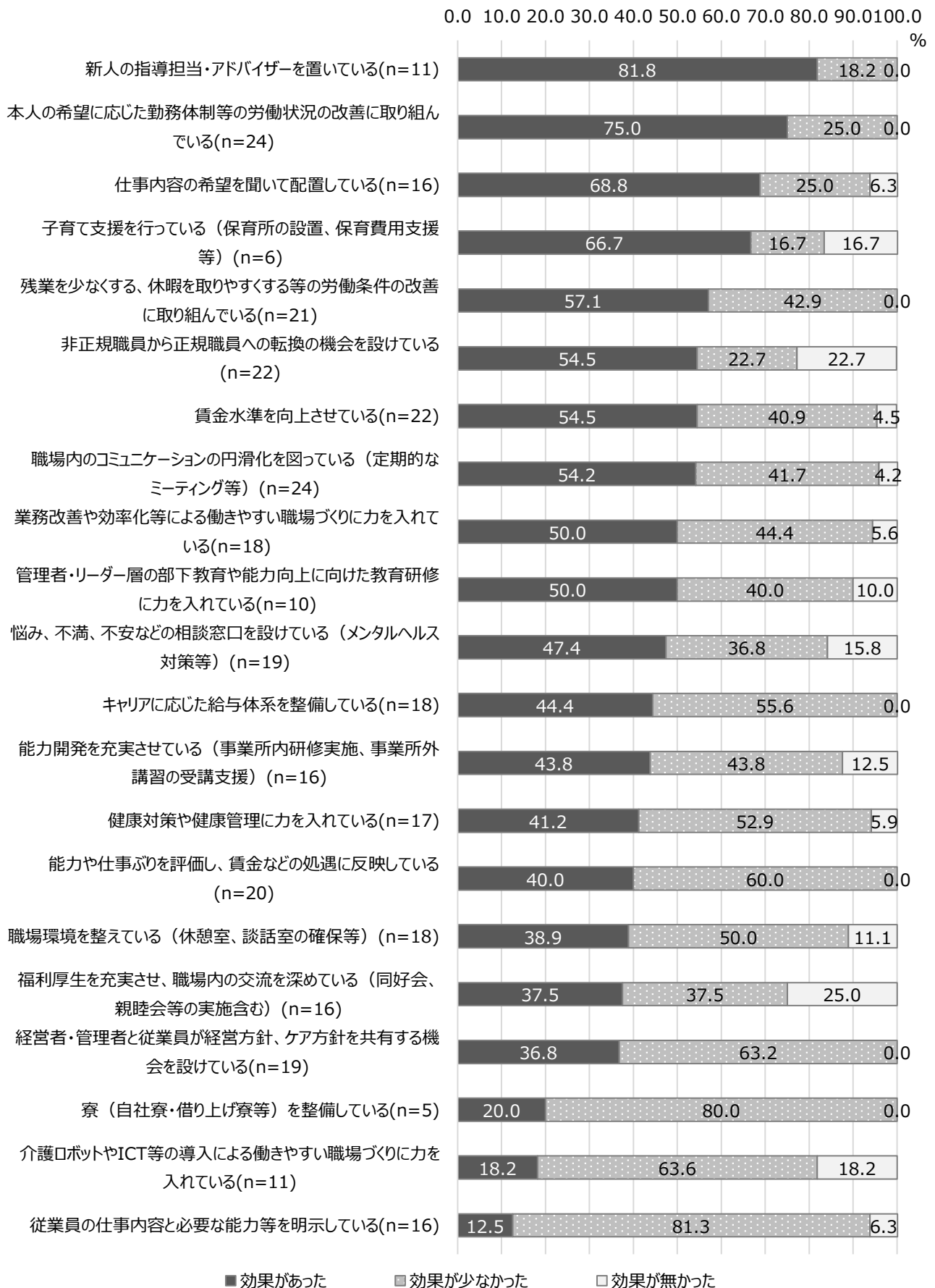
⑥ 人材確保で問題になること

人材確保で問題になることは、「募集しても応募がない」が84.8%で一番多く、「募集に費用がかかる」（42.4%）、「採用しても定着しない」（36.4%）、「他の事業所との人材獲得競争が激しい（他産業との競合も含む）」（36.4%）が続いている。



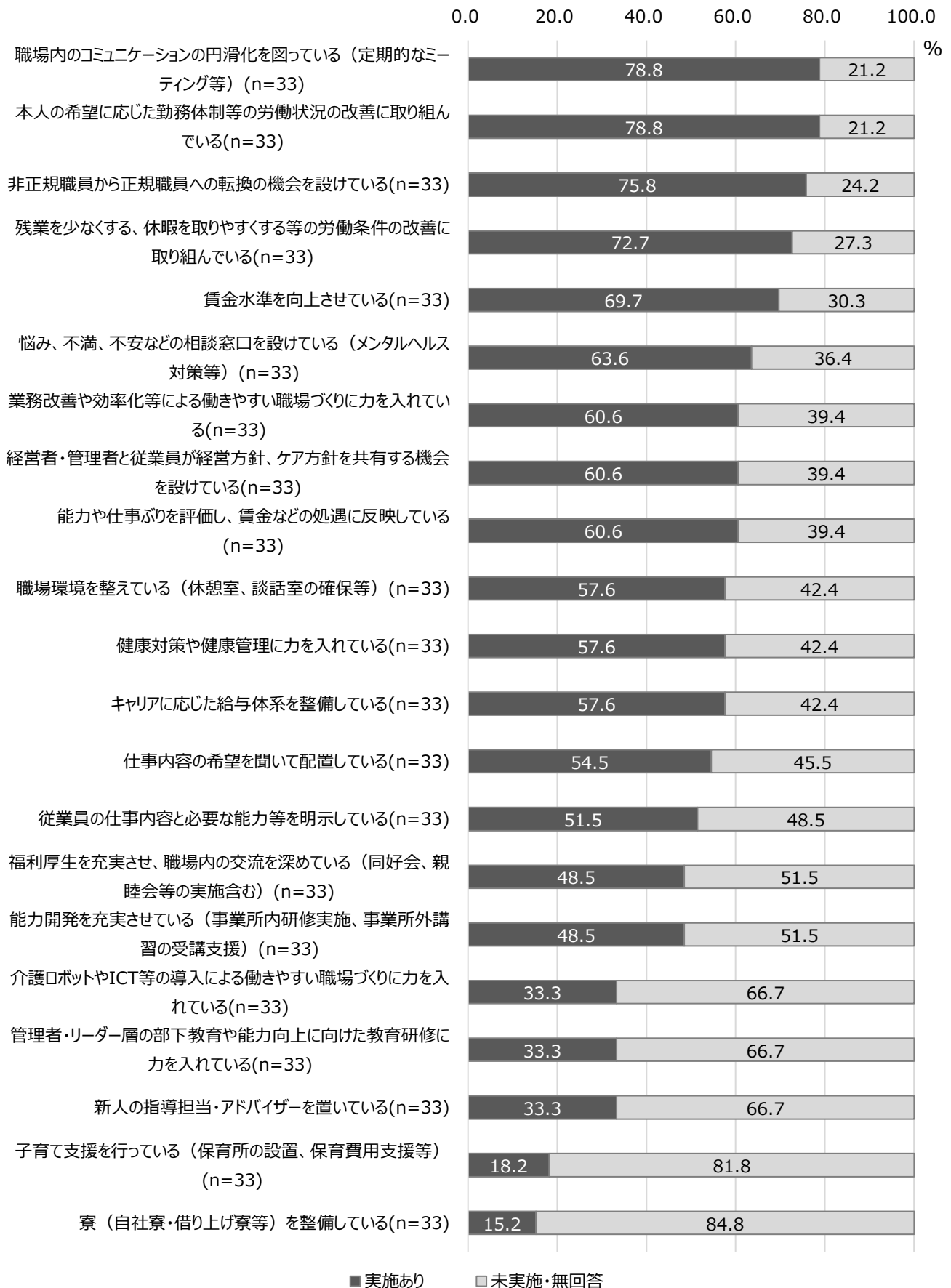
⑦ 離職防止のための施策の効果

離職防止のための施策の効果を見ると、「効果があった」割合は、「新人の指導担当・アドバイザーを置いている」（81.8％）が最も多く、「本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善に取り組んでいる」（75.0％）、「仕事内容の希望を聞いて配置している」（68.8％）が続いている。



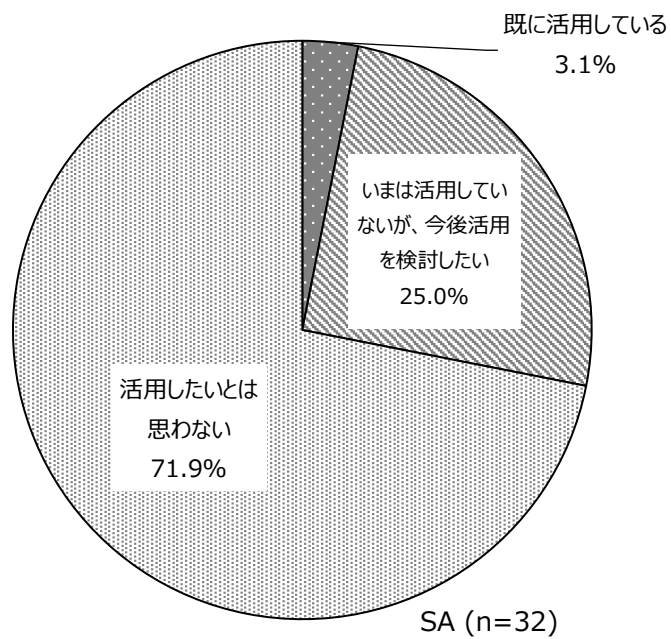
⑧ 離職防止のための施策の実施状況

離職防止のための施策の実施状況をみると、「実施あり」の割合は、「本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善に取り組んでいる」と「職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング等）」が78.8%で最も多く、「非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている」（75.8%）が続いている。



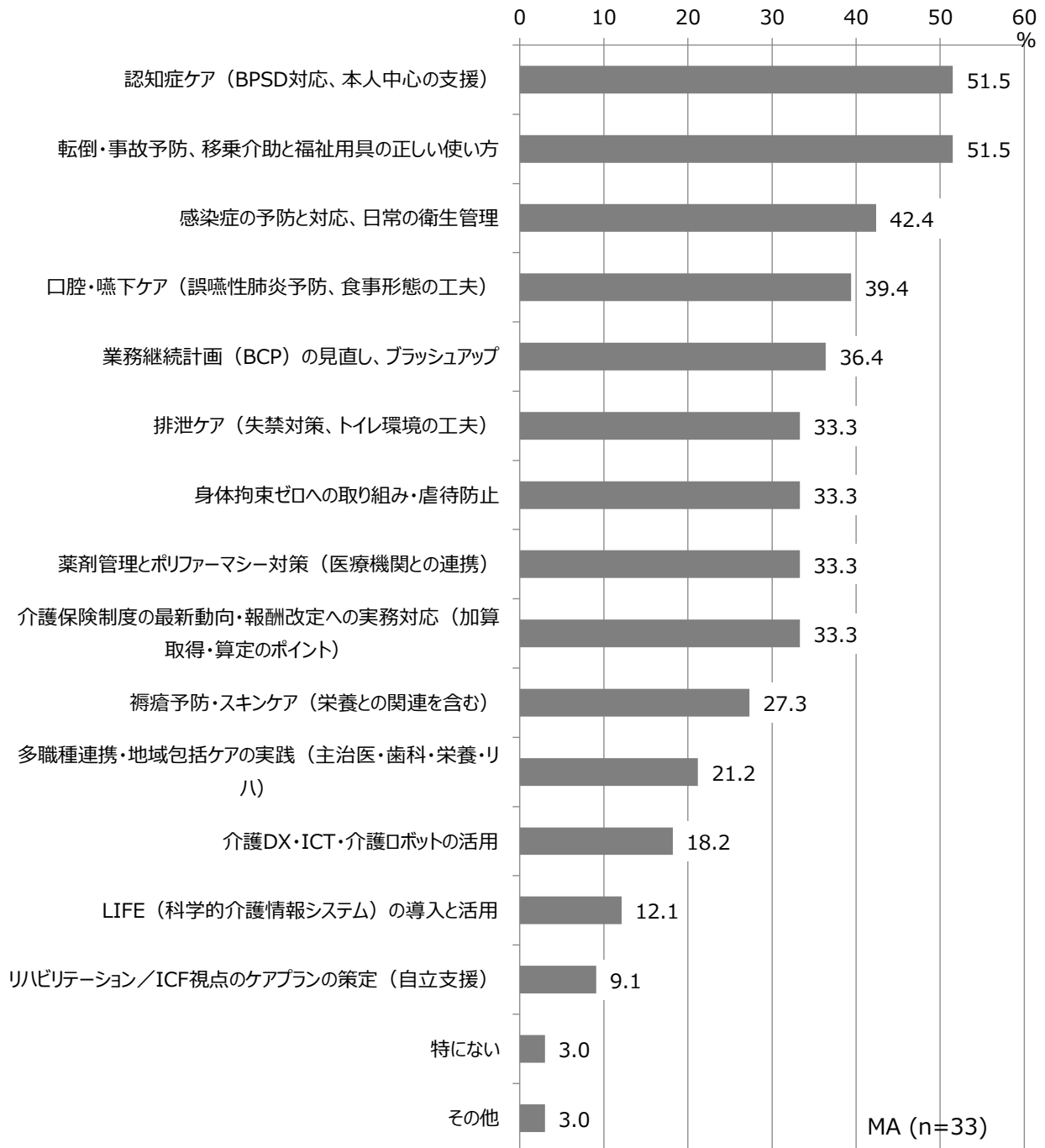
⑨ スポットワークの活用

スポットワークの活用は、「活用したいとは思わない」が71.9%で一番多く、「いまは活用していないが、今後活用を検討したい」（25.0%）、「既に活用している」（3.1%）が続いている。



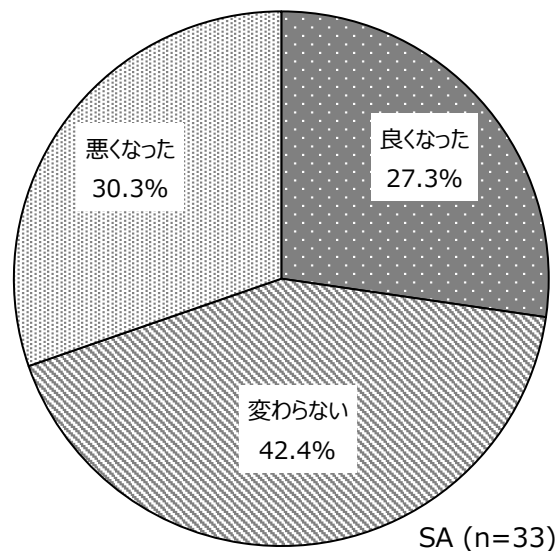
⑩ 参加してみたい研修内容

参加してみたい研修内容は、「認知症ケア（BPSD対応、本人中心の支援）」と「転倒・事故予防、移乗介助と福祉用具の正しい使い方」が51.5%で一番多く、「感染症の予防と対応、日常の衛生管理」（42.4%）が続いている。



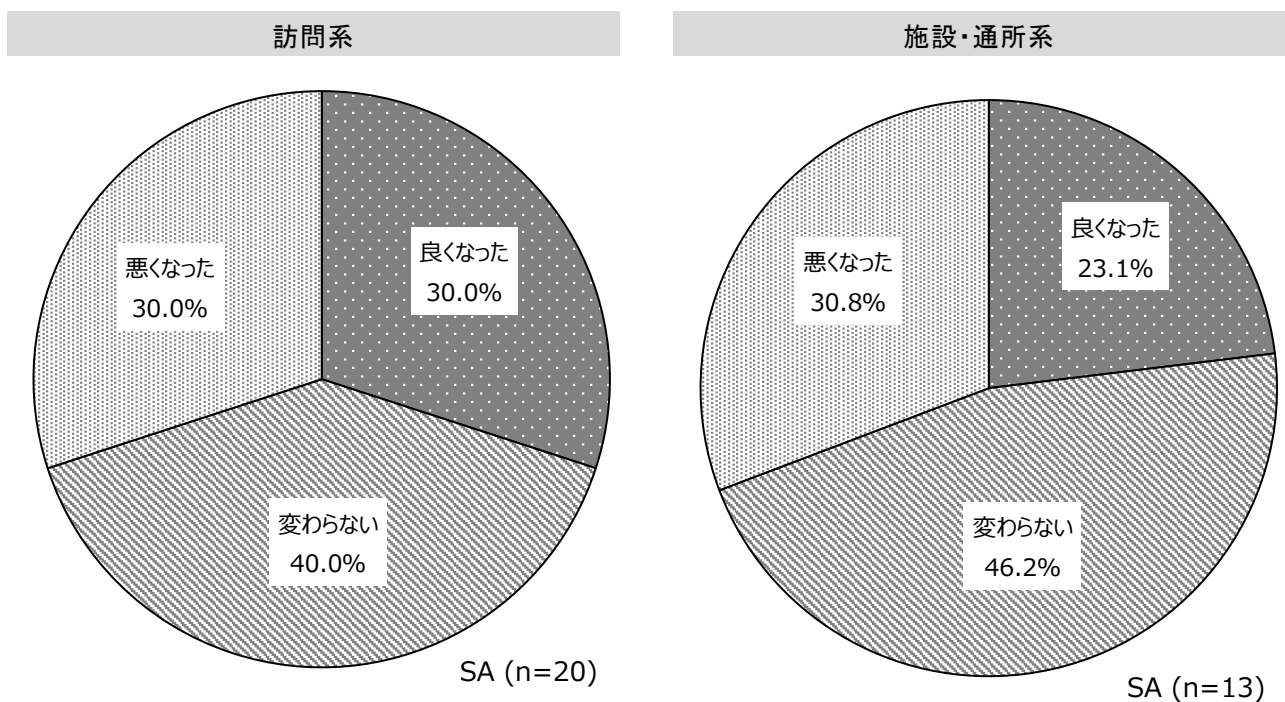
⑪ 経営状況（3年前との比較）

経営状況（3年前との比較）は、「変わらない」が42.4%で一番多く、「悪くなった」（30.3%）、「良くなった」（27.3%）が続いている。



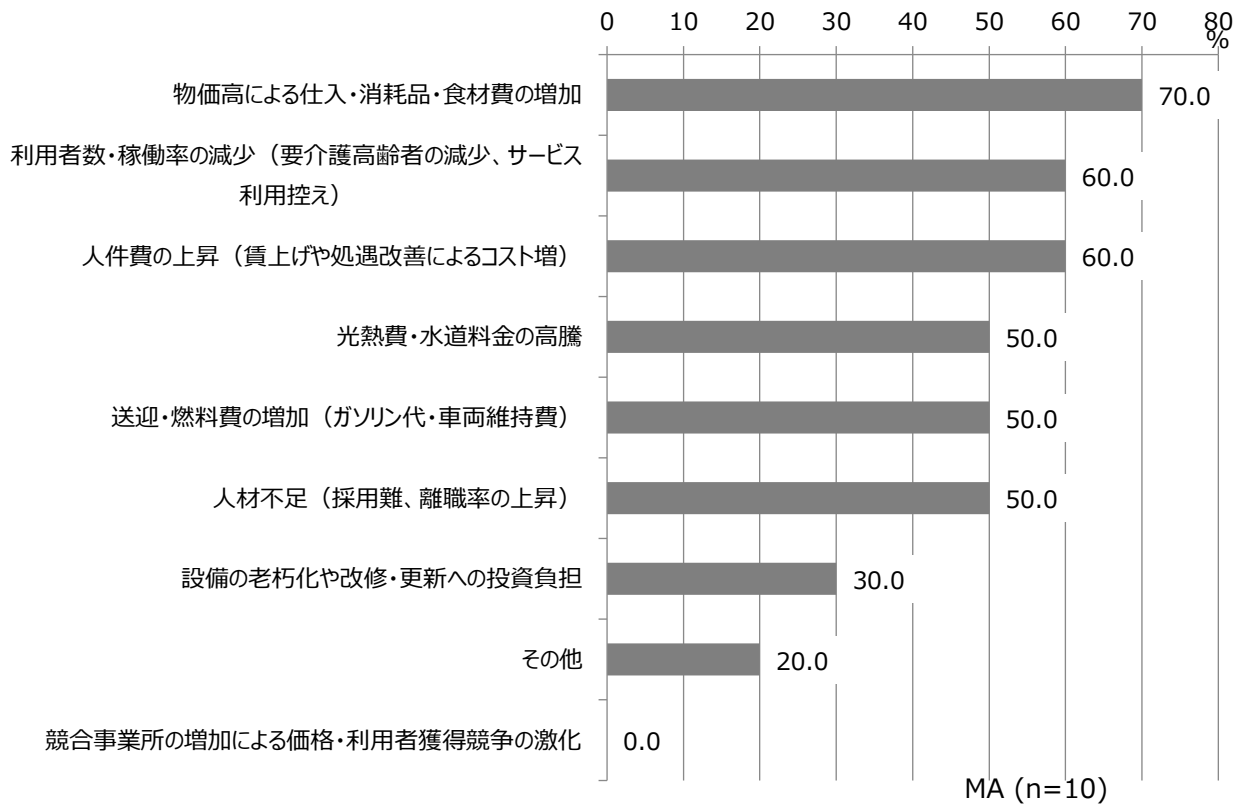
経営状況（3年前との比較）（訪問系/施設・通所系）

経営状況（3年前との比較）を施設の種類の別に見ると、両者の傾向に顕著な差はみられないが、「良くなった」は訪問系が23.1%、施設・通所系は30.0%と、施設・通所系のほうが比較的改善傾向がみられる。



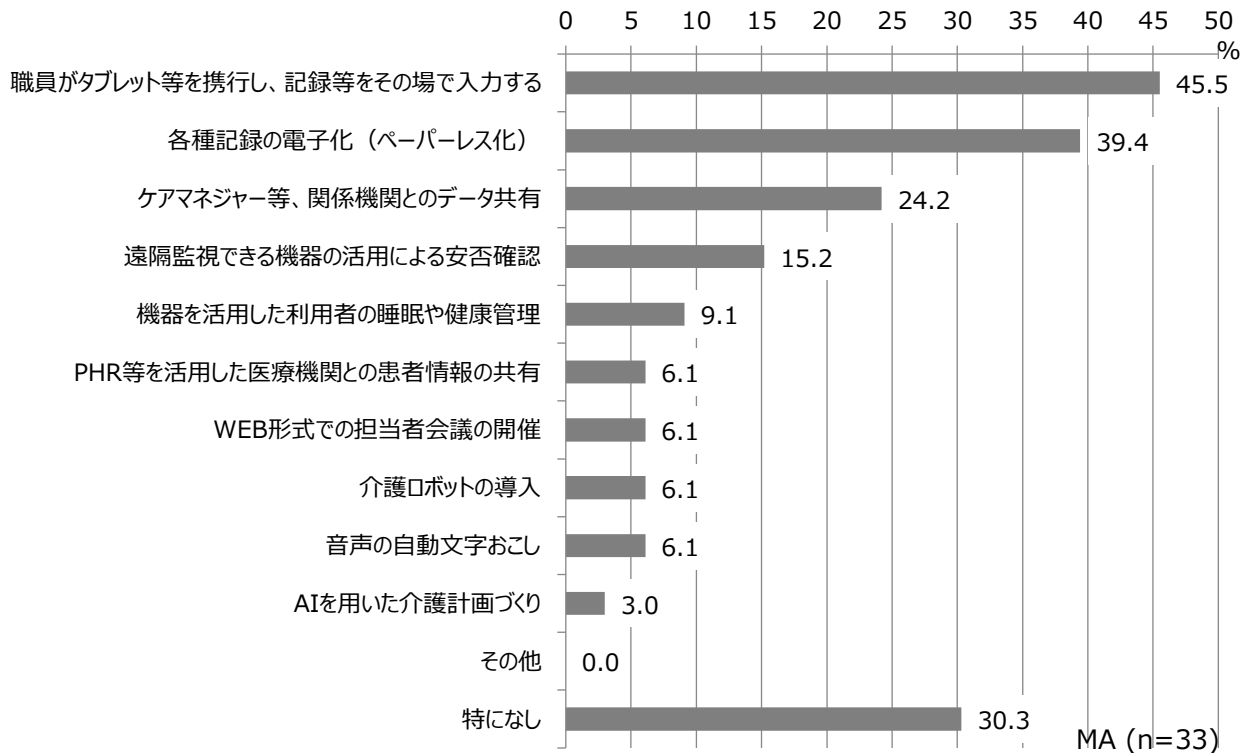
⑫ 経営状況が悪くなった理由

経営状況が悪くなった理由は、「物価高による仕入・消耗品・食材費の増加」が 70.0%で一番多く、「利用者数・稼働率の減少（要介護高齢者の減少、サービス利用控え）」（60.0%）、「人件費の上昇（賃上げや処遇改善によるコスト増）」（60.0%）が続いている。



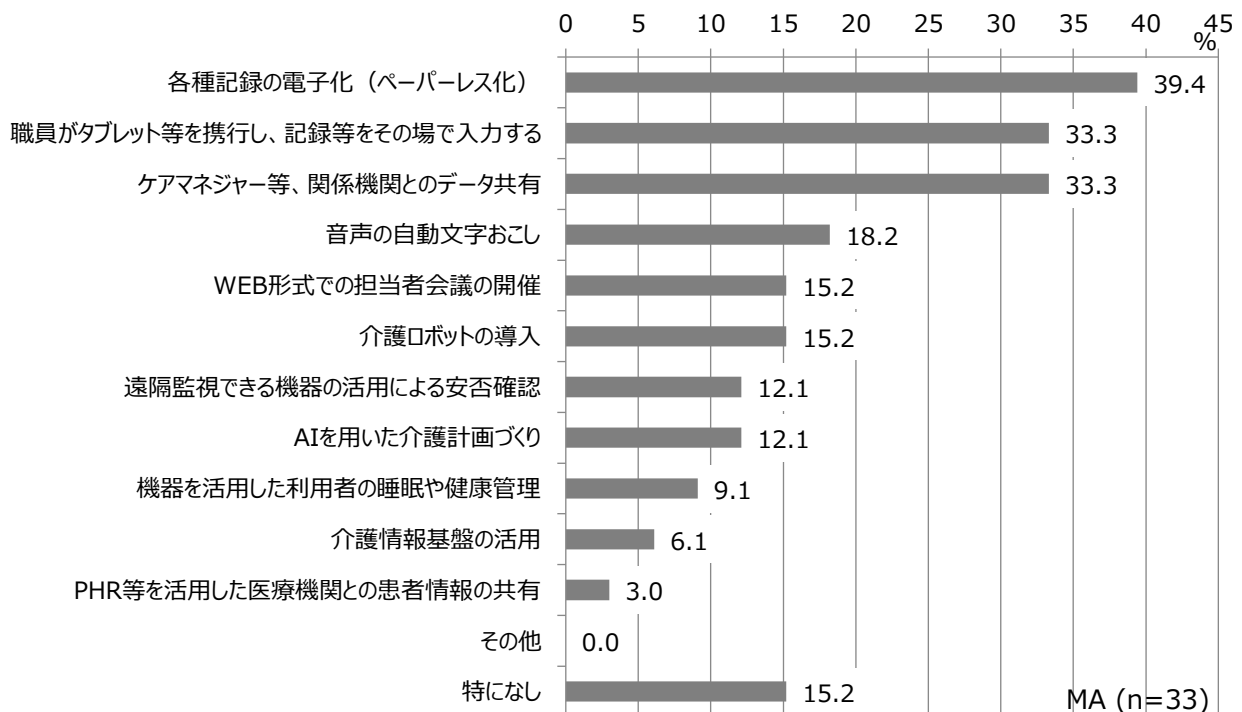
⑬ DXの推進（既に実施しているもの）

DXの推進（既に実施しているもの）は、「職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する」が45.5%で一番多く、「各種記録の電子化（ペーパーレス化）」（39.4%）、「特になし」（30.3%）が続いている。



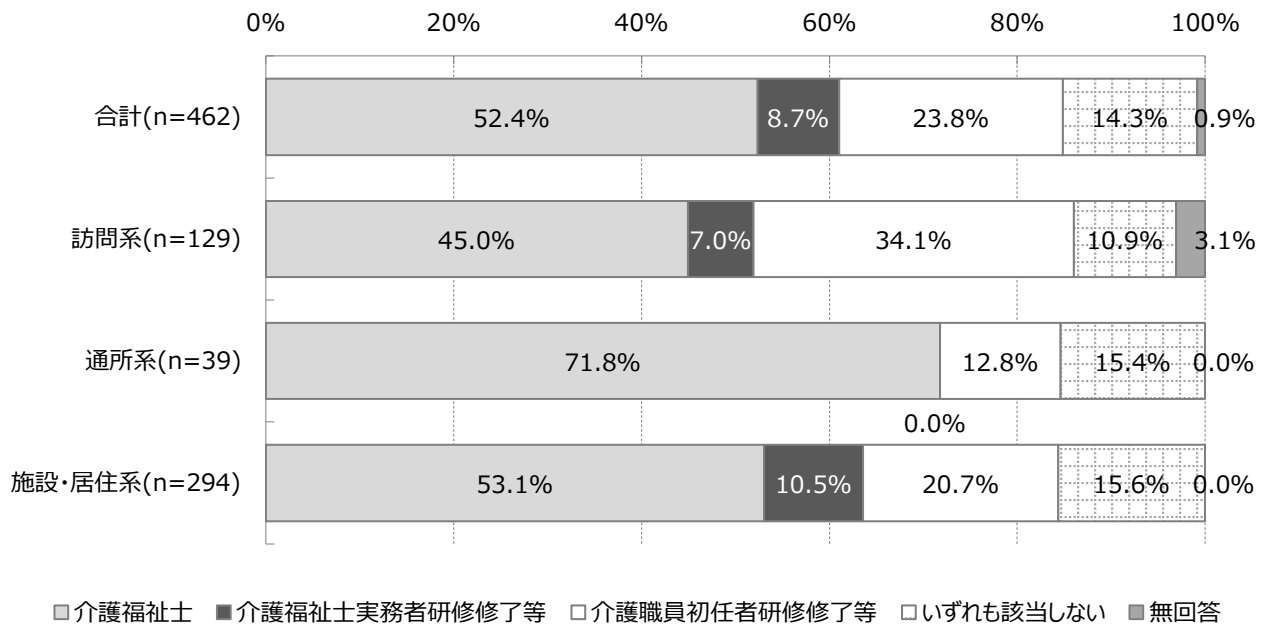
⑭ DXの推進（今後進めたいもの）

DXの推進（今後進めたいもの）は、「各種記録の電子化（ペーパーレス化）」が39.4%で一番多く、「職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する」（33.3%）、「ケアマネジャー等、関係機関とのデータ共有」（33.3%）が続いている。

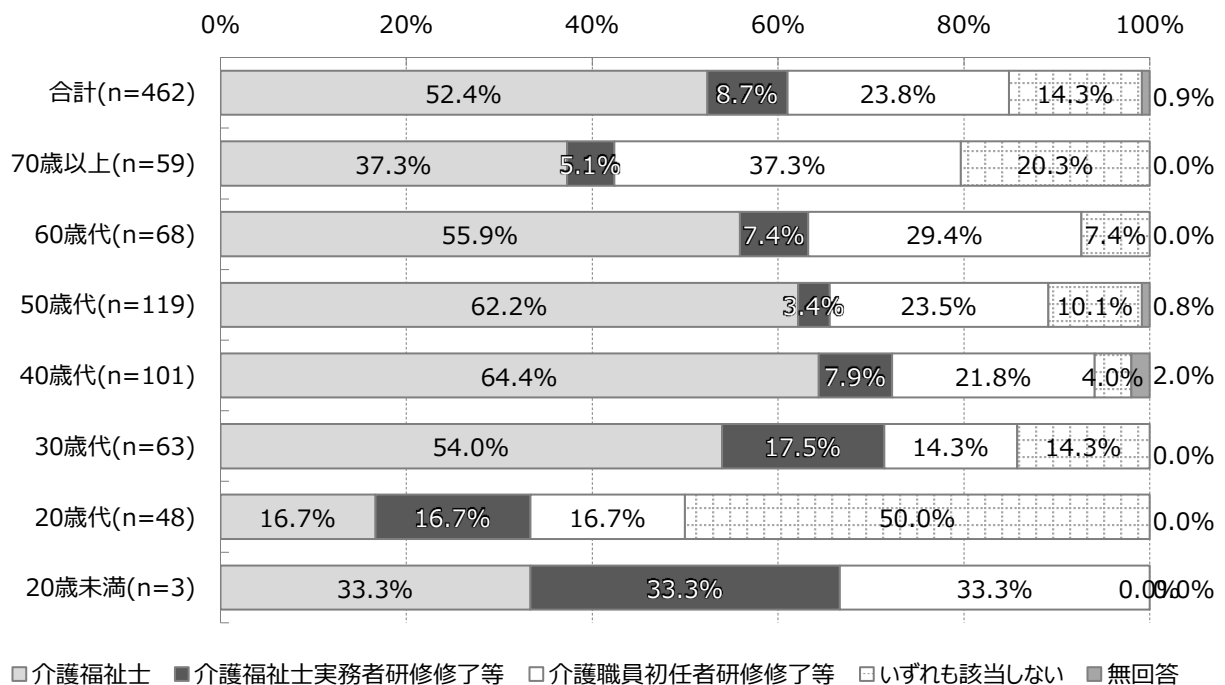


2 共通設問

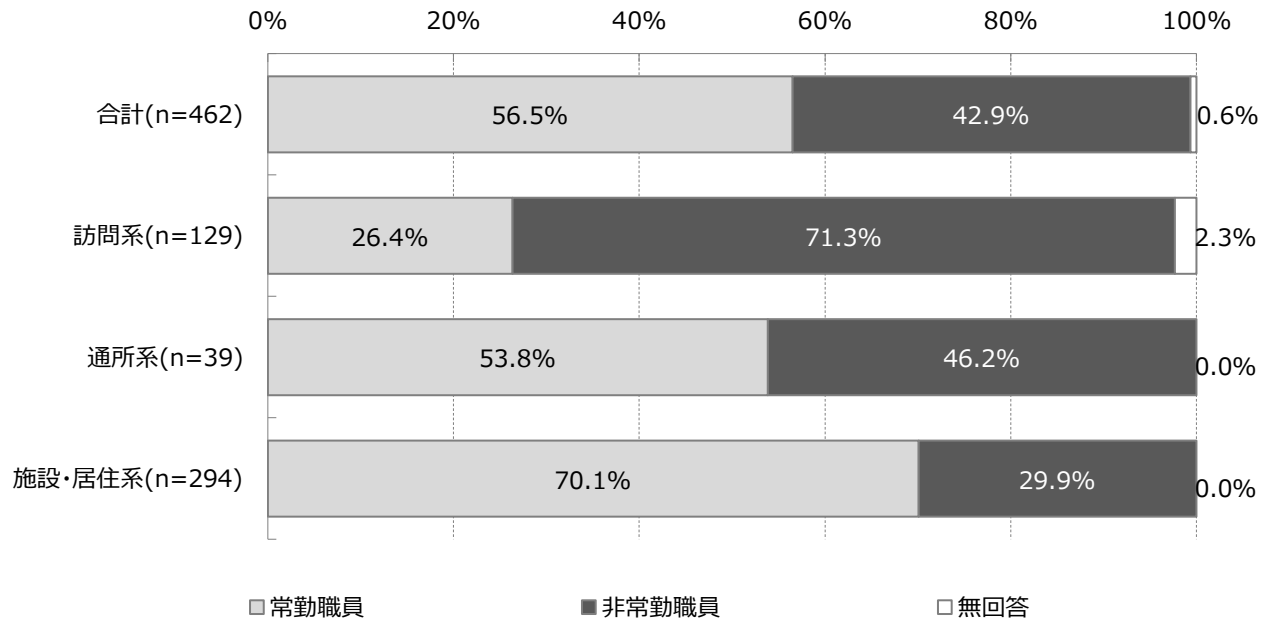
① サービス系統別の資格保有の状況



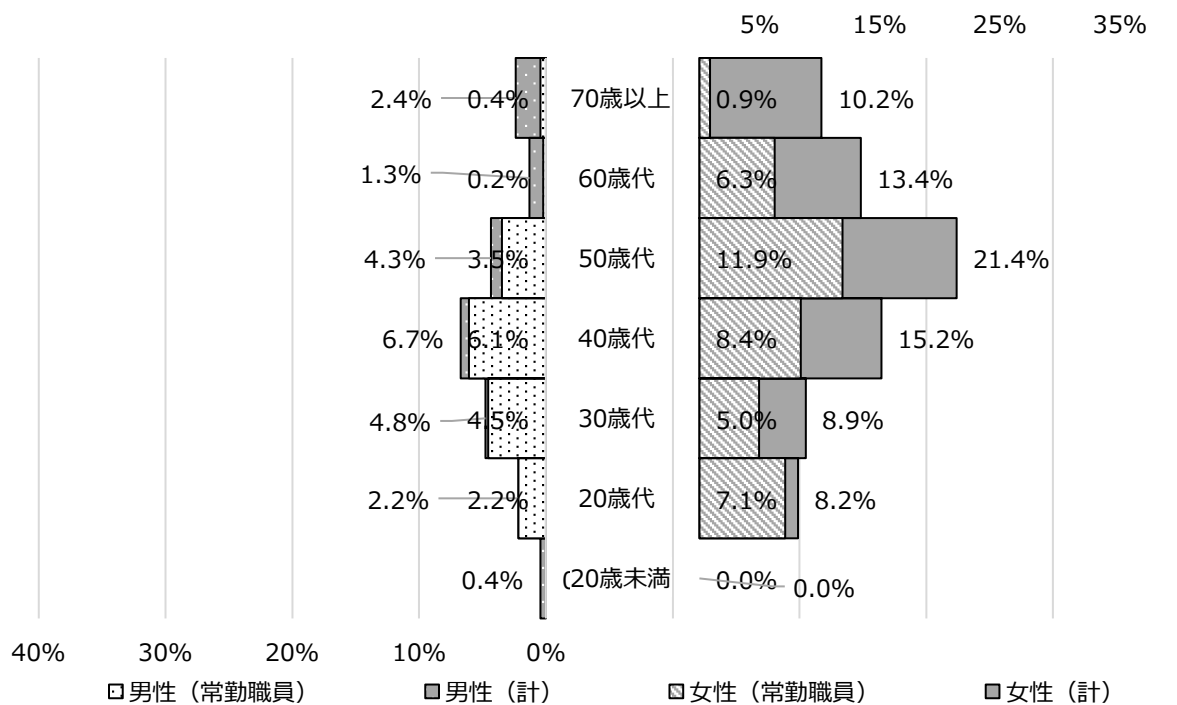
② 年齢別の資格保有の状況



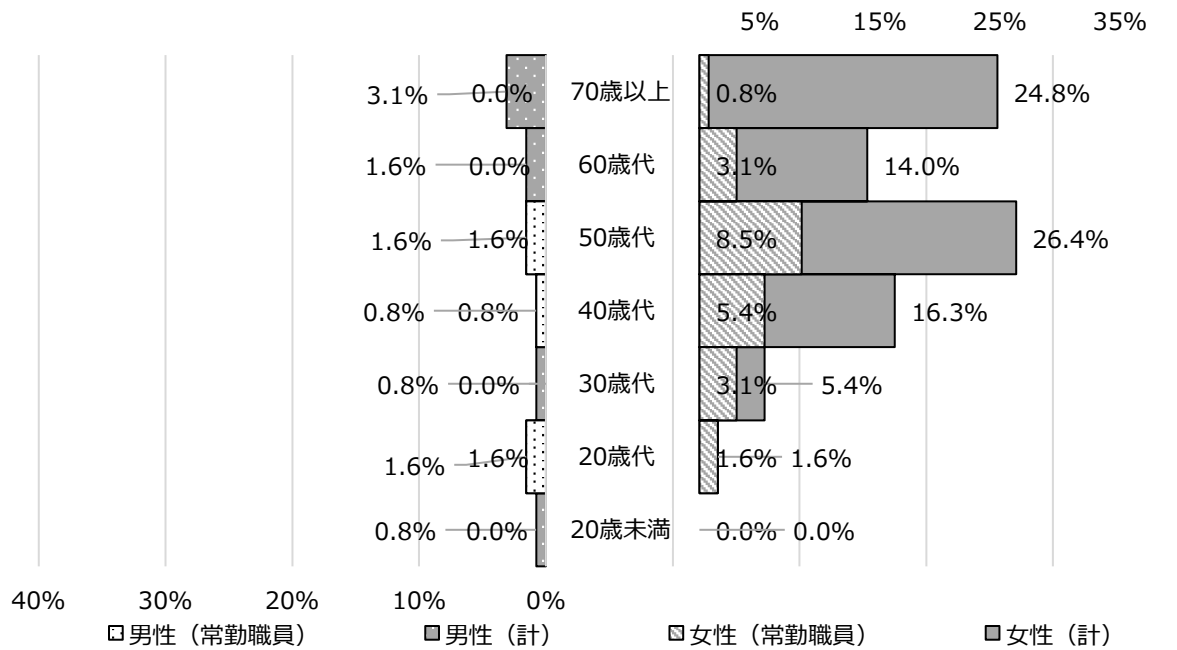
③ サービス系統別の常勤職員・非常勤職員の割合



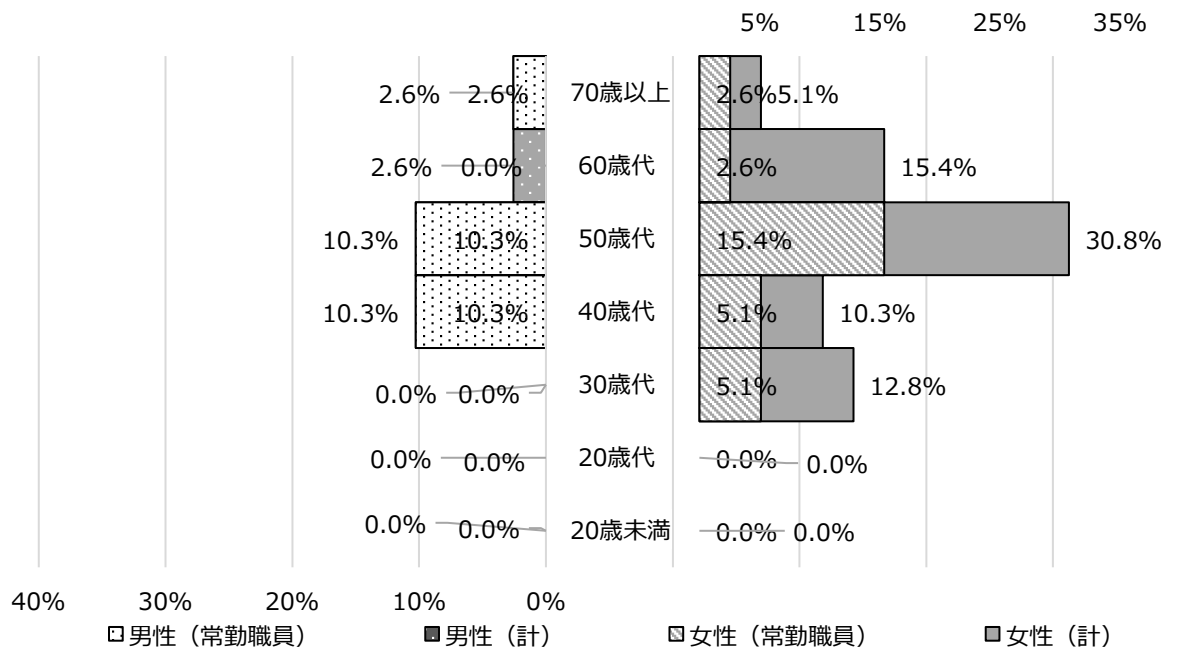
④ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計）



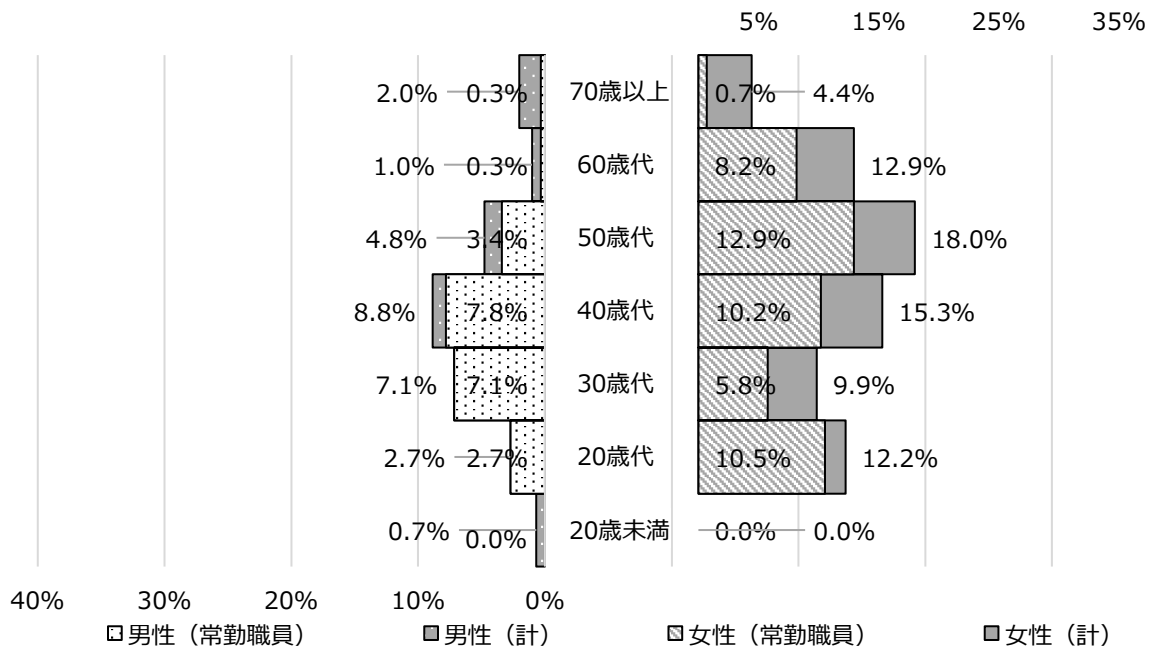
⑤ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系）



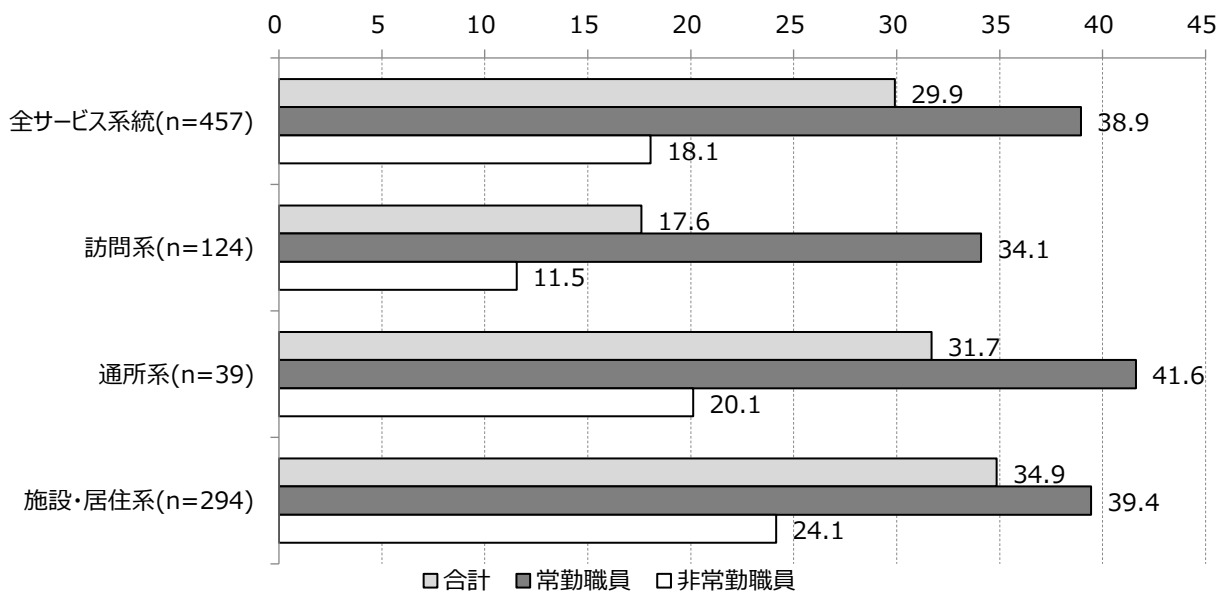
⑥ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系）



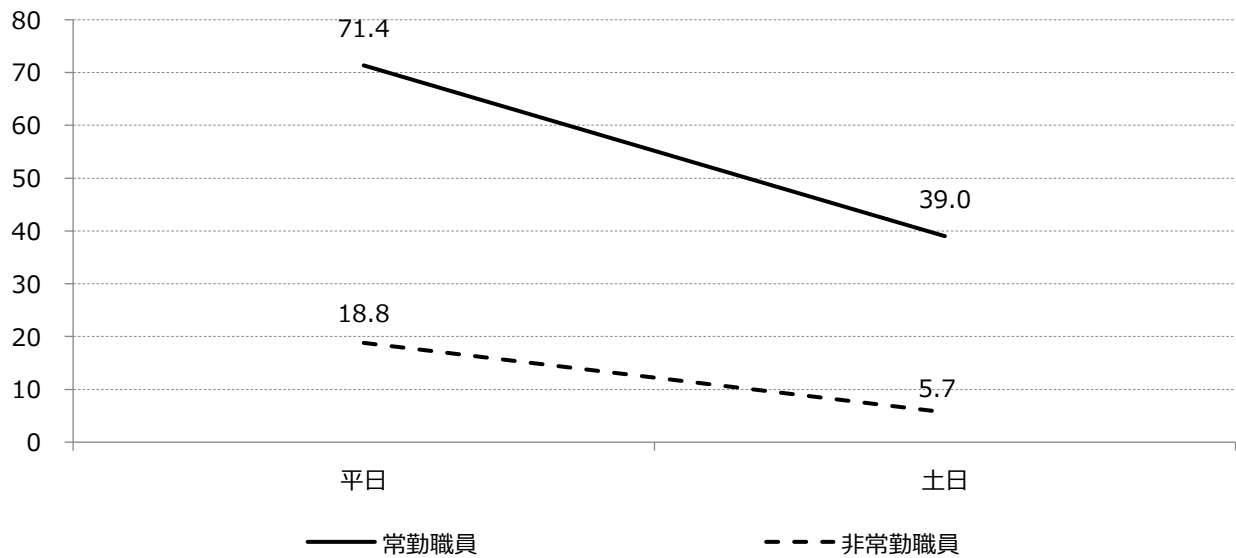
⑦ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系）



⑧ 職員 1 人あたりの 1 週間の勤務時間



⑨ 平日・土日別の職員 1 人・1 日あたり訪問介護サービス提供時間（身体介護）



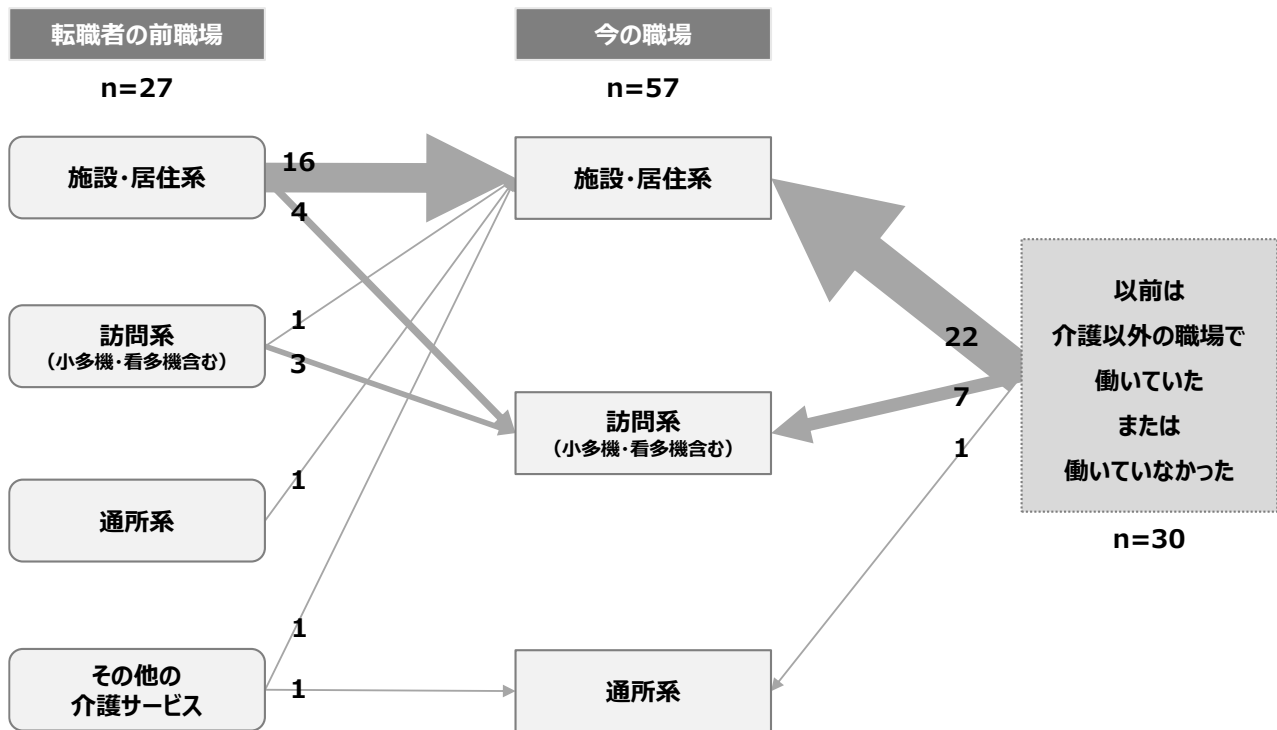
⑩ 介護職員数の変化

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数(人)			採用者数(人)			離職者数(人)			昨年比(%)		
	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計
全サービス系統 (n=14)	274	225	499	57	38	95	35	25	60	108.7	106.1	107.5
訪問系 (n=14)	46	118	164	2	17	19	3	9	12	97.9	107.3	104.5
通所系 (n=7)	20	24	44	2	2	4	3	1	4	95.2	104.3	100.0
施設・居住系 (n=13)	228	83	291	53	19	72	29	15	44	113.0	105.1	110.6

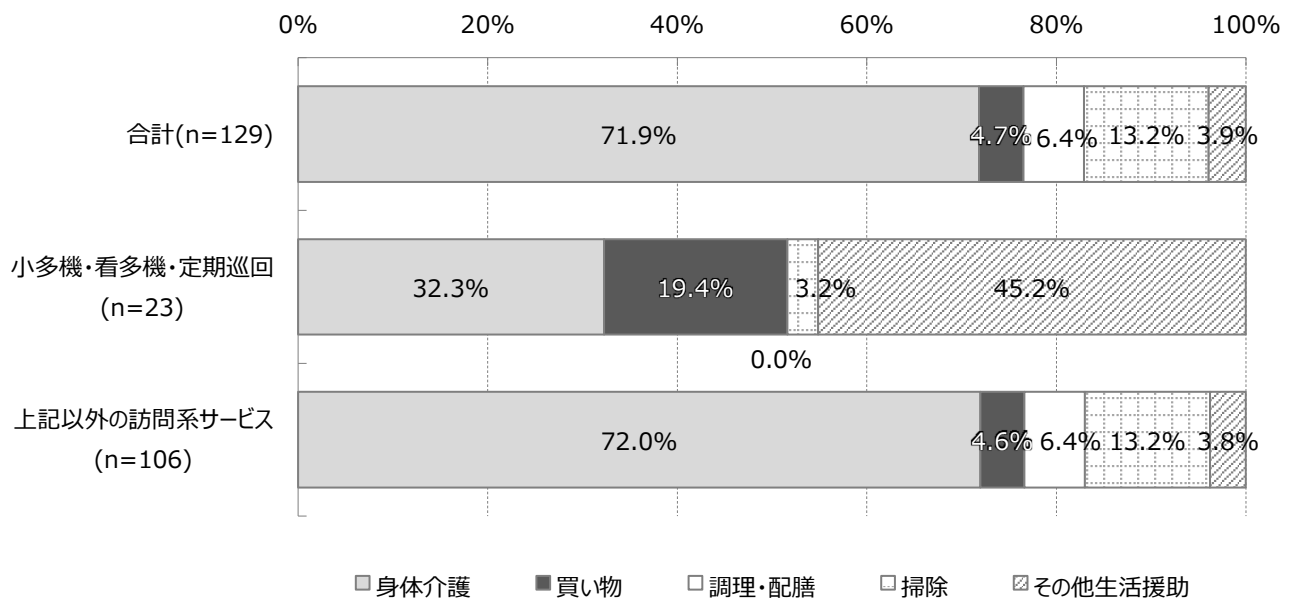
⑪ 前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	27 人	100.0%	7 人	100.0%	1 人	100.0%	19 人	100.0%
同一市区町村	1 人	3.7%	0 人	0.0%	0 人	0.0%	1 人	5.3%
他の市区町村	27 人	100.0%	8 人	114.3%	1 人	100.0%	18 人	94.7%

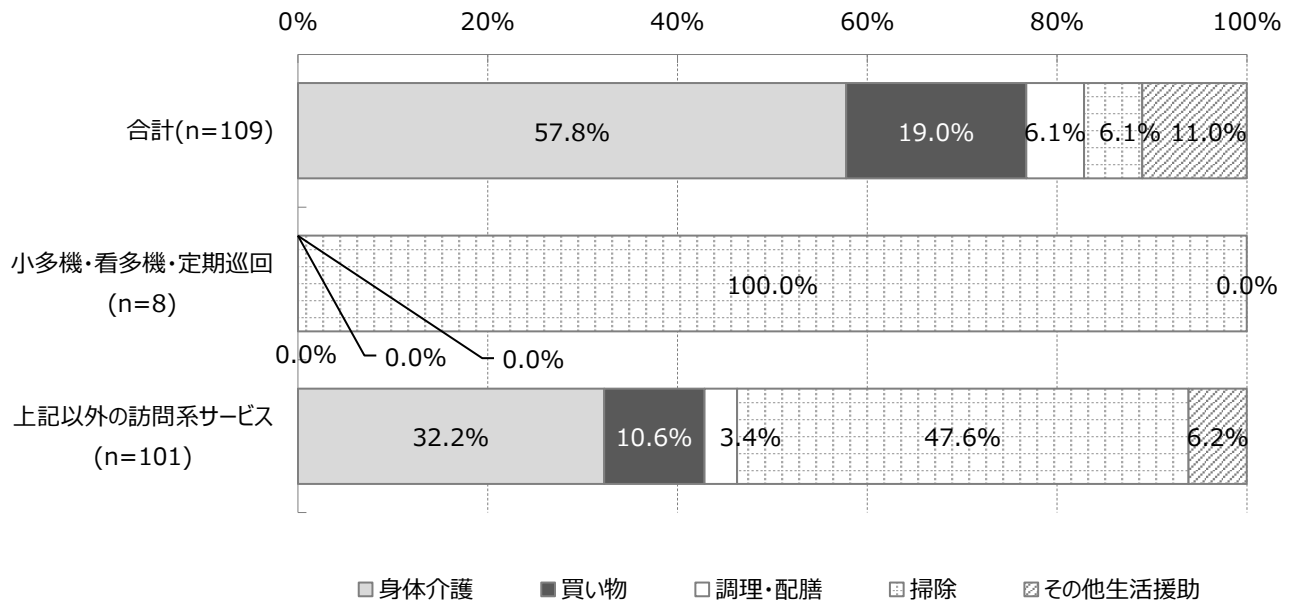
⑫ 過去1年間の介護職員の職場の変化



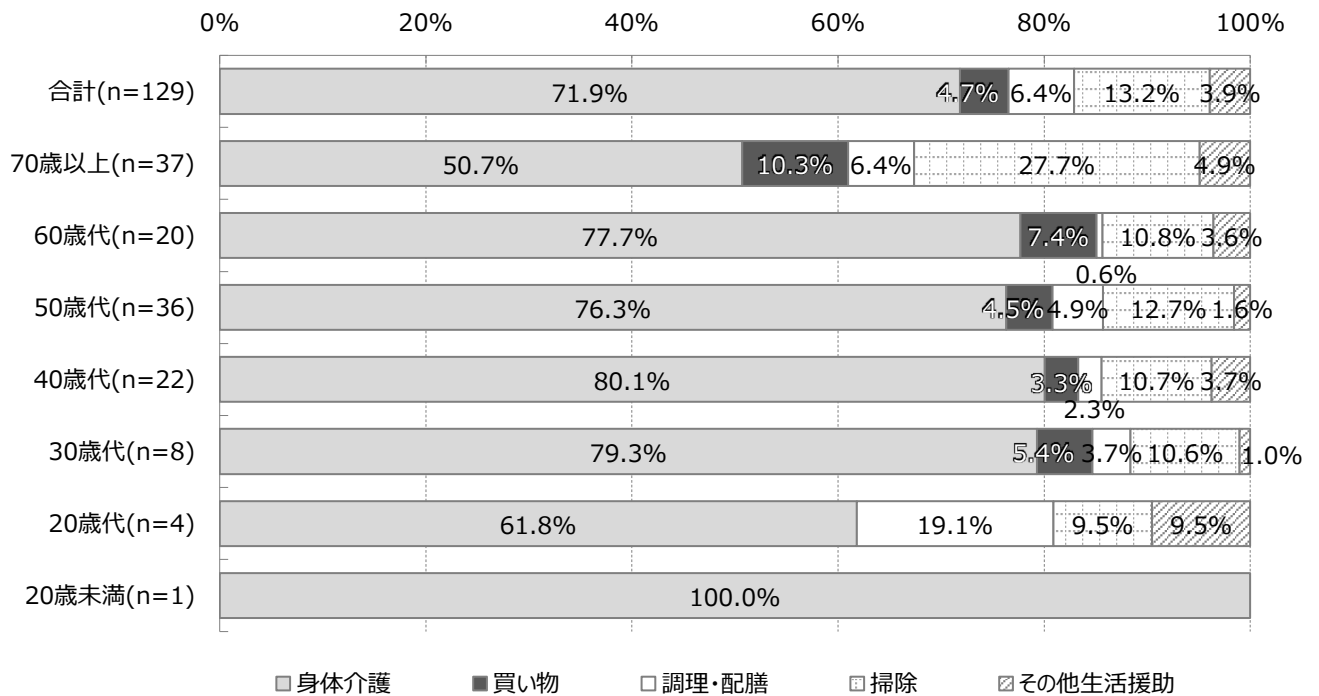
⑬ 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



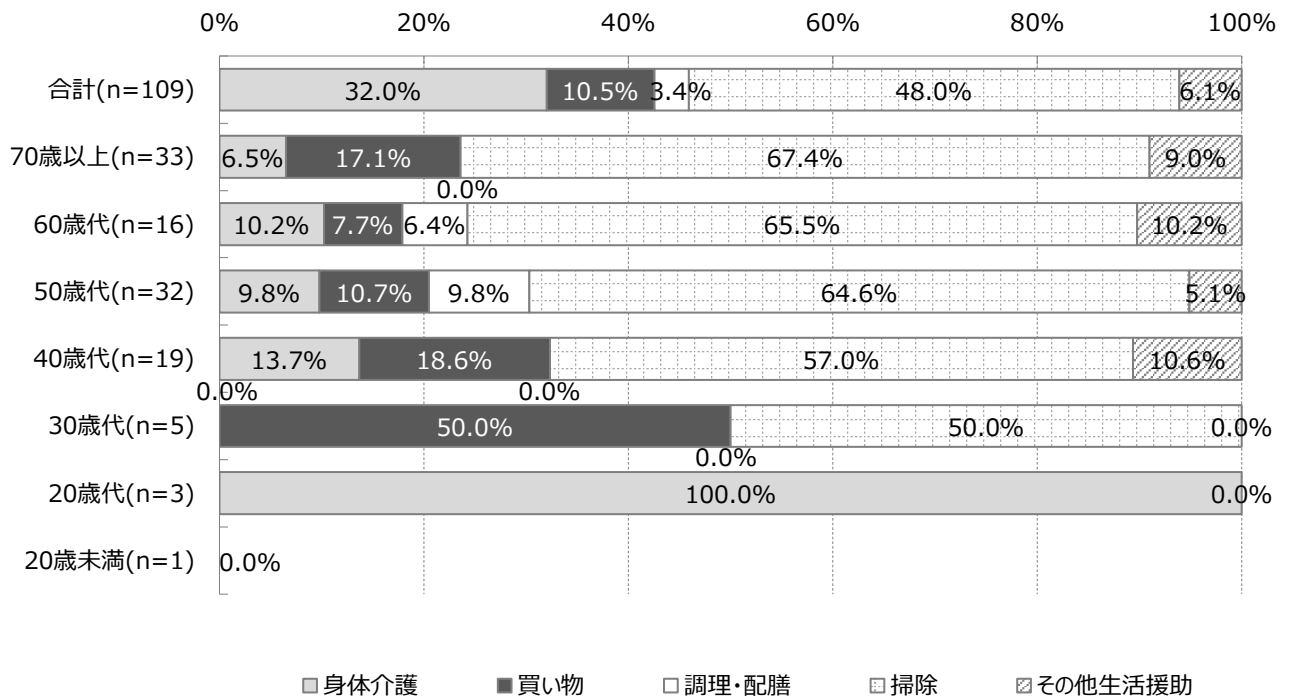
⑭ 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



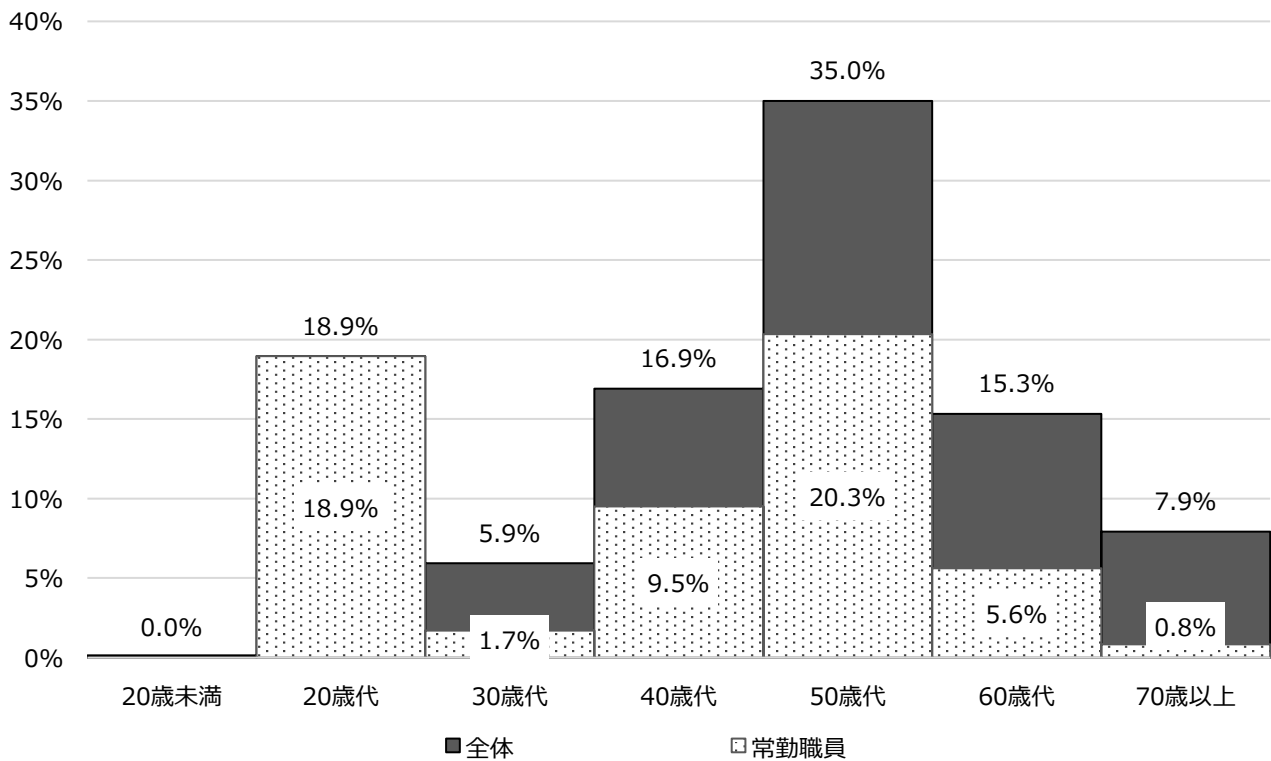
⑮ 訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



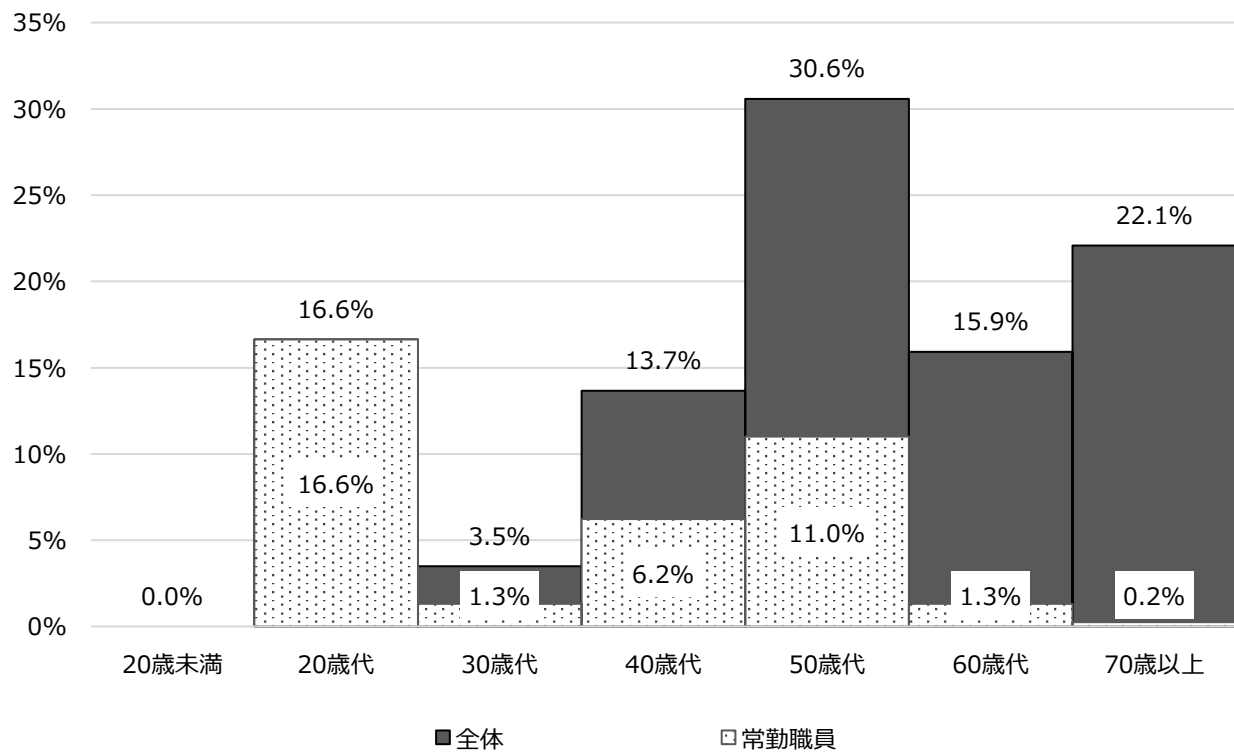
⑯ 訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



⑰ 職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



⑱ 職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



調査票

1 調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

高齢者福祉に関するアンケート

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ご協力をお願い】

ご あ い さ つ

日ごろ、白井市の高齢者福祉事業につきましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび市では、令和8年度末に策定する『第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画』の基礎資料作成のため、調査を実施します。本調査は、厚生労働省が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の項目に、市の独自ニーズ（必要性）を把握するための質問項目を加えて実施するものです。

調査結果は、効果的な介護予防施策等の立案・実施と効果評価のために利用させていただきますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

白井市長 笠井 喜久雄

ご 記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査の対象者は、令和7年11月19日現在、白井市内に住所があり、要介護認定をお持ちでない65歳以上の方から無作為に選ばれた方です。ただし、施設入所している方などは除きます。
2. ご家族の方などがご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、空欄には数字や文字をご記入ください。
4. 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。
この場合「あなた」とは、あて名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が回答された場合でも、あて名のご本人に関して回答してください。
5. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

令和8年2月13日(金)までに投函してください。

6. この調査についてのお問合せは以下までお願いいたします。

白井市役所高齢者福祉課 電話 047-497-3473

1 0 0 0 0 0 1

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記事項にご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

記

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、『第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画』の基礎資料作成のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、効果的な介護予防施策等の立案と効果評価の目的以外には利用いたしません。個人情報の保護に関する法律を遵守し、適切に管理いたします。
- 介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがありますが、個人が特定されることはありません。

※ この調査票には、ご回答いただく皆様の年齢や性別、要介護度、お住まいの地域を把握するための整理番号が記載されています。これは、調査の正確性を確保するためのもので、個人を特定する目的のものではありません。

切り取ったり塗りつぶしたりしないでください。

はじめに

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人
2. あて名のご家族など(あて名のご本人から見た続柄)
3. その他 ()

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- その理由を教えてください。

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

1. 持家（一戸建て）	①・②も お答え ください	3. 公営賃貸住宅 こうえいちんたいじゅうたく	} (5)へ
2. 持家（集合住宅）		4. 民間賃貸住宅（一戸建て） みんかんちんたいじゅうたく	
	5. 民間賃貸住宅（集合住宅） みんかんちんたいじゅうたく		
	6. 借家		
	7. その他（ ）		

※サービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方は
「7. その他」を選択し、「サ高住」とご記入ください。

【(4)で「1.」または「2.」と答えた方のみ】

① あなたのお住まいの将来の見通しについて、どのように考えていますか。(1つに○)

1. 売却または賃貸にする
2. 子ども等の親族が相続・継承して住み続ける
3. まだ決まっていない（考えていない）
4. その他（ ）

【(4)で「1.」または「2.」と答えた方のみ】

② ご自身のお住まいの見通しを立てるうえで、知りたいことは何ですか。(いくつでも)

1. 売却、賃貸、リフォーム、住み替えに関すること
2. 相続や継承に関すること
3. 住まいの管理に関すること
4. その他（ ）

(5) あなたが普段お使いの情報機器をお答えください。(いくつでも)

1. パソコン	⇒ ①へ	4. スマートフォン以外の携帯電話	⇒ ①へ
2. スマートフォン	⇒ ①へ	5. その他（ ）	⇒ ①へ
3. タブレット	⇒ ①へ	6. 使っていない	⇒ (6)へ

【(5)で「1.」「2.」「3.」「4.」「5.」(普段から情報機器を使っている)と答えた方のみ】

① 使用している機能をお答えください。(いくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 電話 | 7. キャッシュレス決済 (PayPay など) |
| 2. メール | 8. 銀行の取引 (ネットバンキング) |
| 3. カメラ | 9. インターネットによる行政手続き |
| 4. LINE (ライン) | 10. マイナポータルの利用 |
| 5. 検索・インターネット | 11. ビデオ通話 (Zoom など) |
| 6. 動画再生 (YouTube など) | 12. その他 () |

※「LINE」は、LINE 株式会社の商標または登録商標です。

※「YouTube」は、Google LLC の商標または登録商標です。

(6) 白井市の公式 LINE (ライン) を知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------------|---------|
| 1. 登録している | 2. 知っているけど登録していない | 3. 知らない |
|-----------|-------------------|---------|

※「LINE」は、LINE 株式会社の商標または登録商標です。

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1. 何度もある | } → ① 転んだ場所を教えてください。(いくつでも) |
| 2. 1度ある | |
| 3. ない | |

- | |
|---------------|
| 1. 自宅 |
| 2. 外出先 (自宅以外) |

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つに○)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

1. 毎日ある 3. 月に何度かある 5. ほとんどない
2. 週に何度かある 4. 年に何度かある

問4 聞こえについて

(1) 加齢により聴力が衰えたと感じますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ ⇒ 問5へ

【(1)で「1. はい」(加齢により聴力が衰えたと感じる)の方のみ】

① あなたは、過去1年以内に医療機関で聴力検査を受けましたか。(1つに○)

1. 受けた

2. 受けていない

② 聴力の衰えをどの程度感じていますか。(1つに○)

1. 生活に支障を感じる(例: テレビやチャイム、呼び出し音などが聞こえづらい)

2. 会話に不便を感じる

3. 特に支障はない

③ 聴力の衰えを感じて家族以外の人との交流が減りましたか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

④ 補聴器を使用していますか。(1つに○)

1. はい ⇒ ⑤もお答えください

2. いいえ ⇒ 問5へ

【④で「1. はい」(補聴器を使用している)の方のみ】

⑤ 補聴器のおかげで改善したと思うことは何ですか。(いくつでも)

1. 生活に必要な音が聞こえ、安心して過ごせるようになった

2. 会話がスムーズになり、周囲の人との意思疎通がしやすくなった

3. テレビやラジオ、音楽などを楽しめるようになった

4. 気持ちが明るく、前向きに毎日を過ごせるようになった

5. グループ活動に積極的に参加できるようになった

6. 外出が増え、社会とのつながりを感じられるようになった

7. 自分でできることが増え、自信が持てるようになった

8. その他 ()

9. 特に改善したことはない

問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問6 認知症に関する相談窓口の把握について

問7 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※ ①～⑧それぞれについて、該当する箇所の数字に○をしてください。

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (茶話会や楽トレ体操など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 3. 参加したくない |
| 2. 参加してもよい | 4. 既に参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 3. 参加したくない |
| 2. 参加してもよい | 4. 既に参加している |

問8 就労について

(1) あなたは現在、何らかの収入を伴う仕事（正社員、パート、アルバイト、自営業、有償ボランティアなど）をしていますか。（1つに○）

1. はい ⇒ ①もお答えください

2. いいえ ⇒ ②もお答えください

※有償ボランティアとは、交通費などの実費や、謝礼などを受け取るボランティア活動のことをいいます。

【(1) で「1. はい」(現在仕事をしている)の方のみ】

① 何歳ごろまで仕事を続けたいと考えていますか。（1つに○）

1. 70歳くらいまで

3. 80歳くらいまで

2. 75歳くらいまで

4. 特に年齢は決めていない・体力が続く限り

【(1) で「2. いいえ」(現在仕事をしていない)の方のみ】

② あなたは今後、何らかの収入を伴う仕事（正社員、パート、アルバイト、自営業、有償ボランティアなど）をしてみたいと思いますか。（1つに○）

1. はい ⇒ ③もお答えください

2. いいえ

3. わからない

【②で「1. はい」(今後仕事をしてみたい)の方のみ】

③ 就労支援について、どのような内容に興味がありますか。（いくつでも）

1. 働くためのスキルを身につける支援（パソコン講座、資格を取る方法など）

2. 起業や副業の支援

3. 無理なく働ける仕事を探す支援（シニアに適した職場の選び方など）

4. 有償ボランティア活動につなぐ支援

5. その他（

）

6. 特に必要ない

問9

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

(5) 日常的に困っていることはありますか。（いくつでも）

- | | |
|-----------|--|
| 1. 掃除 | 7. 通院 |
| 2. 洗濯 | 8. 草取り・庭木の剪定 |
| 3. 調理 | 9. 家の中の簡単な修理や電球交換など |
| 4. 買い物 | 10. その他 |
| 5. ゴミ出し | （ ） |
| 6. 薬の受け取り | 11. 特にない |

(6) 生活支援コーディネーターについて知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、 3. 知らない
内容知らない

※生活支援コーディネーターとは、高齢者が安心して住みやすいまちづくりを目指し、地域の方々と連携して支え合い活動の推進や生活支援サービス等の充実に取り組む人のことをいいます。

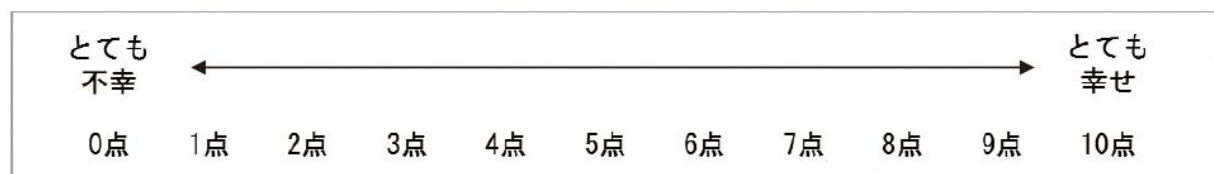
問 10 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点を○で囲んでください)



(3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

1. ない	11. 外傷 (転倒・骨折など)
2. 高血圧	12. がん (悪性新生物)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症 (アルツハイマー病など)
6. 高脂血症 (脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎など)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症など)	()

(7) フレイルまたはフレイル予防について知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、 内容は知らない	3. 知らない
----------	--------------------------	---------

※フレイルとは、高齢期に病気や加齢などによる影響を受けて、生活機能が低下し、将来要介護状態となる危険性が高い状態のことをいいます。

問 11 今後の暮らし方・終末期について

【(4) で「1.」「2.」「3.」(話し合いや備えをしている)の方のみ】

① 話し合いや備えをしているのはどのようなことですか。(いくつでも)

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 終末期医療 | 5. 相続 |
| 2. 受けたい介護 | 6. デジタルデータなどの保存や処分 |
| 3. 葬儀 | 7. その他 |
| 4. お墓 | () |

(5) 成年後見制度について知っていますか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 聞いたことがあるが、よくわからない |
| 3. 知らない |

※成年後見制度とは、認知症などによって物事を判断する能力が十分でなくなったときに、あなたの権利を守る援助者を選んで代理で判断を行ってもらう制度のことをいいます。

問 12 市の事業について

(1) 白井市で、いつまでも自分らしく生活していけるよう、今後の市の事業に望むこと、または自らしたい(できる)ことなどあればお書きください。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■

2 調査票（在宅生活改善調査）

在宅生活改善調査 【事業所票】

※●●年●月●日現在の状況について、 の中にご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。（数値を記入）

1) 所属するケアマネジャーの人数	 	人
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	 	人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	 	人

ここからは、貴事業所において、過去1年の間（●●年●月●日～●●年●月●日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

※入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。

（数値を記入）

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、

搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者								②自宅等での死亡	合計★
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
 	 	 	 	 	 	 	 	 	

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。（数値を記入）

※入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※問3の合計（★）と、問2の合計（★）が一致することをご確認ください。

行先	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	 	
2) 住宅型有料老人ホーム	 	
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	 	
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	 	
5) グループホーム	 	
6) 特定施設	 	
7) 地域密着型特定施設	 	
8) 介護老人保健施設	 	
9) 介護医療院	 	
10) 特別養護老人ホーム	 	
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	 	
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く	 	
13) その他	 	
14) 行先を把握していない	 	
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む	 	
合計★	 	

合計人数が一致することを、ご確認ください

問4 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

●ケアマネジメントの状況について

【居宅介護支援事業所のみご回答ください】

問5 令和7年1月～12月までの間、ケアマネジメントの依頼を断ったことはありますか。

(○は1つ及び件数を記入)

		数字を入力		
	1. ある	→	件	一問6もお答えください。
	2. ない			

(問5で「1. ある」と回答した事業所のみお答えください。)

問6 ケアマネジメントの依頼を断った理由は何ですか。(○はいくつでも)

	1. 恒常的に職員が不足しているため（すでに職員がケアプランを上限まで持っていたため）
	2. 支援対象者の状態像や世帯状況が支援困難であり、支援するスキルのある職員が不足していたため
	3. 支援対象者が1人暮らしで身寄りもなく、ケアマネジメント以外の支援を要し支援が困難であると思われるため
	4. その他 ()

●独居高齢者の支援について

【ここからはすべての事業所がご回答ください】

問7 独居高齢者が入退院をする際に、手続きする方がいない場合、どのように対応していますか。

(プルダウンから1つだけ選択)

【プルダウン選択肢】

- 1 代わりに書類を記載している
- 2 代替りの記載者を探す
- 3 入退院時の書類の手続きは行わない

問8 独居高齢者で、夜間に緊急の連絡があり、対応を求められた場合にはどのようにしていますか。

(プルダウンから1つだけ選択)

【プルダウン選択肢】

- 1 可能な限り訪問して対応する
- 2 特に重大なケースは訪問する
- 3 基本、電話での対応のみ行う
- 4 特に対応は行わない

問9 独居高齢者が救急搬送の際に、救急車に同乗したことはありますか。(○は1つ及び回数を記入)

		数字を入力	
	1. ある	→	(最近1年間で 回程度)
	2. ない		

問10 あなたからみて、白井市で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ☐ | 1. 居宅介護支援 |
| ☐ | 2. 訪問介護 |
| ☐ | 3. 訪問入浴介護 |
| ☐ | 4. 訪問看護 |
| ☐ | 5. 訪問リハビリテーション |
| ☐ | 6. 居宅療養管理指導 |
| ☐ | 7. 通所介護 |
| ☐ | 8. 通所リハビリテーション |
| ☐ | 9. 短期入所生活介護 |
| ☐ | 10. 短期入所療養介護（老健） |
| ☐ | 11. 短期入所療養介護（病院等） |
| ☐ | 12. 福祉用具貸与 |
| ☐ | 13. 特定福祉用具販売 |
| ☐ | 14. 住宅改修 |
| ☐ | 15. 特定施設入居者生活介護 |
| ☐ | 16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| ☐ | 17. 夜間対応型訪問介護 |
| ☐ | 18. 認知症対応型通所介護 |
| ☐ | 19. 小規模多機能型居宅介護 |
| ☐ | 20. 認知症対応型共同生活介護 |
| ☐ | 21. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| ☐ | 22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| ☐ | 23. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| ☐ | 24. 地域密着型通所介護 |
| ☐ | 25. 介護老人福祉施設 |
| ☐ | 26. 介護老人保健施設 |
| ☐ | 27. 介護医療院 |
| ☐ | 28. 特にない |
| ☐ | 29. わからない |

問11 白井市の要支援者・要介護者にとって供給過多と感じる介護保険サービスはありますか。

(○はいくつでも)

☐	1. 居宅介護支援
☐	2. 訪問介護
☐	3. 訪問入浴介護
☐	4. 訪問看護
☐	5. 訪問リハビリテーション
☐	6. 居宅療養管理指導
☐	7. 通所介護
☐	8. 通所リハビリテーション
☐	9. 短期入所生活介護
☐	10. 短期入所療養介護（老健）
☐	11. 短期入所療養介護（病院等）
☐	12. 福祉用具貸与
☐	13. 特定福祉用具販売
☐	14. 住宅改修
☐	15. 特定施設入居者生活介護
☐	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
☐	17. 夜間対応型訪問介護
☐	18. 認知症対応型通所介護
☐	19. 小規模多機能型居宅介護
☐	20. 認知症対応型共同生活介護
☐	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護
☐	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
☐	23. 看護小規模多機能型居宅介護
☐	24. 地域密着型通所介護
☐	25. 介護老人福祉施設
☐	26. 介護老人保健施設
☐	27. 介護医療院
☐	28. 特にない
☐	29. わからない

●介護保険外サービスについて

問12 あなたがケアマネジメントを行う上で、「あれば助かる」と思う介護保険外のサービスはどのようなサービスですか。自由に記述してください。（自由回答）

--

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

住宅生活改善調査 利用者原

【自宅等】「介護住」(住宅型有料)、「解費型」(入居お任せ)の2つのうち現在のサービス利用では、生活の維持が難しい人、介護サービスが利用できなくなっている利用者、又は介護サービスが利用できなくなっている利用者が対象です。

例えば、介護サービスが利用できなくなったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、短期通所サービスの利用がより適切と思われる利用者、認知症に伴う問題解決のために、介護サービスの負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思われる方が対象です。

の中に、●●●年●●月●日現在の状況について回答してください。

は、回答エラーのため、修正してください。エラー内容は、C1列～C9列を参照ください。

は、回答・選択不要部分です。

問1. 対象となる利用者の状況等について、お答えします。	問2. 対象となる利用者の主な家族等介護者の状況等について、お答えします。	問3. 現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の負担軽減が図られているか。
問1-1	問1-2	問1-3
問1-4	問1-5	問2-1
問2-2	問2-3	問3-1
問3-2		
問4. 対象となる利用者の状況等について、お答えします。	問5. 対象となる利用者の主な家族等介護者の状況等について、お答えします。	問6. 現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の負担軽減が図られているか。
問4-1	問4-2	問4-3
問4-4	問4-5	問5-1
問5-2	問5-3	問6-1
問6-2	問6-3	問6-4
問6-5	問6-6	問6-7
問6-8	問6-9	問6-10
問6-11	問6-12	問6-13
問6-14	問6-15	問6-16
問6-17	問6-18	問6-19
問6-20	問6-21	問6-22
問6-23	問6-24	問6-25
問6-26	問6-27	問6-28
問6-29	問6-30	問6-31
問6-32	問6-33	問6-34
問6-35	問6-36	問6-37
問6-38	問6-39	問6-40
問6-41	問6-42	問6-43
問6-44	問6-45	問6-46
問6-47	問6-48	問6-49
問6-50	問6-51	問6-52
問6-53	問6-54	問6-55
問6-56	問6-57	問6-58
問6-59	問6-60	問6-61
問6-62	問6-63	問6-64
問6-65	問6-66	問6-67
問6-68	問6-69	問6-70
問6-71	問6-72	問6-73
問6-74	問6-75	問6-76
問6-77	問6-78	問6-79
問6-80	問6-81	問6-82
問6-83	問6-84	問6-85
問6-86	問6-87	問6-88
問6-89	問6-90	問6-91
問6-92	問6-93	問6-94
問6-95	問6-96	問6-97
問6-98	問6-99	問6-100
問6-101	問6-102	問6-103
問6-104	問6-105	問6-106
問6-107	問6-108	問6-109
問6-110	問6-111	問6-112
問6-113	問6-114	問6-115
問6-116	問6-117	問6-118
問6-119	問6-120	問6-121
問6-122	問6-123	問6-124
問6-125	問6-126	問6-127
問6-128	問6-129	問6-130
問6-131	問6-132	問6-133
問6-134	問6-135	問6-136
問6-137	問6-138	問6-139
問6-140	問6-141	問6-142
問6-143	問6-144	問6-145
問6-146	問6-147	問6-148
問6-149	問6-150	問6-151
問6-152	問6-153	問6-154
問6-155	問6-156	問6-157
問6-158	問6-159	問6-160
問6-161	問6-162	問6-163
問6-164	問6-165	問6-166
問6-167	問6-168	問6-169
問6-170	問6-171	問6-172
問6-173	問6-174	問6-175
問6-176	問6-177	問6-178
問6-179	問6-180	問6-181
問6-182	問6-183	問6-184
問6-185	問6-186	問6-187
問6-188	問6-189	問6-190
問6-191	問6-192	問6-193
問6-194	問6-195	問6-196
問6-197	問6-198	問6-199
問6-200	問6-201	問6-202
問6-203	問6-204	問6-205
問6-206	問6-207	問6-208
問6-209	問6-210	問6-211
問6-212	問6-213	問6-214
問6-215	問6-216	問6-217
問6-218	問6-219	問6-220
問6-221	問6-222	問6-223
問6-224	問6-225	問6-226
問6-227	問6-228	問6-229
問6-230	問6-231	問6-232
問6-233	問6-234	問6-235
問6-236	問6-237	問6-238
問6-239	問6-240	問6-241
問6-242	問6-243	問6-244
問6-245	問6-246	問6-247
問6-248	問6-249	問6-250
問6-251	問6-252	問6-253
問6-254	問6-255	問6-256
問6-257	問6-258	問6-259
問6-260	問6-261	問6-262
問6-263	問6-264	問6-26

[illegible]

3 調査票（居所変更実態調査）

居所変更実態調査

※●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別をご回答ください。（1つに○）

	1. 住宅型有料老人ホーム		6. 地域密着型特定施設
	2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）		7. 介護老人保健施設
	3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		8. 介護医療院
	4. グループホーム		9. 特別養護老人ホーム
	5. 特定施設		10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称			
2) 定員数など		(人/戸/室)	
3) 入所・入居者数		人	
4) (貴施設等の) 待機者数		人	
5) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)		人	

※「2)定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。（数値を記入）

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。（あてはまる項目全てに○）

※1人でも受け入れが可能であれば、○とご記入ください。

1) 点滴の管理		8) 疼痛の看護	
2) 中心静脈栄養		9) 経管栄養	
3) 透析		10) モニター測定	
4) ストーマの処置		11) 褥瘡の処置	
5) 酸素療法		12) カテーテル	
6) レスピレーター		13) 喀痰吸引	
7) 気管切開の処置		14) インスリン注射	
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。（数値を記入）

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計（実人数）	人
-----------------------------	------------------------

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問6 過去1年間（●●年●月●日～●●年●月●日）に、貴施設等へ新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計★）

人

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※「合計★」と、問6「新規の入所・入居者数（合計★）」が一致することをご確認ください。

※ 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12)病院」を選択してください。

※「1) 自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）		
13) その他		
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない		
合計★		

合計人数が一致することを、ご確認ください

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問8 過去1年間（●年●月●日～●年●月●日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含め
ないでください。

※「死亡」には、「貴施設等で亡くなられた方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。

退去者数（合計）※死亡を含む 人 ☆

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②貴施設等での死亡」、

搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」が一致することをご確認ください。

①退去者									②貴施設等 での死亡 ※搬送先での 死亡を含む	合計☆ ※①②の 合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・ 不明		

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントして
ください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」、問9の「合計☆」が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 病院・診療所（上記「9」を除く） ※一時的な入院は含みません。		
11) 特別養護老人ホーム		
12) 地域密着型特別養護老人ホーム		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）		
合計☆		

合計人数が一致することを、ご確認ください

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまで○）

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問12 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

4 調査票（介護人材実態調査）

介護人材実態調査 【事業所票】 施設・通所系

※●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の送付先（郵便・メール等の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

1. 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2. 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣職員数		人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

（1つに○）

1. はい ⇒問2-3へ
 2. いいえ ⇒問3へ

問2-3 ●年●月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（●年●月●日～●年●月●日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

問3 事業所の介護職員の過不足の状況について、あてはまるものを選んで下さい。(1つに○)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 大いに不足 | →問4もお答えください |
| 2. 不足 | →問4もお答えください |
| 3. やや不足 | →問4もお答えください |
| 4. 適当 | →問5もお答えください |
| 5. 過剰 | →問5もお答えください |

(問3で「1. 大いに不足」「2. 不足」「3. やや不足」と回答した事業所のみお答えください。)

問4 介護職員が不足したり、確保しにくい要因は、どのようなことだと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 介護業界が不人気 | |
| 2. 職員の高齢化 | |
| 3. 人材が定着しない | |
| 4. 採用活動を行う経費がない | |
| 5. 労働環境が厳しい | |
| 6. 給与水準が低い | |
| 7. その他 (| |

(問3で「4. 適当」「5. 過剰」と回答した事業所のみお答えください。)

問5 介護職員を確保できている要因は、どのようなことだと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 働きやすい職場環境 | |
| 2. 適切な給与 | |
| 3. 柔軟・多様な勤務形態 | |
| 4. 福利厚生の実施 | |
| 5. 定年後再雇用・継続雇用 | |
| 6. 専門的な人材や経験者のみの募集 | |
| 7. 外部委託(派遣等)の活用 | |
| 8. 外国人介護職員の雇用 | |
| 9. 介護助手や未経験者の活用 | |
| 10. メンタルヘルス・ストレスケアの実施 | |
| 11. ICT・介護ロボットの導入 | |
| 12. その他 (| |
| 13. 特になし | |

(以降は全ての事業者様がお答えください)

問6 次の各職種は充足していると思いますか。 (それぞれプルダウンから選択)

回答 (それぞれプルダウンから選択)

1. 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
2. 訪問介護員 (ホームヘルパー)
3. 生活相談員
4. 看護職員
5. 機能訓練指導員
6. 社会福祉士
7. 介護福祉士
8. 介護職員 (資格あり)
9. 介護職員 (資格なし)
10. 事務職員
11. リハビリ専門職 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

問7 人材確保で問題になることはどのようなことですか。 (いくつでも)

	1. 募集しても応募がない	
	2. 応募があっても、待遇等の条件があわない	
	3. 募集に費用がかかる	
	4. 派遣に頼らざるをえなくなる	
	5. 採用しても定着しない	
	6. 採用後の育成が難しい (研修やOJTなど)	
	7. 他の事業所との人材獲得競争が激しい (他産業との競合も含む)	
	8. その他 (<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td></tr></table>)	
	9. 特にない	

問8 離職防止のための下記の施策について、効果の有無や実施状況をお答えください。

(それぞれプルダウンから選択)

	回答(プルダウン)
1. 残業を少なくする、休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	
2. 本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善に取り組んでいる	
3. 賃金水準を向上させている	
4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	
5. 従業員の仕事内容と必要な能力等を明示している	
6. キャリアに応じた給与体系を整備している	
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	
9. 能力開発を充実させている（事業所内研修実施、事業所外講習の受講支援）	
10. 管理者・リーダー層の部下教育や能力向上に向けた教育研修に力を入れている	
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している	
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策等）	
13. 健康対策や健康管理に力を入れている	
14. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング等）	
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れている	
17. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりに力を入れている	
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（同好会、親睦会等の実施含む）	
19. 子育て支援を行っている（保育所の設置、保育費用支援等）	
20. 寮（自社寮・借り上げ寮等）を整備している	
21. 職場環境を整えている（休憩室、談話室の確保等）	

問9 介護人材不足への対応として、スポットワーク（数時間単位で働く1回限りの単発人材、いわゆるスキマバイト）の活用について、あてはまるものを選んで下さい。(○は1つ)

☐	1. 既に活用している
☐	2. いまは活用していないが、今後活用を検討したい
☐	3. 活用したいとは思わない

問10 今後、市が研修会を主催する場合、参加してみたい研修内容がありますか。 (いくつでも)

- | | |
|--|---|
| | 1. 認知症ケア（BPSD対応、本人中心の支援） |
| | (※) BPSD：認知症の方に見られる行動や気持ちの症状のこと（徘徊、不眠、怒り、不安、幻覚など） |
| | 2. 業務継続計画（BCP）の見直し、ブラッシュアップ |
| | 3. 感染症の予防と対応、日常の衛生管理 |
| | 4. 褥瘡予防・スキンケア（栄養との関連を含む） |
| | 5. 口腔・嚥下ケア（誤嚥性肺炎予防、食事形態の工夫） |
| | 6. 転倒・事故予防、移乗介助と福祉用具の正しい使い方 |
| | 7. 排泄ケア（失禁対策、トイレ環境の工夫） |
| | 8. 身体拘束ゼロへの取り組み・虐待防止 |
| | 9. 薬剤管理とポリファーマシー対策（医療機関との連携） |
| | (※) ポリファーマシー：多くの薬を服用することで、副作用などの有害事象が起こる状態のこと |
| | 10. 多職種連携・地域包括ケアの実践（主治医・歯科・栄養・リハ） |
| | 11. リハビリテーション／ICF視点のケアプランの策定（自立支援） |
| | (※) ICF：心や体の状態、活動や社会参加など様々な機能・要因等を考える国際基準のこと |
| | 12. LIFE（科学的介護情報システム）の導入と活用 |
| | 13. 介護DX・ICT・介護ロボットの活用 |
| | 14. 介護保険制度の最新動向・報酬改定への実務対応（加算取得・算定のポイント） |
| | 15. その他 () |
| | 16. 特にない |

問11 貴事業所の経営状況は、3年前と比べていかがですか。 (1つに○)

- | | |
|--|-----------------------|
| | 1. 良くなった |
| | 2. 変わらない |
| | 3. 悪くなった 一問12もお答えください |

(問11で「3. 悪くなった」と回答した事業所のみお答えください。)

問12 経営状況が悪くなった理由は何ですか。 (いくつでも)

- | | |
|--|------------------------------------|
| | 1. 利用者数・稼働率の減少（要介護高齢者の減少、サービス利用控え） |
| | 2. 物価高による仕入・消耗品・食材費の増加 |
| | 3. 光熱費・水道料金の高騰 |
| | 4. 送迎・燃料費の増加（ガソリン代・車両維持費） |
| | 5. 人材不足（採用難、離職率の上昇） |
| | 6. 人件費の上昇（賃上げや処遇改善によるコスト増） |
| | 7. 競合事業所の増加による価格・利用者獲得競争の激化 |
| | 8. 設備の老朽化や改修・更新への投資負担 |
| | 9. その他 () |

(以降は全ての事業者様がお答えください)

問13 DXの推進についてお伺いします。貴事業所で既に実施しているものを、全て選んでください。(いくつでも)

☐	1. 各種記録の電子化（ペーパーレス化）
☐	2. 職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する
☐	3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
(※) PHR：個人の健康・医療情報（検査結果や服薬など）を本人が管理・活用する仕組みのこと	
☐	4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
☐	5. ケアマネジャー等、関係機関とのデータ共有
☐	6. WEB形式での担当者会議の開催
☐	7. 機器を活用した利用者の睡眠や健康管理
☐	8. 介護ロボットの導入
☐	9. AIを用いた介護計画づくり
☐	10. 音声の自動文字おこし
☐	11. その他 ()
☐	12. 特になし

問14 DXの推進について、貴事業所では今後どのような施策を進めたいですか。(いくつでも)

☐	1. 各種記録の電子化（ペーパーレス化）
☐	2. 職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する
☐	3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
(※) PHR：個人の健康・医療情報（検査結果や服薬など）を本人が管理・活用する仕組みのこと	
☐	4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
☐	5. ケアマネジャー等、関係機関とのデータ共有
☐	6. WEB形式での担当者会議の開催
☐	7. 機器を活用した利用者の睡眠や健康管理
☐	8. 介護ロボットの導入
☐	9. AIを用いた介護計画づくり
☐	10. 音声の自動文字おこし
☐	11. 介護情報基盤の活用
(※) 「介護情報基盤ポータル」URL： https://www.kaigo-kiban-portal.jp/	
☐	12. その他 ()
☐	13. 特になし

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

アンケートは続きます。

最後に、シート「調査票（Q5）」の設問（問●）にお進みください。

問15 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※番号1つ記載				※数値を記入		※番号1つ記載			
設問	(1)資格の取得、研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について		
選択肢	1.介護福祉士 (認定介護福祉士含む) 2.介護福祉士実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了、 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.常勤職員 2.非常勤職員	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	※残業時間を含む。休憩時間は除く。 ※週の始まりは事業所ごとに任意の曜日で構いません。	1.1年以上 ⇒【回答終了】 2.1年未満 ⇒【(7)へ】	1.現在の職場が初めての勤務先⇒【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8.その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】 9.不明 ⇒【回答終了】	1.現在の施設等と、同一の市区町村内 2.現在の施設等と、別の市区町村内 3.不明	1.現在の施設等と、同一の法人・グループ 2.現在の施設等と、別の法人・グループ 3.不明	
記入例	1	1	1	3	40 時間	2	2	1	2	
01					時間					
02					時間					
03					時間					
04					時間					
05					時間					
06					時間					
07					時間					
08					時間					
09					時間					
10					時間					
11					時間					
12					時間					
13					時間					
14					時間					
15					時間					
16					時間					
17					時間					
18					時間					
19					時間					
20					時間					

介護人材実態調査 職員票（訪問系）

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）が対象です。

※●●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

- ☐ 1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- ☐ 2. 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 3. 看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

- ☐ 1. 介護福祉士（認定介護福祉士を含む）
- ☐ 2. 介護福祉士実務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
- ☐ 3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
- ☐ 4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態（1つに○）	☐ 1. 常勤職員	☐ 2. 非常勤職員
2) 性別（1つに○）	☐ 1. 男性	☐ 2. 女性
3) 年齢（1つに○）	☐ 1. 20歳未満	☐ 2. 20代
	☐ 3. 30代	☐ 4. 40代
	☐ 5. 50代	☐ 6. 60代
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※問1で回答した勤務先における時間	週 時間	★ ※残業時間を含む。 休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数（1つに○）	☐ 1. 1年以上 ⇒裏面に回答	
	☐ 2. 1年未満 ⇒問4と裏面に回答	

問4 【問3の5)で「2.」と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

- ☐ 1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒ 【裏面に回答】
- ☐ 2. 介護以外の職場 ⇒ 【裏面に回答】
- ☐ 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
- ☐ 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型
- ☐ 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス
- ☐ 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
- ☐ 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
- ☐ 8. その他の介護サービス
- ⇒ 【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問5 【問4で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）	☐ 1. 現在の事業所と、同一の市区町村内
	☐ 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人（1つに○）	☐ 1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ
	☐ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

⇒皆様、裏面も
ご回答ください

職員票（訪問介護員向け）裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きます。

※表面の問3「4）過去1週間の勤務時間」（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

（例、水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	60	分	20	分	20	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	30	分	0	分	0	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

週の合計時間

時間

